



定住・地方移住等に関する 区民意識調査 報告書

平成 28 年 2 月

豊 島 区

目次

I. 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の内容	1
4. 回収結果	1
5. 報告書を見る際の注意事項	1
6. 回答者の基本属性	2
(1) 年齢、性別：問 1、問 2	2
(2) 職業：問 3	3
(3) 世帯構成：問 4、問 5	3
(4) 居住歴：問 6	4
(5) 居住年数：問 7	4
(6) 住まい形態：問 8	5
(7) 居住地域：問 9	5
(8) 世帯年収：問 10	6

II. 調査結果

1. 定住等に関することについて	7
(1) 定住意向：問 11	7
(2) 住み続けたい理由：問 12	12
(3) 転居せざるをえない、転居したい理由：問 13	16
(4) 現在の結婚の状況：問 14	19
(5) 結婚の希望：問 15	21
(6) 結婚の条件：問 16	23
(7) 結婚後の居住希望地：問 17	25
(8) 行政が実施することが望ましい結婚支援：問 18	27
(9) 希望する子どもの人数：問 19	29
(10) 豊島区の出産・子育てのしやすさ：問 20	31
(11) 豊島区の出産・子育てをする上での良い点・改善が必要な点：問 21	34
2. 地方への移住に関することについて	39
(1) 地方移住意向：問 22	39
(2) 移住の検討の程度：問 23	45
(3) 移住を希望する時期：問 24	47
(4) 興味のある移住形態：問 25	48
(5) 一緒に移住したい人：問 26	51
(6) 移住可能な家賃：問 27	53
(7) 移住先からの通勤時間の許容範囲：問 28	56
(8) 地方への移住を考える理由：問 29	58
(9) 移住先でしたいこと：問 30	64
(10) 地方への移住を検討する上で重視する点：問 31	69
(11) 地方に移住する場合に不安に思うこと：問 32	75
(12) 地方への移住を検討する上で特に知りたい点：問 33	80
(13) 移住先として良いと考える場所：問 34	85
(14) 移住先として良いと考える地域：問 35	89
(15) 秩父市への移住意向：問 36	93
(16) 秩父市に移住したい理由：問 37	106
(17) 秩父市に移住したくない理由：問 38	108
(18) 地方移住に希望する支援：問 39	110
(19) 地方移住する場合の自宅の管理：問 40	115
(20) 地方への移住を希望しない理由：問 41	116
3. 自由意見	120

III. 調査票	121
----------	-----

I . 調查概要

1. 調査の目的

区民の「定住」や「地方移住」などに関する意向等を把握し、住み続けられるまちとしての豊島区の現状分析と同時に、地方移住の希望者への支援の方策を検討する基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査区域：豊島区全域
- (2) 調査対象：区内に在住する20歳以上69歳以下の区民
- (3) 標本数：区民5,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳より5,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法：自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期：平成27年11月20日（金）～12月8日（火）

3. 調査の内容

- 調査対象者の基本属性について
- 定住等に関することについて
- 地方への移住に関することについて

4. 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	1,917件	38.3%

5. 報告書を見る際の注意事項

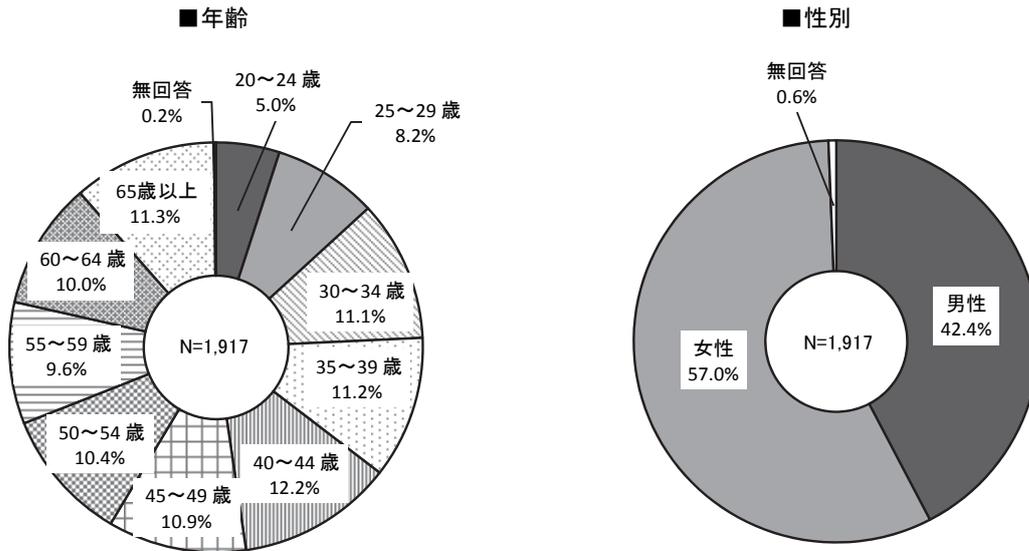
- 図表中の「N」は全回答者数（1,917人）を示し、「n」は回答者を絞った設問における該当する回答者数を示す。
- 回答は百分率で算出している。少数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- 複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。なお、その場合には、グラフタイトルに「あてはまるものすべて」と記載している。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。

6. 回答者の基本属性

(1) 年齢、性別：問1、問2

年齢の5歳区分では、20～24歳が5.0%とやや低いものの、それ以外の区分は概ね10%前後の割合となっている。また、10歳区分でみると、「40～49歳」が23.1%と最も高く、次いで「30～39歳」(22.3%)、「60歳以上」(21.3%)、「50～59歳」(20.0%)となっている。

性別では、「男性」が42.4%、「女性」が57.0%で、女性がやや多くなっている。

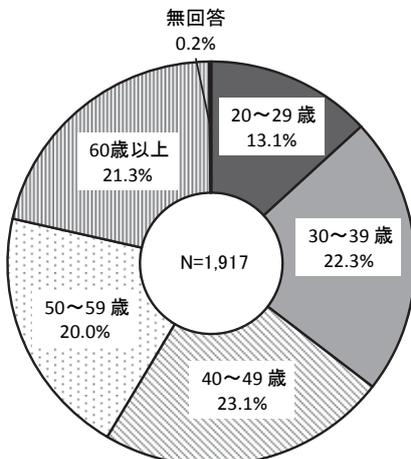


■性別の年齢構成

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上	無回答
全体 (n= 1,917)	95 (5.0)	157 (8.2)	213 (11.1)	215 (11.2)	234 (12.2)	208 (10.9)	200 (10.4)	184 (9.6)	192 (10.0)	216 (11.3)	3 (0.2)
男性 (n= 812)	42 (5.2)	61 (7.5)	87 (10.7)	85 (10.5)	98 (12.1)	94 (11.6)	85 (10.5)	83 (10.2)	80 (9.9)	96 (11.8)	1 (0.1)
女性 (n= 1,093)	53 (4.8)	95 (8.7)	125 (11.4)	130 (11.9)	136 (12.4)	113 (10.3)	114 (10.4)	101 (9.2)	111 (10.2)	115 (10.5)	0 (0.0)
無回答 (n= 12)	0 (0.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	0 (0.0)	1 (8.3)	5 (41.7)	2 (16.7)

上段：実数（人） 下段：%

■年齢（10歳区分）



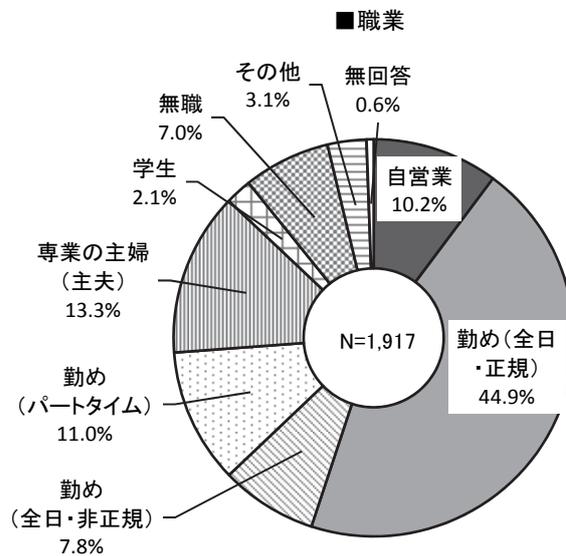
■性別の年齢構成（10歳区分）

	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答
全体 (n= 1,917)	252 (13.1)	428 (22.3)	442 (23.1)	384 (20.0)	408 (21.3)	3 (0.2)
男性 (n= 812)	103 (12.7)	172 (21.2)	192 (23.6)	168 (20.7)	176 (21.7)	1 (0.1)
女性 (n= 1,093)	148 (13.5)	255 (23.3)	249 (22.8)	215 (19.7)	226 (20.7)	0 (0.0)
無回答 (n= 12)	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	6 (50.0)	2 (16.7)

上段：実数（人） 下段：%

(2) 職業：問3

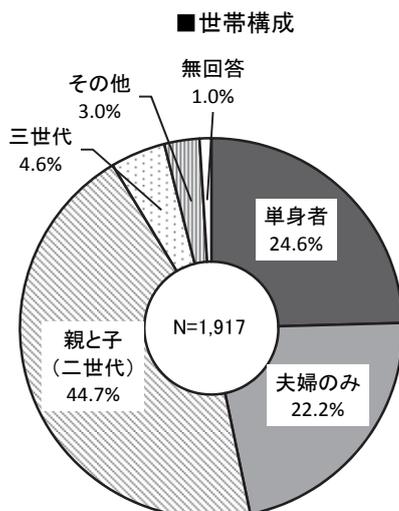
「勤め（全日・正規）」が 44.9%と最も高く、次いで「専業の主婦（主夫）」（13.3%）、
「勤め（パートタイム）」（11.0%）、「自営業」（10.2%）となっている。



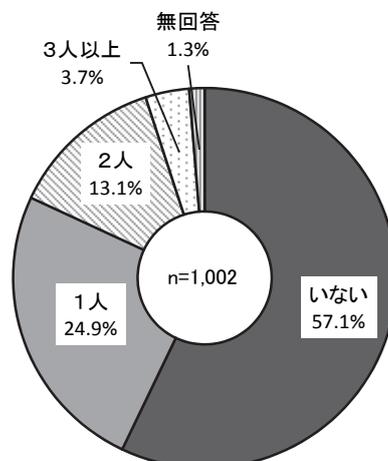
(3) 世帯構成：問4、問5

「親と子(二世帯)」が 44.7%と最も高く、次いで「単身者」(24.6%)、「夫婦のみ」(22.2%)
となっている。

「親と子(二世帯)」「三世帯」「その他」の世帯のうち、中学生以下の子どもの有無は、
「いない」が 57.1%となっており、子どもがいる場合の人数は、「1人」が 24.9%と最も
高く、次いで「2人」(13.1%)、「3人以上」(3.7%)となっている。

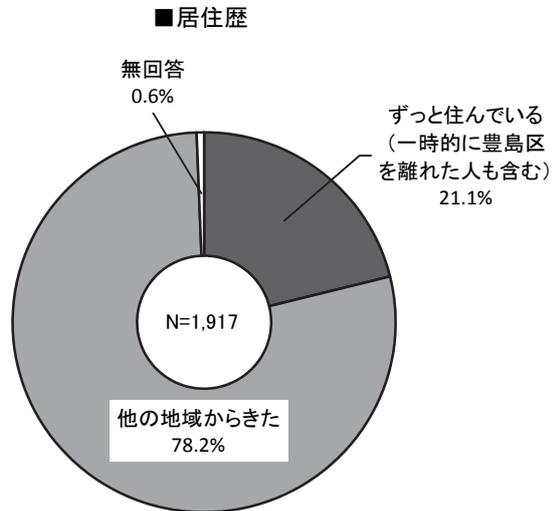


■ 中学生以下の子どもの有無



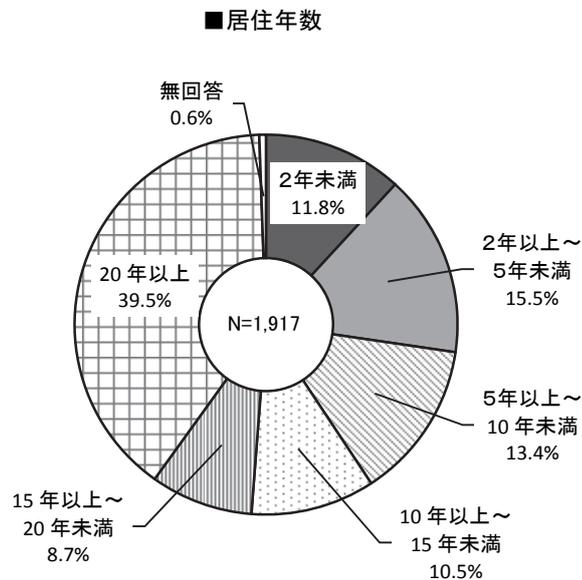
(4) 居住歴：問6

「他の地域からきた」が78.2%、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」が21.1%となっている。



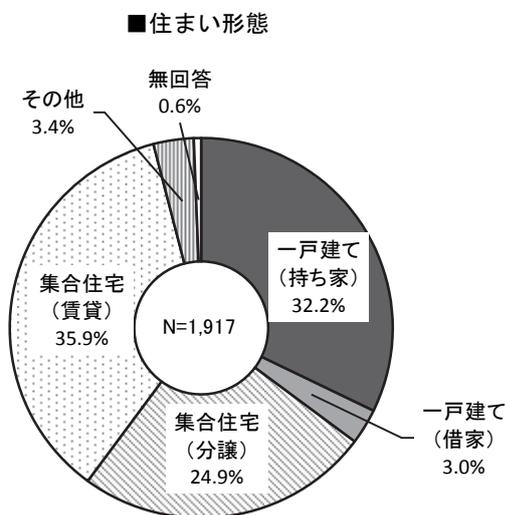
(5) 居住年数：問7

「20年以上」が39.5%と最も高く、次いで「2年以上～5年未満」(15.5%)、「5年以上～10年未満」(13.4%)、「2年未満」(11.8%)となっている。



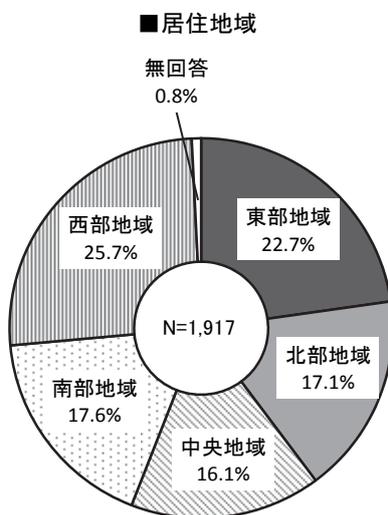
(6) 住まい形態：問 8

「集合住宅（賃貸）」が 35.9%と最も高く、次いで「一戸建て（持ち家）」（32.2%）、「集合住宅（分譲）」（24.9%）、「一戸建て（借家）」（3.0%）となっている。



(7) 居住地域：問 9

5 地区区分では、「西部地域」（25.7%）、「北部地域」（17.1%）、「中央地域」（16.1%）、「南部地域」（17.6%）、「東部地域」（22.7%）となっている。



注) 5 地区の町丁構成

東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚 1・2 丁目、南大塚)

北部地域 (西巣鴨、北大塚 3 丁目、上池袋、池袋本町)

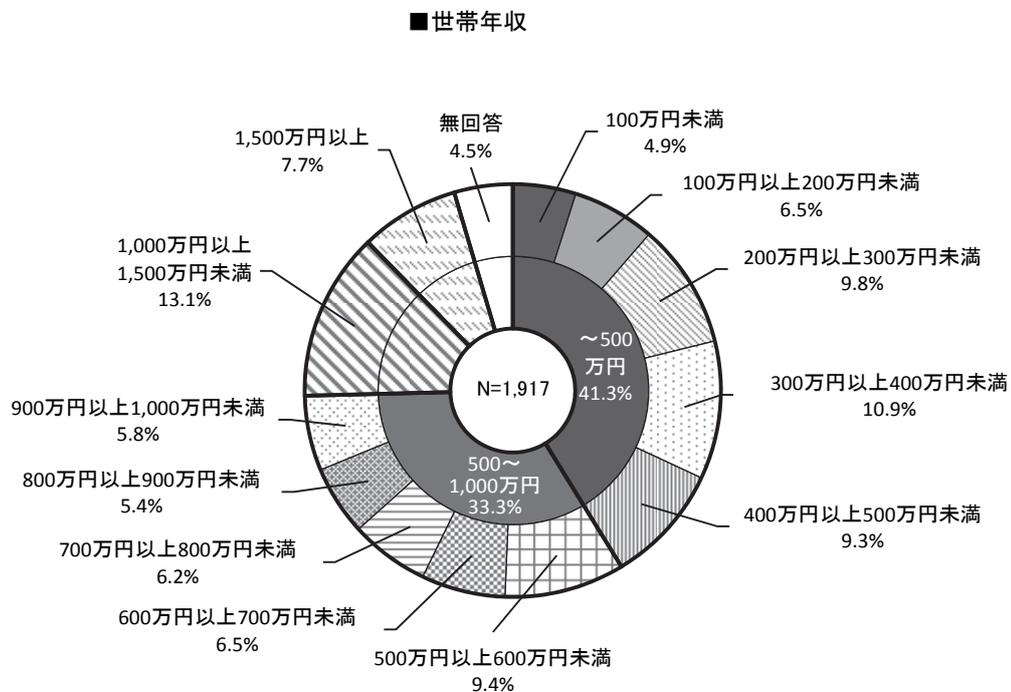
中央地域 (東池袋、南池袋 1・2 丁目、西池袋 1・3・5 丁目、池袋)

南部地域 (南池袋 3・4 丁目、西池袋 2・4 丁目、雑司が谷、高田、目白)

西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)

(8) 世帯年収：問 10

5百万円単位でみると、「500万円未満」が41.3%、「500万円以上1,000万円未満」が33.3%、「1,000万円以上1,500万円未満」が13.1%、「1,500万円以上」が7.7%となっている。

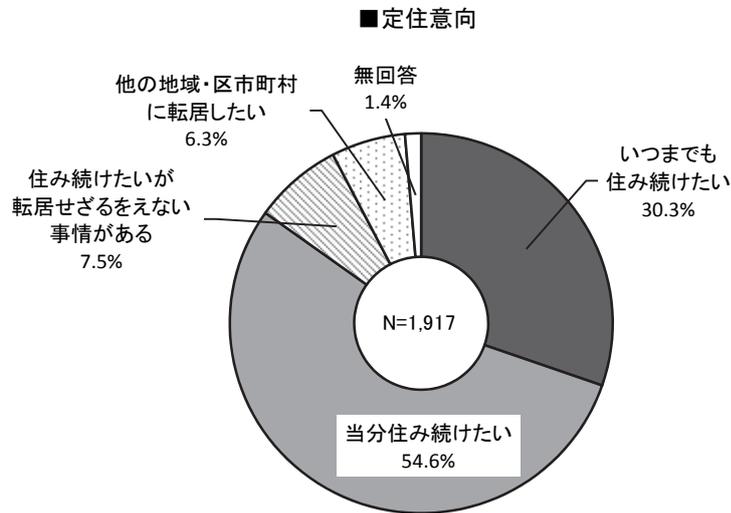


II. 調查結果

1. 定住等に関することについて

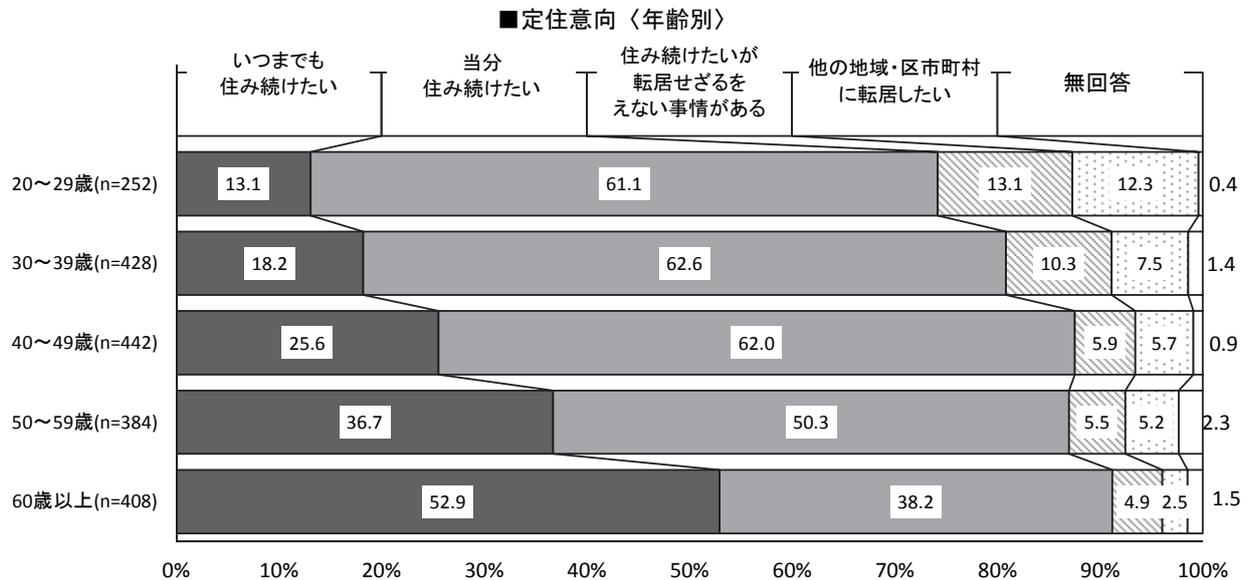
(1) 定住意向：問 11

定住意向を聞いたところ、「当分住み続けたい」が 54.6%と最も高く、「いつまでも住み続けたい」(30.3%) と合わせた“住み続けたい”が 84.9%となっている。



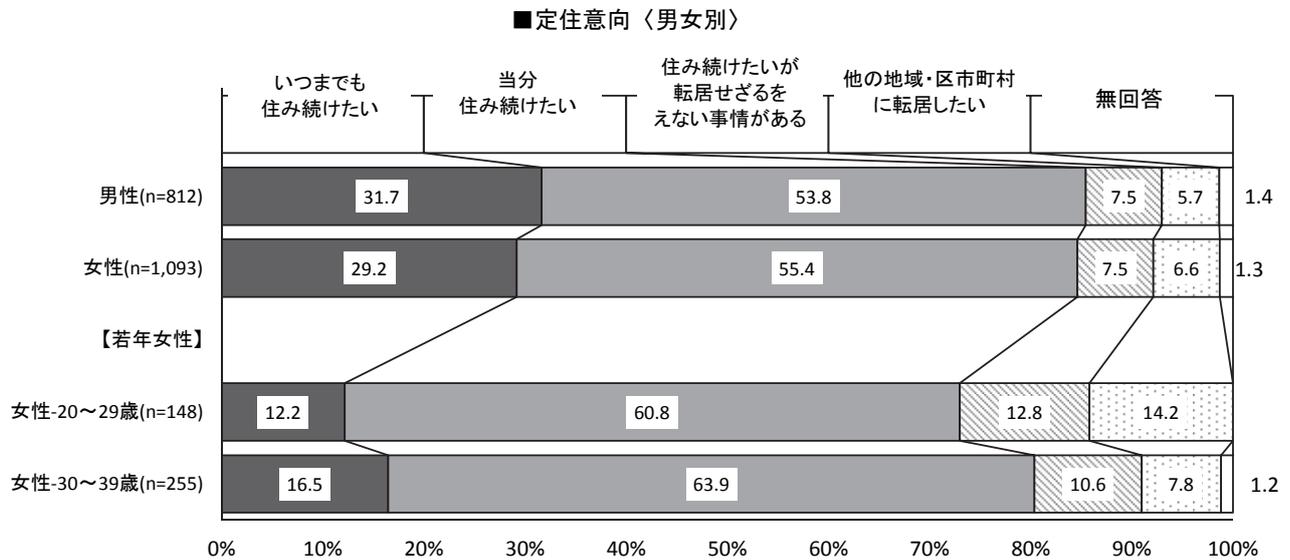
【年齢別比較】

「いつまでも住み続けたい」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、60歳以上では 52.9%となっている。



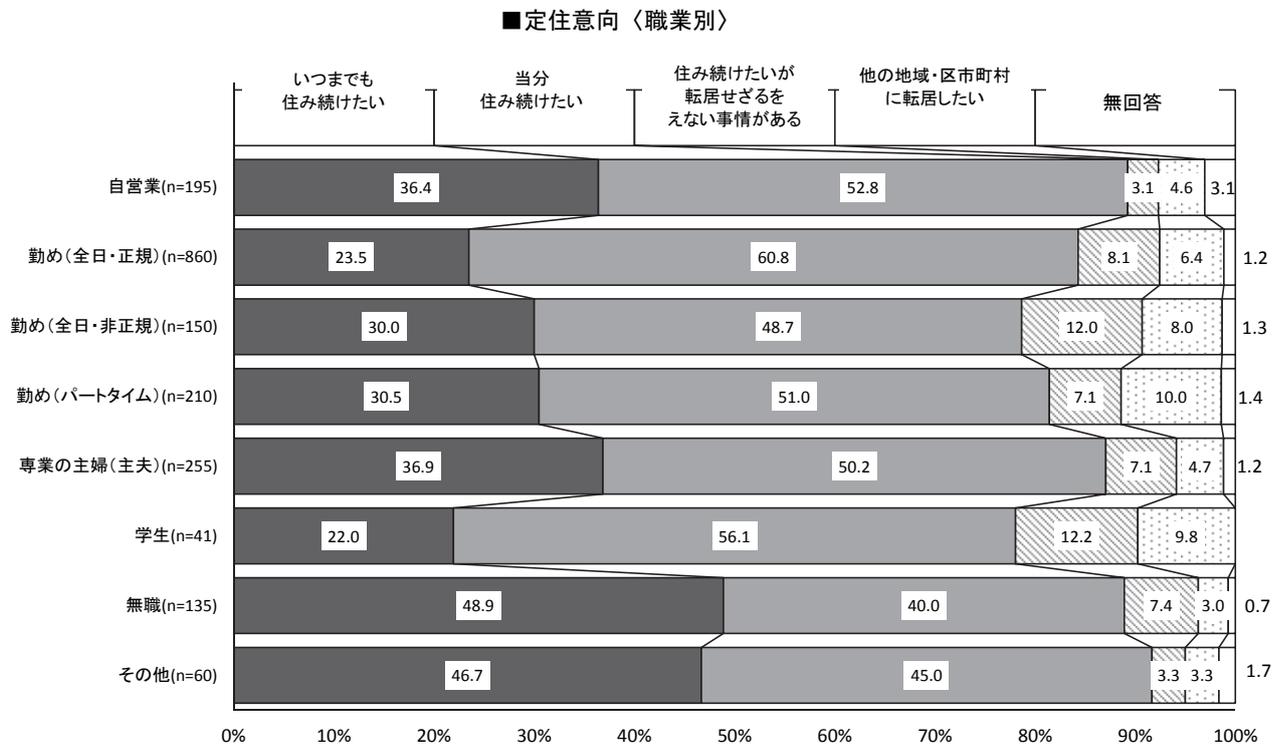
【男女別比較】

男女別にみると、「いつまでも住み続けたい」は男性の方がやや高く、31.7%となっている。女性のうち、20～29歳、30～39歳の年代では「いつまでも住み続けたい」がそれぞれ12.2%、16.5%となっている。



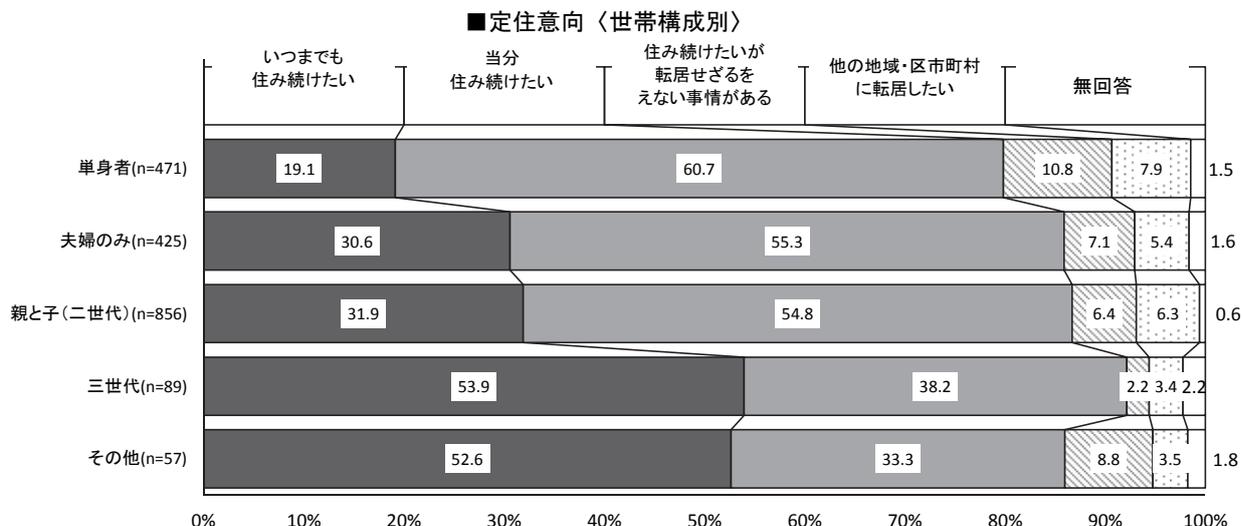
【職業別比較】

「いつまでも住み続けたい」は自営業(36.4%)、専業の主婦(主夫)(36.9%)、無職(48.9%)で高くなっている。



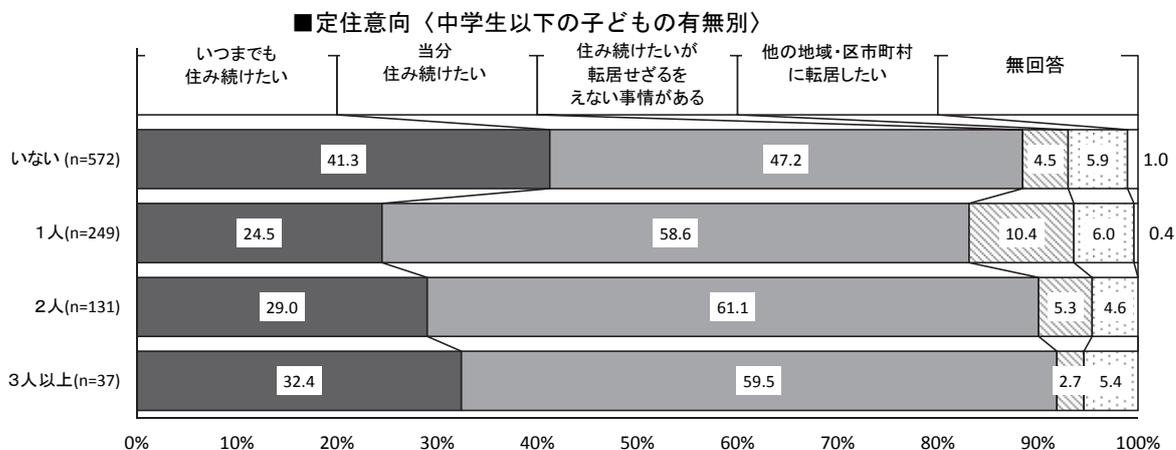
【世帯構成別比較】

「いつまでも住み続けたい」は単身者では低くなっているものの、世帯構成者が複数の場合は3割を超え、特に三世代では53.9%となっている。



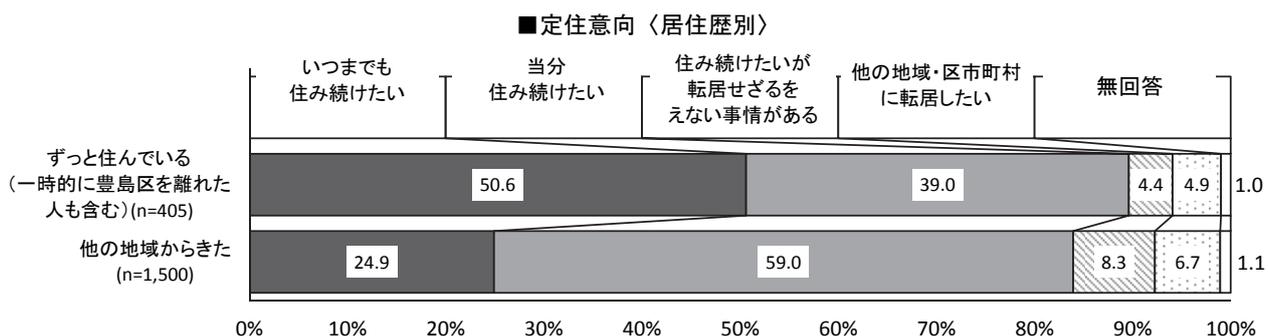
【中学生以下の子どもの有無別比較】

「親と子(二世代)」「三世代」「その他」の世帯構成のうち、「いつまでも住み続けたい」は中学生以下の子どもがいない世帯で41.3%となっている。一方、中学生以下の子どもがいる場合に注目すると、「いつまでも住み続けたい」は子どもの人数が多いほど高くなる傾向がみられる。



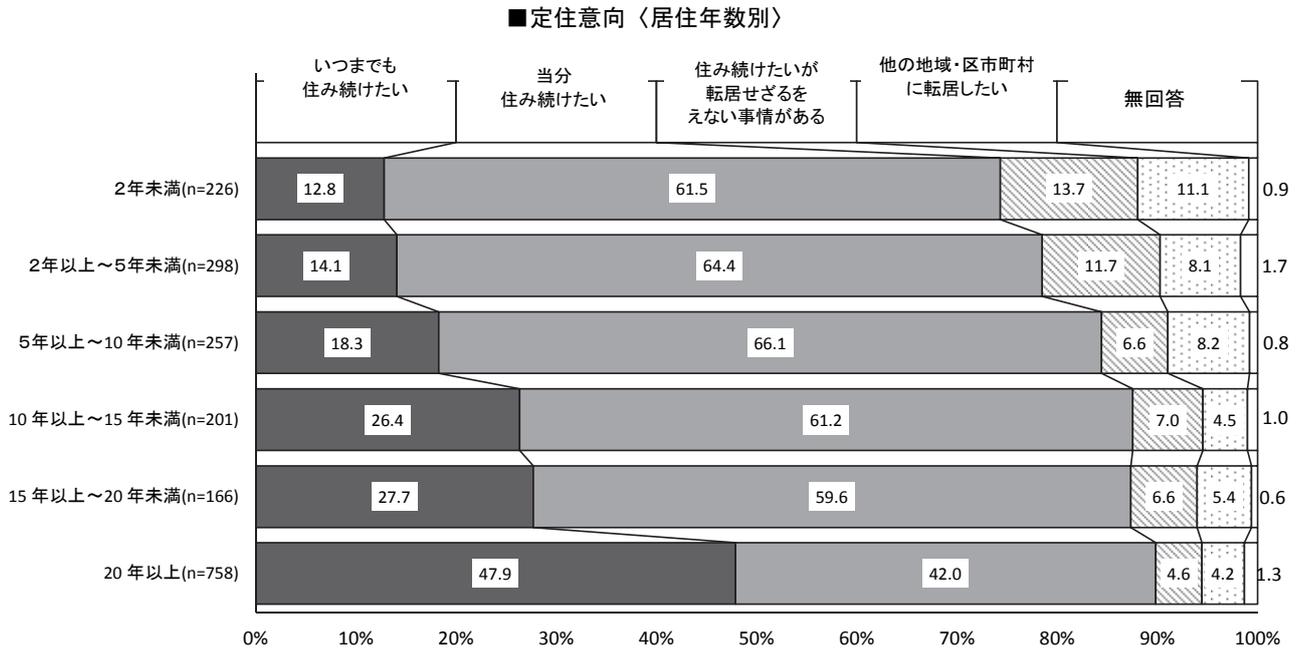
【居住歴別比較】

「いつまでも住み続けたい」はずっと豊島区に住んでいる人の方が高く、50.6%となっている。



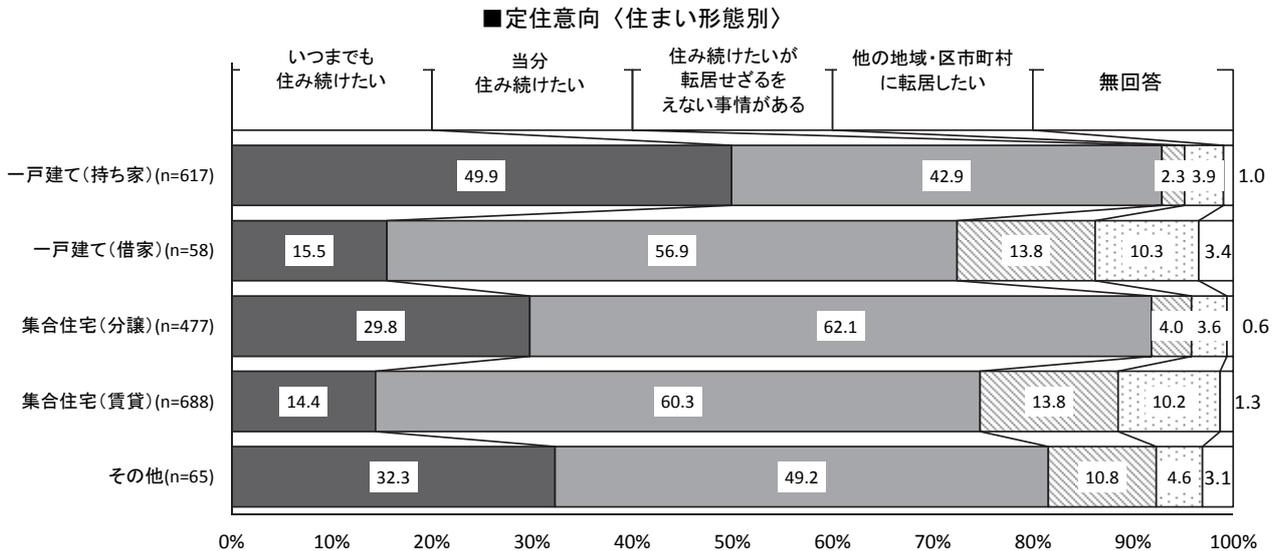
【居住年数別比較】

「いつまでも住みたい」は居住年数が長くなるほど高い傾向がみられ、20年以上では47.9%となっている。



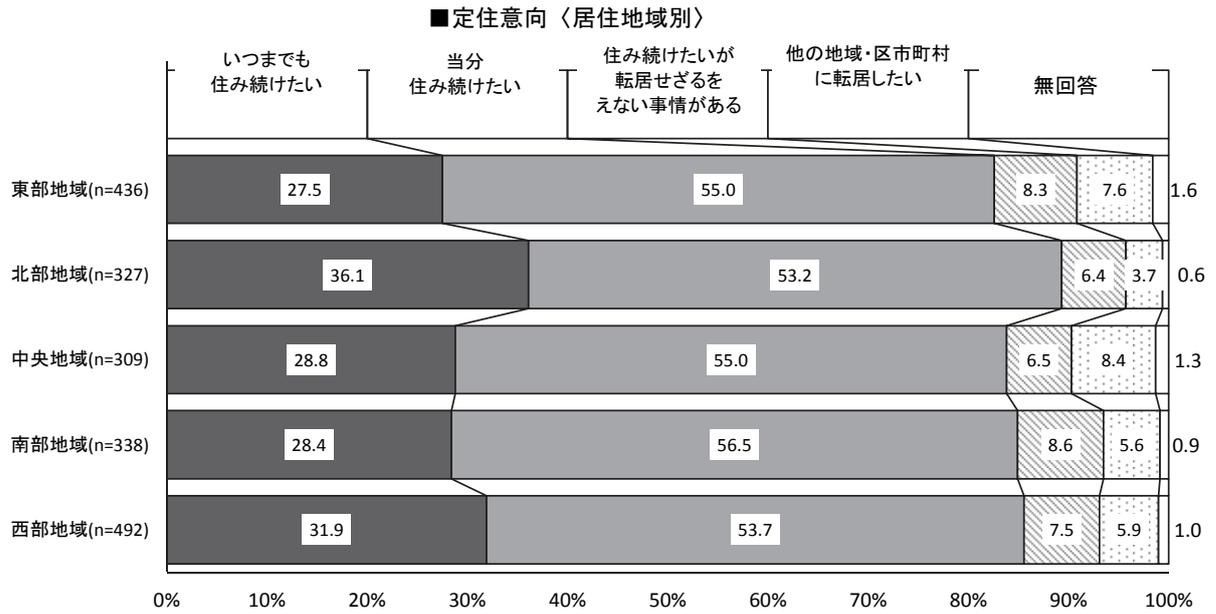
【住まい形態別比較】

「いつまでも住みたい」は一戸建て（持ち家）が49.9%と最も高く、次いで集合住宅（分譲）が29.8%となっている。



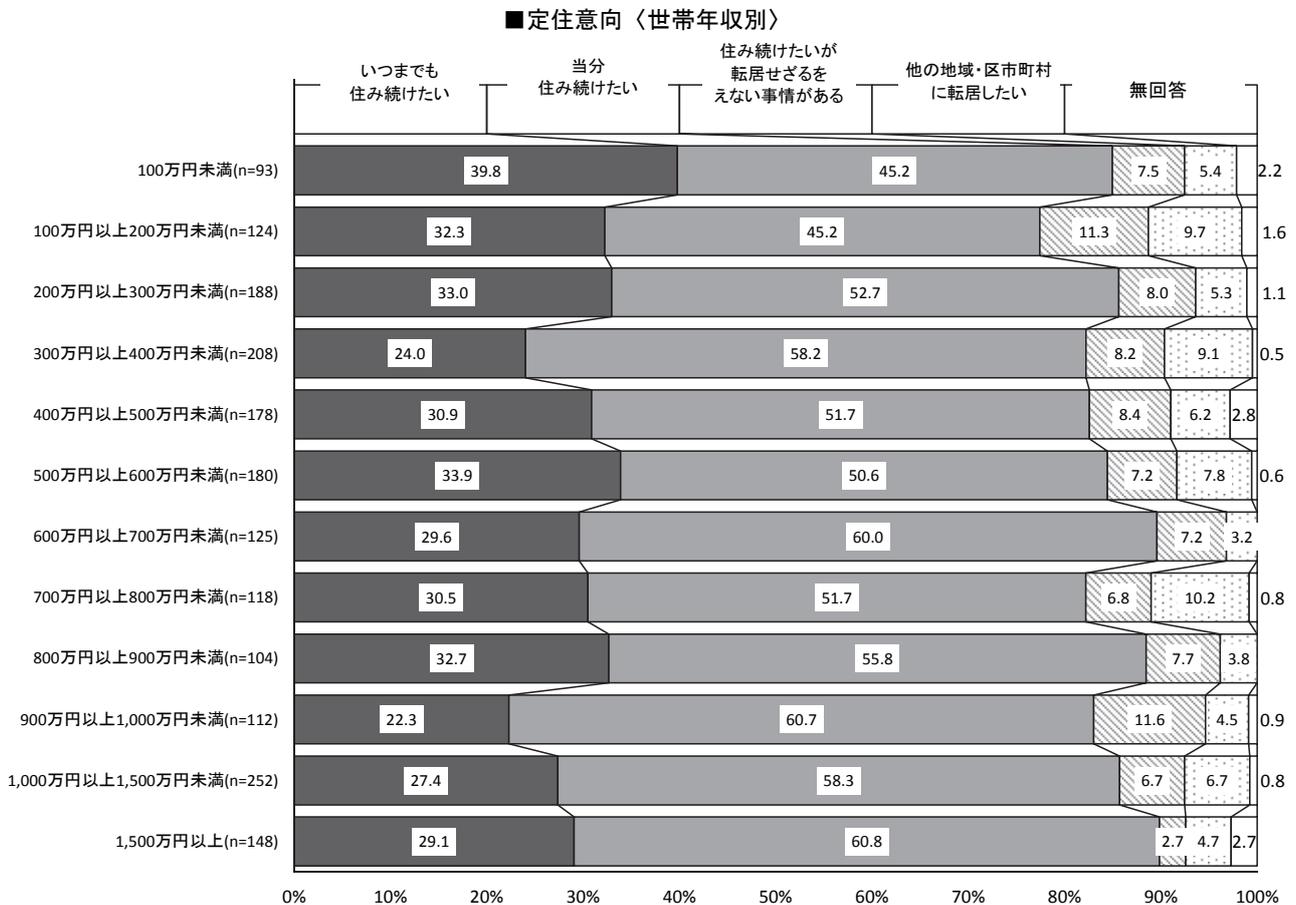
【居住地域別比較】

「いつまでも住み続けたい」は北部地域で最も高く、36.1%となっている。



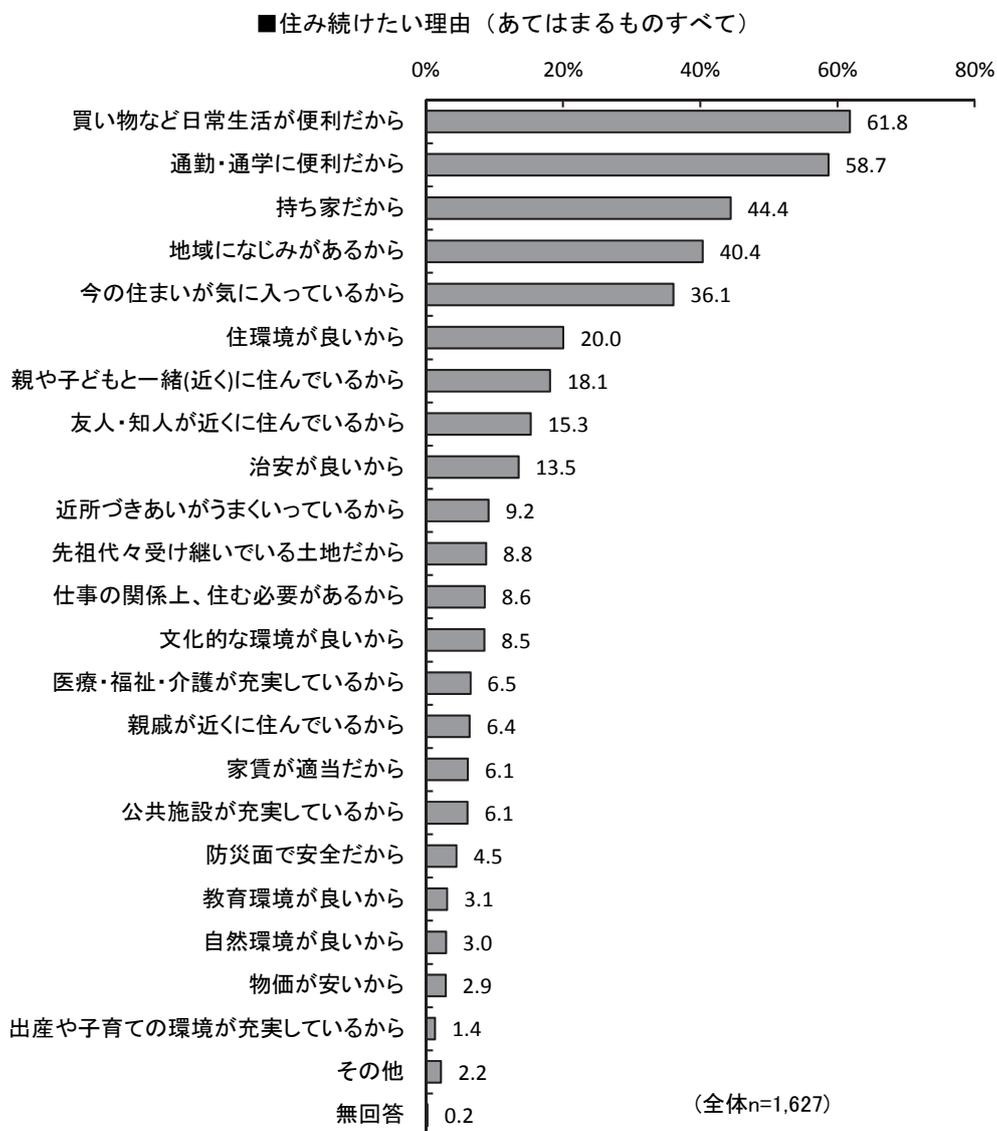
【世帯年収別比較】

「いつまでも住み続けたい」は年収の高い層がやや低くなる傾向がみられるものの、「当分住み続けたい」を合わせると、大きな差はみられない。



(2) 住み続けたい理由：問 12

“住み続けたい”と回答した人に、住み続けたい理由を聞いたところ、「買物など日常生活が便利だから」が61.8%と最も高く、次いで「通勤・通学に便利だから」(58.7%)、「持ち家だから」(44.4%)、「地域になじみがあるから」(40.4%)、「今の住まいが気に入っているから」(36.1%)、「住環境が良いから」(20.0%)の順で続いている。

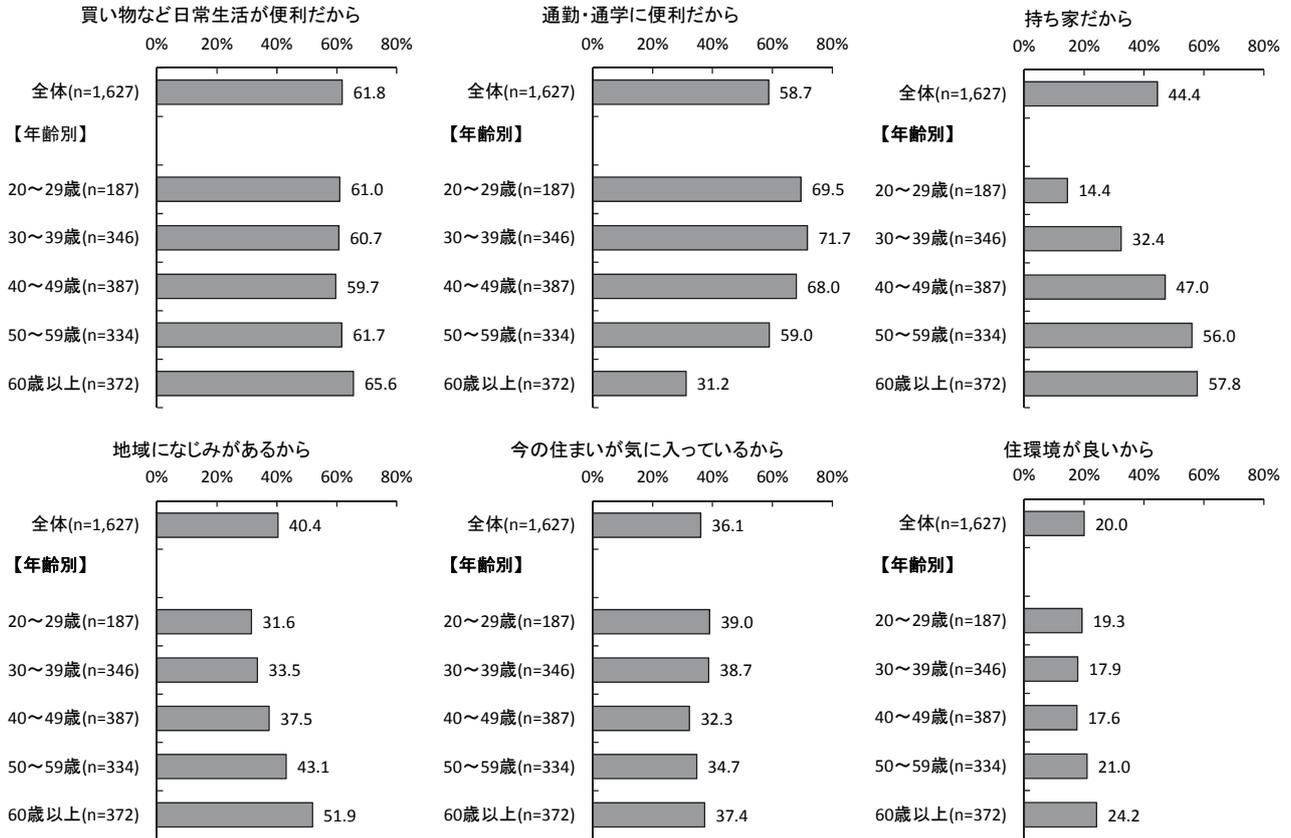


【年齢別比較】

年齢別にみると、20～49歳の各年代では「通勤・通学に便利だから」が最も高く、50歳代以上では「買い物など日常生活が便利だから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「買い物など日常生活が便利だから」は全ての年代で高く、「通勤・通学に便利だから」は若い年代ほど高くなる傾向がみられる。一方、「持ち家だから」「地域になじみがあるから」は年齢が上がるほど高くなる傾向がみられる。

■住み続けたい理由〈年齢別：上位6項目〉



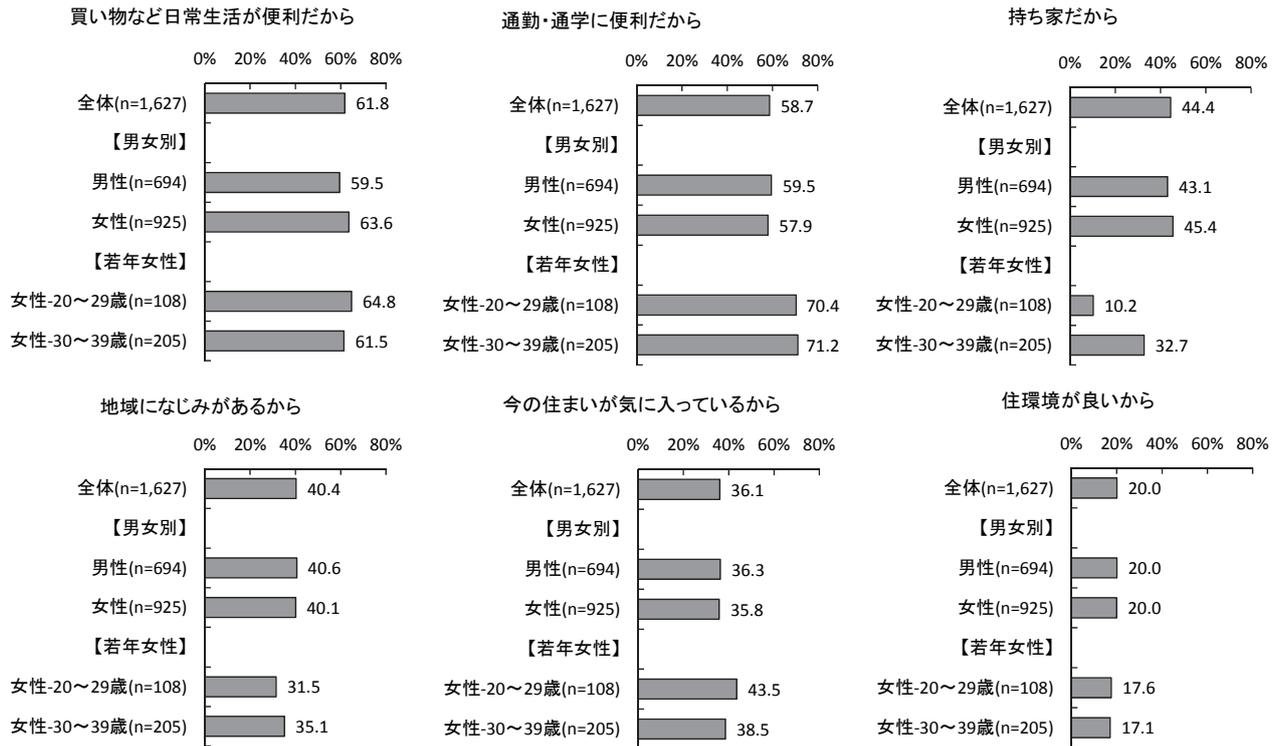
【男女別比較】

男女別にみると、男性では「買い物など日常生活が便利だから」「通勤・通学に便利だから」（ともに59.5%）が最も高く、女性では「買い物など日常生活が便利だから」（63.6%）が最も高くなっている。

項目別にみると、男女間で大きな差はみられない。

女性のうち、20～39歳の年代では「通勤・通学に便利だから」が20～29歳、30～39歳ともに70%を超えている。また、「今の住まいが気に入っているから」でもやや高くなっている。

■住み続けたい理由〈男女別：上位6項目〉

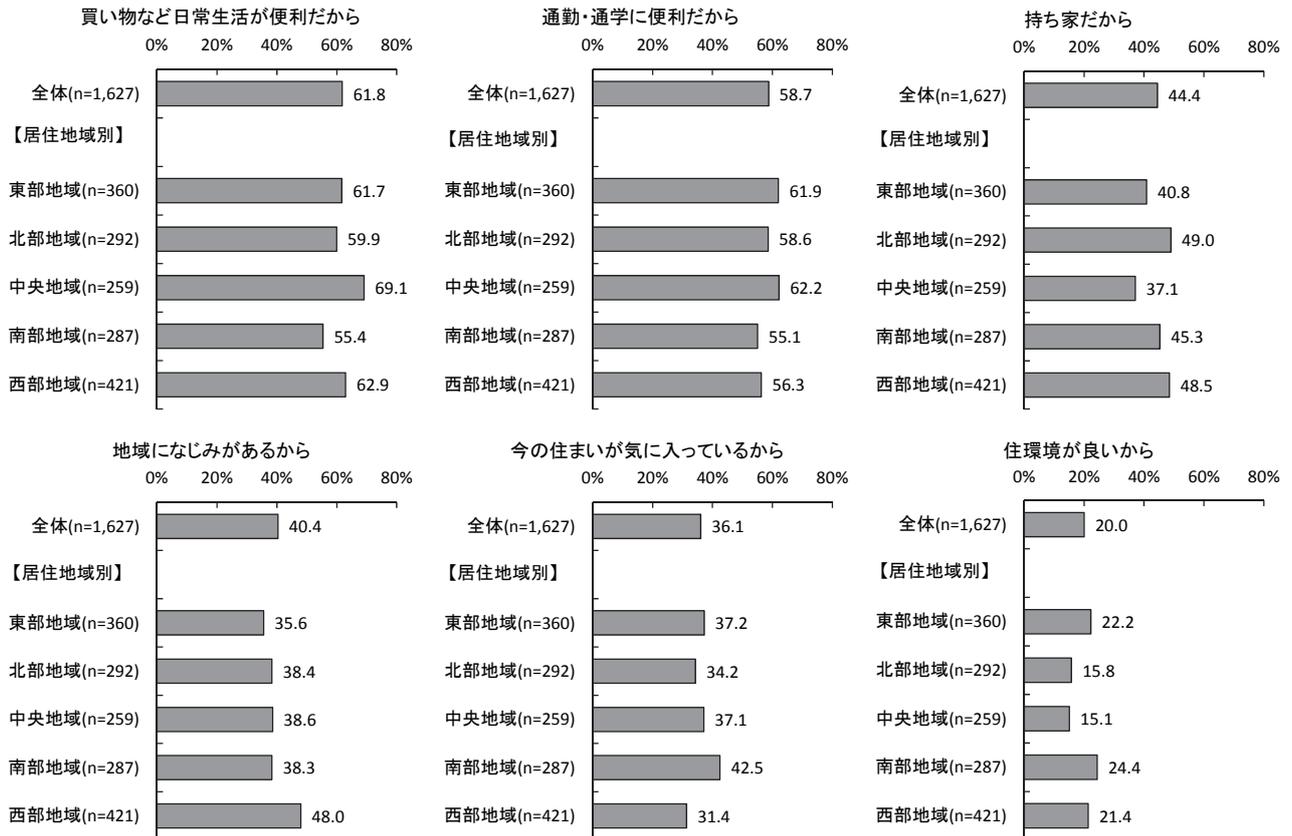


【居住地域別比較】

居住地域別にみると、いずれの地域でも「買い物など日常生活が便利だから」「通勤・通学に便利だから」が高くなっている。

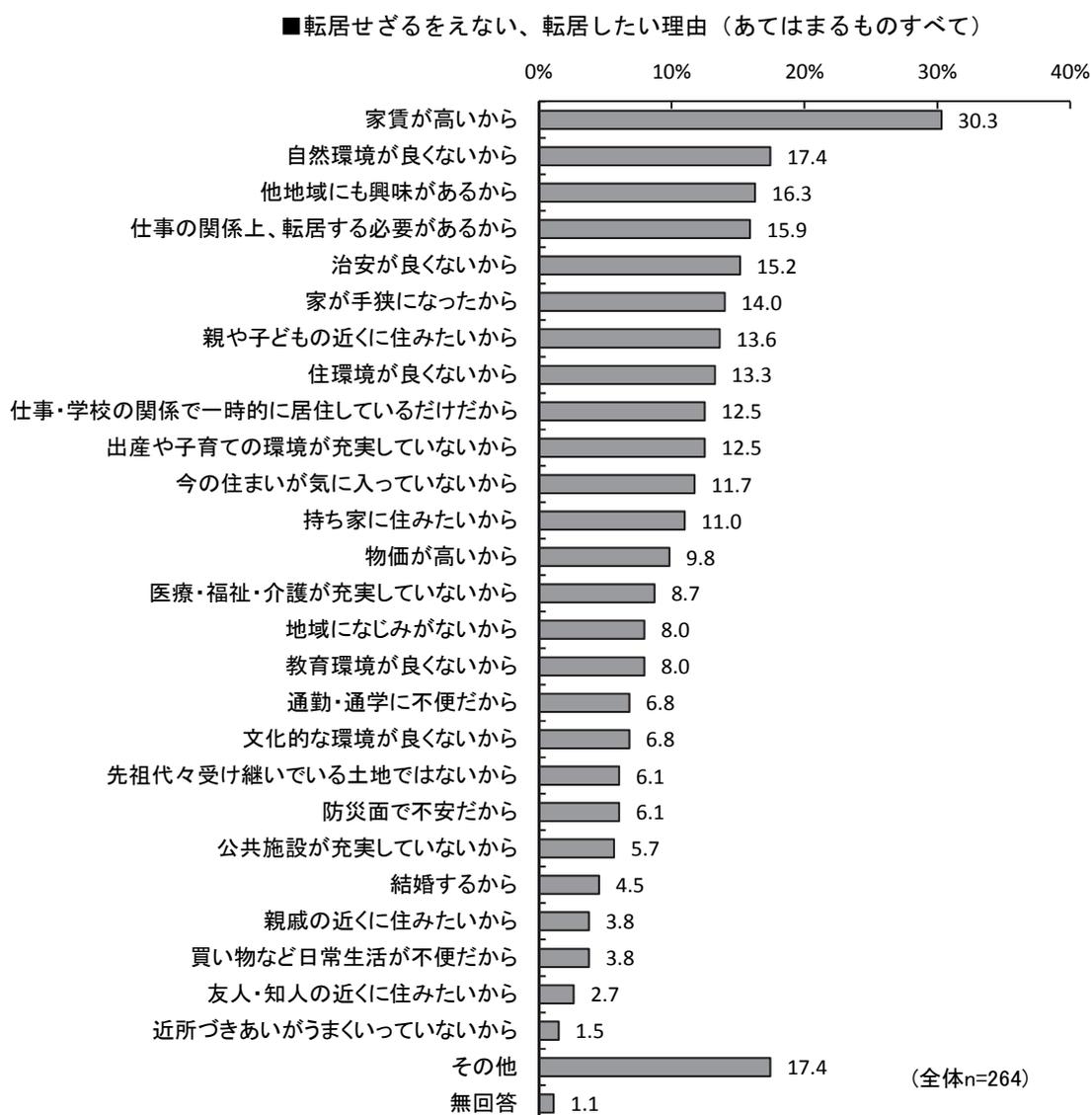
項目別にみると、「買い物など日常生活が便利だから」「通勤・通学に便利だから」は中央地域がやや高く、「持ち家だから」は北部地域、「地域になじみがあるから」は西部地域、「今の住まいが気に入っているから」「住環境が良いから」は南部地域が比較的高くなっている。

■住み続けたい理由〈居住地域別：上位6項目〉



(3) 転居せざるをえない、転居したい理由：問 13

「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」「他の地域・区市町村に転居したい」と回答した人にその理由を聞いたところ、「家賃が高いから」が 30.3%と最も高く、次いで「自然環境が良くないから」(17.4%)、「他地域にも興味があるから」(16.3%)、「仕事の関係上、転居する必要があるから」(15.9%)、「治安が良くないから」(15.2%)、「家が手狭になったから」(14.0%)の順で続いている。



「その他」の主な回答は次のとおり。

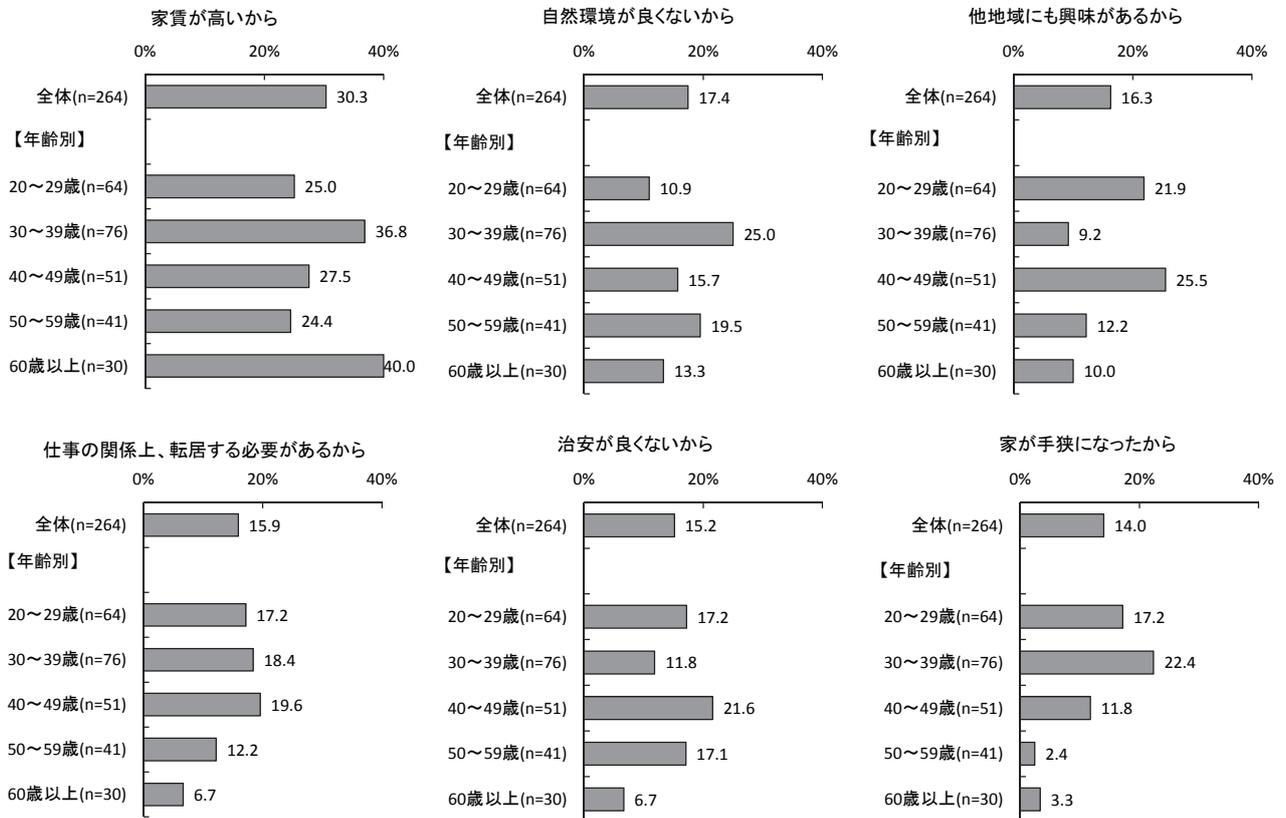
- ・計画道路で立ち退く必要があるから（5件）
- ・騒音があるから（5件）
- ・スーパーが少ないなど、店舗に不満があるから（4件）
- ・田舎に帰るから（4件）
- ・他の場所にも住んでみたいから（4件）
- ・建物の老朽化（3件）
- ・若い人が少ないから（3件）

【年齢別比較】

年齢別にみると、いずれの年齢においても「家賃が高いから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「家賃が高いから」は30～39歳と60歳以上が、「自然環境が良くないから」は30～39歳、「他地域にも興味があるから」は20～29歳、40～49歳が特に高く、また、「家を手狭になったから」は20～29歳、30～39歳の若い年代で特に高くなっている。

■ 転居せざるをえない、転居したい理由〈年齢別：上位6項目〉



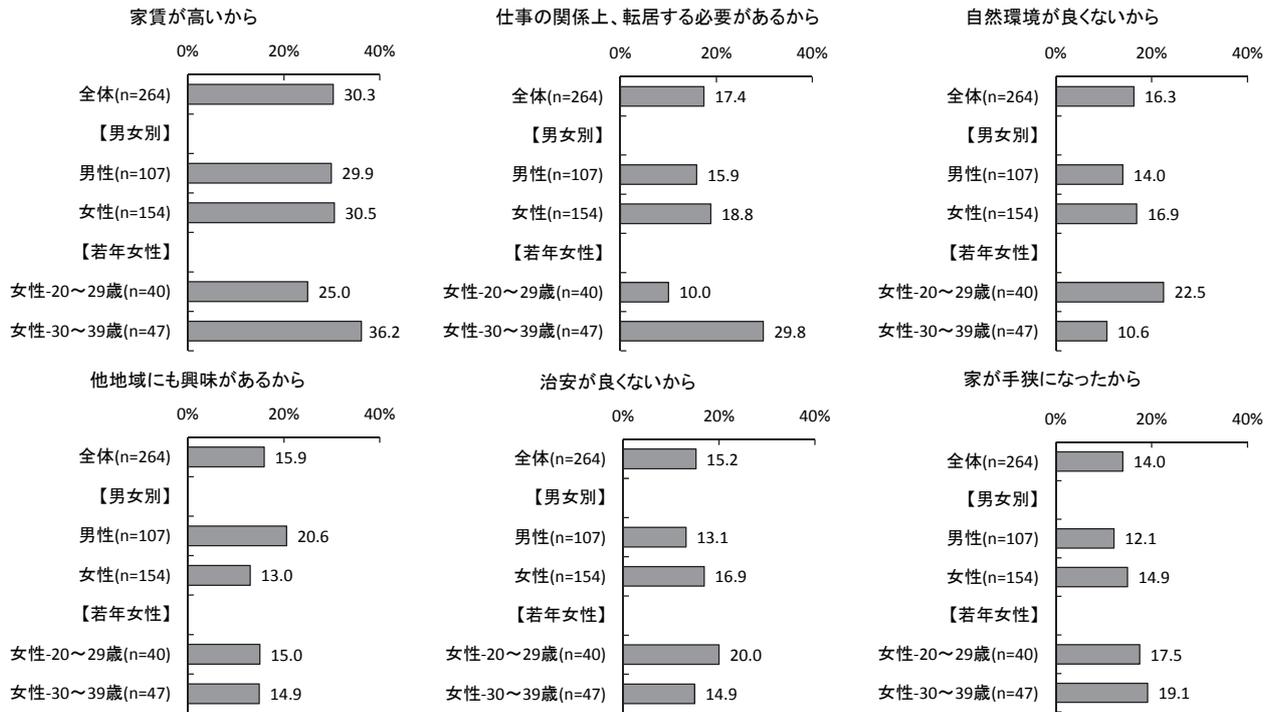
【男女別比較】

男女別にみると、男性、女性ともに「家賃が高いから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「他地域にも興味があるから」は男性の方が20.6%と高く、その他の5項目は女性の方が高くなっている。

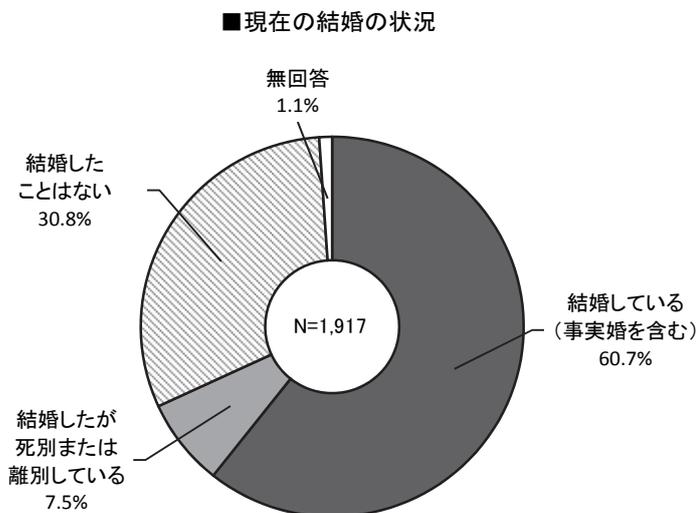
女性のうち、「仕事の関係上、転居する必要があるから」は30～39歳が29.8%と高く、「自然環境が良くないから」は30～39歳が10.6%とやや低いのに対し、20～29歳は22.5%と高くなっている。

■ 転居せざるをえない、転居したい理由〈男女別：上位6項目〉



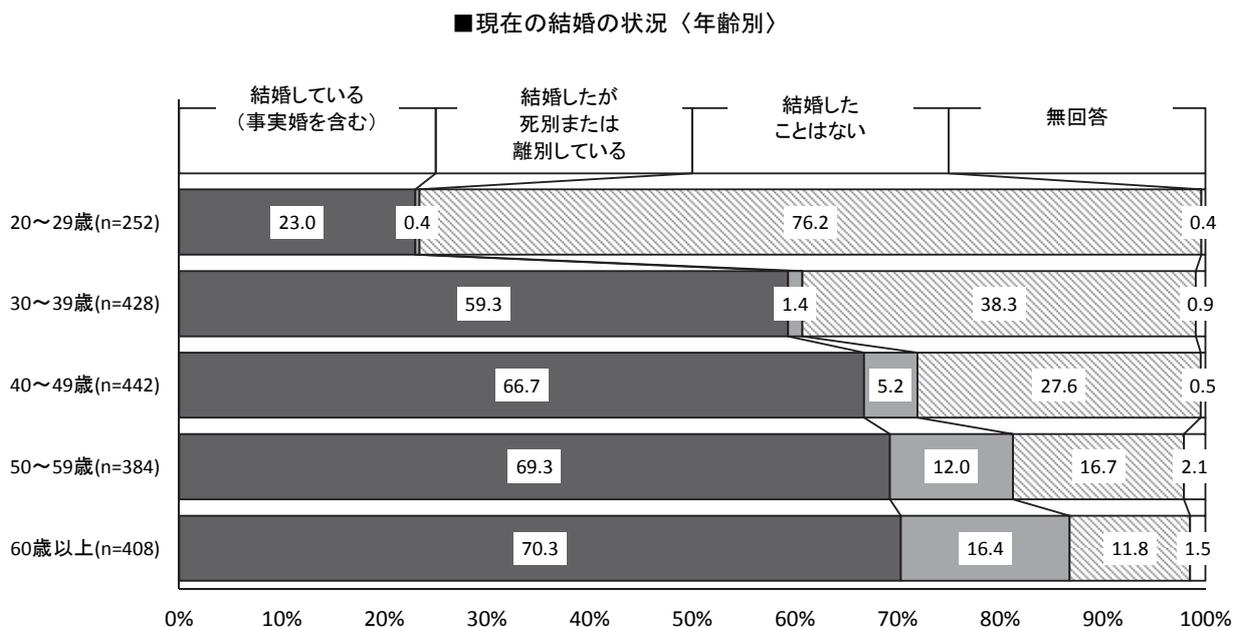
(4) 現在の結婚の状況：問 14

現在結婚をしているかどうかを聞いたところ、「結婚している（事実婚を含む）」が 60.7%、「結婚したことはない」は 30.8%、「結婚したが死別または離別している」は 7.5%となっている。



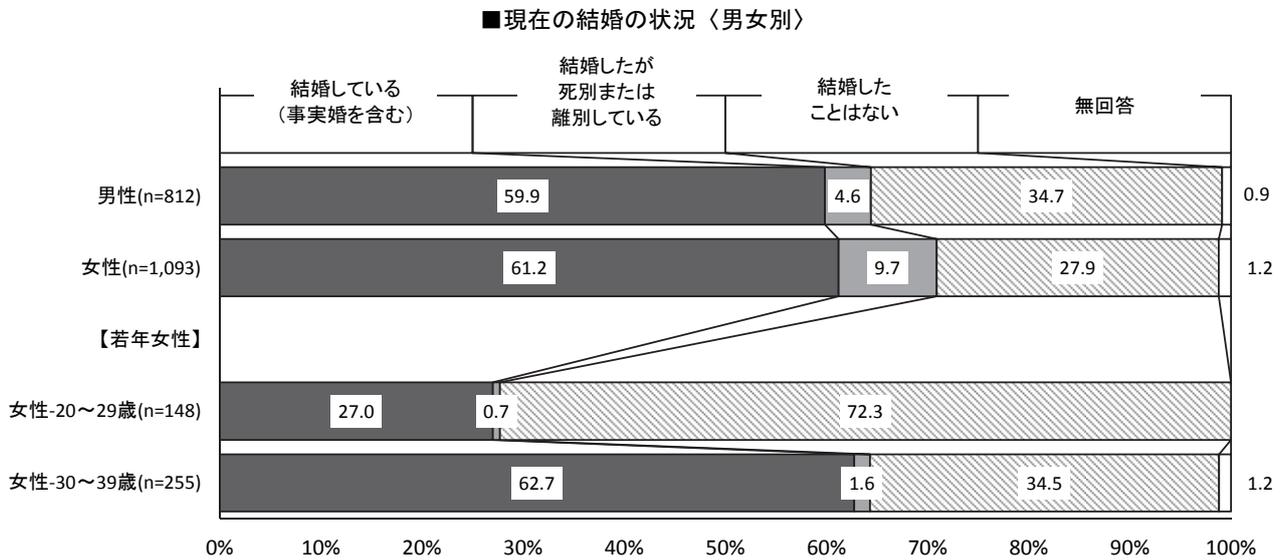
【年齢別比較】

年齢別にみると、20～29歳では「結婚している（事実婚を含む）」は 23.0%、「結婚したことはない」が 76.2%となっている。30～39歳では「結婚している（事実婚を含む）」が 59.3%となっている。



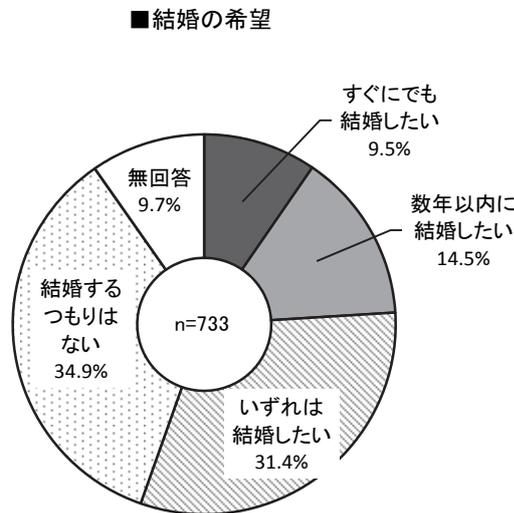
【男女別比較】

男女間で大きな差はみられないが、「結婚したことはない」は男性の方がやや多くなっている。
 女性のうち、20～29歳、30～39歳の「結婚している（事実婚を含む）」は、それぞれ27.0%、62.7%となっている。



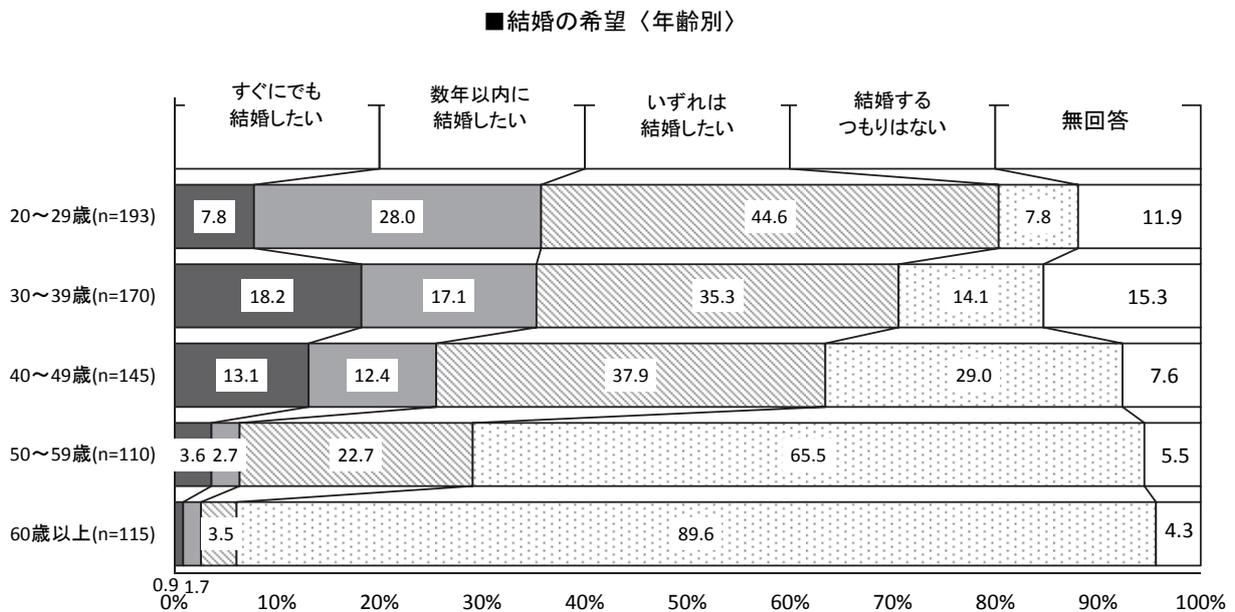
(5) 結婚の希望：問 15

「結婚したが死別または離別している」「結婚したことはない」と回答した人に、将来結婚したいと思うかを聞いたところ、「いずれは結婚したい」が 31.4%、「数年以内に結婚したい」は 14.5%、「すぐにでも結婚したい」は 9.5%で、これらを合わせた“結婚を希望”は 55.4%となっている。また、「結婚するつもりはない」は 34.9%となっている。



【年齢別比較】

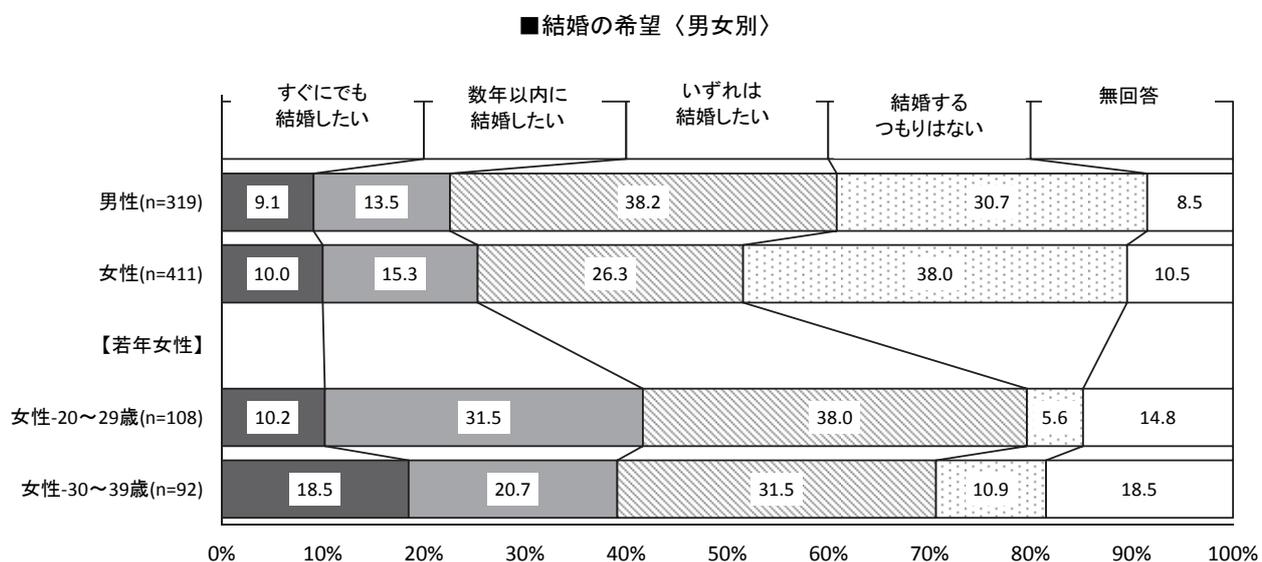
“結婚を希望”に回答した人は、20～29歳が 80.4%、30～39歳は 70.6%、40～49歳は 63.4%となっている。



【男女別比較】

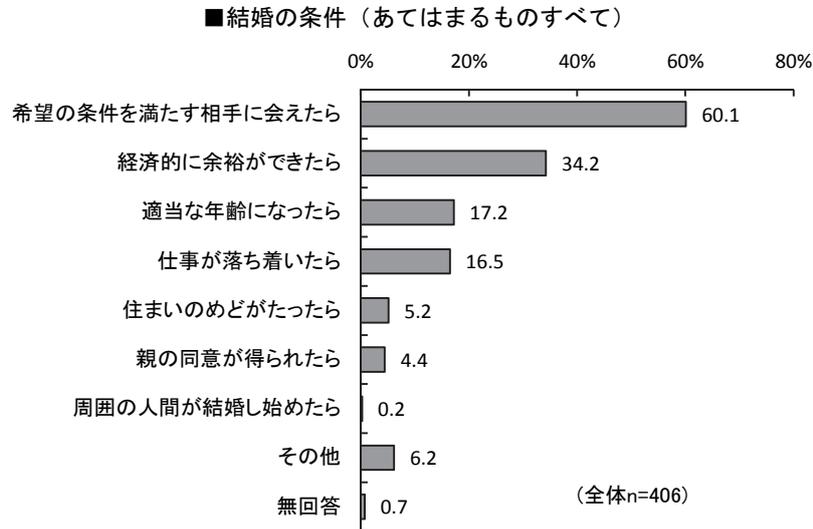
“結婚を希望”に回答した人は、男性が60.8%、女性が51.6%となっている。

女性のうち、20～29歳、30～39歳の年代では“結婚を希望”に回答した人は、それぞれ79.6%、70.7%となっている。



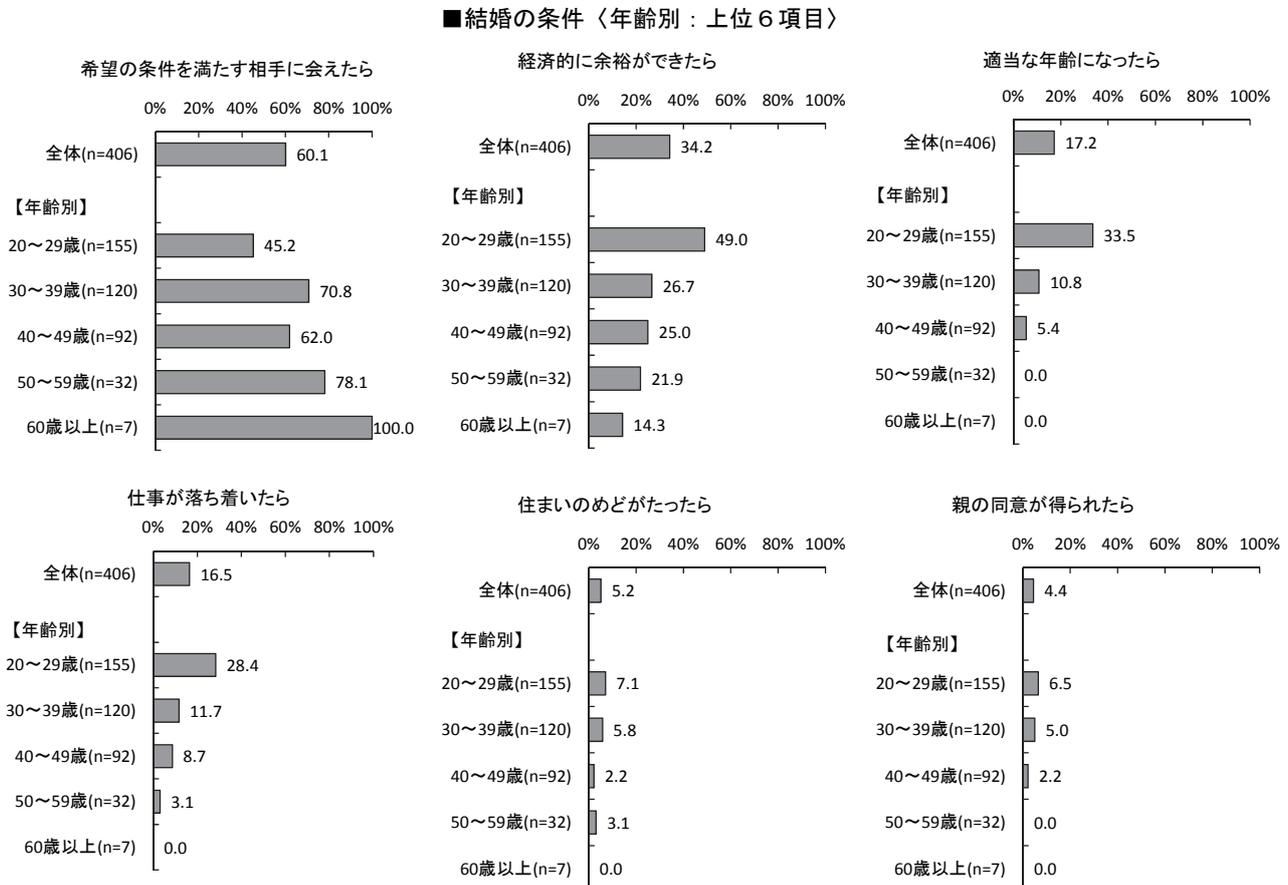
(6) 結婚の条件：問 16

“結婚を希望”と回答した人に、どのような状況になれば結婚すると思うかを聞いたところ、「希望の条件を満たす相手に会えたら」が60.1%と最も高く、次いで、「経済的に余裕ができたら」(34.2%)、「適当な年齢になったら」(17.2%)、「仕事が落ち着いたら」(16.5%)の順で続いている。



【年齢別比較】

20～29歳は「経済的に余裕ができたら」が49.0%で最も高く、そのほかの年代では「希望の条件を満たす相手に会えたら」が最も高くなっている。

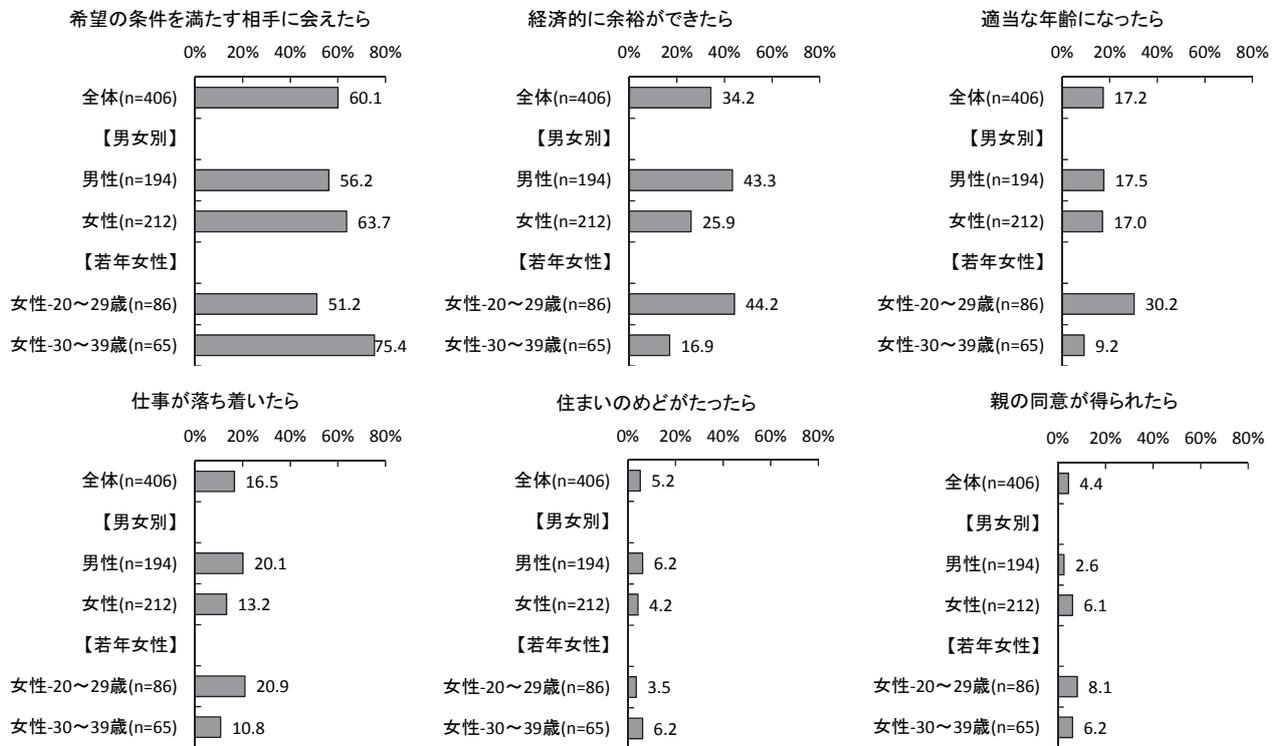


【男女別比較】

「経済的に余裕ができたら」は男性の方が高く、43.3%となっている。

女性のうち、20～29歳は「経済的に余裕ができたら」「適当な年齢になったら」も比較的高く、30～39歳は「希望の条件を満たす相手に会えたら」が特に高くなっている。

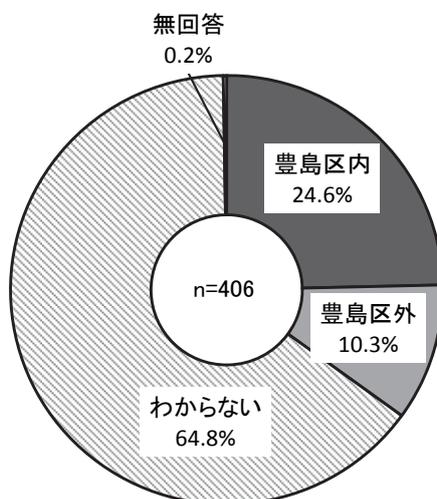
■結婚の条件〈男女別：上位6項目〉



(7) 結婚後の居住希望地：問 17

“結婚を希望”と回答した人に、結婚したらどこに住みたいと思うかを聞いたところ、「豊島区内」が24.6%、「豊島区外」が10.3%、「わからない」が64.8%となっている。

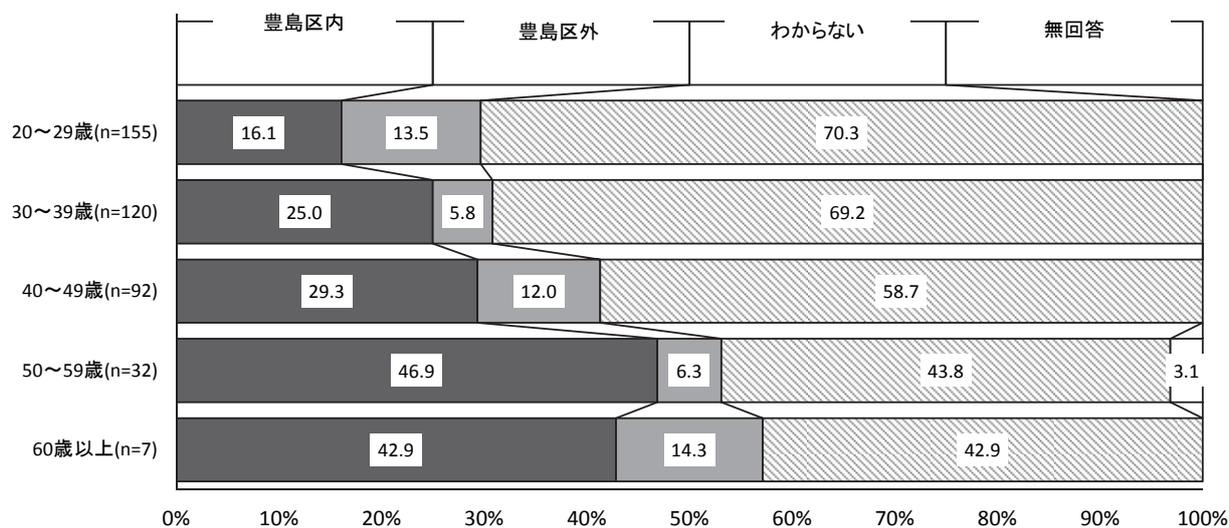
■結婚後の居住希望地



【年齢別比較】

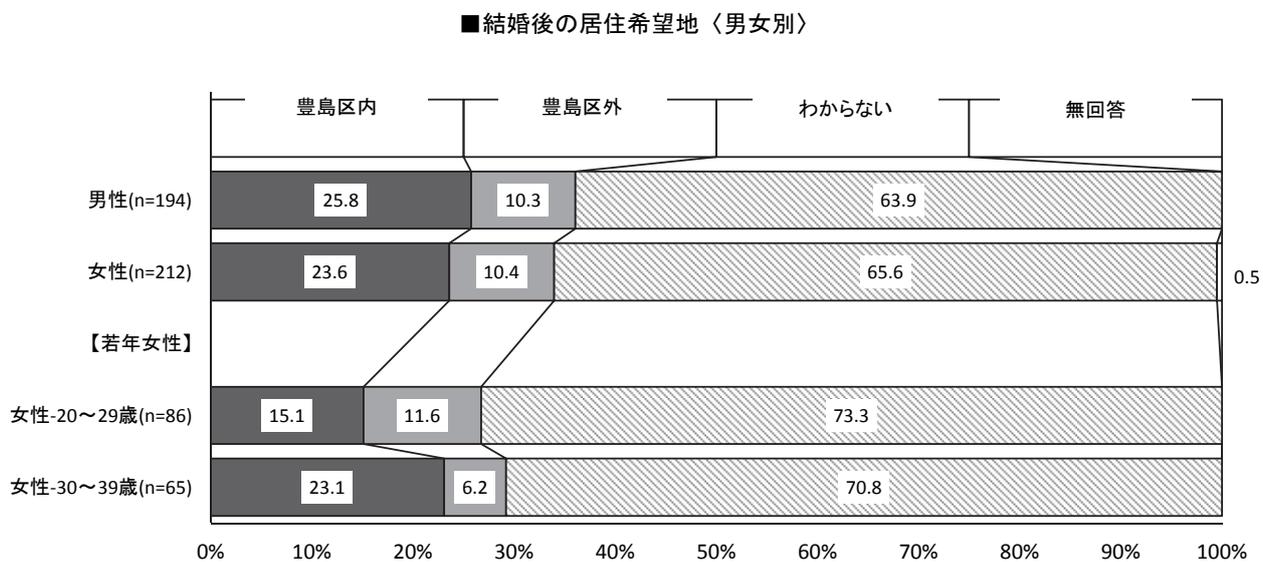
20～29歳は「豊島区内」と「豊島区外」が同程度となっているが、30～39歳からの年代では「豊島区内」が高くなる傾向がみられる。

■結婚後の居住希望地〈年齢別〉



【男女別比較】

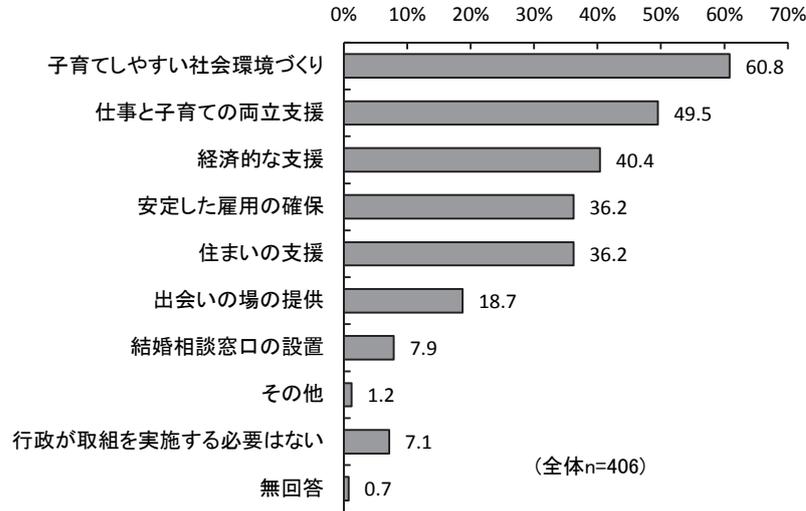
男女間で大きな差はみられないが、「豊島区内」は男性の方がやや多くなっている。
 女性のうち、20～29歳の年代では「豊島区内」が15.1%と比較的低くなっている。



(8) 行政が実施することが望ましい結婚支援：問 18

“結婚を希望”と回答した人に、結婚を支援するため、行政はどのような取組を実施することが望ましいと思うかを聞いたところ、「子育てしやすい社会環境づくり」が60.8%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立支援」(49.5%)、「経済的な支援」(40.4%)、「安定した雇用の確保」(36.2%)、「住まいの支援」(36.2%)の順で続いている。

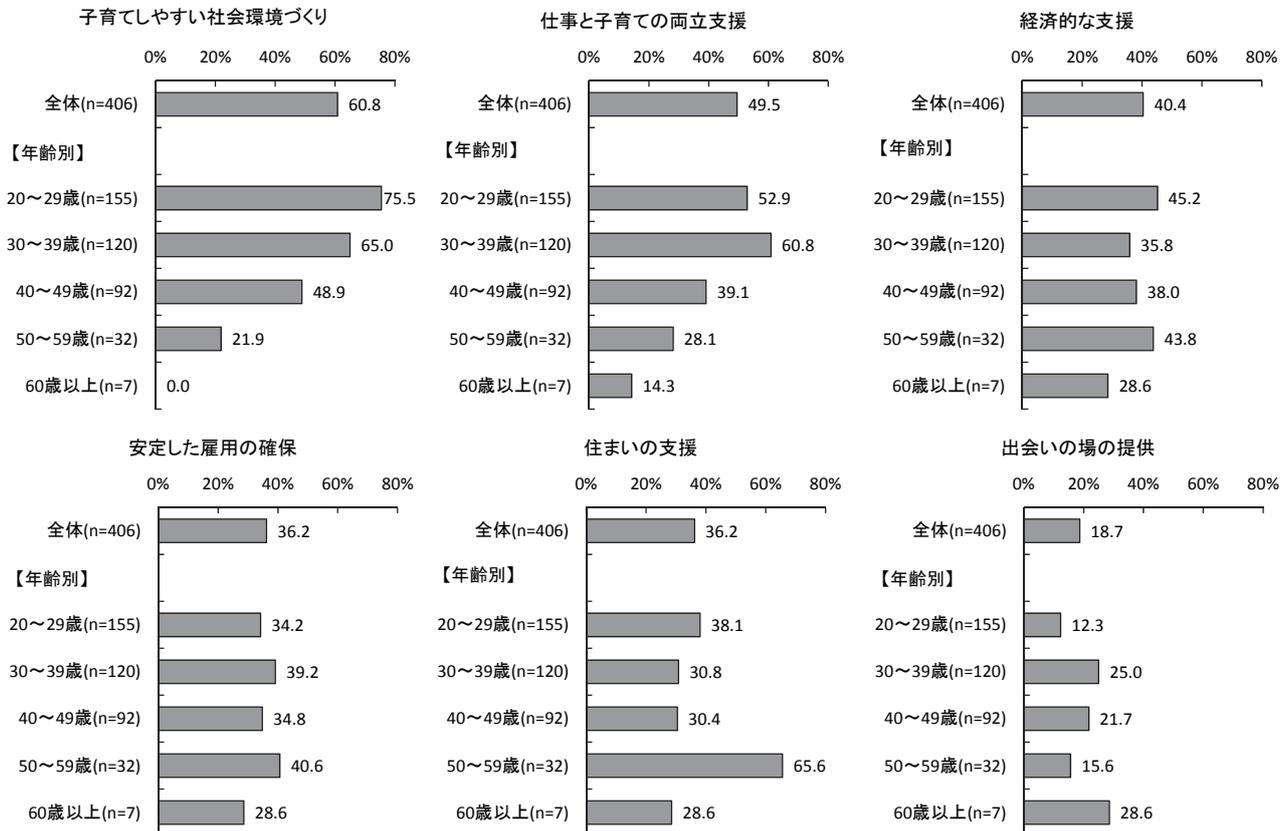
■行政が実施することが望ましい結婚支援（あてはまるものすべて）



【年齢別比較】

「子育てしやすい社会環境づくり」は20～29歳が75.5%、「仕事と子育ての両立支援」は30～39歳が60.8%で最も高く、いずれも若い年代ほど高い傾向にある。

■行政が実施することが望ましい結婚支援〈年齢別：上位6項目〉

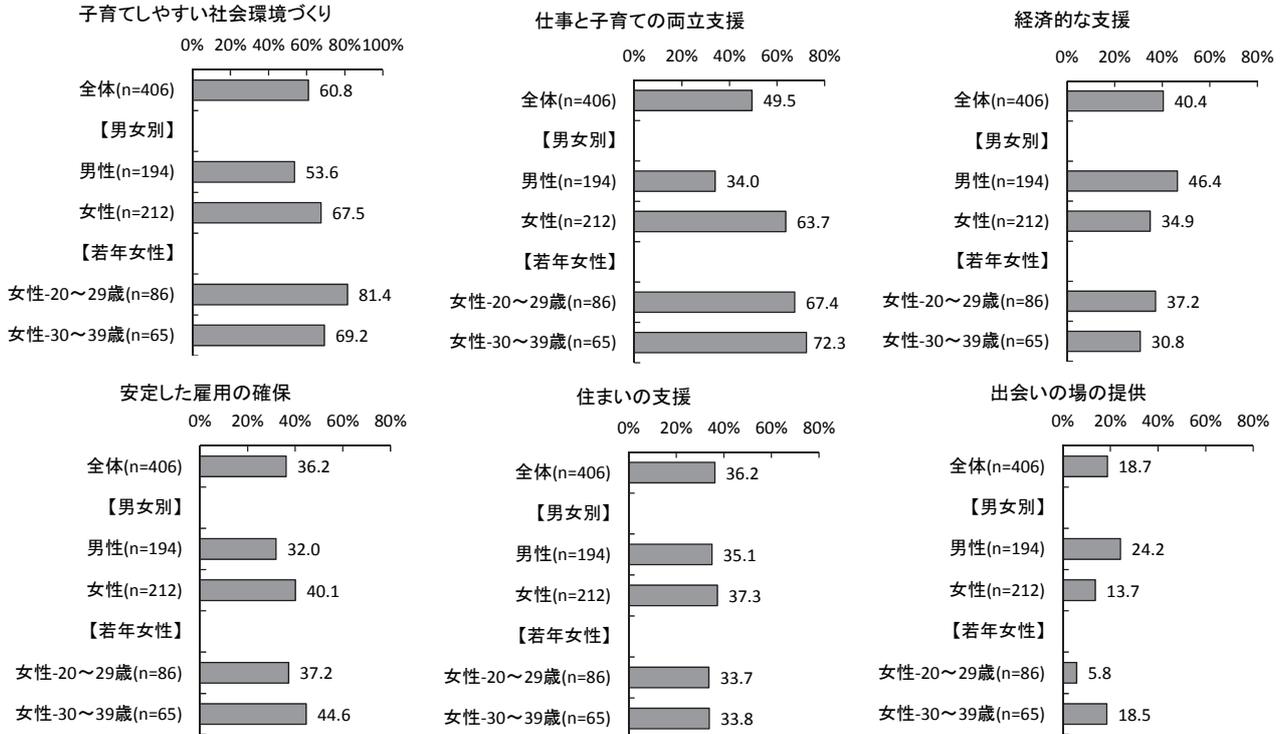


【男女別比較】

「子育てしやすい社会環境づくり」、「仕事と子育ての両立支援」といった子育てに関する項目では女性の方が高くなっている。一方、「経済的な支援」、「出会いの場の提供」では男性の方が高くなっている。

女性のうち、20～29歳では「子育てしやすい社会環境づくり」が81.4%と特に高く、30～39歳では「仕事と子育ての両立支援」が72.3%と高くなっている。

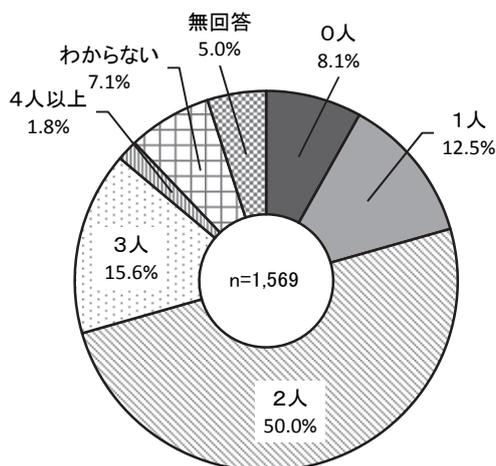
■ 行政が実施することが望ましい結婚支援（男女別：上位6項目）



(9) 希望する子どもの人数：問 19

「結婚している（事実婚を含む）」と「結婚を希望」と回答した人に、全部で何人の子どもがほしいか、もしくはほしいと思っていたかを聞いたところ、「2人」が50.0%と最も高く、次いで「3人」（15.6%）、「1人」（12.5%）、「0人」（8.1%）の順で続いている。

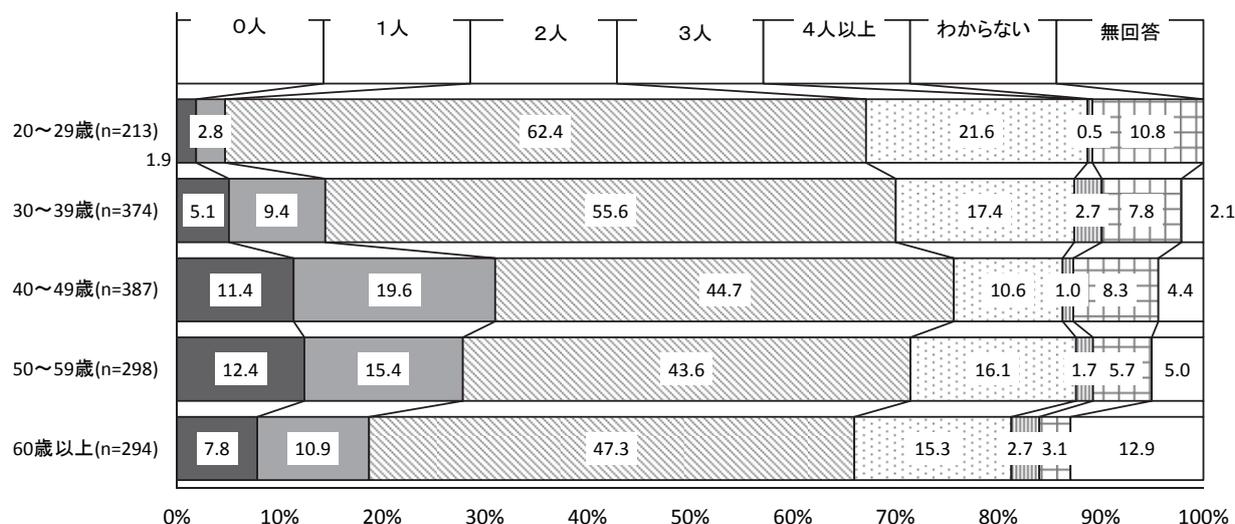
■希望する子どもの人数
(すでに子どもがいる場合は、その子どもも含む)



【年齢別比較】

全体として「2人」が多くなっている。「2人」「3人」「4人以上」を合わせると20～29歳が84.5%、30～39歳で75.7%となっている。

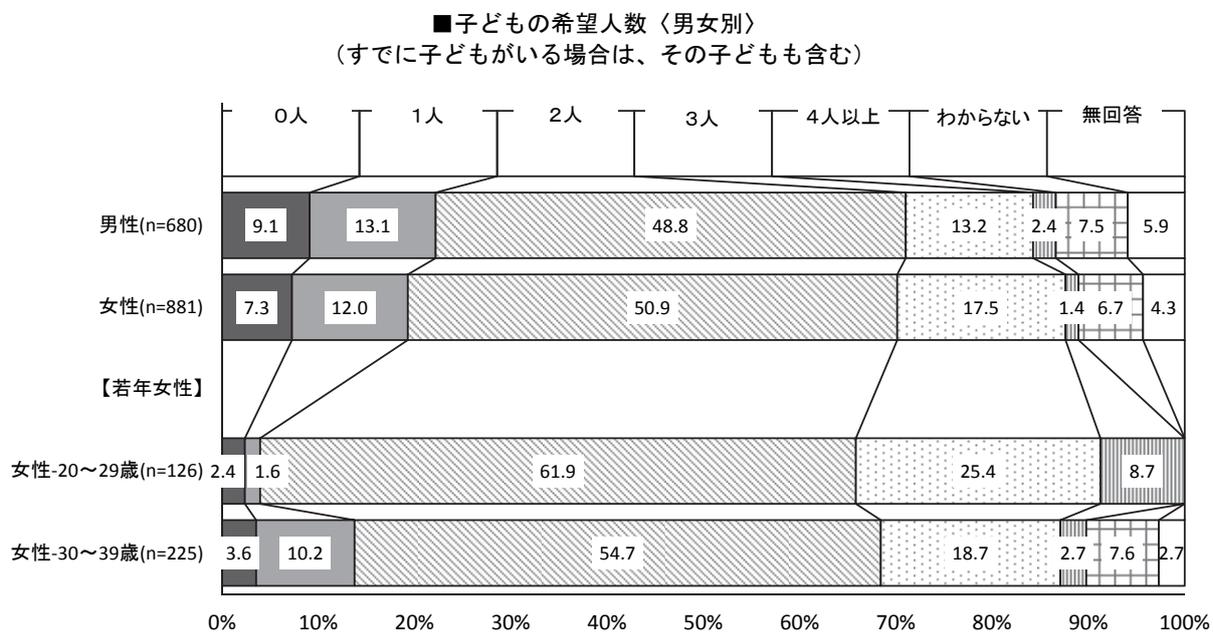
■希望する子どもの人数〈年齢別〉
(すでに子どもがいる場合は、その子どもも含む)



【男女別比較】

男女間で大きな差はみられない。

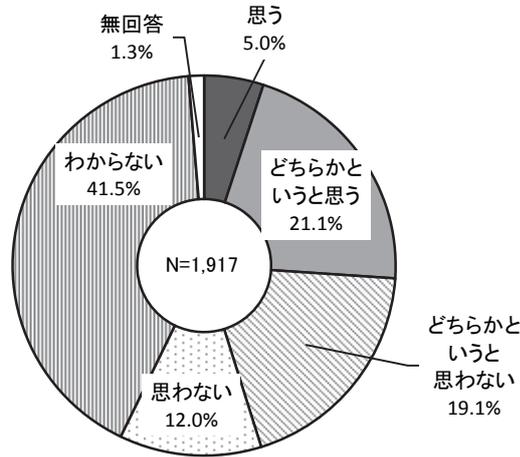
女性のうち、20～39歳の年代では「2人」「3人」「4人以上」を合わせると、20～29歳が96.0%、30～39歳で76.1%となっている。



(10) 豊島区の出産・子育てのしやすさ：問 20

豊島区は、出産・子育てをしやすいまちだと思うかを聞いたところ、「思う」(5.0%)、「どちらかというと思う」(21.1%)を合わせた“出産・子育てをしやすいまちだと思う”は26.1%、「どちらかというと思わない」(19.1%)、「思わない」(12.0%)を合わせた“出産・子育てをしやすいまちだと思わない”は31.1%となっている。また、「わからない」が41.5%となっている。

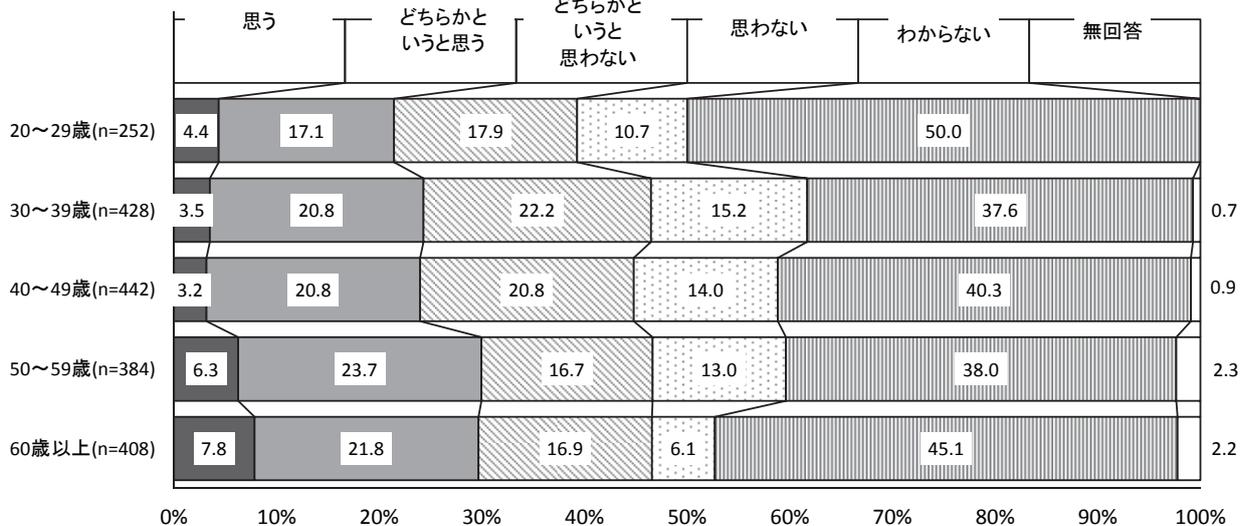
■豊島区の出産・子育てのしやすさ



【年齢別比較】

“出産・子育てをしやすいまちだと思う”と“出産・子育てをしやすいまちだと思わない”を年齢別に比較すると、20歳代～40歳代では“出産・子育てをしやすいまちだと思わない”の割合が高く、50～59歳はほぼ同じ割合に、60歳以上では“出産・子育てをしやすいまちだと思う”の割合が高くなっている。

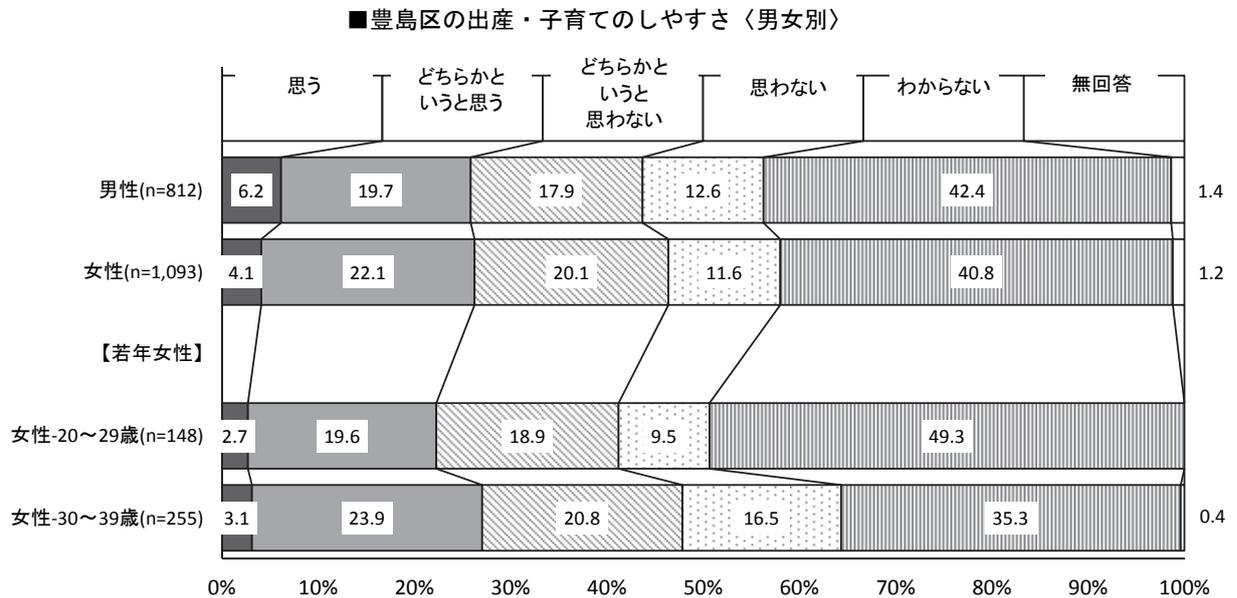
■豊島区の出産・子育てのしやすさ〈年齢別〉



【男女別比較】

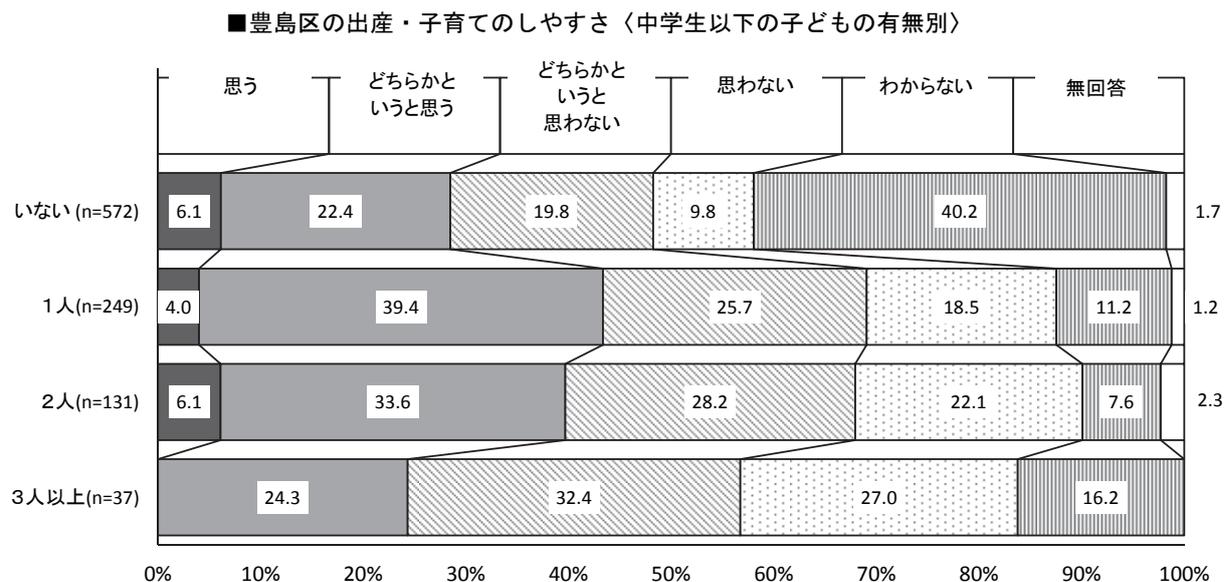
男女間で大きな差はみられない。

女性のうち、20～29歳で“出産・子育てをしやすいまちだと思う”の割合がやや低く、30～39歳では“出産・子育てをしやすいまちだと思わない”の割合が高くなっている。



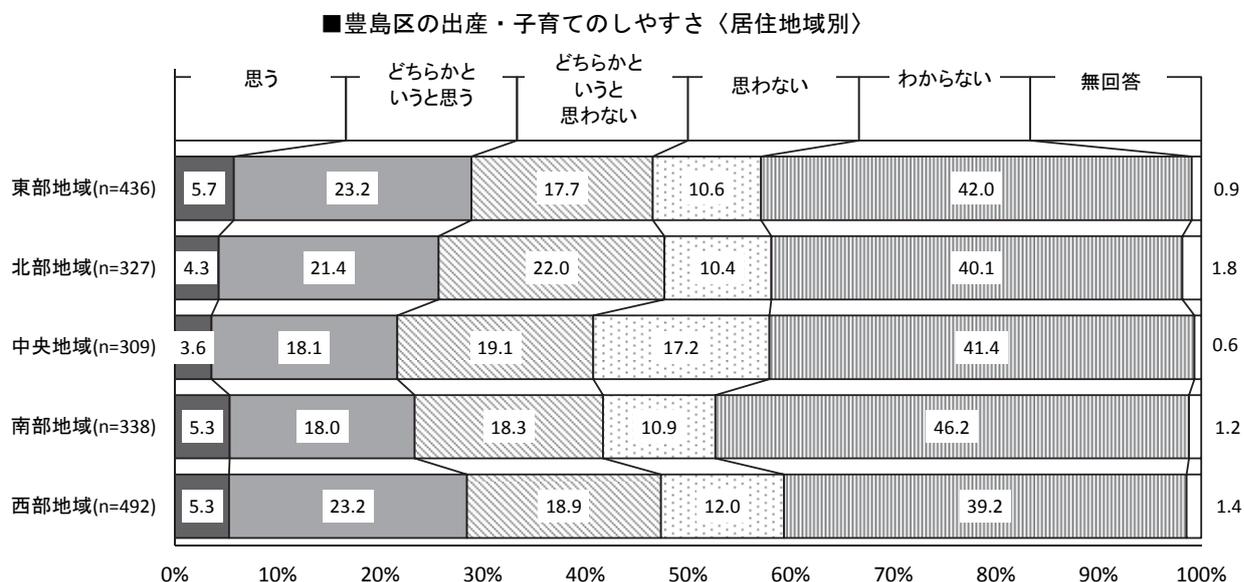
【中学生以下の子どもの有無別比較】

中学生以下の子どもがいない、もしくは1人の世帯では“出産・子育てをしやすいまちだと思う”と“出産・子育てをしやすいまちだと思わない”の割合は同程度であり、中学生以下の子どもが2人、もしくは3人以上の世帯では“出産・子育てをしやすいまちだと思わない”の割合が高くなっている。



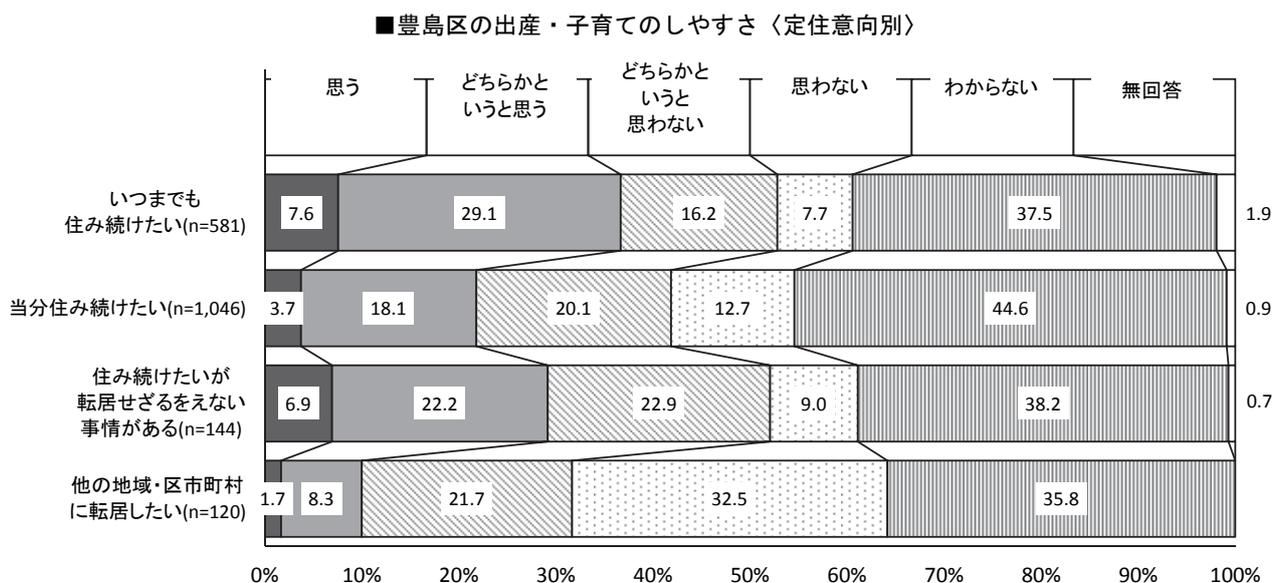
【居住地域別比較】

東部地域、西部地域では“出産・子育てをしやすいまちだと思う”と“出産・子育てをしやすいまちだと思わない”の割合は同程度であり、北部地域、中央地域、南部地域では“出産・子育てをしやすいまちだと思わない”の割合がやや高くなっている。



【定住意向別比較】

豊島区にいつまでも住みたい人は、“出産・子育てをしやすいまちだと思う”の割合が高くなっている。一方、他の地域・区市町村に転居したい人では、“出産・子育てをしやすいまちだと思わない”の割合が特に高くなっている。

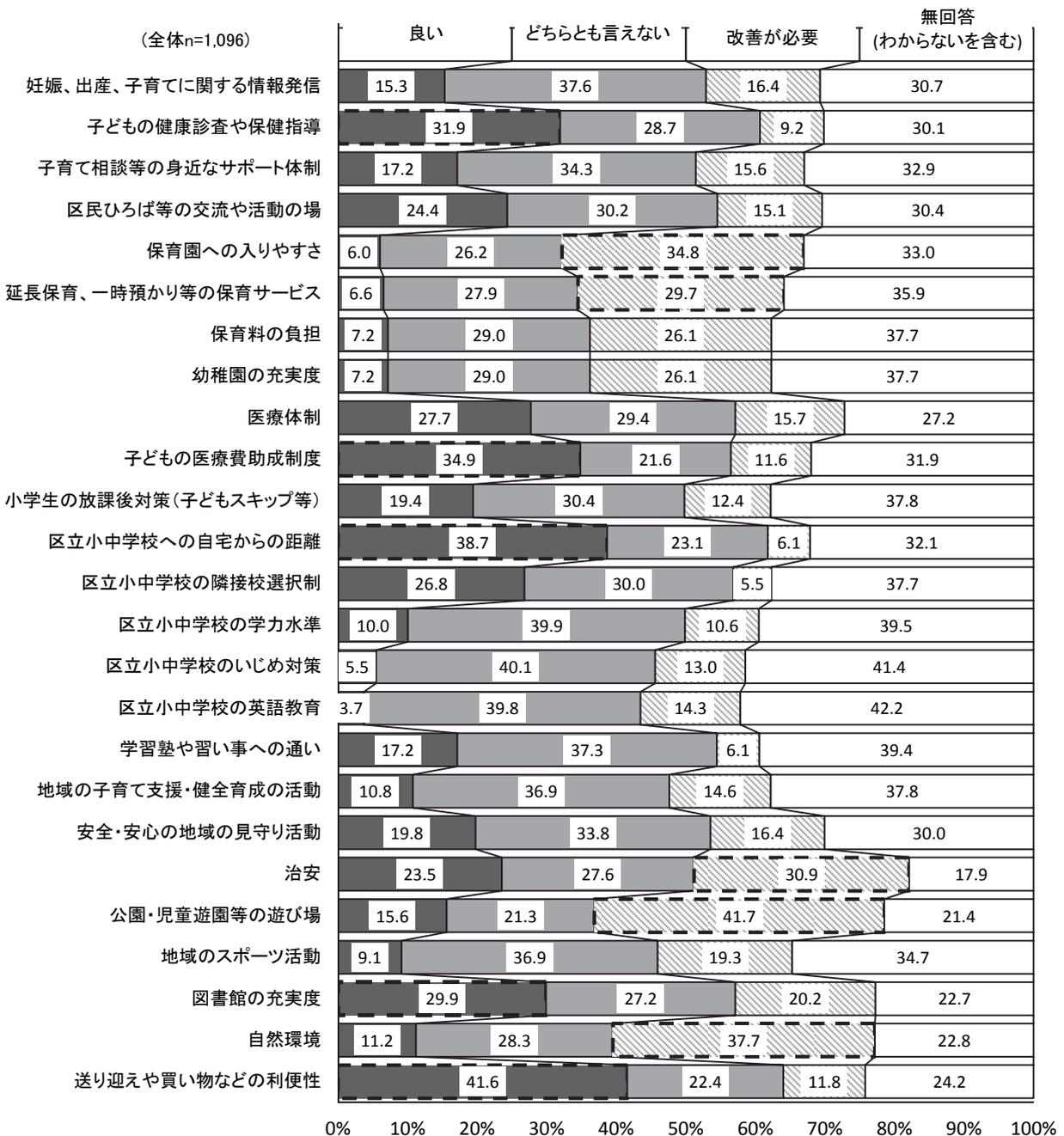


(11) 豊島区の出産・子育てをする上での良い点・改善が必要な点：問 21

出産・子育てのしやすさについて、「思う」「どちらかというと思う」「どちらかというと思わない」「思わない」と回答した人に、豊島区は、出産・子育てをする上で、どのようなところが良いと思うか、または改善すべきだと思うかを聞いたところ、良いと思う点は「送り迎えや買い物などの利便性」が41.6%と最も高く、次いで「区立小中学校への自宅からの距離」(38.7%)、「子どもの医療費助成制度」(34.9%)、「子どもの健康診査や保健指導」(31.9%)、「図書館の充実度」(29.9%)の順で続いている。

一方、改善が必要と思う点は「公園・児童遊園等の遊び場」が41.7%と最も高く、次いで「自然環境」(37.7%)、「保育園への入りやすさ」(34.8%)、「治安」(30.9%)、「延長保育、一時預かり等の保育サービス」(29.7%)の順で続いている。

■豊島区の出産・子育てをする上での良い点・改善が必要な点



【良い点の年齢別比較】

「送り迎えや買い物などの利便性」の割合が高い中、30～39歳では「子どもの医療費助成制度」が51.5%で最も高くなっている。また、改善が必要と思う点にも挙げられている「治安」も20～29歳と60歳以上では4位になっている。

■豊島区の出産・子育てをする上での良い点〈年齢別：上位5項目〉

年齢	良い点(上位5項目)				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=1,096)	送り迎えや買い物などの利便性 (41.6%)	区立小中学校への自宅からの距離 (38.7%)	子どもの医療費助成制度 (34.9%)	子どもの健康診査や保健指導 (31.9%)	図書館の充実度 (29.9%)
20～29歳(n=126)	送り迎えや買い物などの利便性 (42.1%)	区立小中学校への自宅からの距離 (38.9%)	図書館の充実度 (33.3%)	治安 (27.8%)	区民ひろば等の交流や活動の場 (27.0%)
30～39歳(n=264)	子どもの医療費助成制度 (51.5%)	送り迎えや買い物などの利便性 (40.9%)	区立小中学校への自宅からの距離 (40.5%)	子どもの健康診査や保健指導 (39.0%)	医療体制 (36.0%)
40～49歳(n=260)	送り迎えや買い物などの利便性 (48.8%)	子どもの医療費助成制度 (44.6%)	区立小中学校への自宅からの距離 (43.8%)	子どもの健康診査や保健指導 (37.3%)	区立小中学校の隣接校選択制 (34.2%)
50～59歳(n=229)	送り迎えや買い物などの利便性 (41.5%)	区立小中学校への自宅からの距離 (37.6%)	子どもの健康診査や保健指導、 子どもの医療費助成制度 (31.0%)		図書館の充実度 (28.4%)
60歳以上(n=215)	送り迎えや買い物などの利便性 (33.5%)	区立小中学校への自宅からの距離 (31.2%)	図書館の充実度 (27.0%)	治安 (25.6%)	子どもの健康診査や保健指導 (23.3%)

【良い点の男女別比較】

男女を問わず、「送り迎えや買い物などの利便性」、「区立小中学校への自宅からの距離」、「子どもの医療費助成制度」が上位となっている。

女性のうち、20～29歳の年代では「治安」が32.0%で2位に、「区民ひろば等の交流や活動の場」も28.0%となっている。30～39歳の年代では「子どもの医療費助成制度」が57.3%と最も高くなっている。

■豊島区の出産・子育てをする上での良い点〈男女別：上位5項目〉

年齢	良い点(上位5項目)				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=1,096)	送り迎えや買い物などの利便性 (41.6%)	区立小中学校への自宅からの距離 (38.7%)	子どもの医療費助成制度 (34.9%)	子どもの健康診査や保健指導 (31.9%)	図書館の充実度 (29.9%)
男性(n=457)	区立小中学校への自宅からの距離 (41.4%)	送り迎えや買い物などの利便性 (38.7%)	子どもの医療費助成制度 (29.5%)	医療体制、図書館の充実度 (27.8%)	
女性(n=634)	送り迎えや買い物などの利便性 (43.5%)	子どもの医療費助成制度 (39.0%)	区立小中学校への自宅からの距離 (36.8%)	子どもの健康診査や保健指導 (36.1%)	図書館の充実度 (31.5%)
女性-20～29歳(n=75)	送り迎えや買い物などの利便性 (41.3%)	治安 (32.0%)	区立小中学校への自宅からの距離、 図書館の充実度 (30.7%)		区民ひろば等の交流や活動の場 (28.0%)
女性-30～39歳(n=164)	子どもの医療費助成制度 (57.3%)	子どもの健康診査や保健指導 (46.3%)	送り迎えや買い物などの利便性 (41.5%)	区立小中学校への自宅からの距離 (39.0%)	医療体制 (36.0%)

【良い点の居住地域別比較】

いずれの地域でも「送り迎えや買い物などの利便性」の割合は高く、「区立小中学校への自宅からの距離」も中央地域で5位となっているものの上位となっている。また、中央地域では「図書館の充実度」が36.3%で2位に、西部地域では「区民ひろば等の交流や活動の場」が29.1%で5位に入っている。

■豊島区の出産・子育てをする上での良い点〈居住地域別：上位5項目〉

年齢	良い点(上位5項目)				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=1,096)	送り迎えや買い物などの利便性 (41.6%)	区立小中学校への自宅からの距離 (38.7%)	子どもの医療費助成制度 (34.9%)	子どもの健康診査や保健指導 (31.9%)	図書館の充実度 (29.9%)
東部地域(n=249)	送り迎えや買い物などの利便性 (47.0%)	区立小中学校への自宅からの距離 (41.0%)	図書館の充実度 (35.7%)	医療体制 (34.9%)	子どもの医療費助成制度 (34.5%)
北部地域(n=190)	区立小中学校への自宅からの距離 (40.5%)	送り迎えや買い物などの利便性 (39.5%)	子どもの医療費助成制度 (31.6%)	子どもの健康診査や保健指導 (31.1%)	区立小中学校の隣接校選択制 (29.5%)
中央地域(n=179)	送り迎えや買い物などの利便性 (40.8%)	図書館の充実度 (36.3%)	子どもの医療費助成制度 (34.6%)	子どもの健康診査や保健指導 (32.4%)	区立小中学校への自宅からの距離 (27.9%)
南部地域(n=178)	送り迎えや買い物などの利便性 (39.9%)	子どもの医療費助成制度、 区立小中学校への自宅からの距離 (38.8%)	子どもの健康診査や保健指導 (34.8%)	子どもの健康診査や保健指導 (34.8%)	区立小中学校の隣接校選択制 (29.2%)
西部地域(n=292)	区立小中学校への自宅からの距離 (42.5%)	送り迎えや買い物などの利便性 (39.7%)	子どもの医療費助成制度 (35.3%)	子どもの健康診査や保健指導 (30.5%)	区民ひろば等の交流や活動の場 (29.1%)

【改善が必要な点の年齢別比較】

20歳～49歳の年代では「公園・児童遊園等の遊び場」が1位となっており、50歳以上の年代は「自然環境」が1位となっている。また、「保育園への入りやすさ」は20～29歳と30～39歳で2位になっている。

■豊島区の出産・子育てをする上での改善が必要な点〈年齢別：上位5項目〉

年齢	改善が必要な点(上位5項目)				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=1,096)	公園・児童遊園等の遊び場 (41.7%)	自然環境 (37.7%)	保育園への入りやすさ (34.8%)	治安 (30.9%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (29.7%)
20～29歳(n=126)	公園・児童遊園等の遊び場 (38.9%)	保育園への入りやすさ (33.3%)	自然環境 (31.7%)	治安 (28.6%)	保育料の負担 (26.2%)
30～39歳(n=264)	公園・児童遊園等の遊び場 (48.9%)	保育園への入りやすさ (45.1%)	自然環境 (42.8%)	治安 (40.9%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (39.8%)
40～49歳(n=260)	公園・児童遊園等の遊び場 (50.0%)	自然環境 (40.0%)	保育園への入りやすさ (36.9%)	治安 (36.5%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (34.6%)
50～59歳(n=229)	自然環境 (40.2%)	公園・児童遊園等の遊び場 (38.4%)	治安 (30.1%)	保育園への入りやすさ (28.8%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (26.2%)
60歳以上(n=215)	自然環境 (29.3%)	公園・児童遊園等の遊び場 (27.4%)	保育園への入りやすさ (26.5%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (17.7%)	保育料の負担 (15.3%)

【改善が必要な点の男女別比較】

男女間で大きな差はみられない。

女性のうち、20～29歳の年代では「公園・児童遊園等の遊び場」とともに「保育園への入りやすさ」が36.0%で同率1位となっており、「保育料の負担」も30.7%と3位に入っている。

■豊島区の出産・子育てをする上での改善が必要な点〈男女別：上位5項目〉

年齢	改善が必要な点(上位5項目)				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=1,096)	公園・児童遊園等の遊び場 (41.7%)	自然環境 (37.7%)	保育園への入りやすさ (34.8%)	治安 (30.9%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (29.7%)
男性(n=457)	公園・児童遊園等の遊び場 (39.8%)	自然環境 (39.6%)	保育園への入りやすさ (33.5%)	治安 (31.1%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (28.4%)
女性(n=634)	公園・児童遊園等の遊び場 (43.1%)	自然環境 (36.3%)	保育園への入りやすさ (35.6%)	治安 (31.1%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (30.4%)
女性-20～29歳(n=75)	保育園への入りやすさ、公園・児童遊園等の遊び場 (36.0%)		保育料の負担、自然環境	(30.7%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (29.3%)
女性-30～39歳(n=164)	公園・児童遊園等の遊び場 (53.0%)	保育園への入りやすさ (43.9%)	自然環境 (42.1%)	治安 (40.9%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (39.0%)

【改善が必要な点の居住地域別比較】

「公園・児童遊園等の遊び場」は中央地域が54.2%で最も高くなっており、中央地域では「治安」も48.6%と高い割合となっている。また、東部地域と南部地域では「保育園への入りやすさ」が2位に入っている。

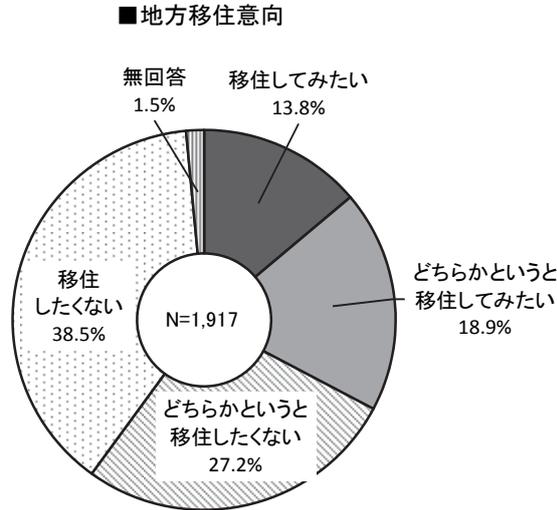
■豊島区の出産・子育てをする上での改善が必要な点（居住地域別：上位5項目）

年齢	改善が必要な点（上位5項目）				
	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=1,096)	公園・児童遊園等の遊び場 (41.7%)	自然環境 (37.7%)	保育園への入りやすさ (34.8%)	治安 (30.9%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (29.7%)
東部地域(n=249)	公園・児童遊園等の遊び場 (36.9%)	保育園への入りやすさ (31.3%)	自然環境 (28.1%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (25.7%)	保育料の負担 (22.9%)
北部地域(n=190)	公園・児童遊園等の遊び場 (43.2%)	自然環境 (41.6%)	保育園への入りやすさ (38.4%)	治安 (36.3%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (35.3%)
中央地域(n=179)	公園・児童遊園等の遊び場 (54.2%)	自然環境 (50.8%)	治安 (48.6%)	保育園への入りやすさ (39.7%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (36.3%)
南部地域(n=178)	公園・児童遊園等の遊び場 (43.8%)	保育園への入りやすさ (30.9%)	治安、自然環境	(28.1%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (26.4%)
西部地域(n=292)	自然環境 (41.8%)	公園・児童遊園等の遊び場 (36.6%)	保育園への入りやすさ (34.9%)	治安 (28.4%)	延長保育、一時預かり等の保育サービス (27.4%)

2. 地方への移住に関することについて

(1) 地方移住意向：問 22

地方に移住してみたいと思うかを聞いたところ、「移住してみたい」(13.8%)と「どちらかというに移住してみたい」(18.9%)を合わせた“移住してみたい”は32.7%となっている。一方、「移住したくない」(38.5%)と「どちらかというに移住したくない」(27.2%)を合わせた“移住したくない”は65.7%となっている。

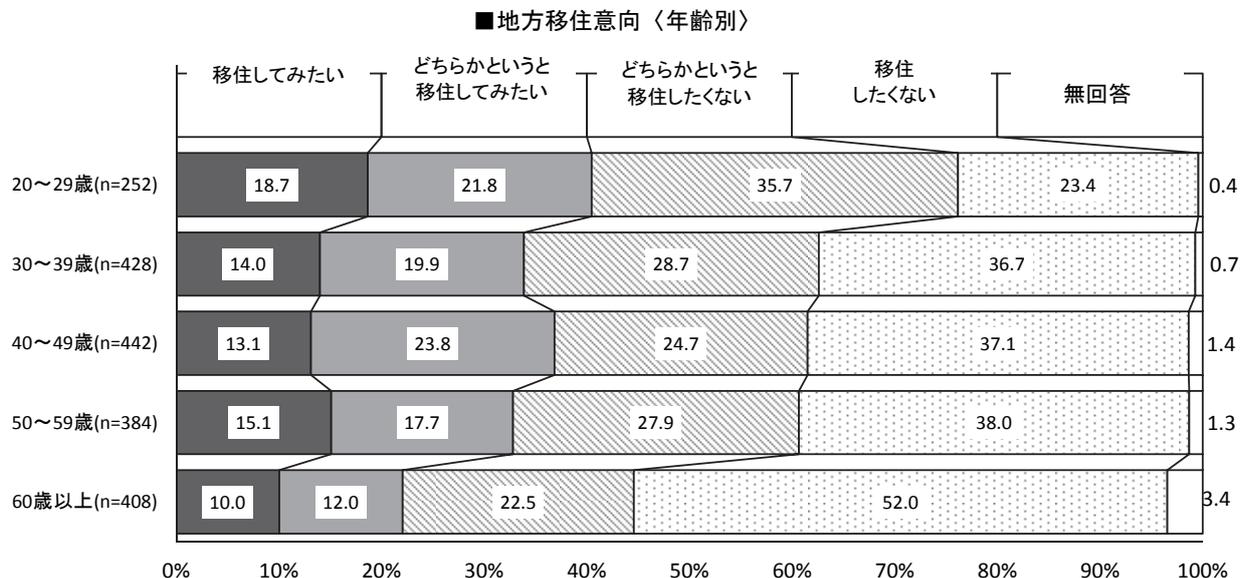


※この調査では、以下のような形態をすべて「移住」としました。

- ◆お試し移住: 数週間～数カ月の短・中期間、試験的に移住すること
- ◆シーズステイ: 普段は豊島区、夏場は〇〇市に住むなど、ある季節のみ別の生活拠点に住むこと
- ◆2地域居住: 平日は豊島区、休日は〇〇市に住むなど、2つの生活拠点を行き来すること
- ◆完全移住: 今の住まいを離れ、生活拠点を完全に移すこと(Uターン、Jターン、Iターンもこれを含む)

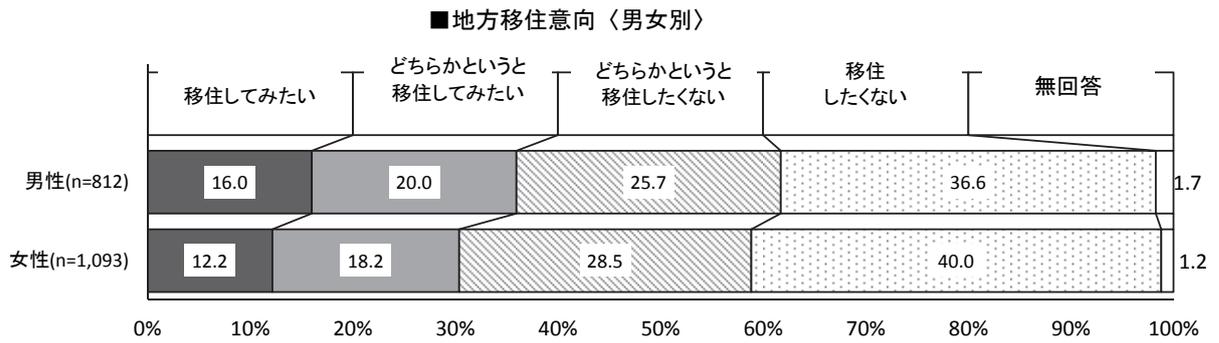
【年齢別比較】

“移住してみたい”は年齢が上がるにつれて比較的低くなる傾向がみられ、60歳以上では22.0%となっている。



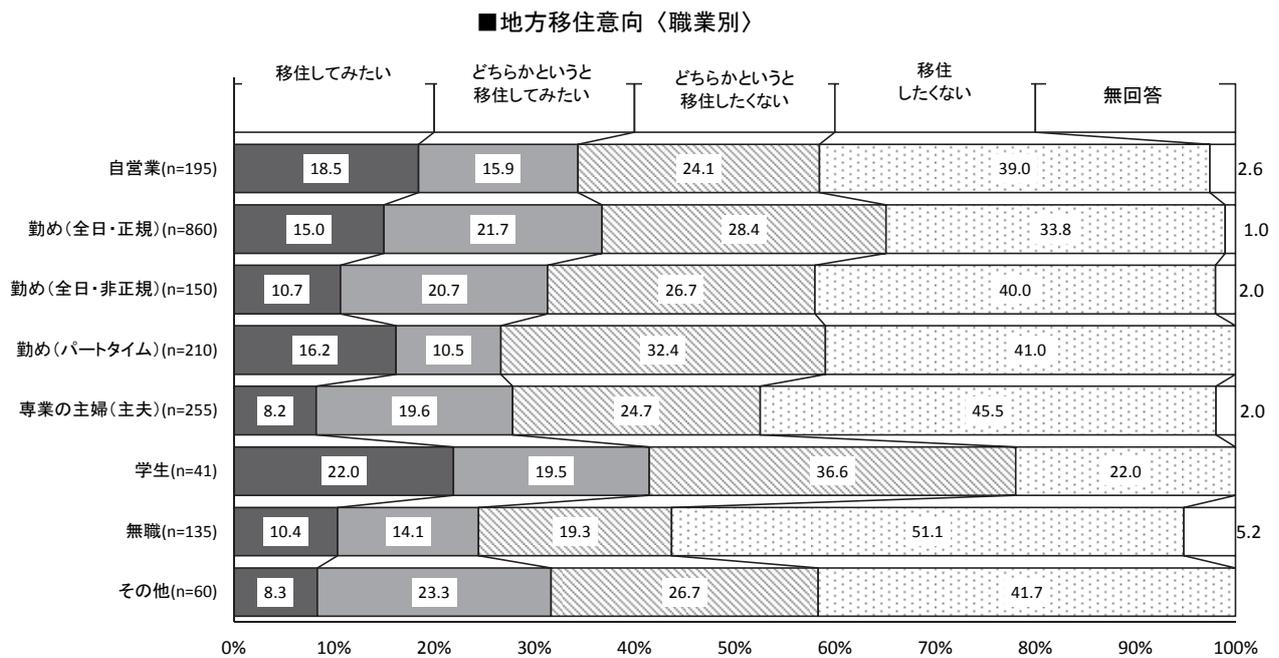
【男女別比較】

“移住してみたい”は男性の方が高く36.0%となっている。



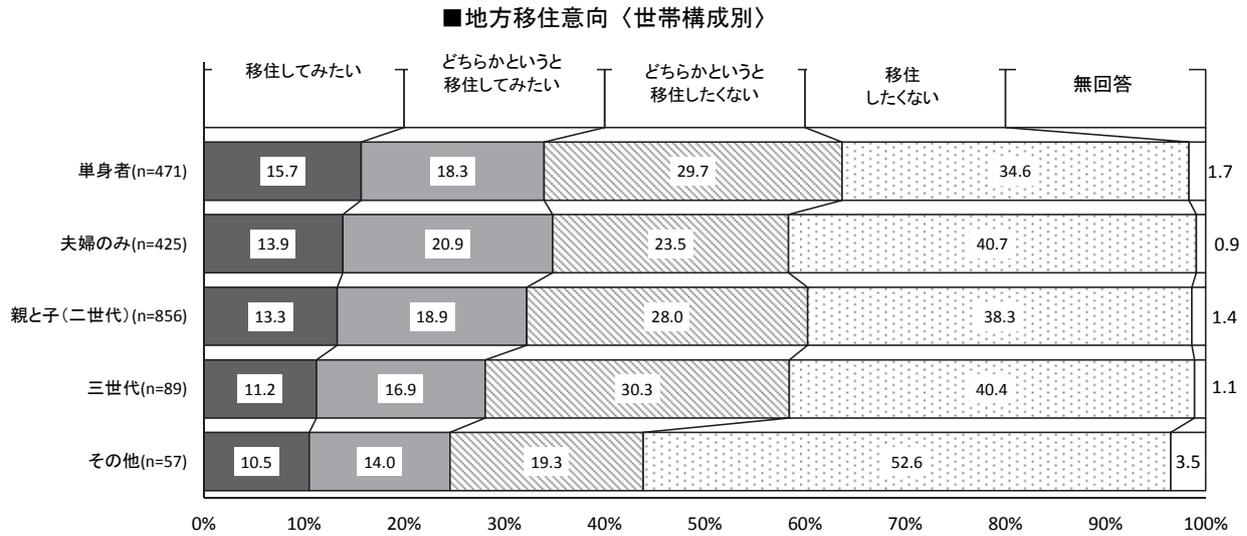
【職業別比較】

“移住してみたい”は学生が41.5%と最も高く、勤め(全日・正規)が36.7%、自営業は34.4%となっている。



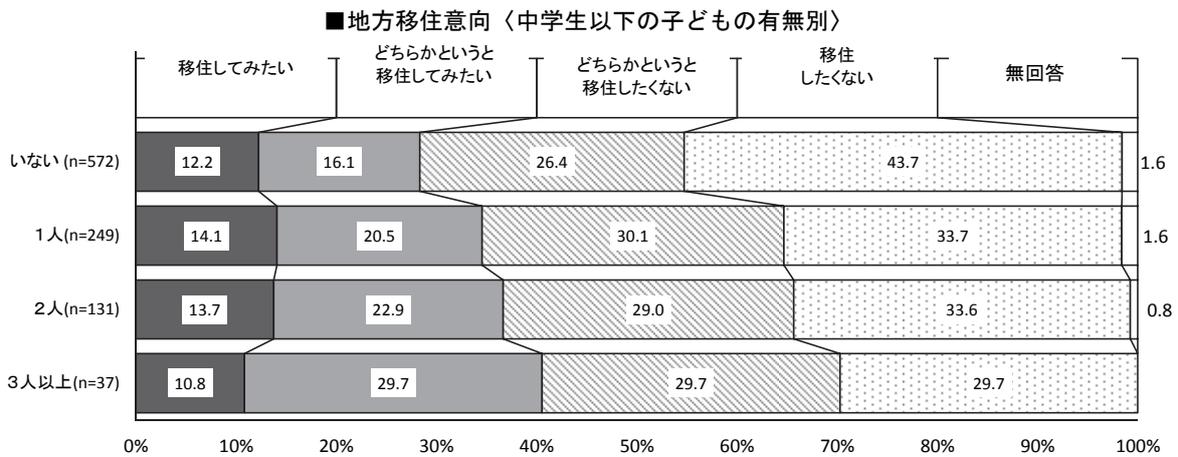
【世帯構成別比較】

“移住してみたい”は単身者、夫婦のみの世帯の割合がやや高く、三世代ではやや低くなっている。



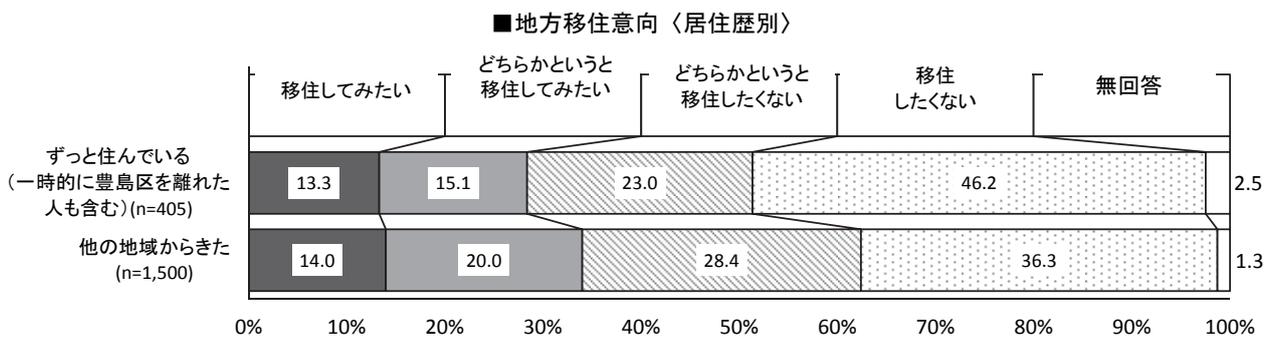
【中学生以下の子どもの有無別比較】

「親と子(二世代)」「三世代」「その他」の世帯構成のうち、“移住してみたい”は中学生以下の子どもが多いほど高くなる傾向がみられる。



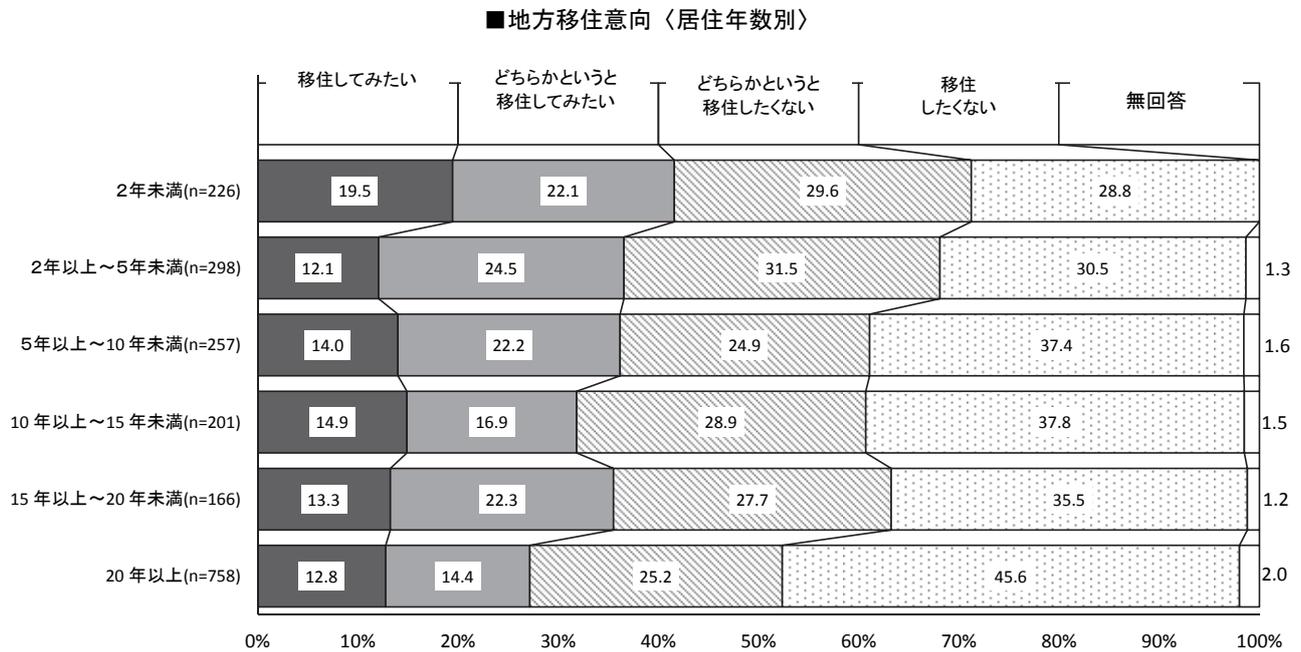
【居住歴別比較】

“移住してみたい”は、他の地域からきた人の方が高く、34.0%となっている。



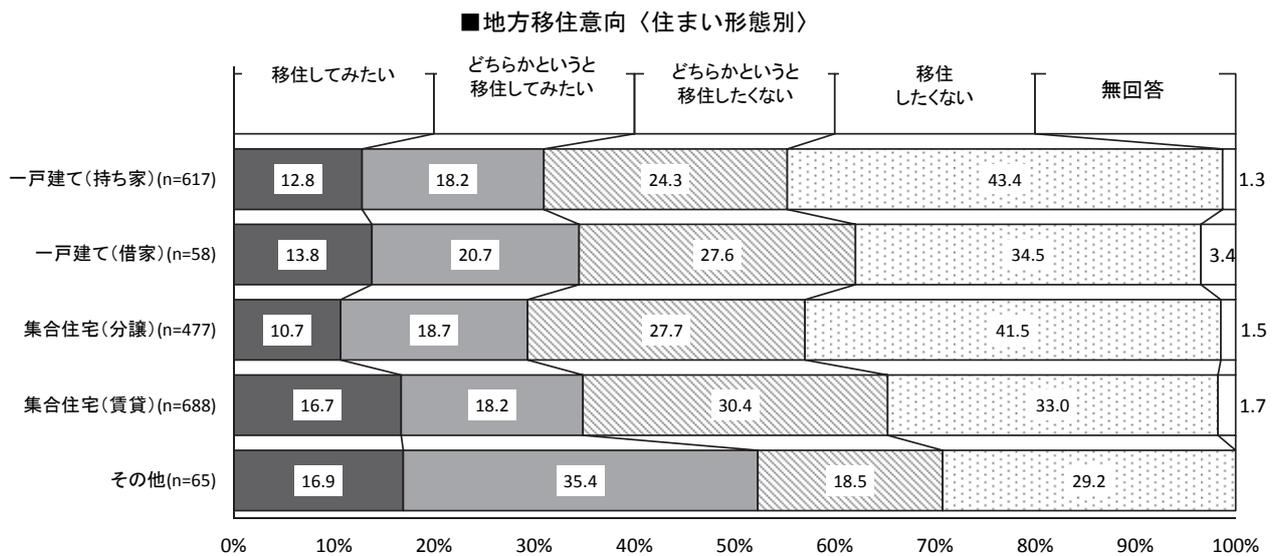
【居住年数別比較】

“移住してみたい”は居住年数が長くなるほど低くなる傾向がみられ、20年以上では27.2%となっている。



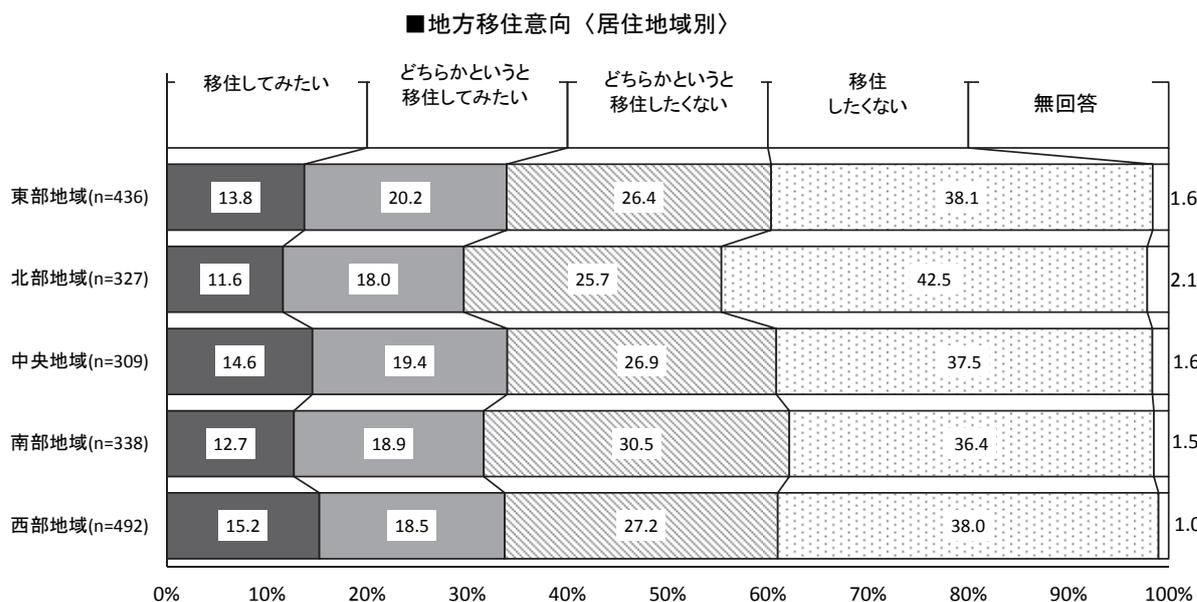
【住まい形態別比較】

一戸建て（持ち家）、集合住宅（分譲）に比べ、一戸建て（借家）と集合住宅（賃貸）はやや高くなっている。



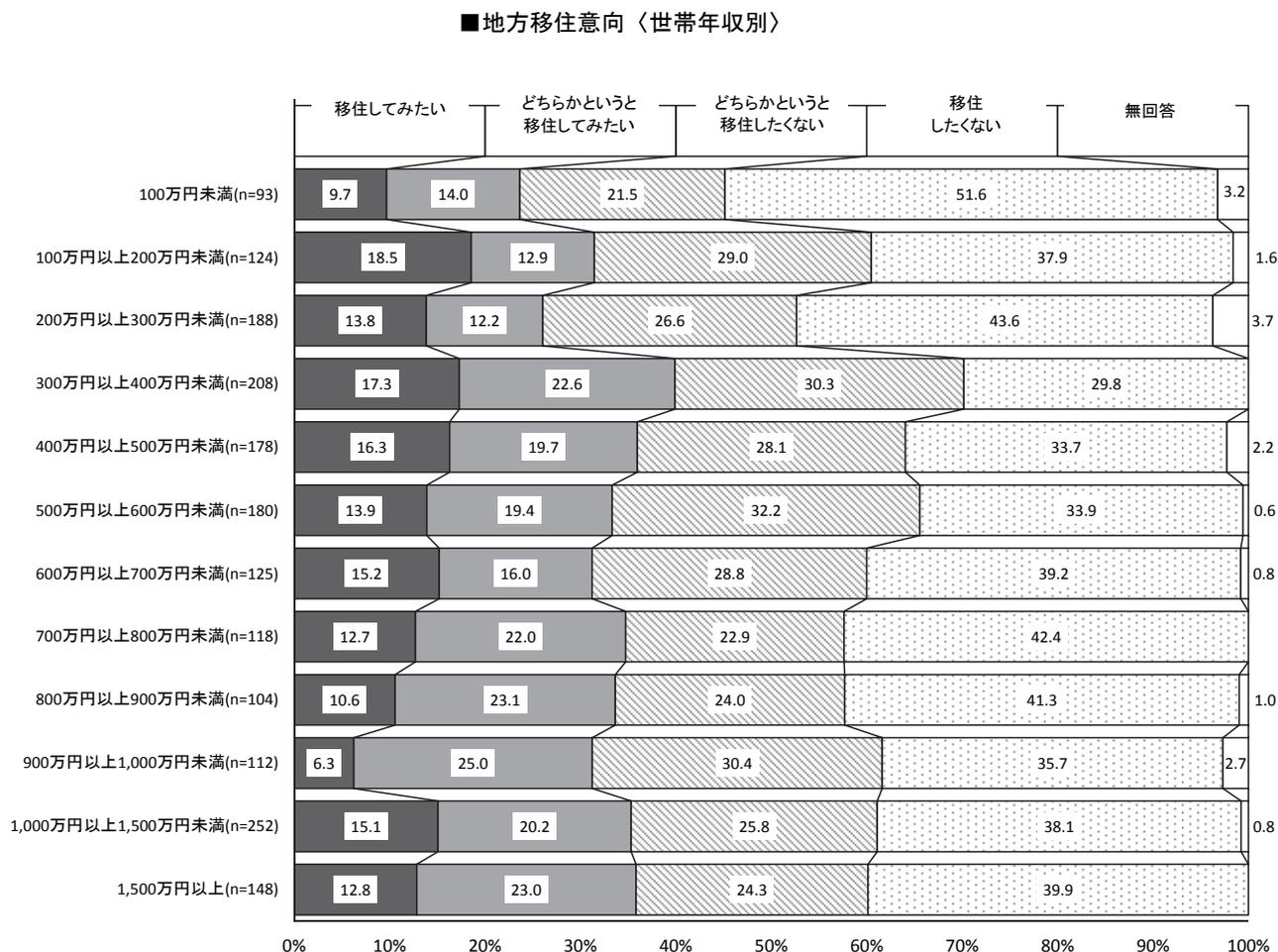
【居住地域別比較】

“移住してみたい”は、東部地域、中央地域、西部地域でやや高くなっている。



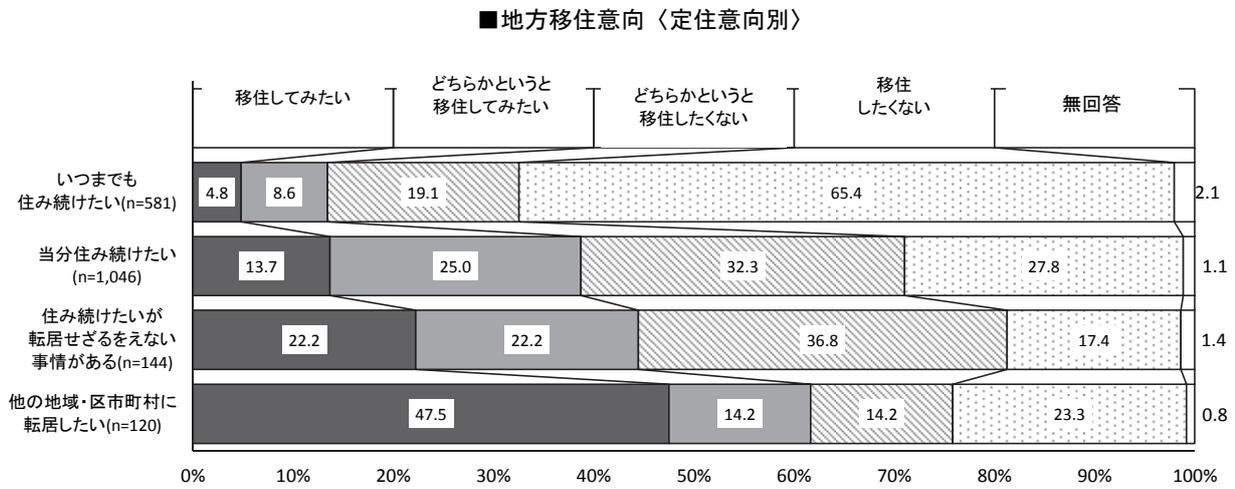
【世帯年収別比較】

“移住してみたい”は、300万円未満では比較的低くなっている。



【定住意向別比較】

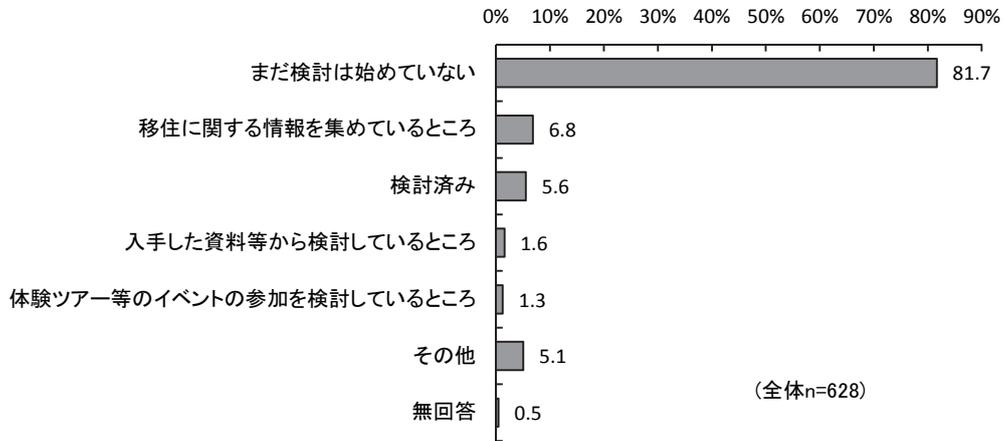
“移住してみたい”は、「いつまでも住み続けたい」が13.4%と最も低くなっており、「他の地域・区市町村に転居したい」が61.7%と最も高くなっている。



(2) 移住の検討の程度：問 23

“移住してみたい”と回答した人に、移住について、どの程度検討を進めているかを聞いたところ、「まだ検討は始めていない」が81.7%と大半を占めている。

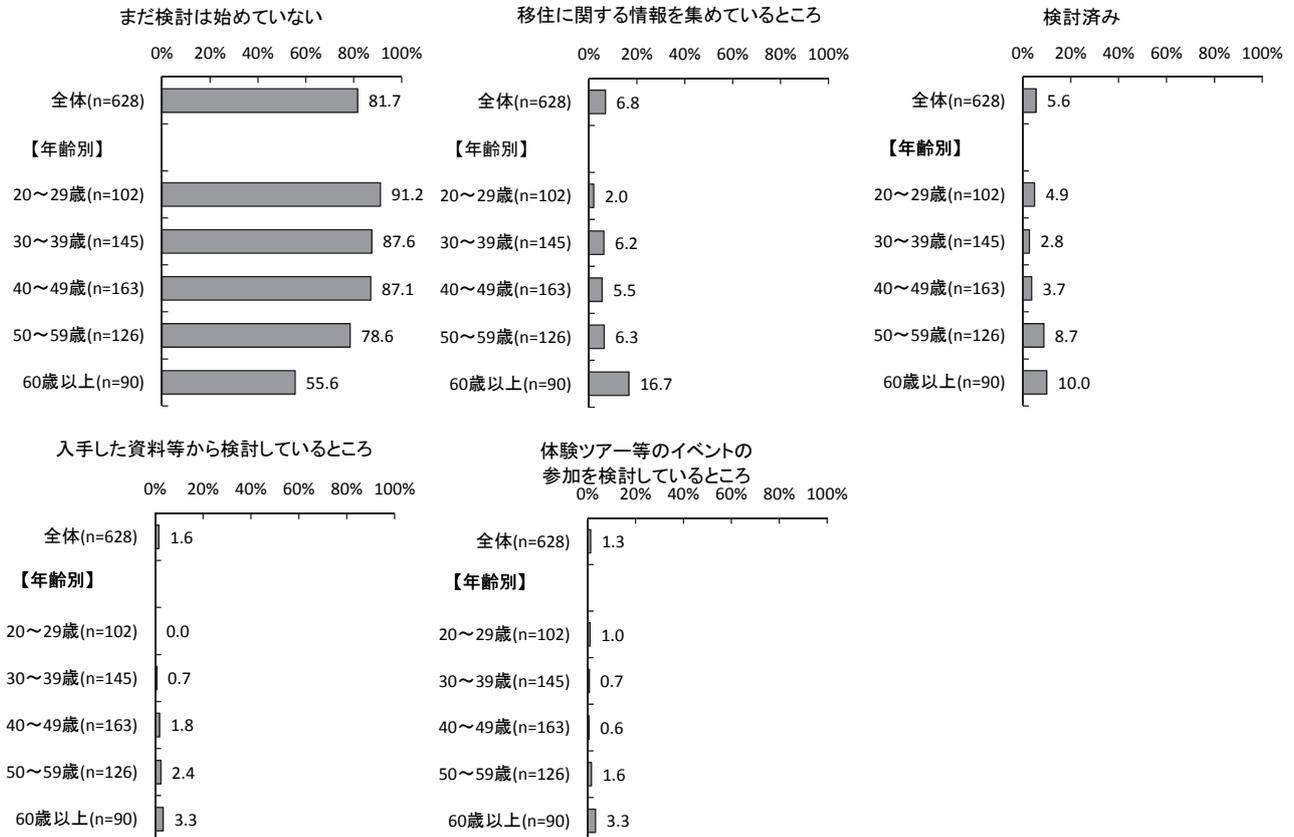
■移住の検討の程度（あてはまるものすべて）



【年齢別比較】

年齢が上がるにつれて、移住の検討は比較的進んでいる傾向がみられる。

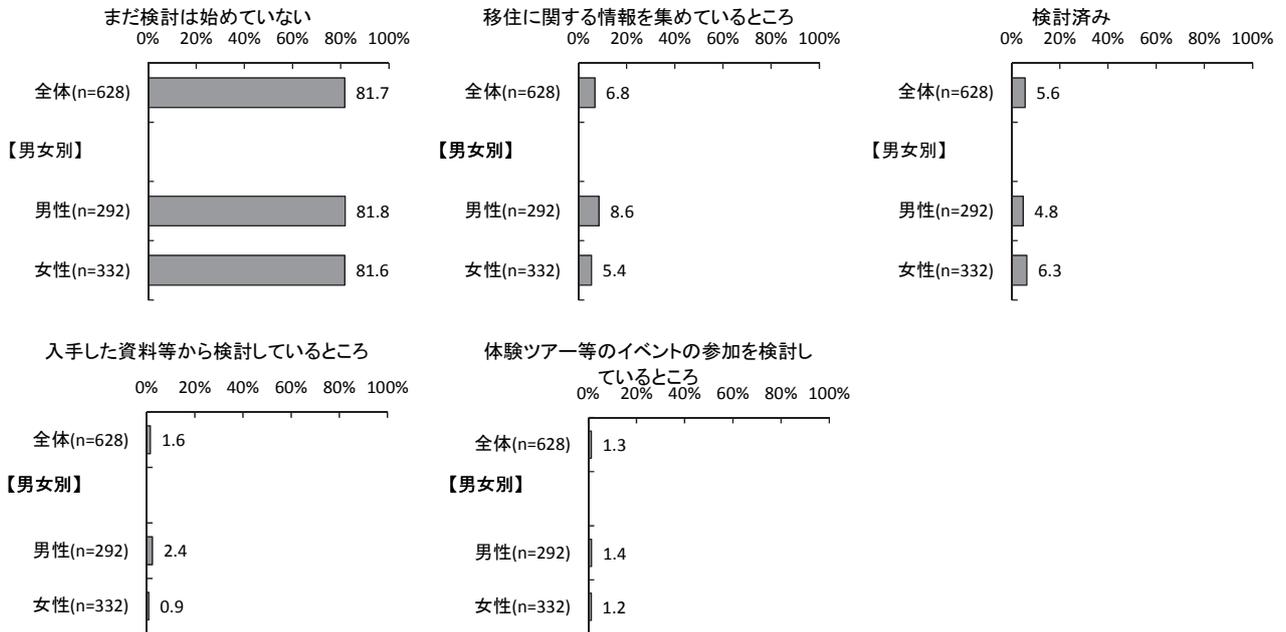
■移住の検討の程度〈年齢別〉



【男女別比較】

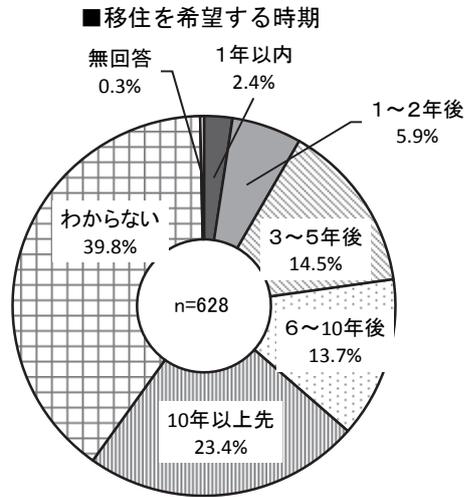
男女間で大きな差はみられない。

■ 移住の検討の程度 <男女別>



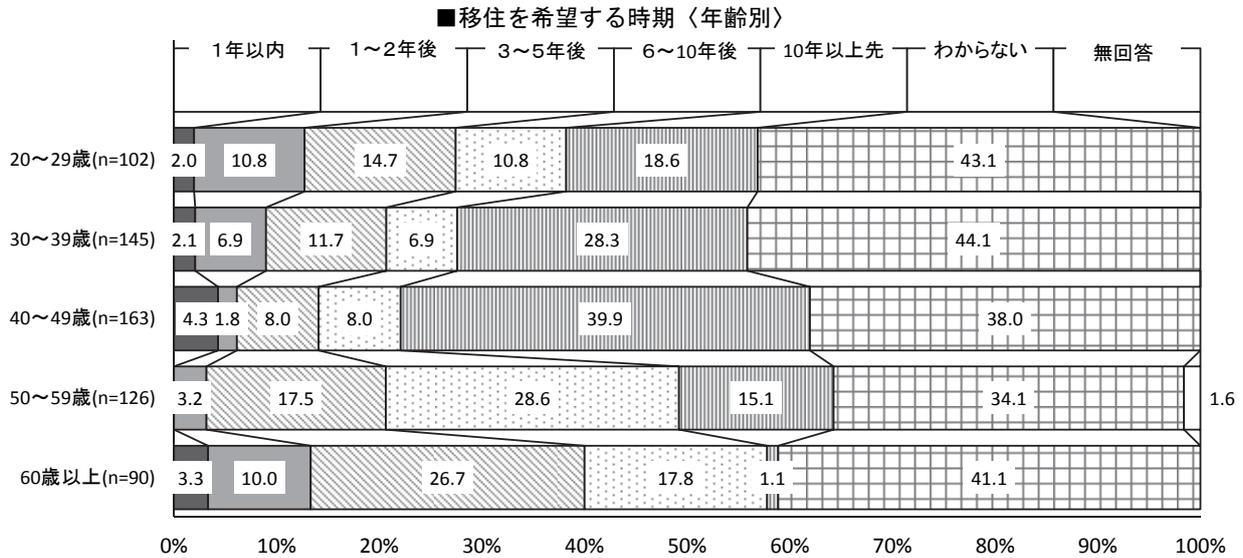
(3) 移住を希望する時期：問 24

“移住してみたい”と回答した人に、何年後くらいに移住してみたいと思うかを聞いたところ、「わからない」が39.8%と最も高く、次いで「10年以上先」(23.4%)、「3～5年後」(14.5%)、「6～10年後」(13.7%)の順で続いている。



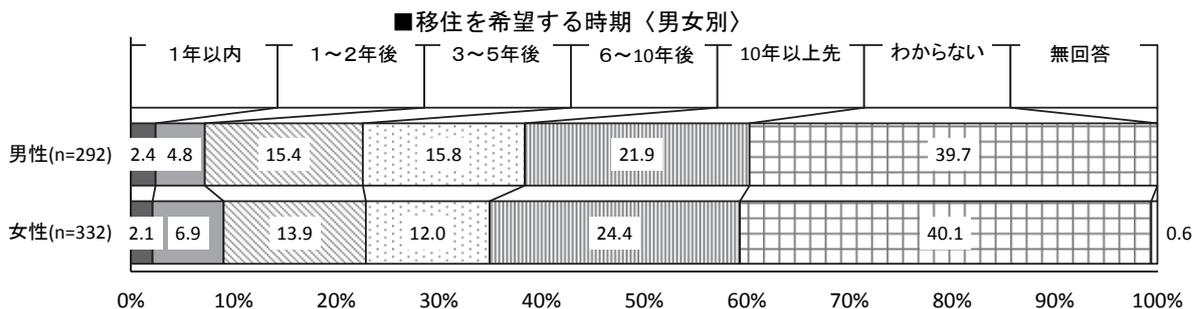
【年齢別比較】

30歳代～40歳代では「10年以上先」が最も高くなっているが、50～59歳では「6～10年後」、60歳以上では「3～5年後」が最も高くなっている。また、20～29歳では「1～2年後」から「10年以上先」までがいずれも10%台となっている。



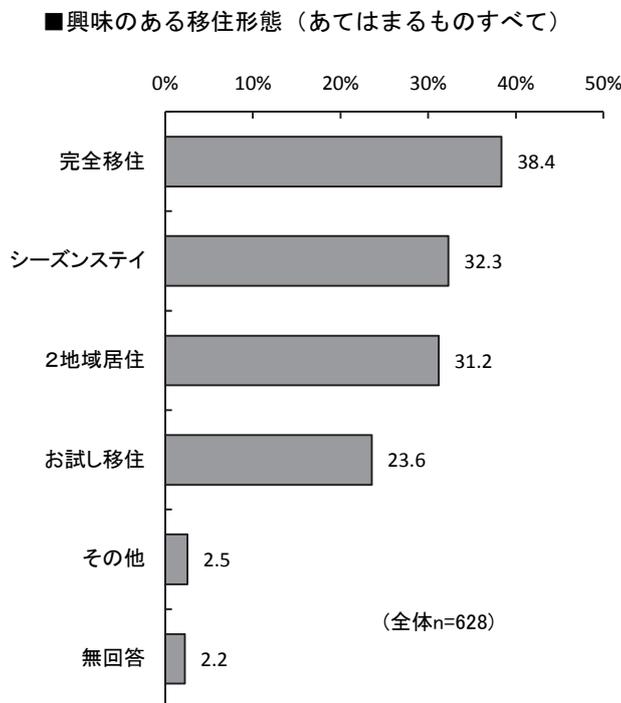
【男女別比較】

男女間で大きな差はみられない。



(4) 興味のある移住形態：問 25

“移住してみたい”と回答した人に、地方への移住のなかで、興味のある移住形態を聞いたところ、「完全移住」が38.4%と最も高く、次いで「シーズンステイ」(32.3%)、「2地域居住」(31.2%)、「お試し移住」(23.6%)の順が続いている。



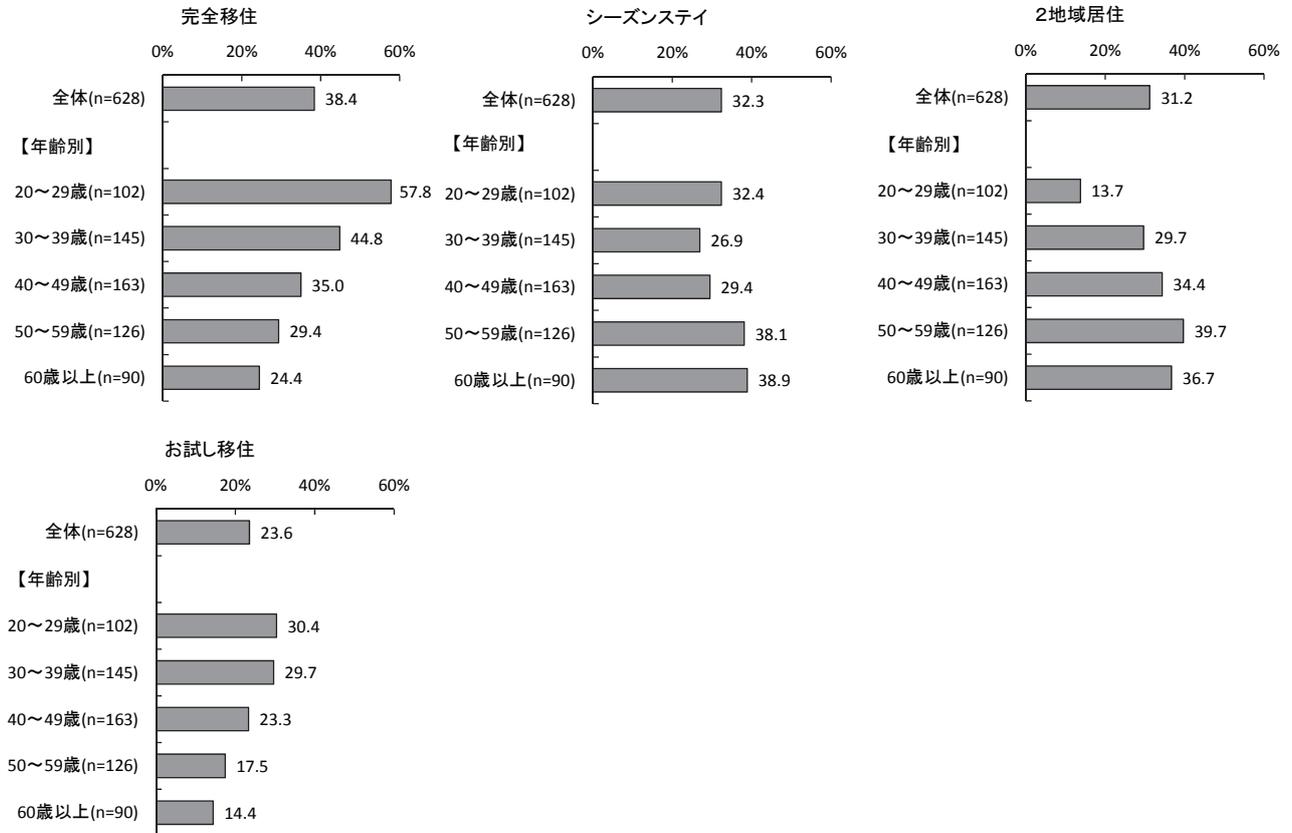
回答のパターンが多かったものは次のとおり。

- ・「完全移住」のみ (177人)
- ・「2地域居住」のみ (103人)
- ・「シーズンステイ」のみ (100人)
- ・「お試し移住」のみ (78人)
- ・「2地域居住」、「シーズンステイ」(37人)
- ・「シーズンステイ」、「お試し移住」(19人)
- ・「完全移住」、「2地域居住」(17人)
- ・「2地域居住」、「シーズンステイ」、「お試し移住」(12人)
- ・「完全移住」、「お試し移住」(11人)
- ・「完全移住」、「シーズンステイ」(10人)
- ・「完全移住」、「2地域居住」、「シーズンステイ」、「お試し移住」(9人)
- ・「2地域居住」、「お試し移住」(9人)
- ・「完全移住」、「シーズンステイ」、「お試し移住」(8人)
- ・「完全移住」、「2地域居住」、「シーズンステイ」(7人)

【年齢別比較】

「完全移住」、「お試し移住」は若い年代ほど高くなる傾向がみられ、「シーズンステイ」、「2地域居住」は年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

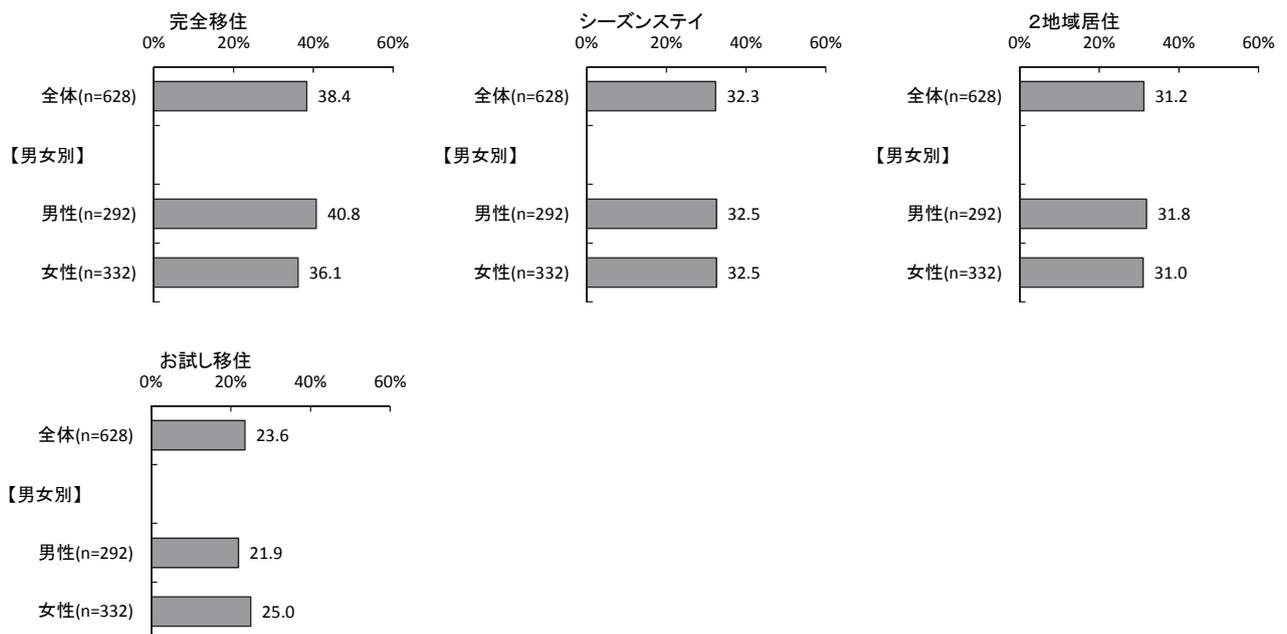
■興味のある移住形態〈年齢別〉



【男女別比較】

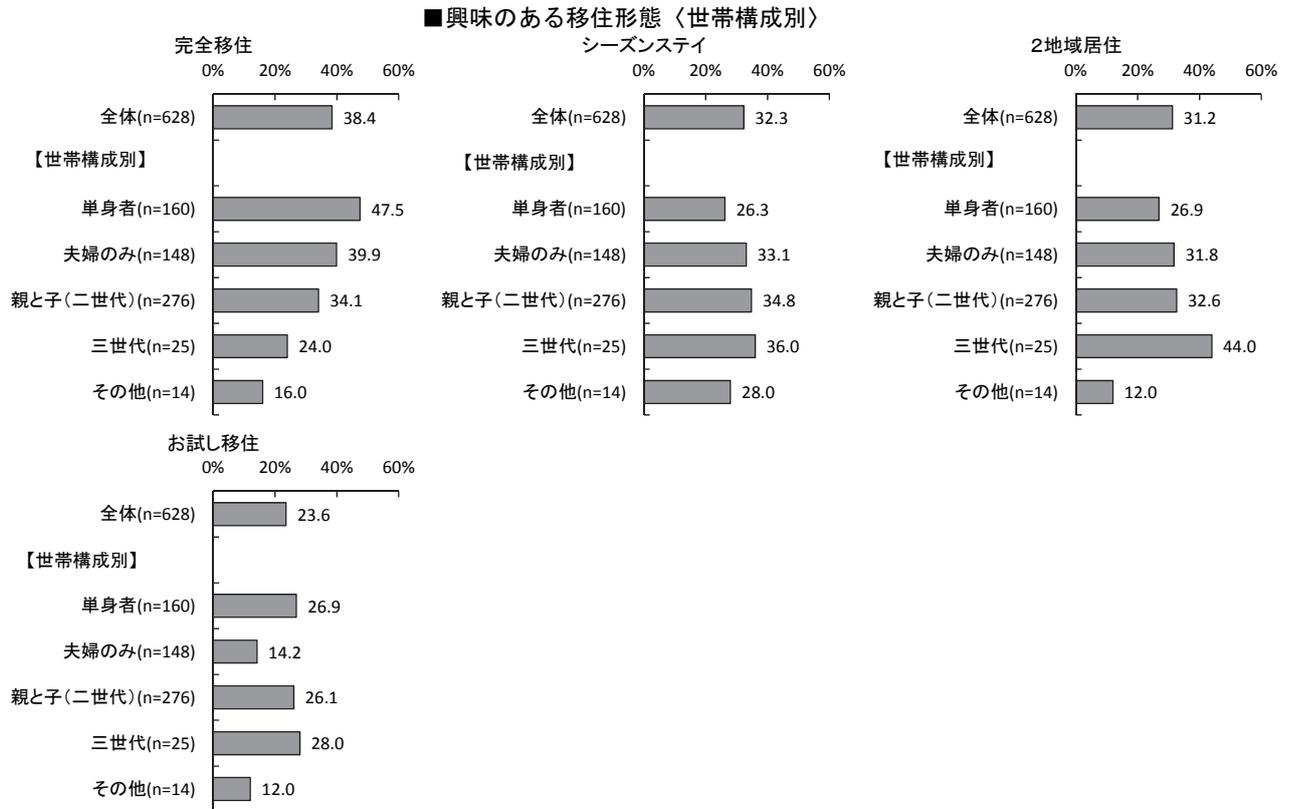
男女間で大きな差はみられない。

■興味のある移住形態〈男女別〉



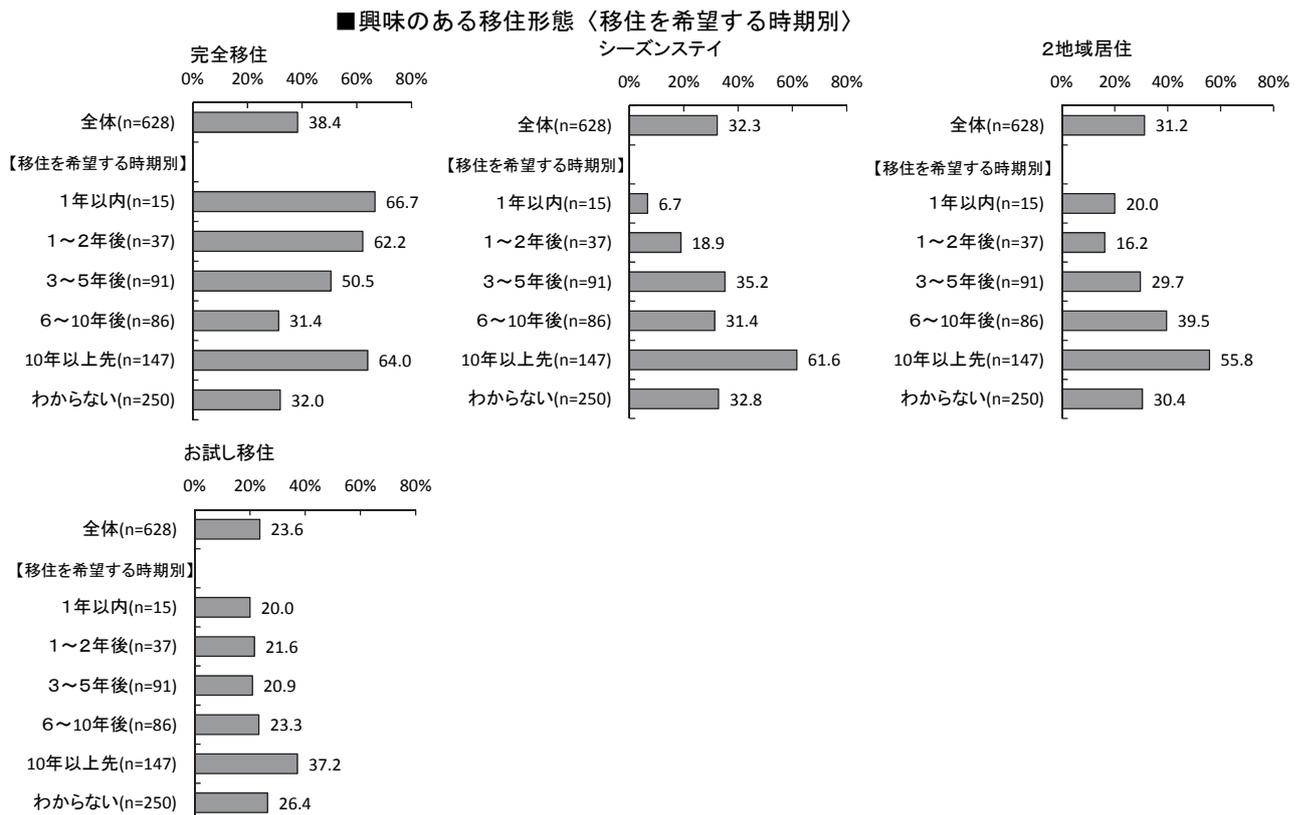
【世帯構成別比較】

「完全移住」は単身者が最も高く、「シーズンステイ」「2地域居住」では夫婦のみ、親と子（二世帯）、三世帯が高くなっている。



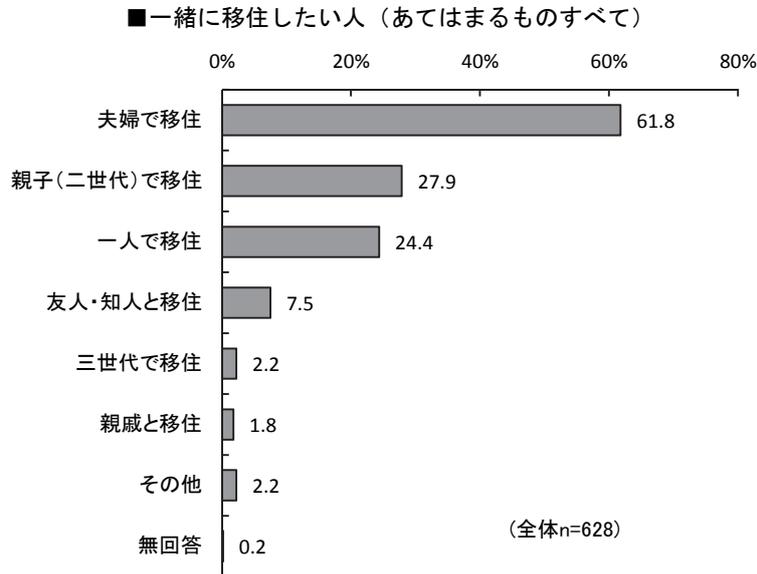
【移住を希望する時期別比較】

「完全移住」は5年以内での希望と10年以上先に分かれている。そのほかの移住形態は10年以上先が最も高くなっている。



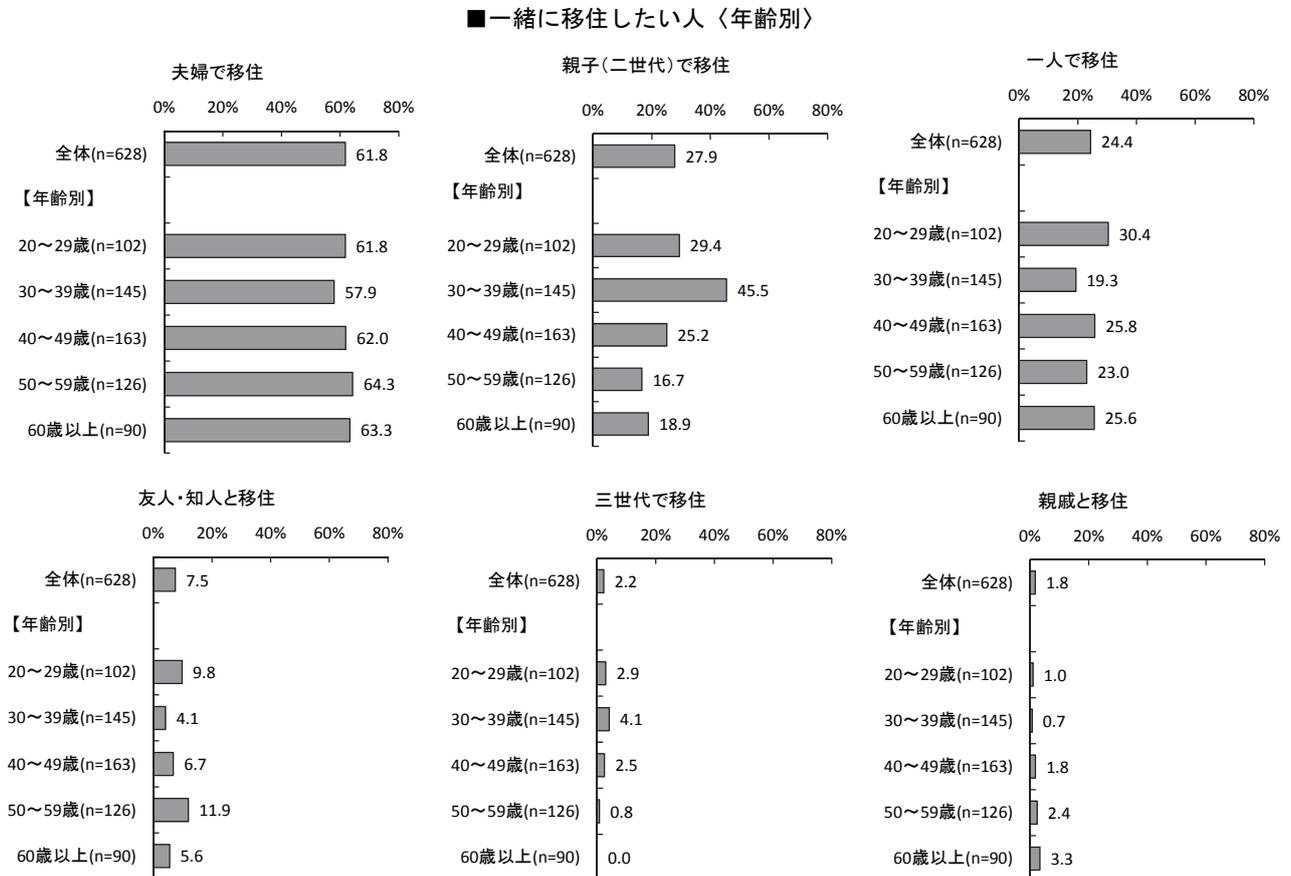
(5) 一緒に移住したい人：問 26

“移住してみたい”と回答した人に、だれと一緒に移住したいかを聞いたところ、「夫婦で移住」が61.8%と最も高く、次いで「親子（二世代）で移住」（27.9%）、「一人で移住」（24.4%）の順で続いている。



【年齢別比較】

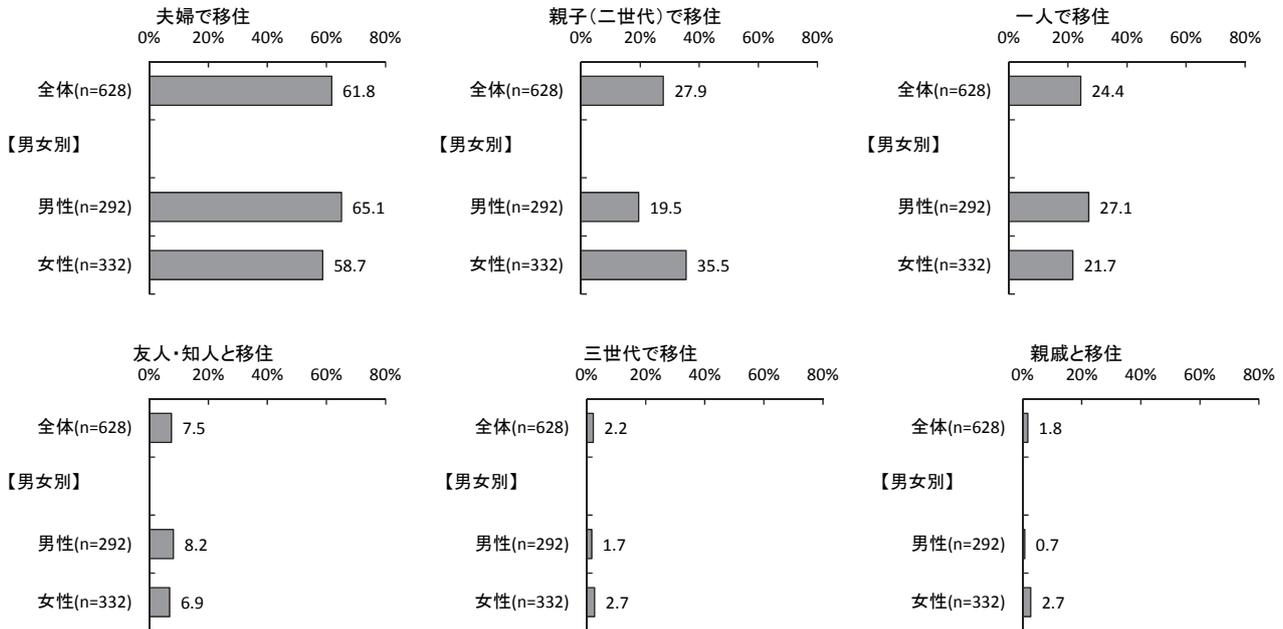
「親子（二世代）で移住」では、30～39歳の割合が他の年代に比べて高くなっている。



【男女別比較】

「親子（二世代）で移住」は女性の方が高く 35.5%となっている。

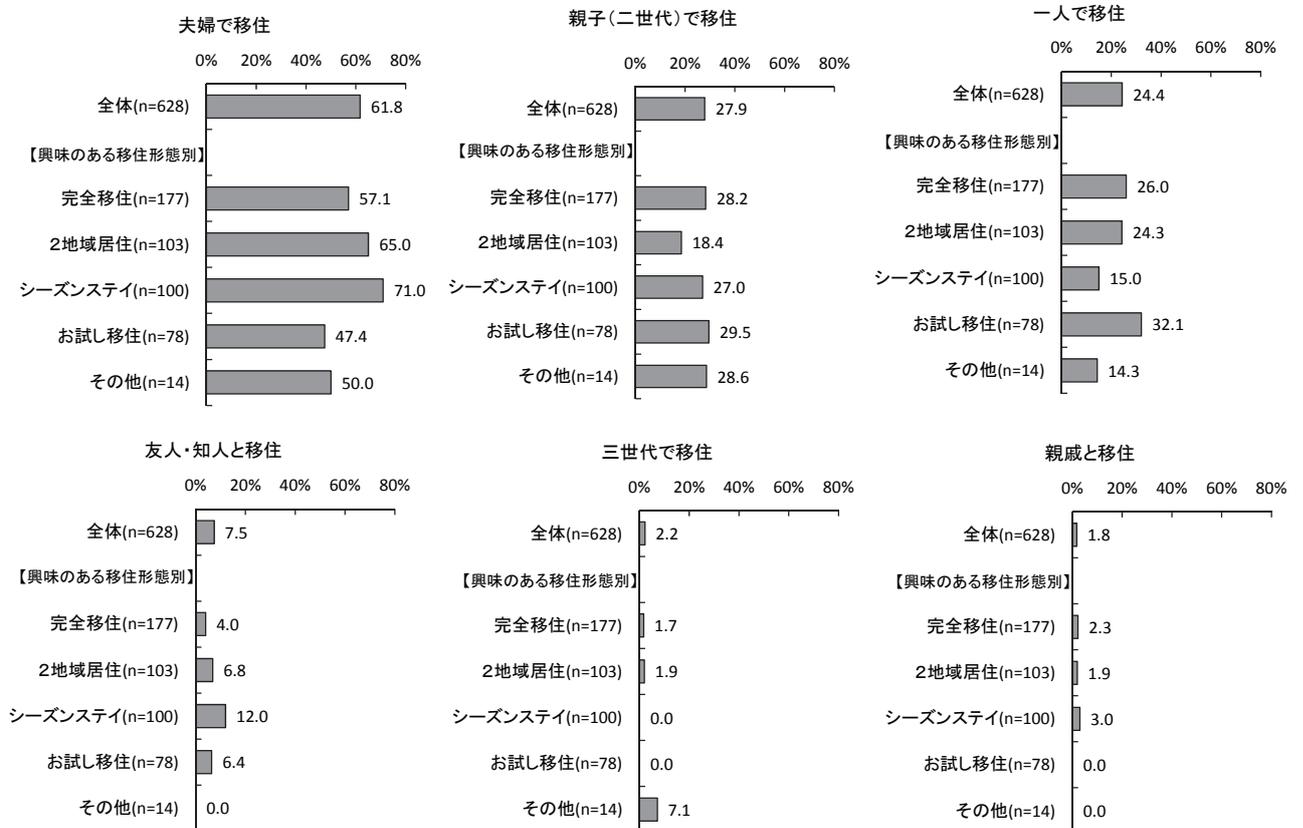
■一緒に移住したい人〈男女別〉



【興味のある移住形態別比較】

「夫婦で移住」はシーズンステイが最も高く、「一人で移住」はお試し移住が最も高くなっている。

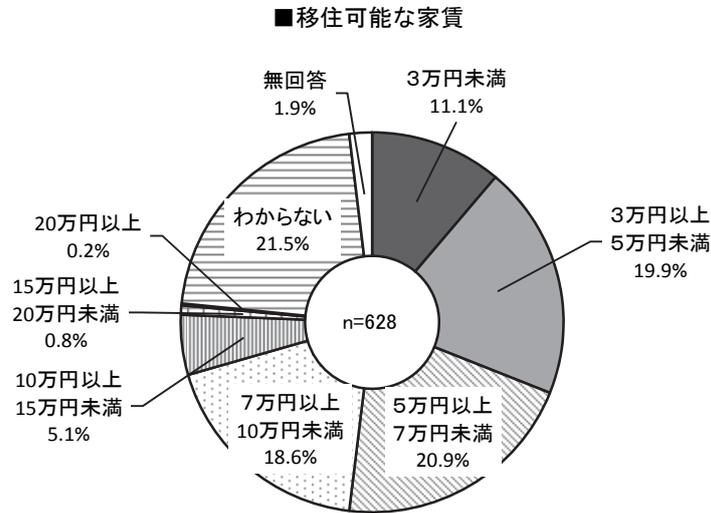
■一緒に移住したい人〈興味のある移住形態別〉



注) 興味のある移住形態別比較については、問 25 の「興味のある移住形態」にて選択肢を1つだけ選択した人のみを対象とし、集計を行った（以下同じ）。

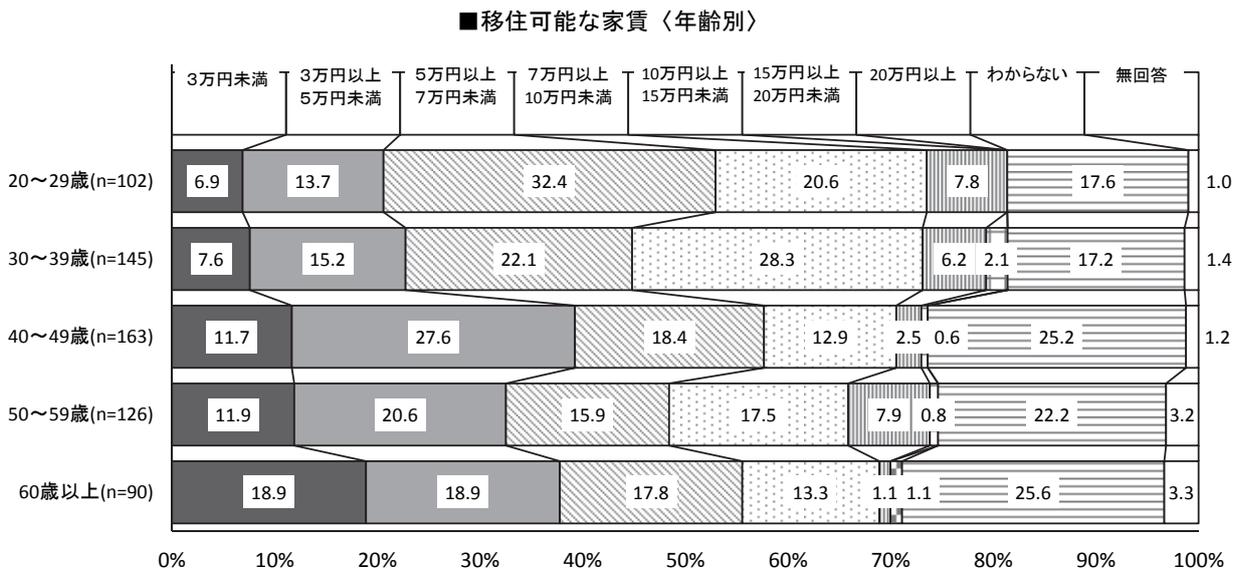
(6) 移住可能な家賃：問 27

“移住してみたい”と回答した人に、移住先の家賃（ローン、賃貸料等）が月額どの程度なら移住が可能と考えるかを聞いたところ、「わからない」が21.5%と最も高く、次いで「5万円以上7万円未満」(20.9%)、「3万円以上5万円未満」(19.9%)、「7万円以上10万円未満」(18.6%)の順で続いている。



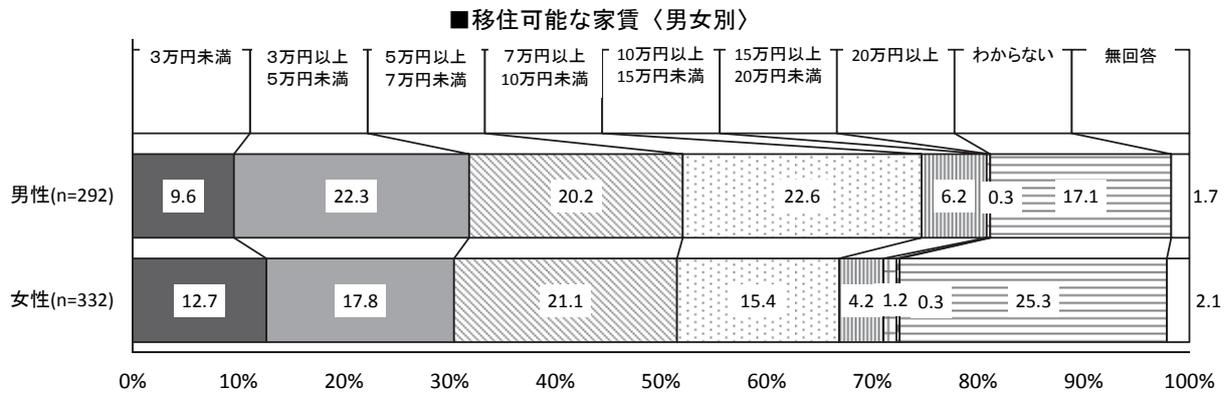
【年齢別比較】

20～39歳の年代では「5万円以上7万円未満」「7万円以上10万円未満」の割合が高く、40～59歳の年代では「3万円以上5万円未満」が高くなっている。60歳以上では、「3万円未満」「3万円以上5万円未満」「5万円以上7万円未満」がほぼ同じ割合となっている。



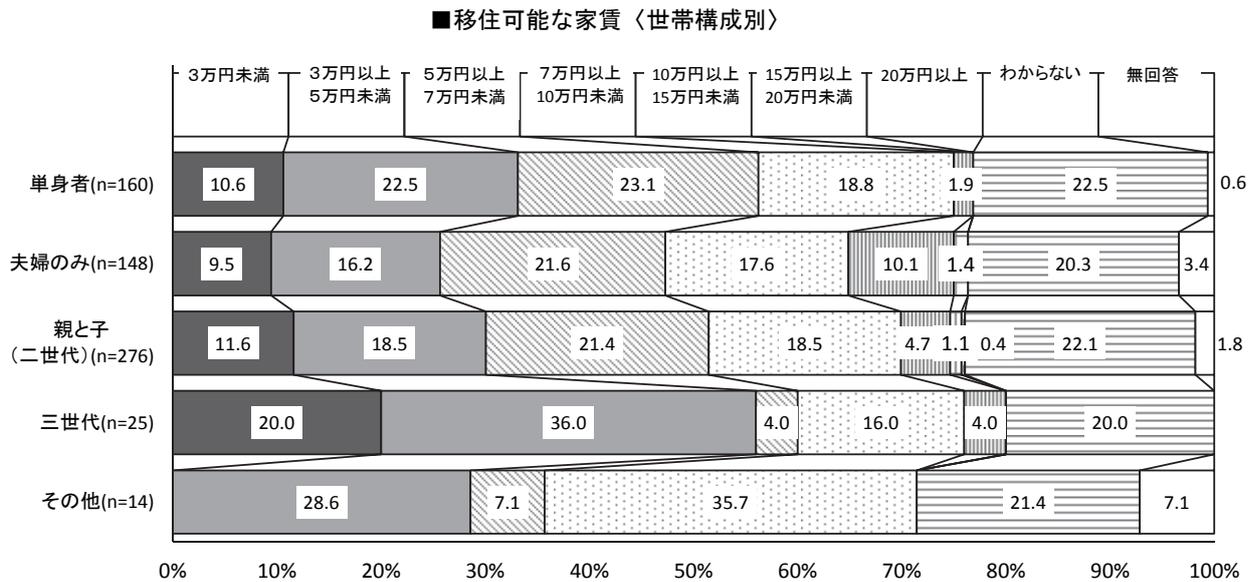
【男女別比較】

「3万円未満」は女性が高く、「3万円以上5万円未満」「7万円以上10万円未満」では男性が高くなっている。



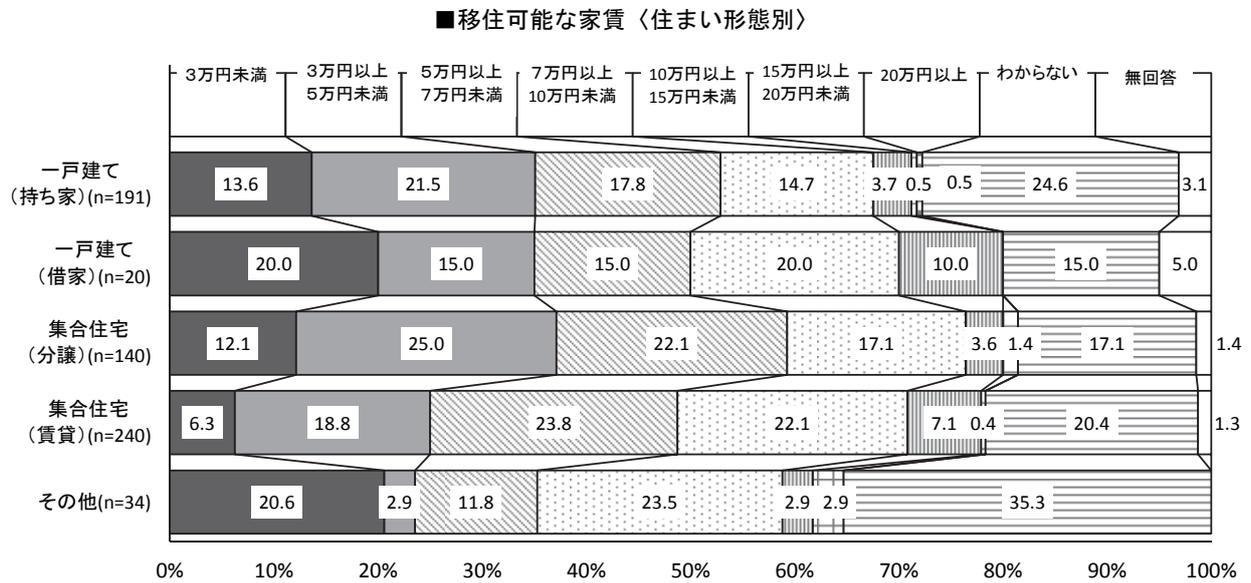
【世帯構成別比較】

単身者は「3万円以上5万円未満」(22.5%)と「5万円以上7万円未満」(23.1%)が高く、夫婦のみ、親と子(二世帯)では「5万円以上7万円未満」が最も高くなっている。



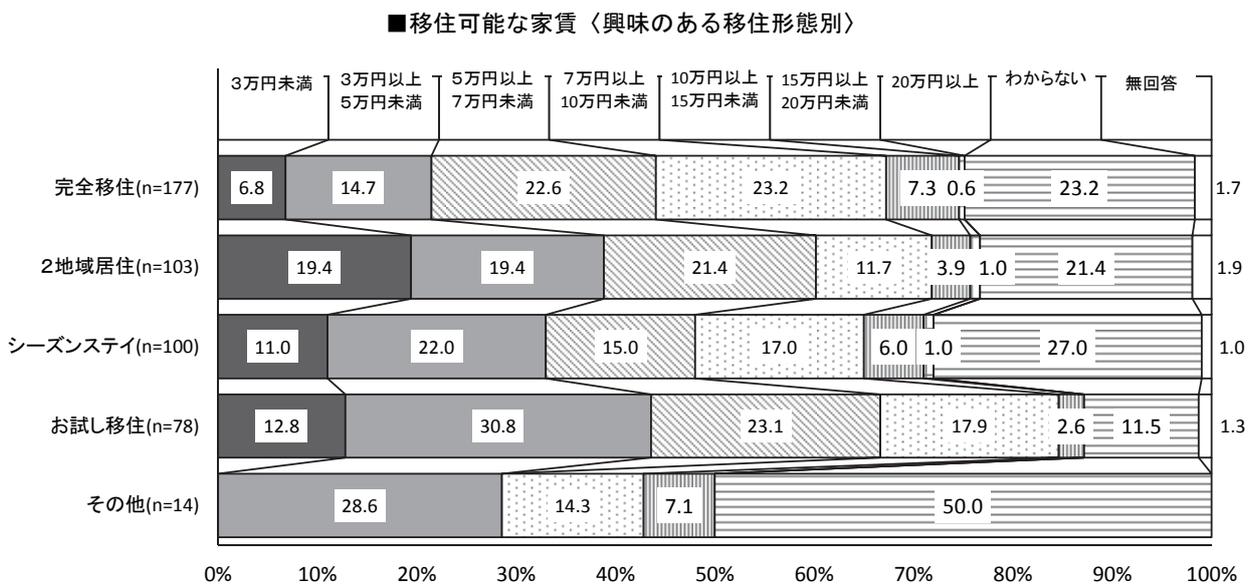
【住まい形態別比較】

一戸建て（持ち家）と集合住宅（分譲）では「3万円以上5万円未満」がそれぞれ21.5%、25.0%と最も高く、集合住宅（賃貸）では「5万円以上7万円未満」（23.8%）と「7万円以上10万円未満」（22.1%）が高くなっている。



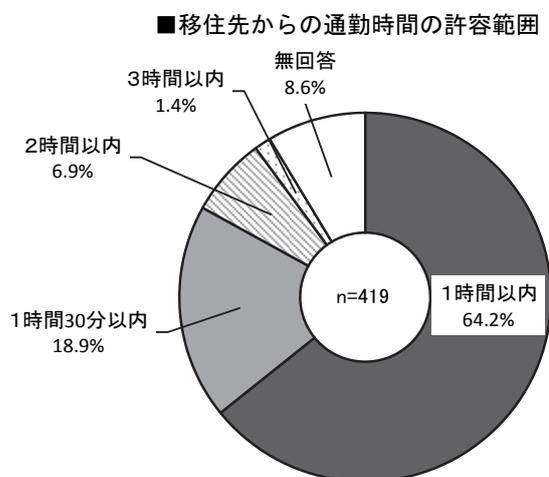
【興味のある移住形態別比較】

「3万円未満」は2地域居住が最も高く、「3万円以上5万円未満」はお試し移住が高くなっている。また、完全移住では、「5万円以上7万円未満」と「7万円以上10万円未満」の割合が高くなっている。



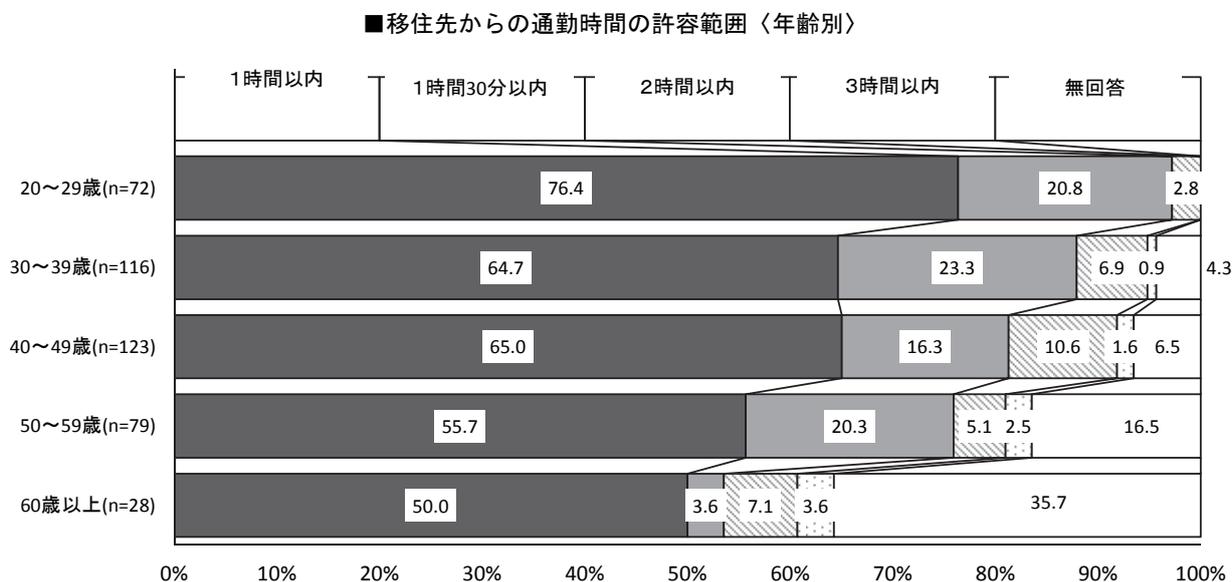
(7) 移住先からの通勤時間の許容範囲：問 28

“移住してみたい”と回答したうちの“勤務している人”に、移住先からの通勤時間は、どれくらいが許容範囲かを聞いたところ、「1時間以内」が64.2%と最も高く、次いで「1時間30分以内」(18.9%)、「2時間以内」(6.9%)、「3時間以内」(1.4%)の順となっている。



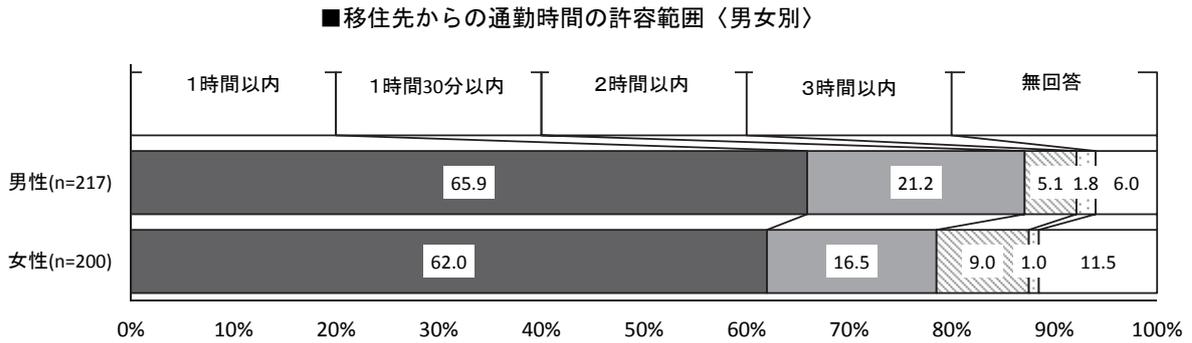
【年齢別比較】

「1時間以内」は20～29歳が76.4%と最も高く、年齢が上がるにつれてその割合は低くなる傾向がみられる。



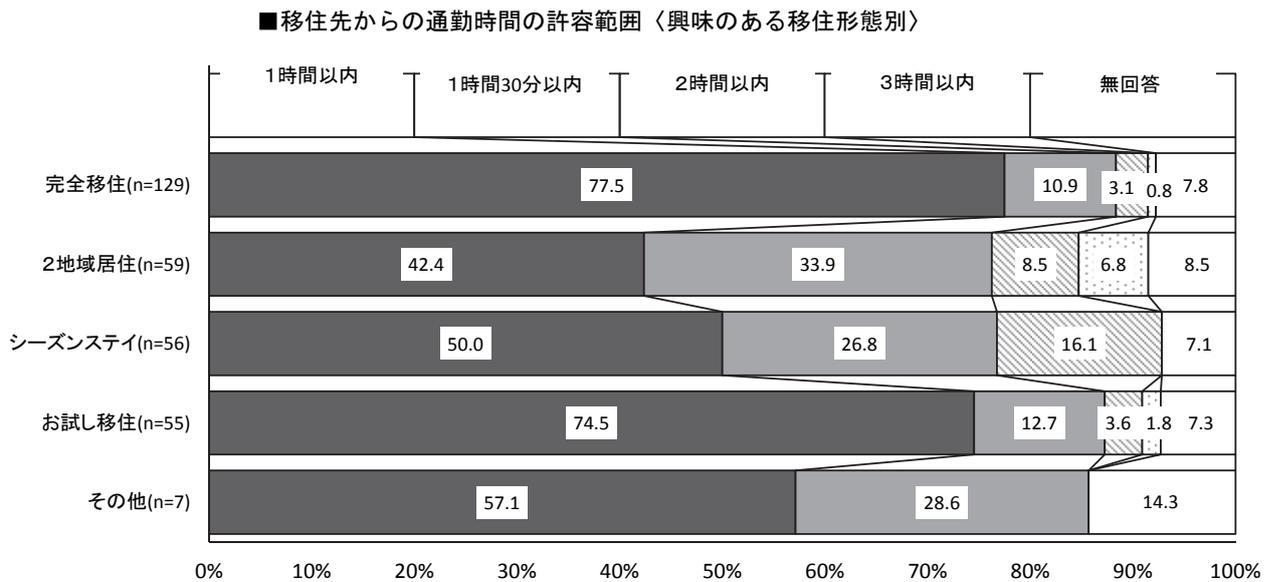
【男女別比較】

「1時間以内」は男性の方が高く、65.9%となっている。



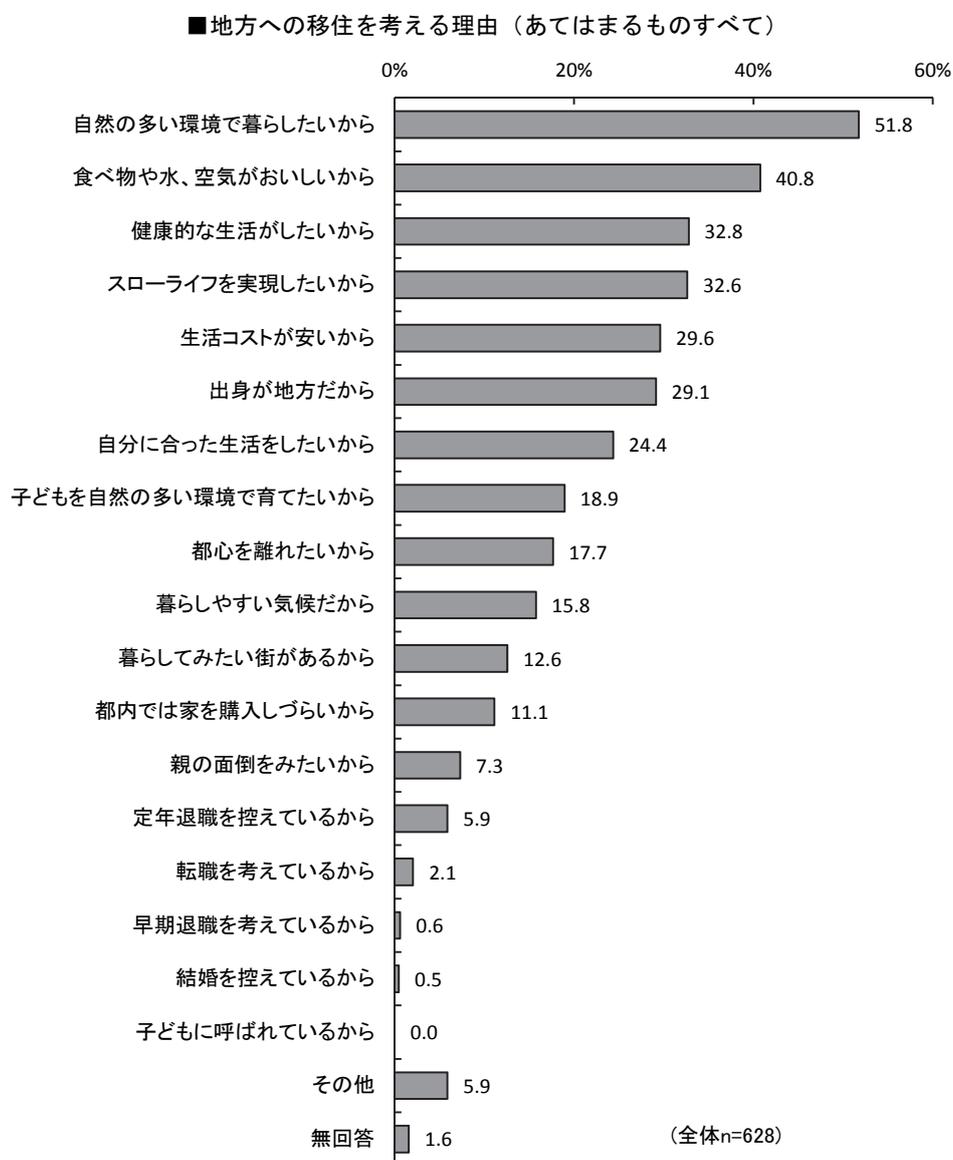
【興味のある移住形態別比較】

完全移住、お試し移住は「1時間以内」が7割を超えているが、2地域居住、シーズンステイでは「1時間30分以内」「2時間以内」の割合も高くなっている。



(8) 地方への移住を考える理由：問 29

“移住してみたい”と回答した人に、地方への移住を考える理由を聞いたところ、「自然の多い環境で暮らしたいから」が 51.8%と最も高く、次いで「食べ物や水、空気がおいしいから」(40.8%)、「健康的な生活がしたいから」(32.8%)、「スローライフを実現したいから」(32.6%)、「生活コストが安いから」(29.6%)、「出身が地方だから」(29.1%)の順が続いている。

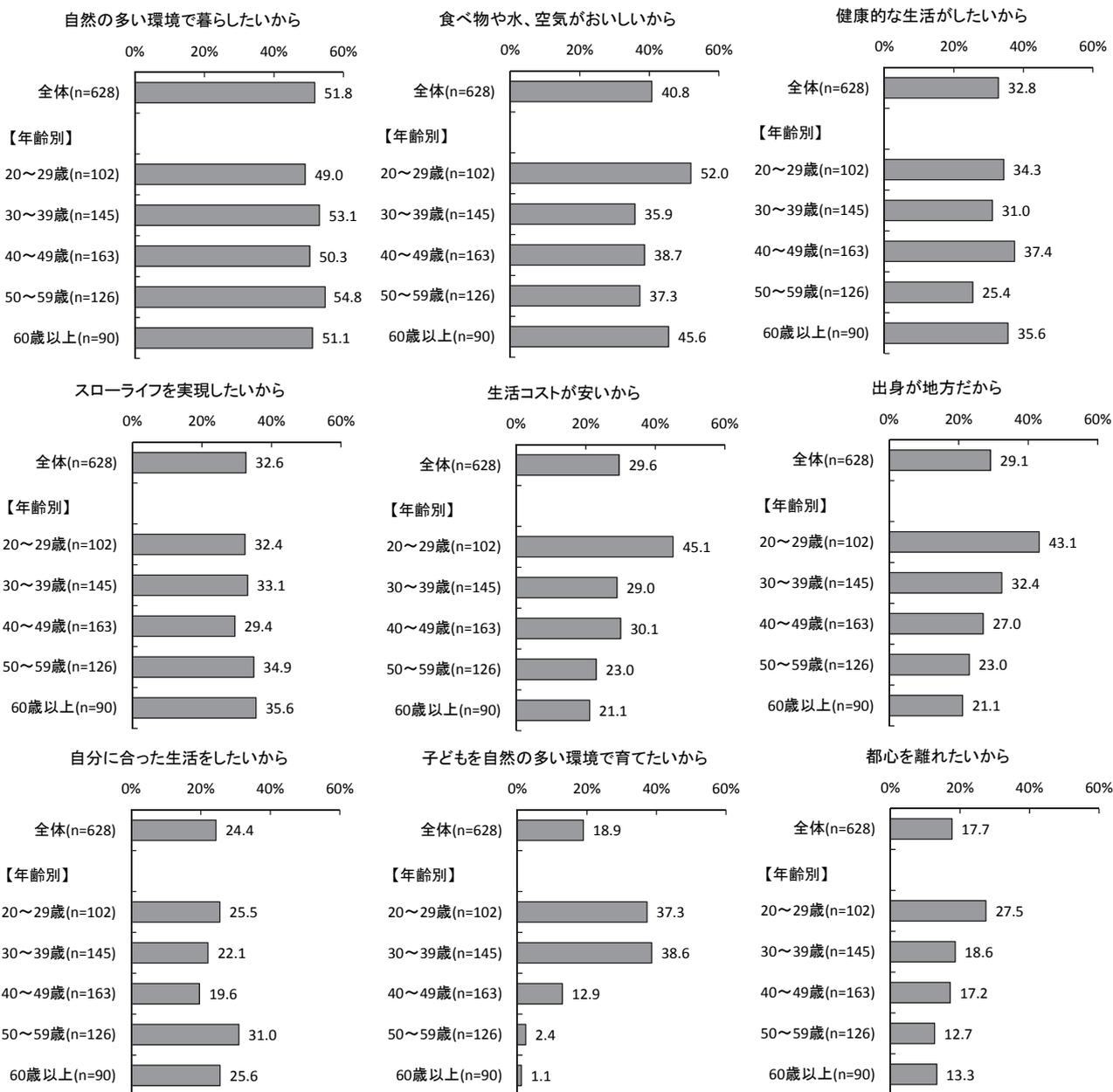


【年齢別比較】

年齢別にみると、20～29歳では「食べ物や水、空気がおいしいから」、その他の年代では「自然の多い環境で暮らしたいから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「生活コストが安いから」「出身が地方だから」「都心を離れたいから」は20～29歳が最も高く、年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。また、「子どもを自然の多い環境で育てたいから」は20～29歳、30～39歳が特に高くなっている。

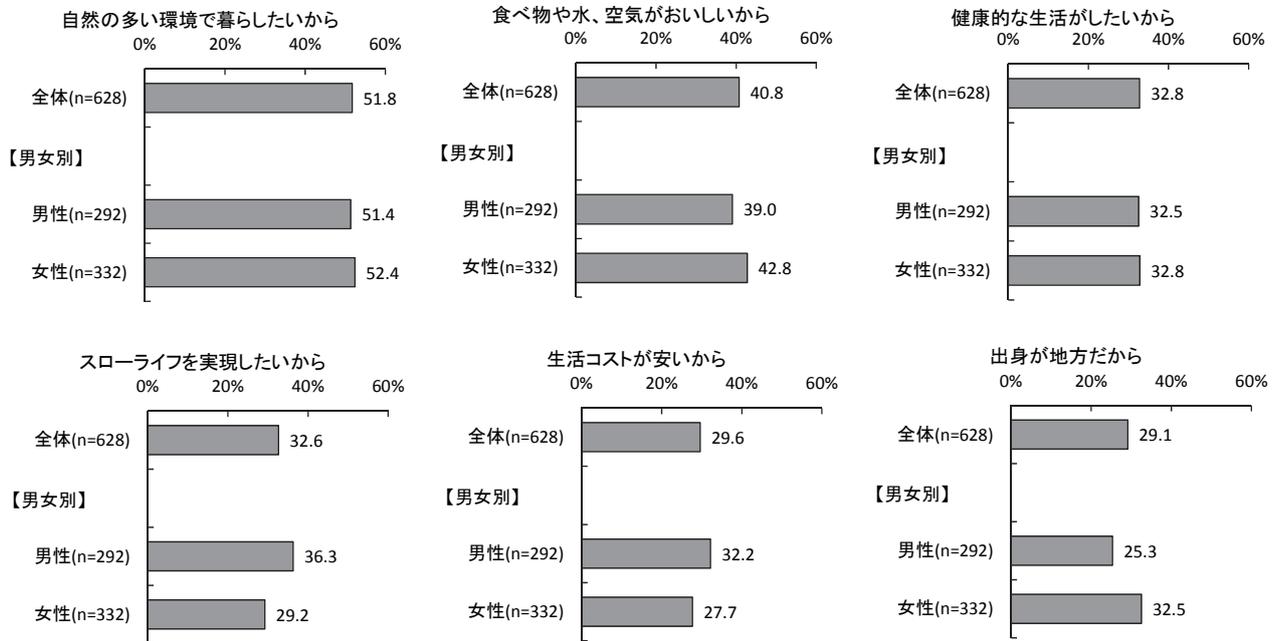
■ 地方への移住を考える理由〈年齢別：上位9項目〉



【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「自然の多い環境で暮らしたいから」が最も高くなっている。項目別にみると、「スローライフを実現したいから」「生活コストが安いから」は男性が高く、「出身が地方だから」は女性の方が高くなっている。

■地方への移住を考える理由〈男女別：上位6項目〉

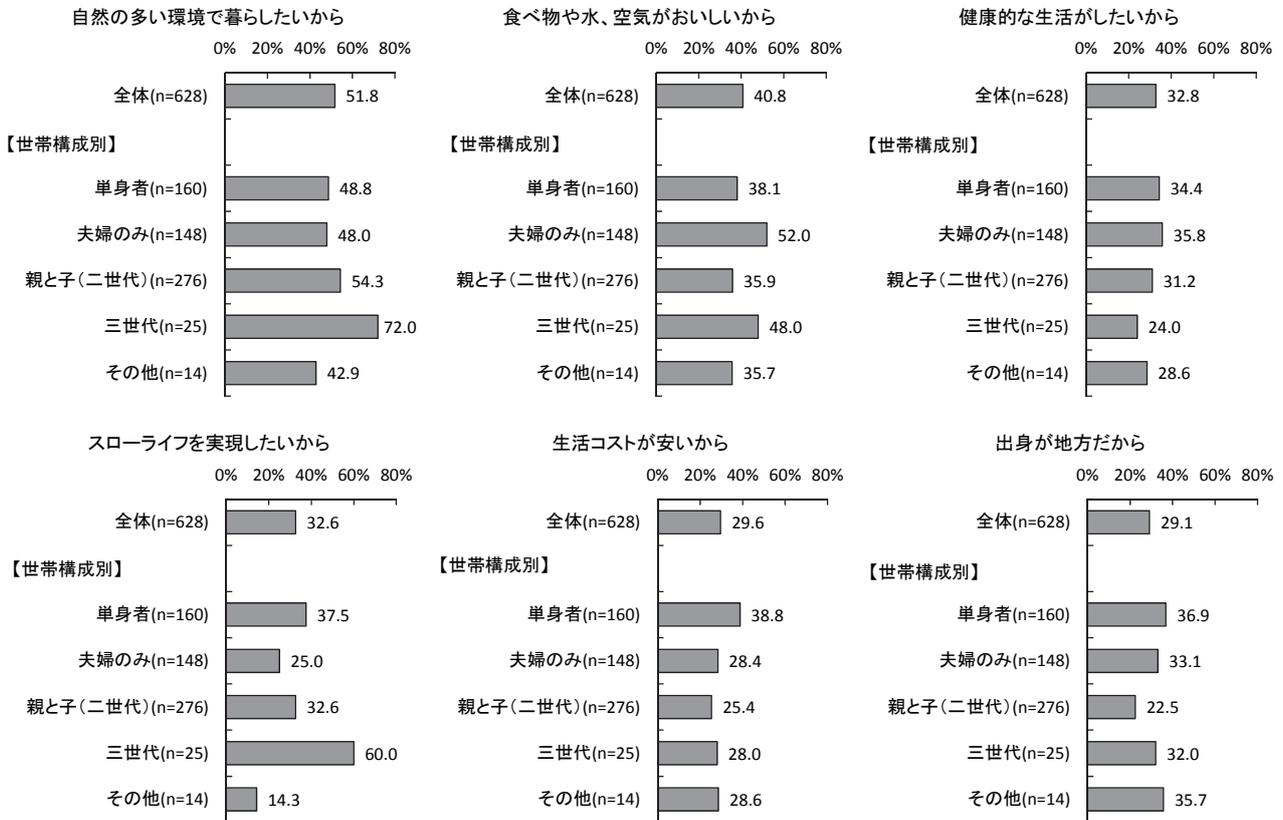


【世帯構成別比較】

世帯構成別にみると、夫婦のみは「食べ物や水、空気がおいしいから」が最も高く、そのほかの世帯構成は「自然の多い環境で暮らしたいから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「生活コストが安いから」は単身者が最も高くなっている。

■地方への移住を考える理由（世帯構成別：上位6項目）

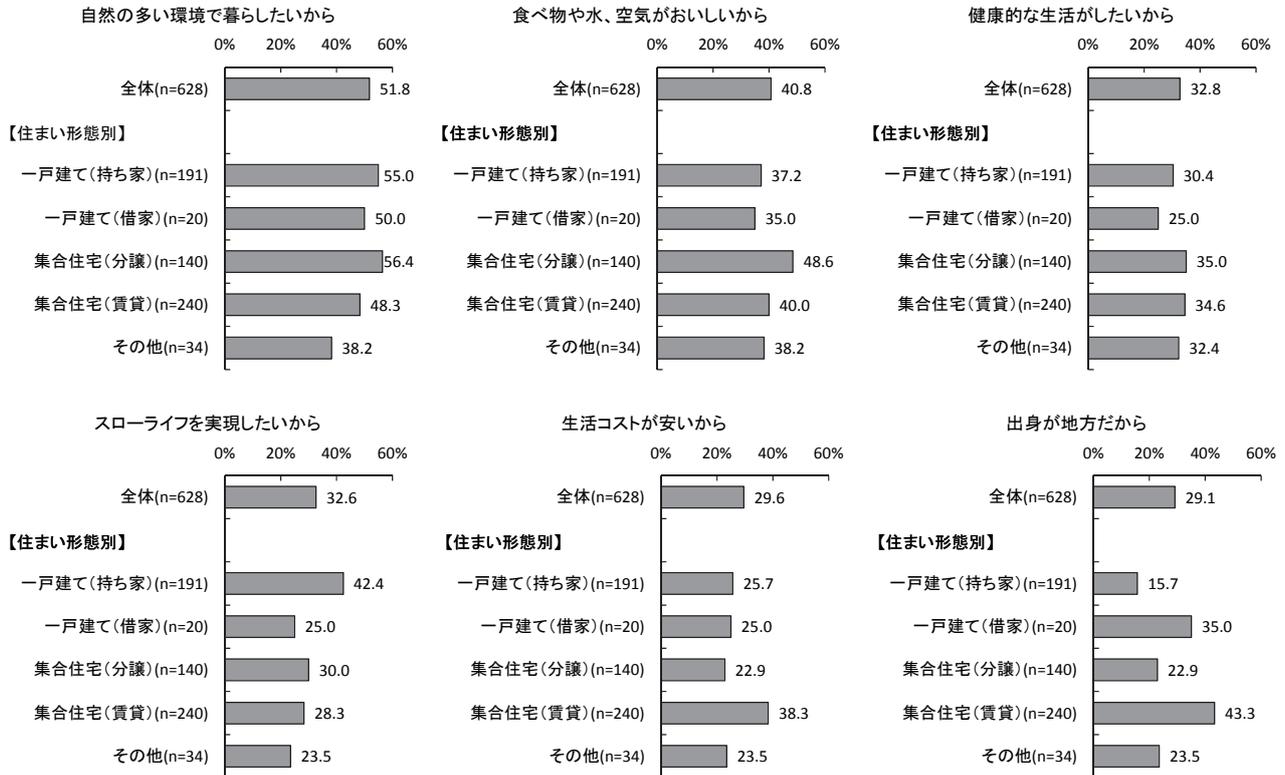


【住まい形態別比較】

住まい形態別にみると、いずれの住まい形態においても「自然の多い環境で暮らしたいから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「スローライフを実現したいから」は一戸建て（持ち家）が最も高く、「生活コストが安いから」は集合住宅（賃貸）が最も高い。また、「出身が地方だから」は持ち家や分譲の人よりも借家や賃貸の人の方が高くなっている。

■ 地方への移住を考える理由〈住まい形態別：上位6項目〉

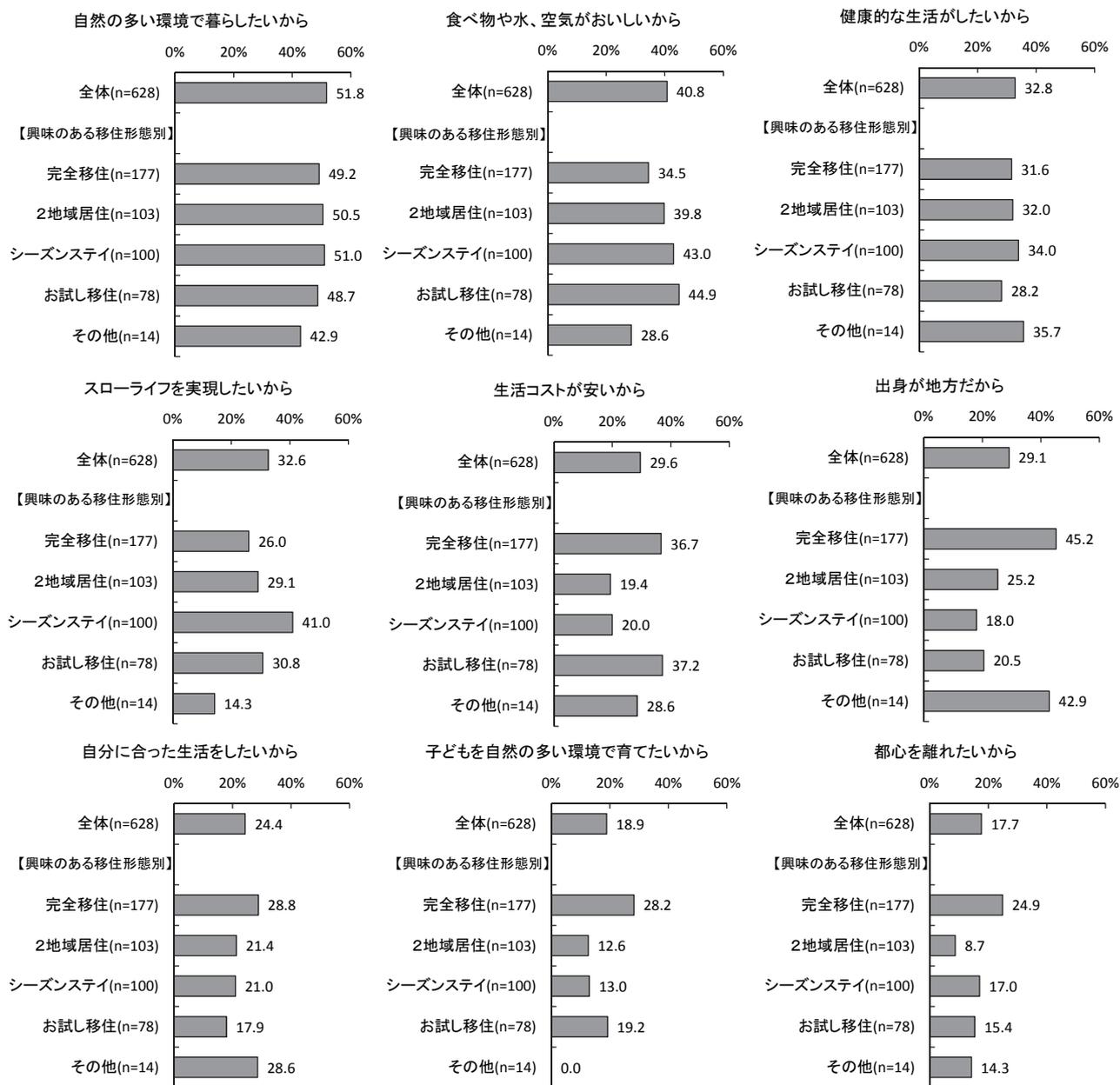


【興味のある移住形態別比較】

興味のある移住形態別にみると、いずれの移住形態においても「自然の多い環境で暮らしたいから」が最も高くなっている。

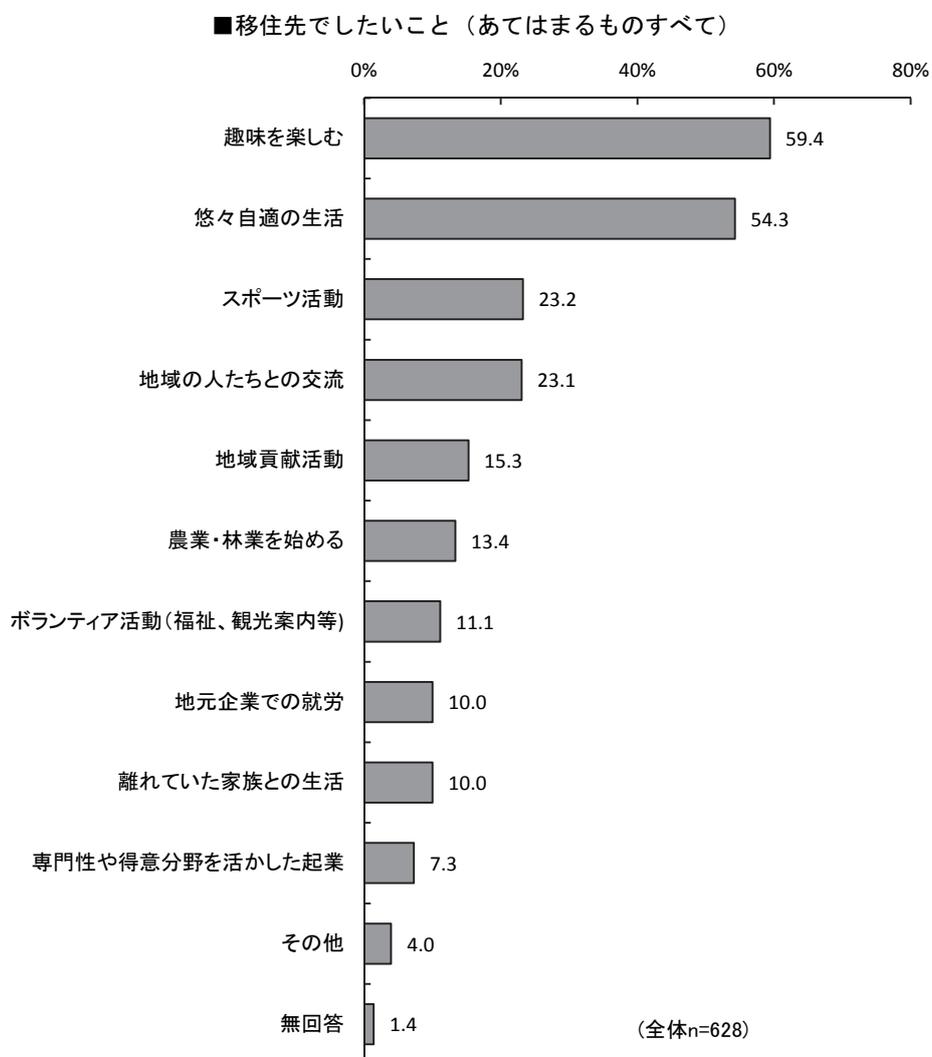
項目別にみると、「スローライフを実現したいから」はシーズンステイが最も高く、「生活コストが安いから」は完全移住とお試し移住が高くなっている。また、「出身が地方だから」「自分に合った生活をしたいから」「子どもを自然の多い環境で育てたいから」「都心を離れたりたいから」は完全移住が最も高くなっている。

■ 地方への移住を考える理由〈興味のある移住形態別：上位9項目〉



(9) 移住先でしたいこと：問 30

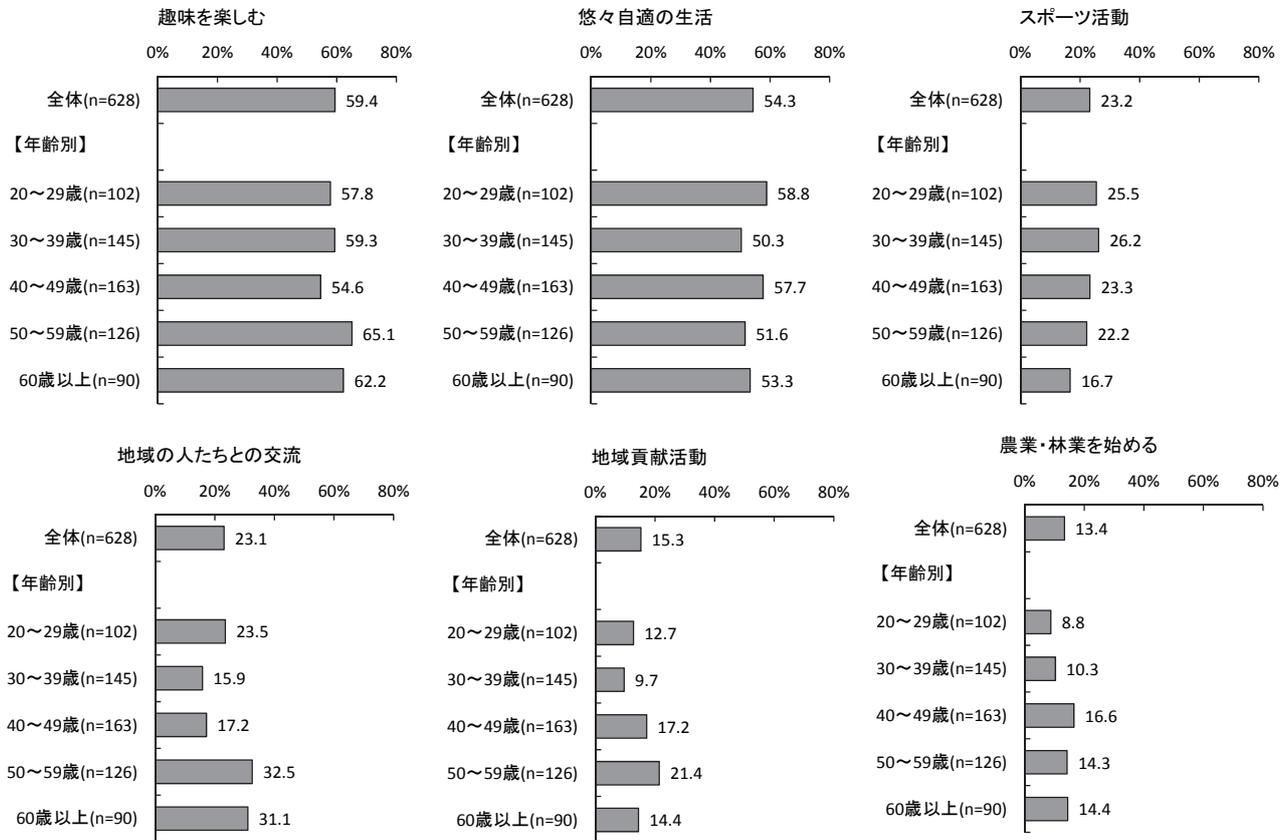
“移住してみたい”と回答した人に、移住先では、どのようなことをしたいかを聞いたところ、「趣味を楽しむ」(59.4%)と「悠々自適の生活」(54.3%)が特に高く、次いで「スポーツ活動」(23.2%)、「地域の人たちとの交流」(23.1%)、「地域貢献活動」(15.3%)、「農業・林業を始める」(13.4%)の順で続いている。



【年齢別比較】

年齢別にみると、いずれの年齢でも「趣味を楽しむ」「悠々自適の生活」が高くなっている。
項目別にみると、「スポーツ活動」は若い年代ほど高くなる傾向がみられ、「地域の人たちとの交流」は50歳以上の年代が、「地域貢献活動」では50～59歳が高くなっている。

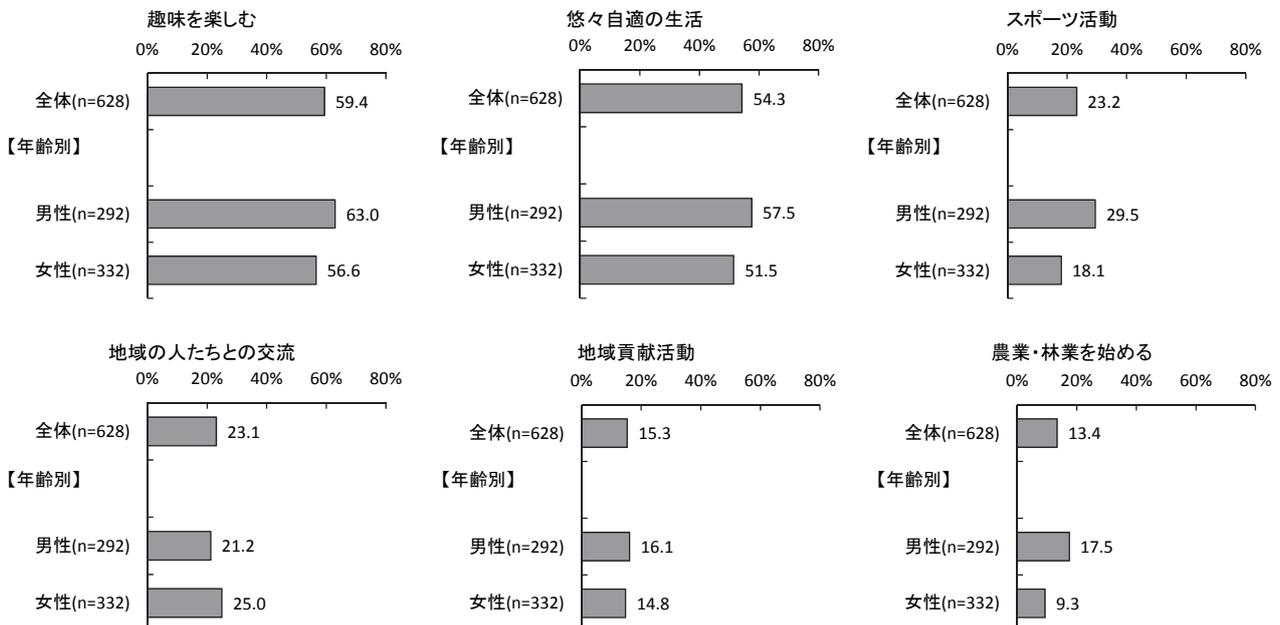
■移住先でしたいこと〈年齢別：上位6項目〉



【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「趣味を楽しむ」「悠々自適の生活」が高くなっている。
項目別にみると、「地域の人たちとの交流」では女性が、そのほかでは男性が高くなっている。

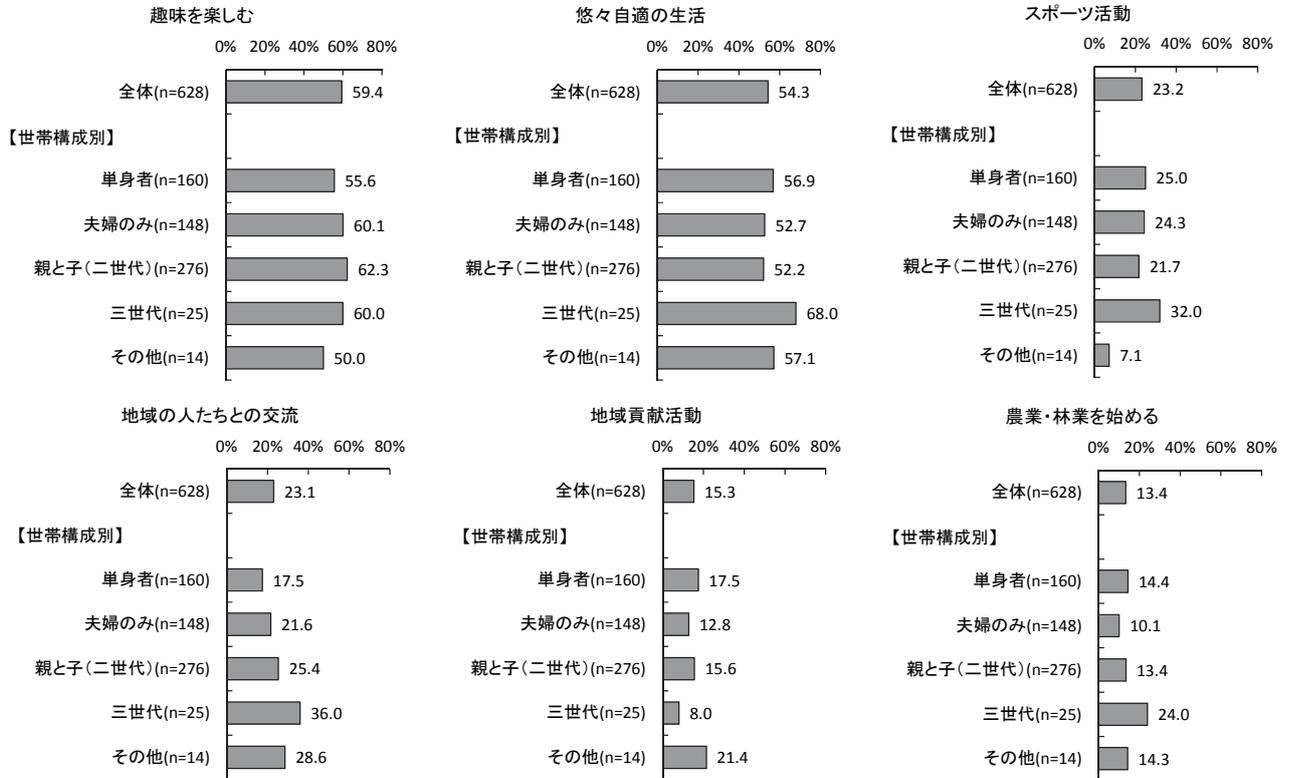
■移住先でしたいこと〈男女別：上位6項目〉



【世帯構成別比較】

いずれの世帯構成でも「趣味を楽しむ」「悠々自適の生活」が高くなっている。

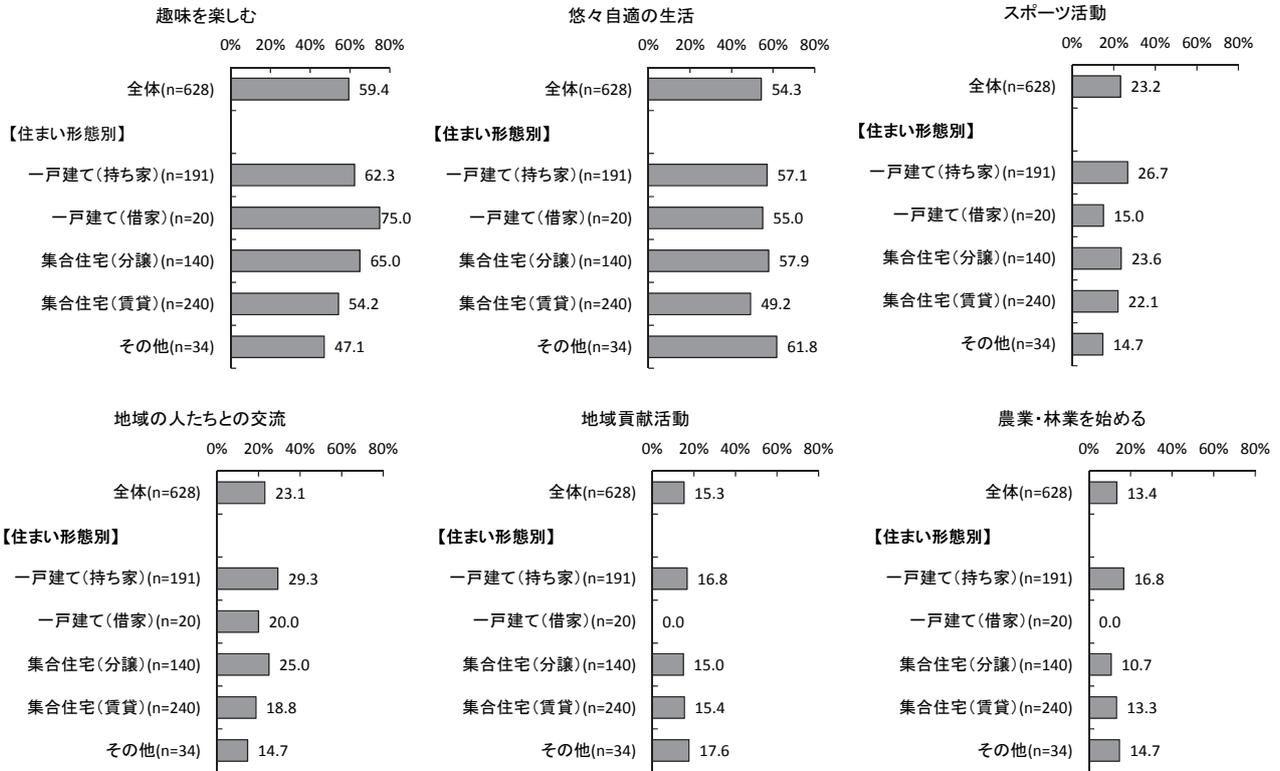
■ 移住先でしたいこと〈世帯構成別：上位6項目〉



【住まい形態別比較】

住まい形態別では大きな差はみられない。

■ 移住先でしたいこと〈住まい形態別：上位6項目〉

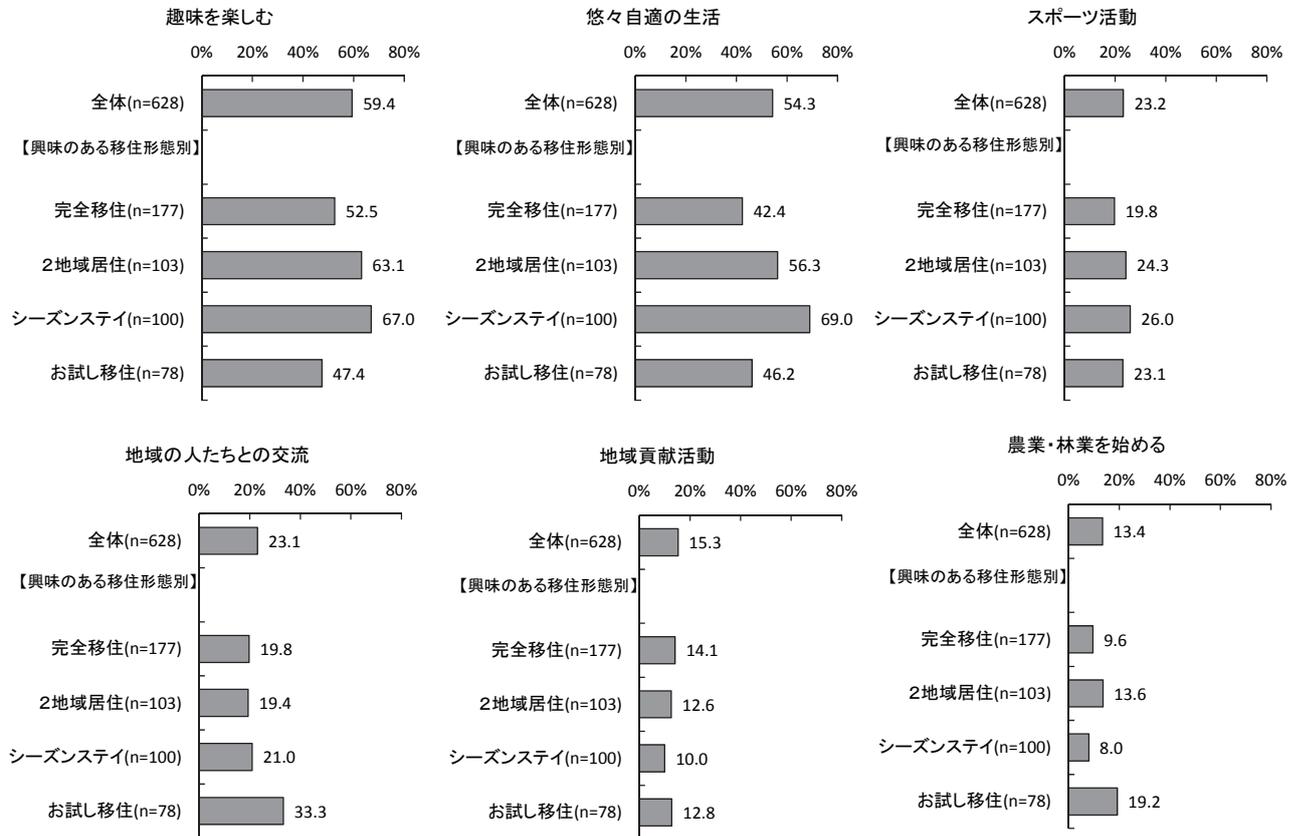


【興味のある移住形態別比較】

興味のある移住形態別にみると、シーズステイは「悠々自適の生活」が最も高く、そのほかの移住形態では「趣味を楽しむ」が最も高くなっている。

項目別にみると、「趣味を楽しむ」「悠々自適の生活」は2地域居住、シーズステイが高く、「地域の人たちとの交流」「農業・林業を始める」ではお試し移住が最も高くなっている。

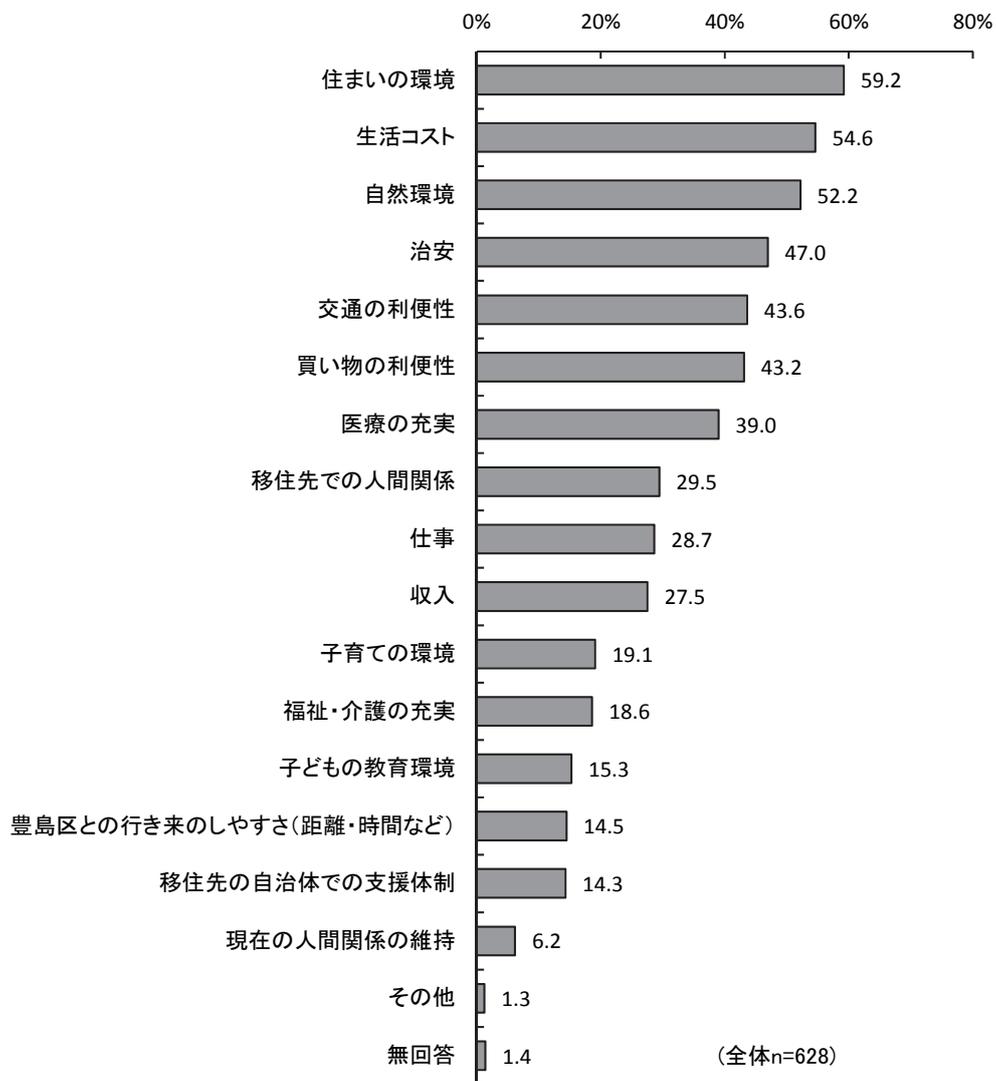
■移住先でしたいこと〈興味のある移住形態別：上位6項目〉



(10) 地方への移住を検討する上で重視する点：問 31

“移住してみたい”と回答した人に、地方への移住を検討する上で重視する点を聞いたところ、「住まいの環境」が59.2%と最も高く、次いで「生活コスト」(54.6%)、「自然環境」(52.2%)、「治安」(47.0%)、「交通の利便性」(43.6%)、「買い物の利便性」(43.2%)の順で続いている。

■地方への移住を検討する上で重視する点（あてはまるものすべて）

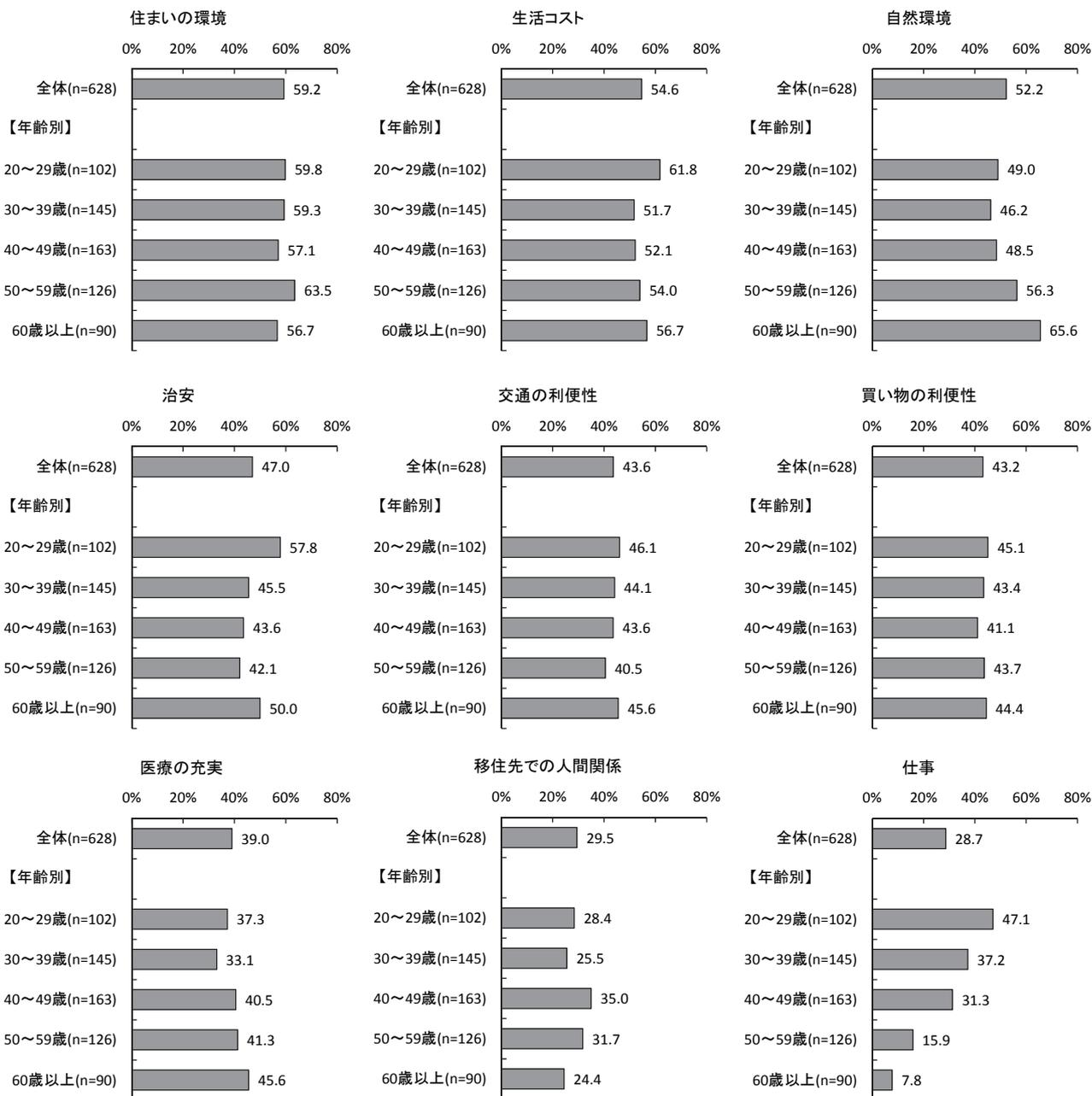


【年齢別比較】

年齢別にみると、20～29歳では「生活コスト」、30～59歳の各年代では「住まいの環境」、60歳以上では「自然環境」が最も高くなっている。

項目別にみると、「自然環境」は年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、「仕事」は若い年代ほど高い傾向がみられる。

■地方への移住を検討する上で重視する点〈年齢別：上位9項目〉

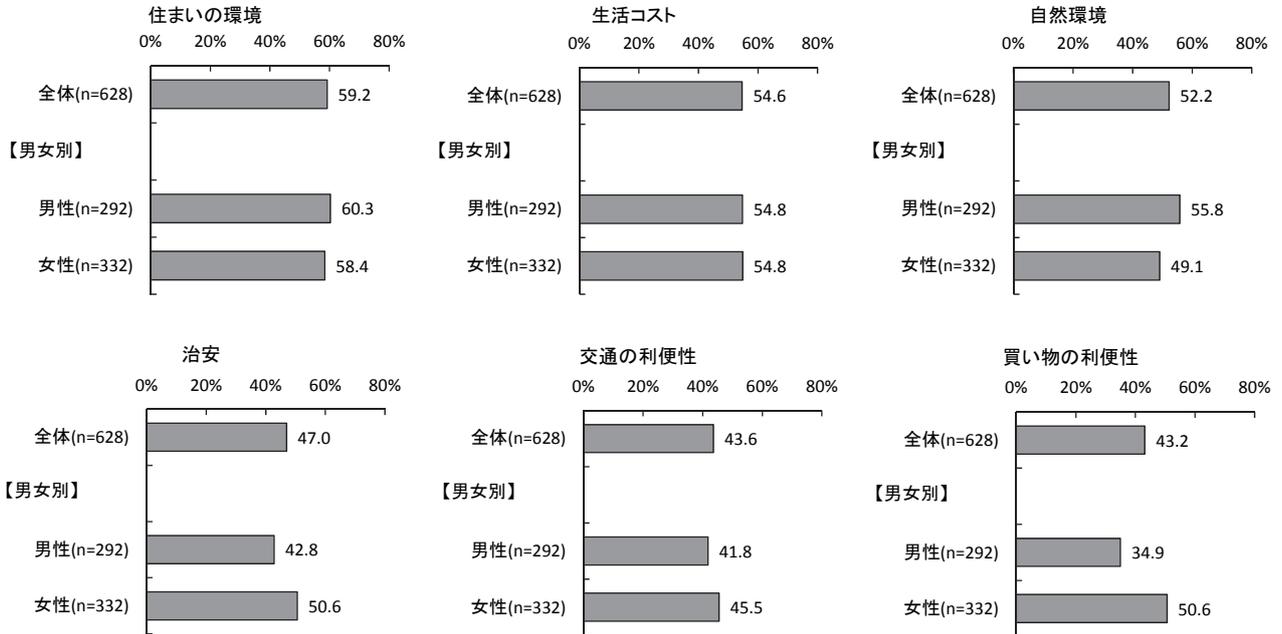


【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「住まいの環境」が最も高くなっている。

項目別にみると、「自然環境」は男性が高く、「治安」「買い物の利便性」は女性の方が高くなっている。

■地方への移住を検討する上で重視する点〈男女別：上位6項目〉

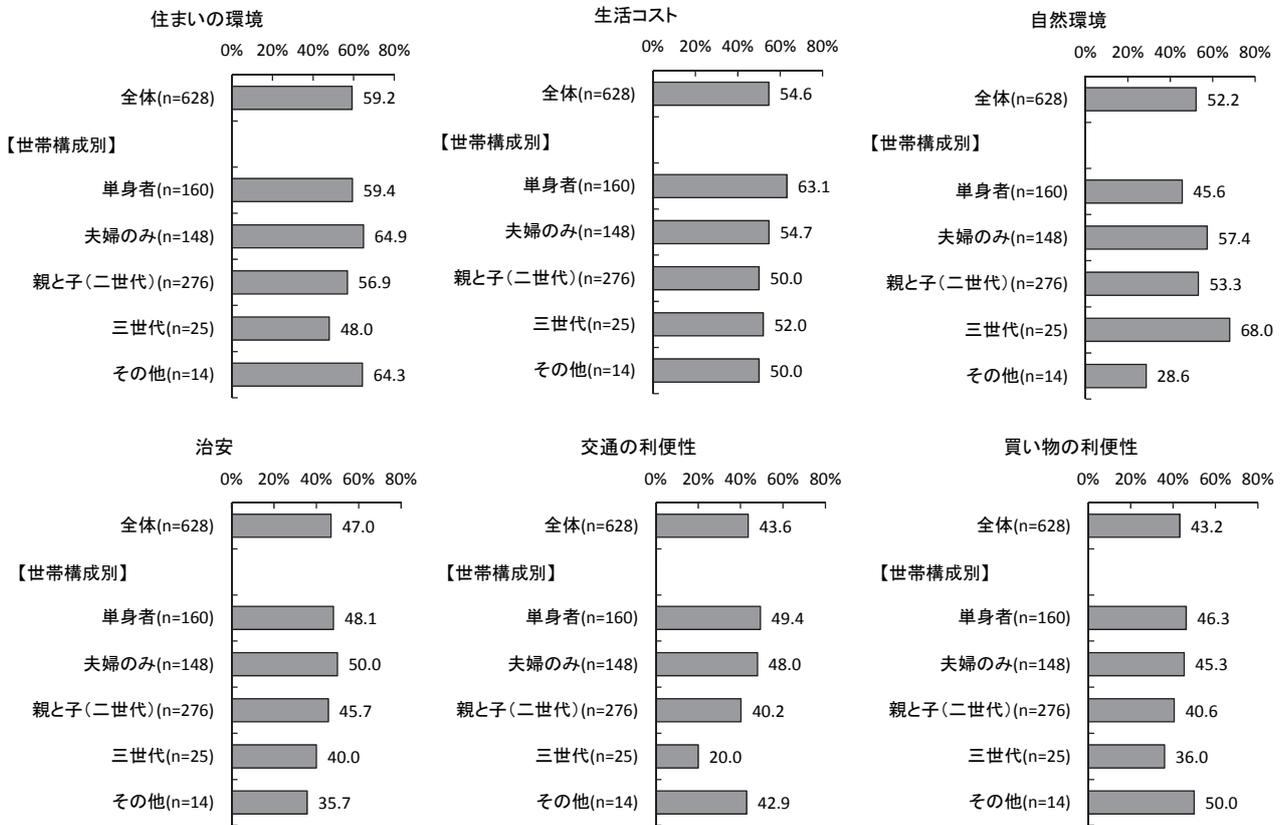


【世帯構成別比較】

世帯構成別にみると、単身者は「生活コスト」が最も高く、夫婦のみ、親と子（二世帯）は「住まいの環境」が最も高くなっている。

項目別にみると、「住まいの環境」は夫婦のみが、「生活コスト」では単身者がやや高くなっている。

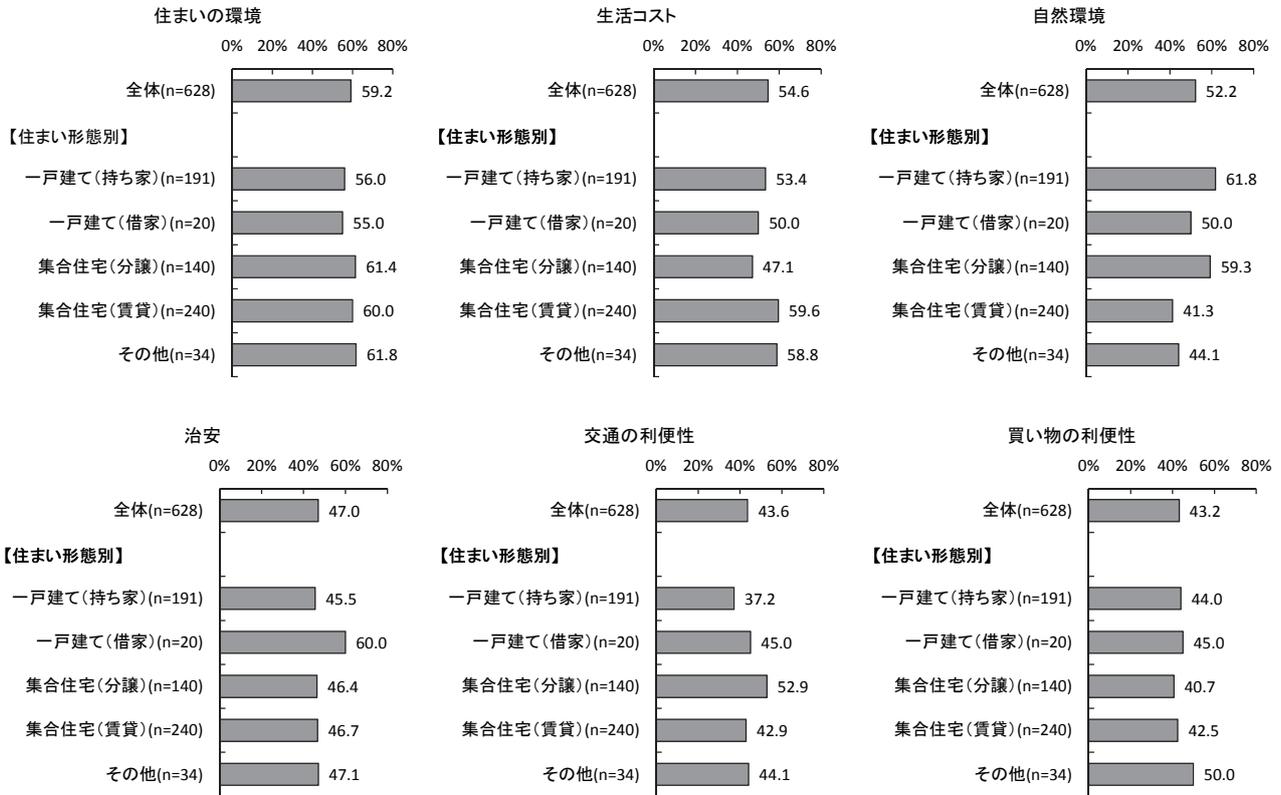
■ 地方への移住を検討する上で重視する点（世帯構成別：上位6項目）



【住まい形態別比較】

住まい形態別では大きな差はみられない。

■地方への移住を検討する上で重視する点〈住まい形態別：上位6項目〉

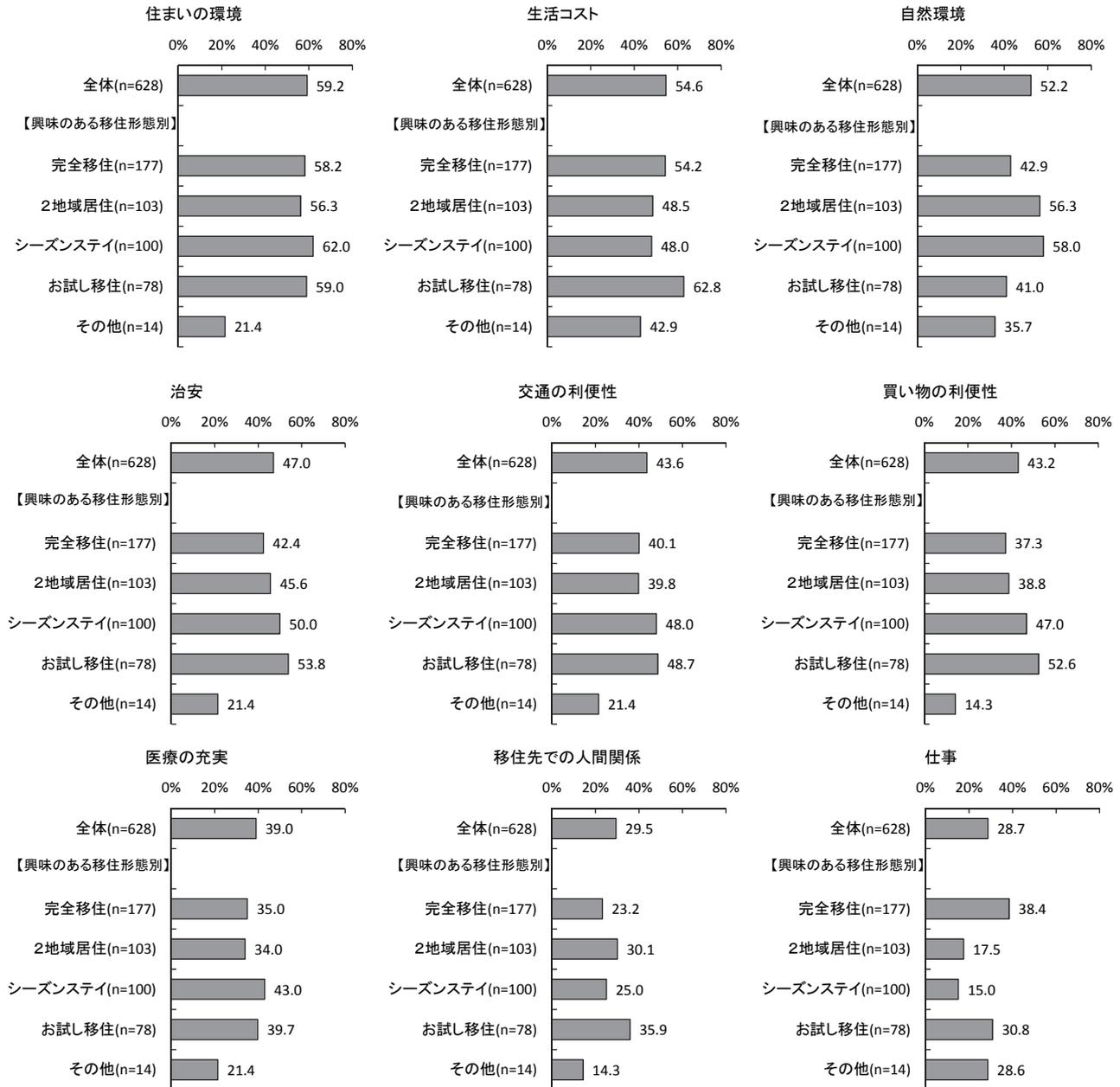


【興味のある移住形態別比較】

興味のある移住形態別にみると、完全移住、シーズンステイは「住まいの環境」が最も高く、お試し移住は「生活コスト」が最も高くなっている。2地域居住では「住まいの環境」と「自然環境」の2つが高くなっている。

項目別にみると、「自然環境」は2地域居住、シーズンステイが高く、「生活コスト」「買い物の利便性」「移住先での人間関係」ではお試し移住がやや高くなっている。

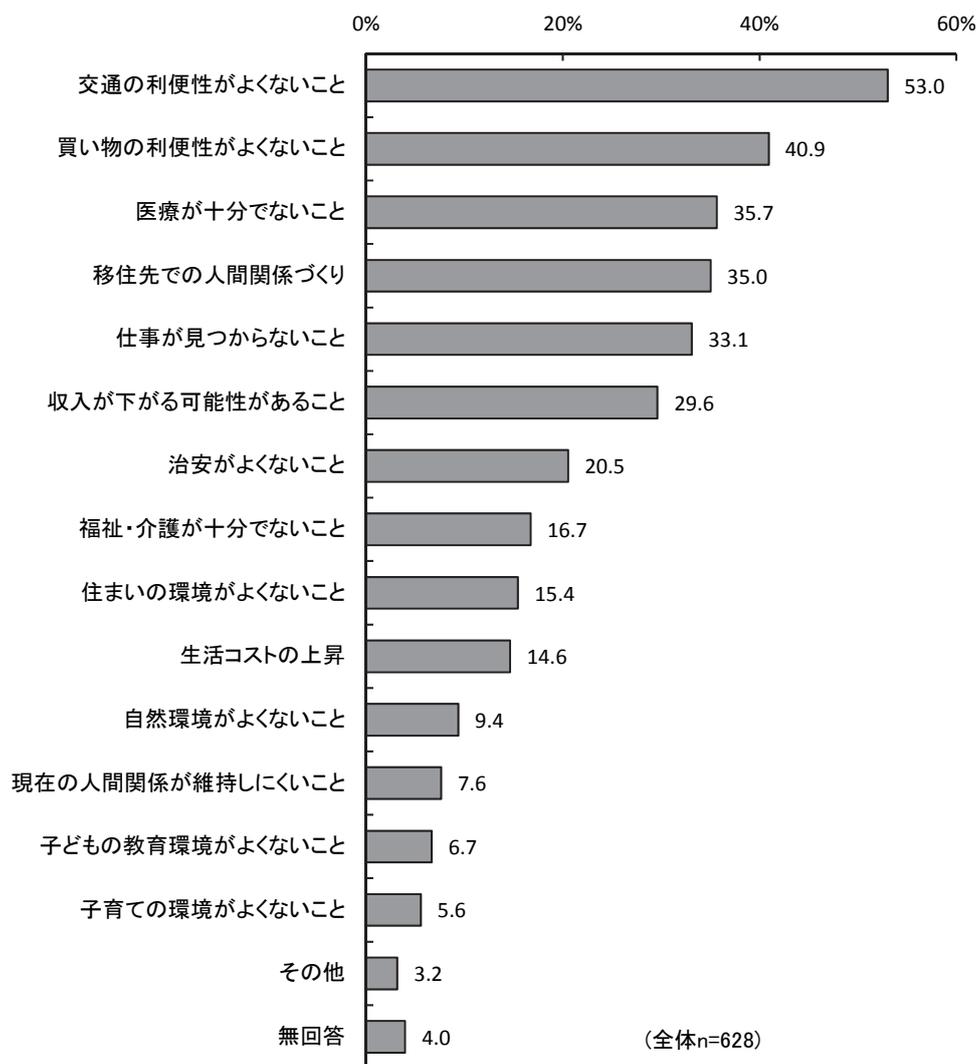
■地方への移住を検討する上で重視する点〈興味のある移住形態別：上位9項目〉



(11) 地方に移住する場合に不安に思うこと：問 32

“移住してみたい”と回答した人に、地方に移住する場合に不安に思うことを聞いたところ、「交通の利便性がよくないこと」が53.0%と最も高く、次いで「買い物の利便性がよくないこと」(40.9%)、「医療が十分でないこと」(35.7%)、「移住先での人間関係づくり」(35.0%)、「仕事が見つからないこと」(33.1%)、「収入が下がる可能性があること」(29.6%)の順で続いている。

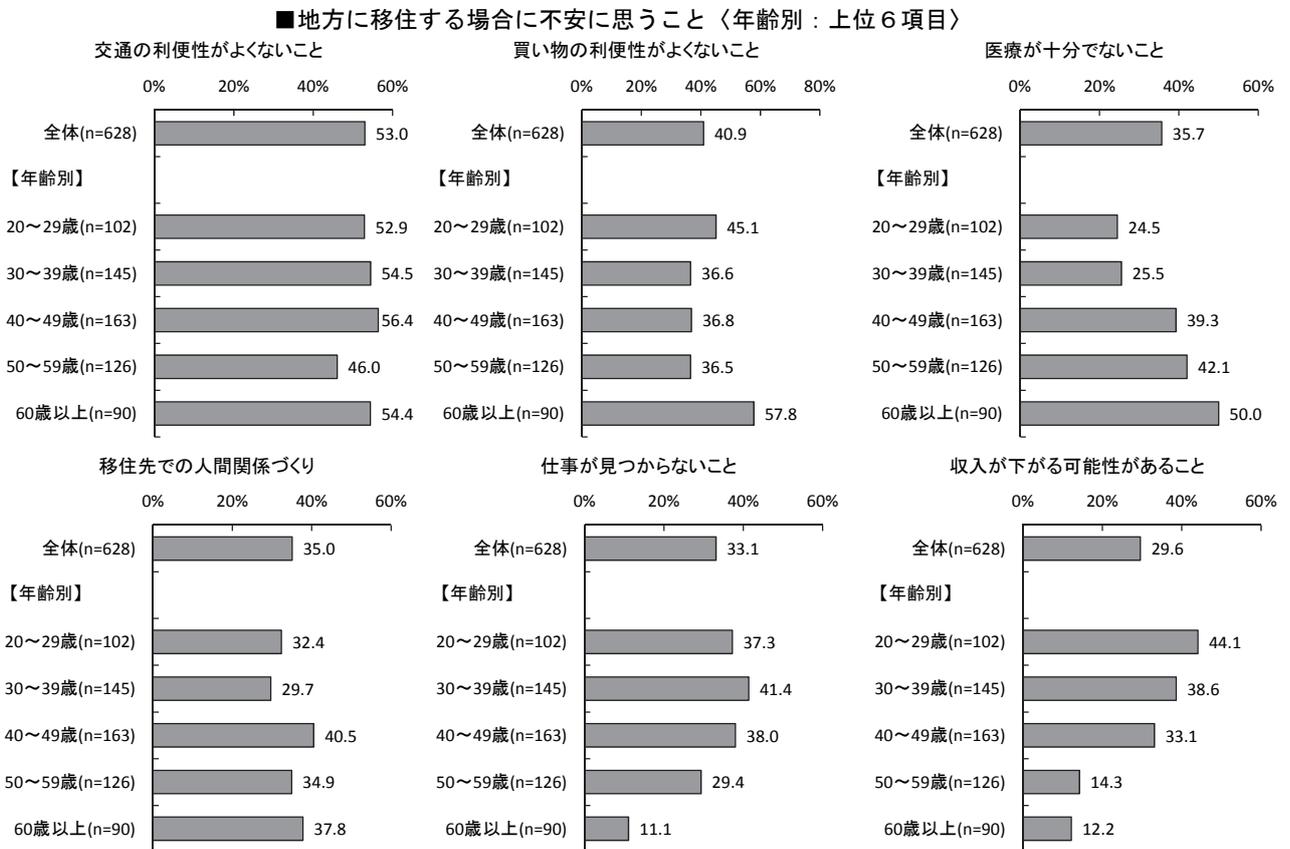
■ 地方に移住する場合に不安に思うこと（あてはまるものすべて）



【年齢別比較】

年齢別にみると、いずれの年齢でも「交通の利便性がよくないこと」が高くなっている。

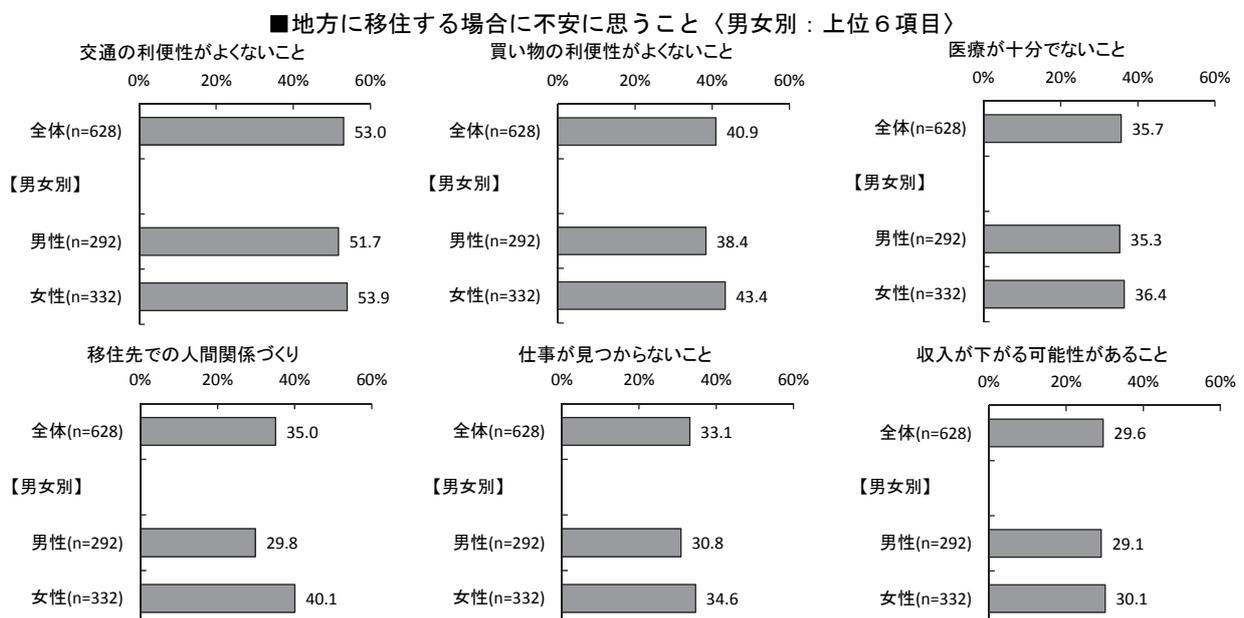
項目別にみると、「買い物の利便性がよくないこと」は60歳以上で特に高く57.8%となっている。「医療が十分でないこと」は年齢が上がるほど高くなり、「仕事が見つからないこと」「収入が下がる可能性があること」は若い年代ほど高くなる傾向がみられる。



【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「交通の利便性がよくないこと」が最も高くなっている。

項目別にみると、いずれの項目でも女性の方がやや高い傾向にあり、特に「移住先での人間関係づくり」での差が大きくなっている。

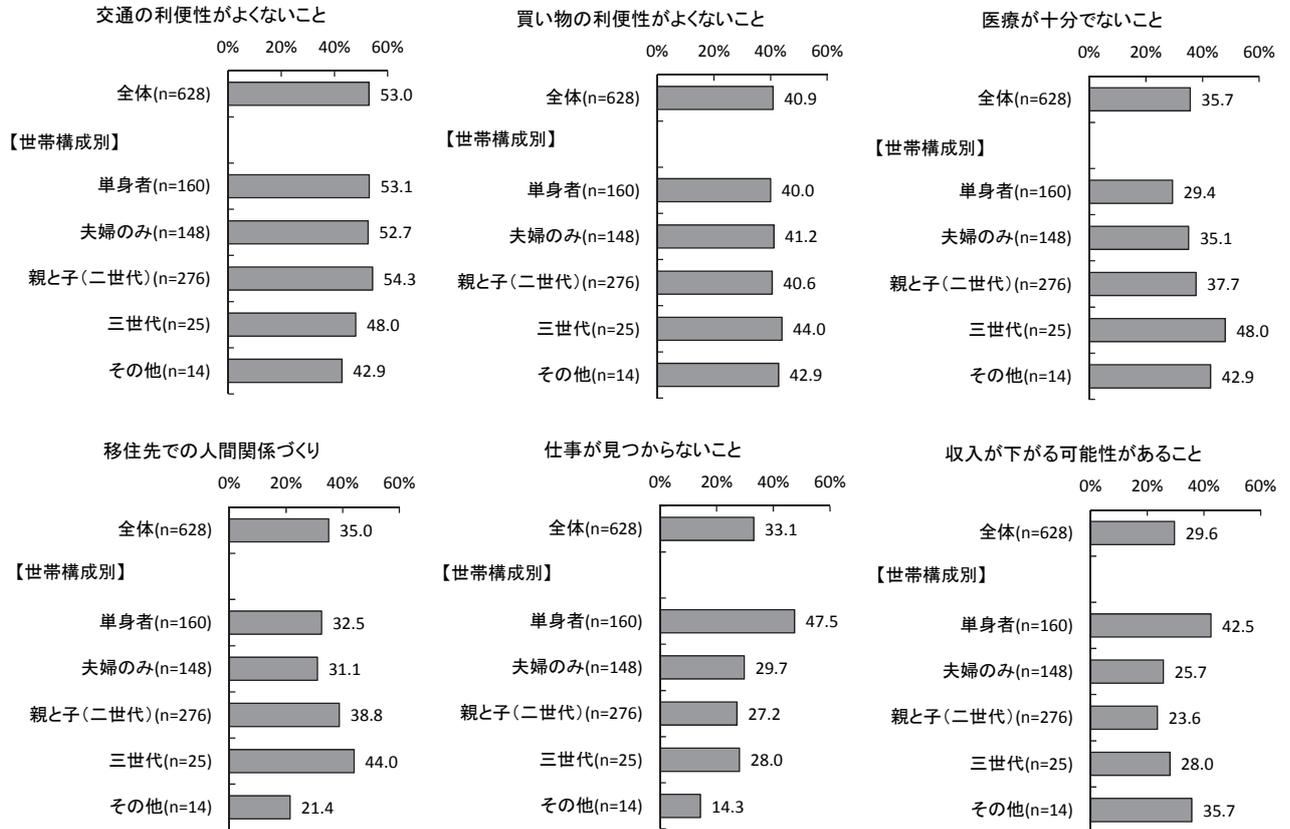


【世帯構成別比較】

世帯構成別にみると、単身者、夫婦のみ、親と子（二世帯）は「交通の利便性がよくないこと」が最も高くなっている。

項目別にみると、「仕事が見つからないこと」「収入が下がる可能性があること」は単身者が最も高くなっている。

■地方に移住する場合に不安に思うこと〈世帯構成別：上位6項目〉

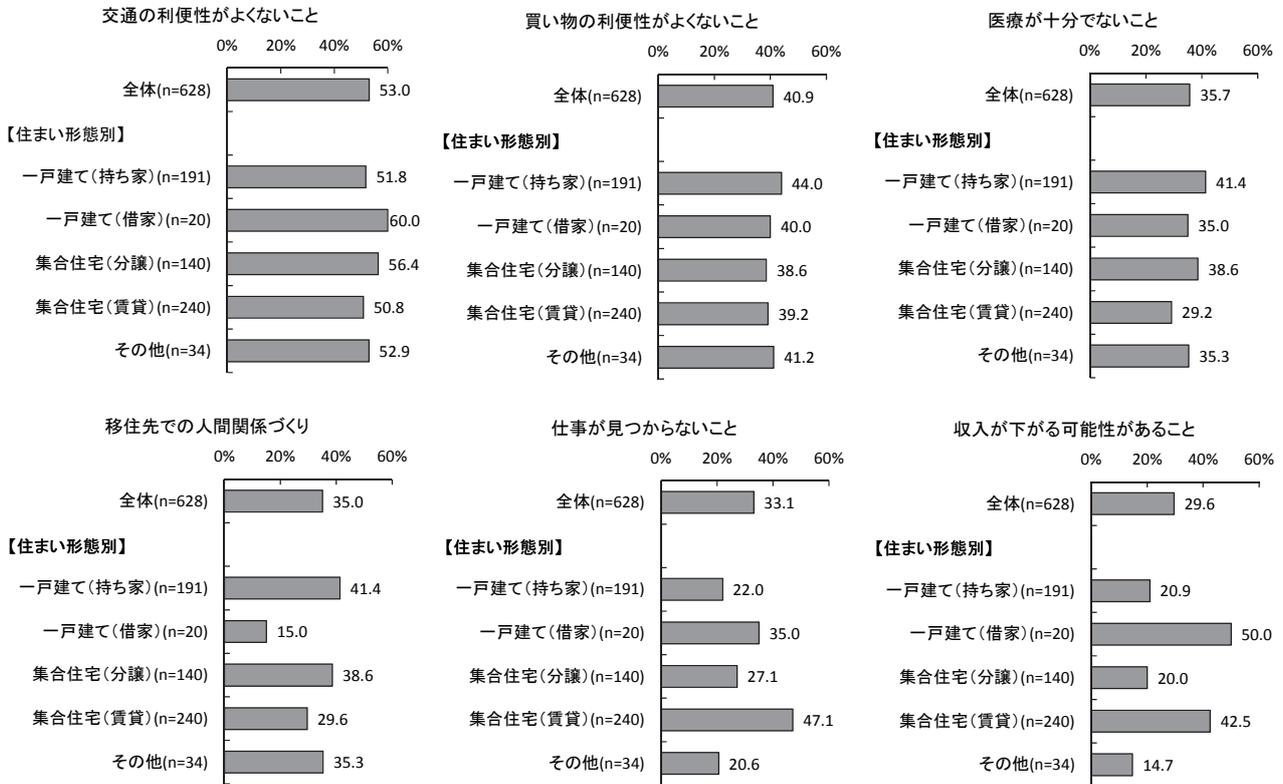


【住まい形態別比較】

住まい形態別にみると、いずれの住まい形態においても「交通の利便性がよくないこと」が最も高くなっている。

項目別にみると、「仕事が見つからないこと」「収入が下がる可能性があること」は持ち家や分譲の人よりも借家や賃貸の人の方が高い傾向がみられる。

■地方に移住する場合に不安に思うこと〈住まい形態別：上位6項目〉

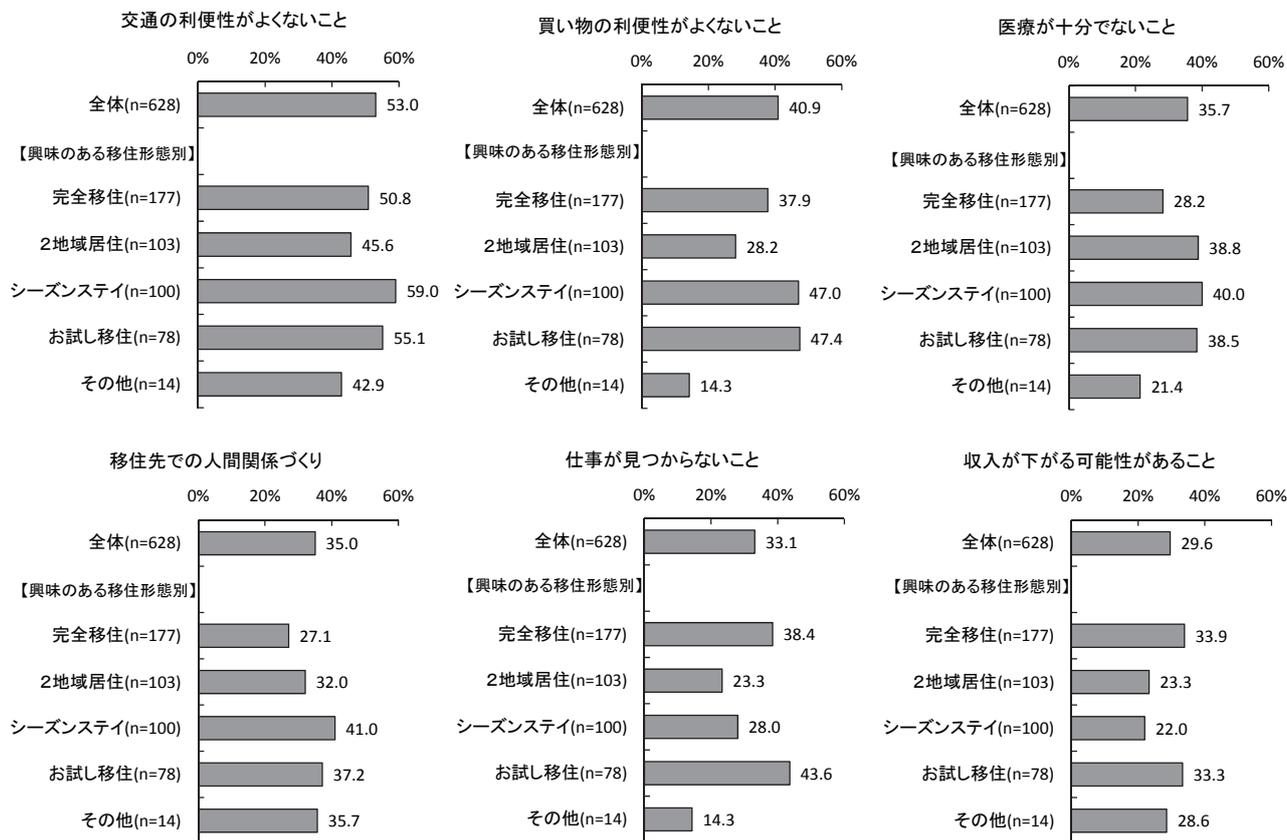


【興味のある移住形態別比較】

興味のある移住形態別にみると、いずれの移住形態においても「交通の利便性がよくないこと」が最も高くなっている。

項目別にみると、「買い物の利便性がよくないこと」はシーズンステイ、お試し移住が高く、「仕事が見つからないこと」「収入が下がる可能性があること」は完全移住、お試し移住で高い。また、「移住先での人間関係づくり」はシーズンステイが最も高くなっている。

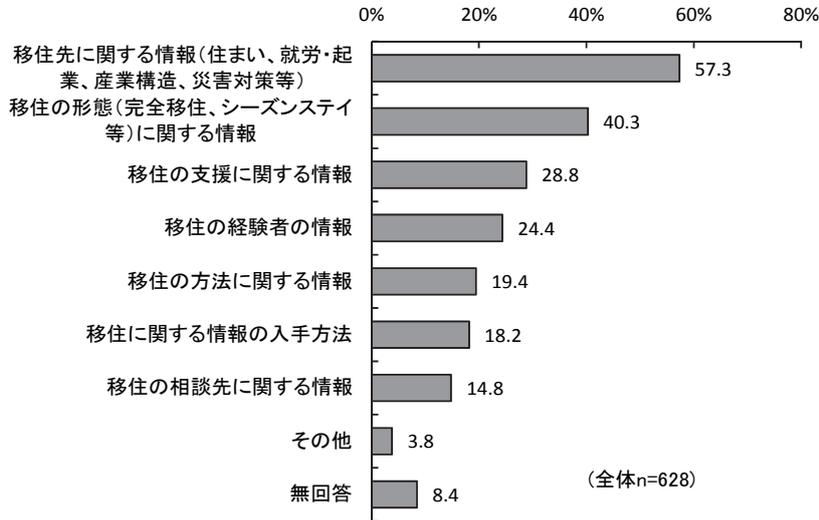
■地方に移住する場合に不安に思うこと（興味のある移住形態別：上位6項目）



(12) 地方への移住を検討する上で特に知りたい点：問 33

“移住してみたい”と回答した人に、地方への移住を検討する上で特に知りたい点を聞いたところ、「移住先に関する情報（住まい、就労・起業、産業構造、災害対策等）」が57.3%と最も高く、次いで「移住の形態（完全移住、シーズンステイ等）に関する情報」（40.3%）、「移住の支援に関する情報」（28.8%）、「移住の経験者の情報」（24.4%）の順で続いている。

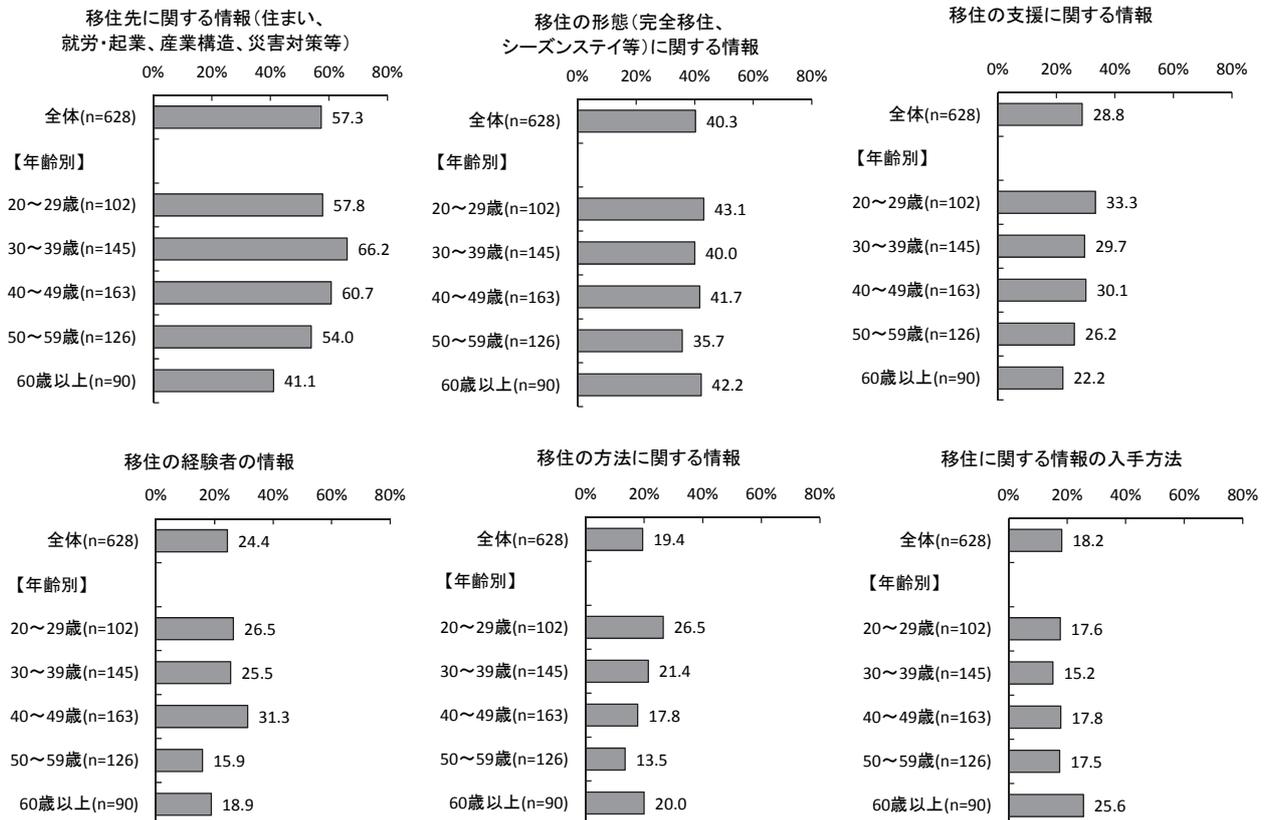
■地方への移住を検討する上で特に知りたい点（あてはまるものすべて）



【年齢別比較】

年齢別にみると、60歳以上では「移住先に関する情報」と「移住の形態に関する情報」がともに高く、そのほかの年代では「移住先に関する情報」が最も高くなっている。項目別にみると、多くの項目で若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

■地方への移住を検討する上で特に知りたい点〈年齢別：上位6項目〉

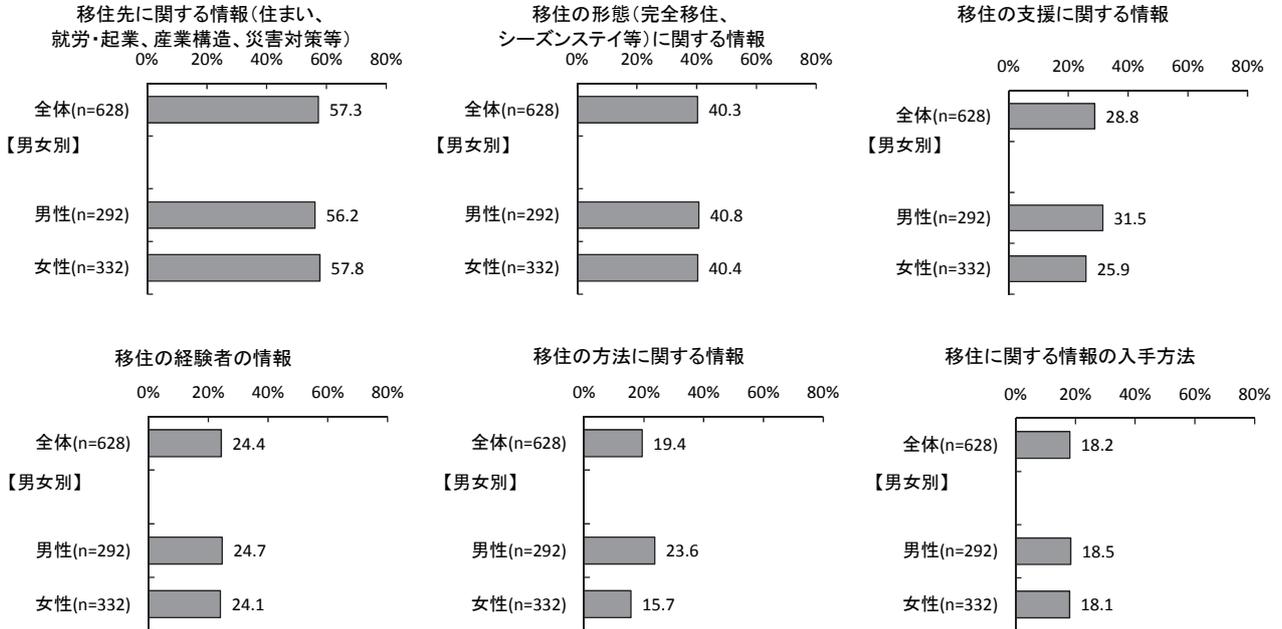


【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「移住先に関する情報」が最も高くなっている。

項目別にみると、「移住の支援に関する情報」「移住の方法に関する情報」で男性の方が高くなっている。

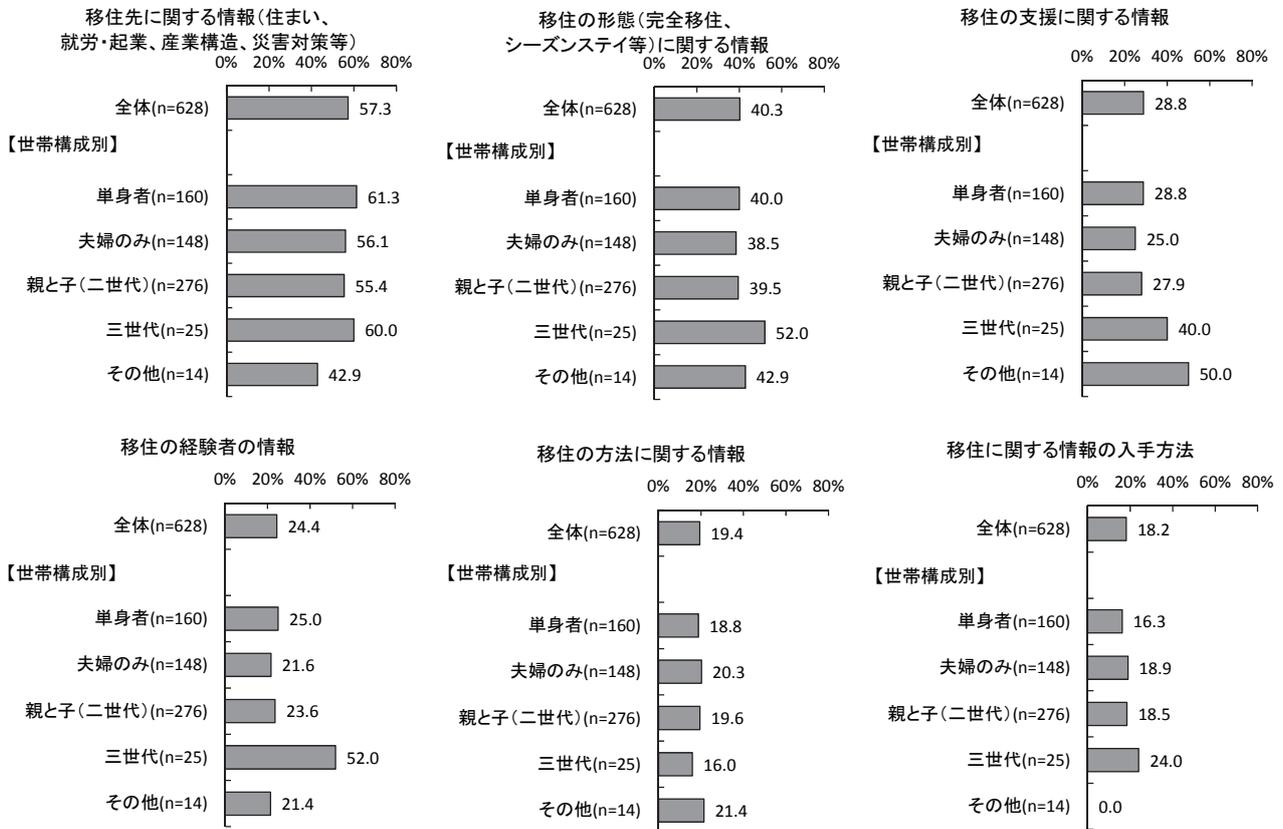
■地方への移住を検討する上で特に知りたい点〈男女別：上位6項目〉



【世帯構成別比較】

いずれの世帯構成においても「移住先に関する情報」が高くなっている。

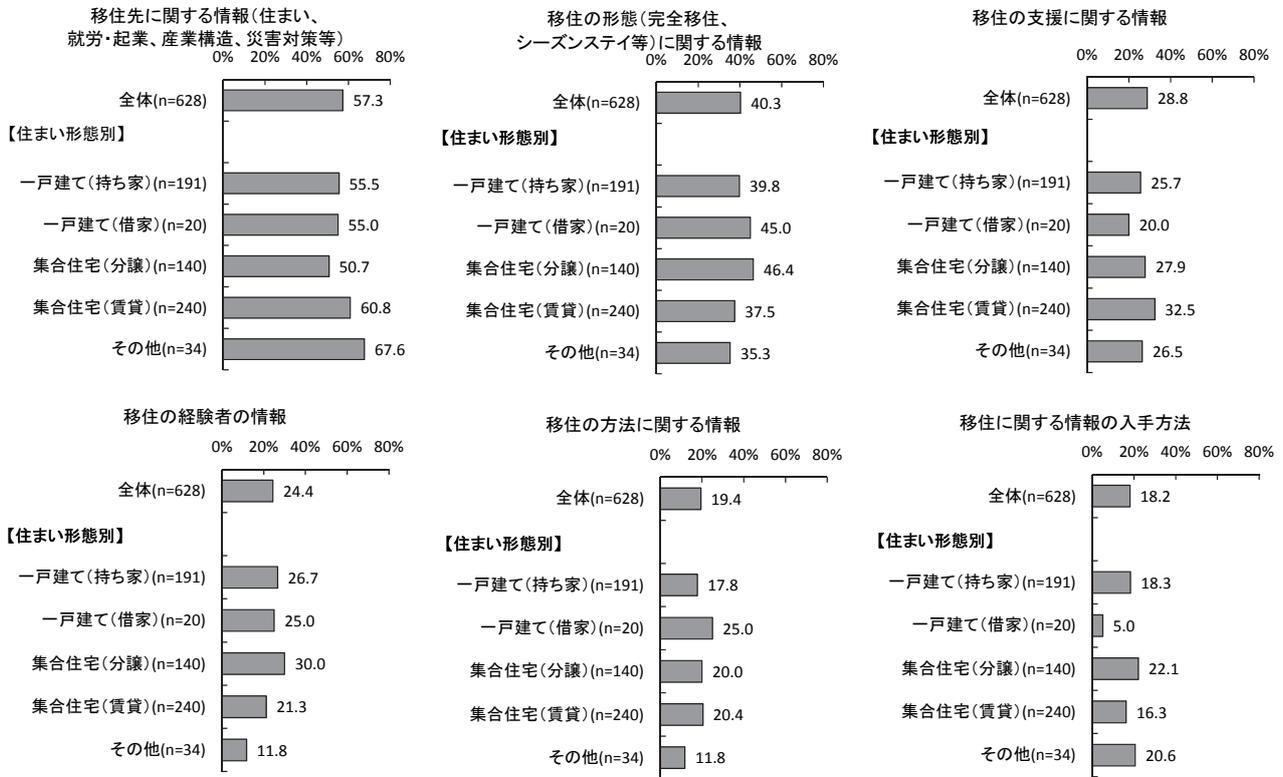
■地方への移住を検討する上で特に知りたい点〈世帯構成別：上位6項目〉



【住まい形態別比較】

住まい形態別では大きな差はみられない。

■地方への移住を検討する上で特に知りたい点〈住まい形態別：上位6項目〉

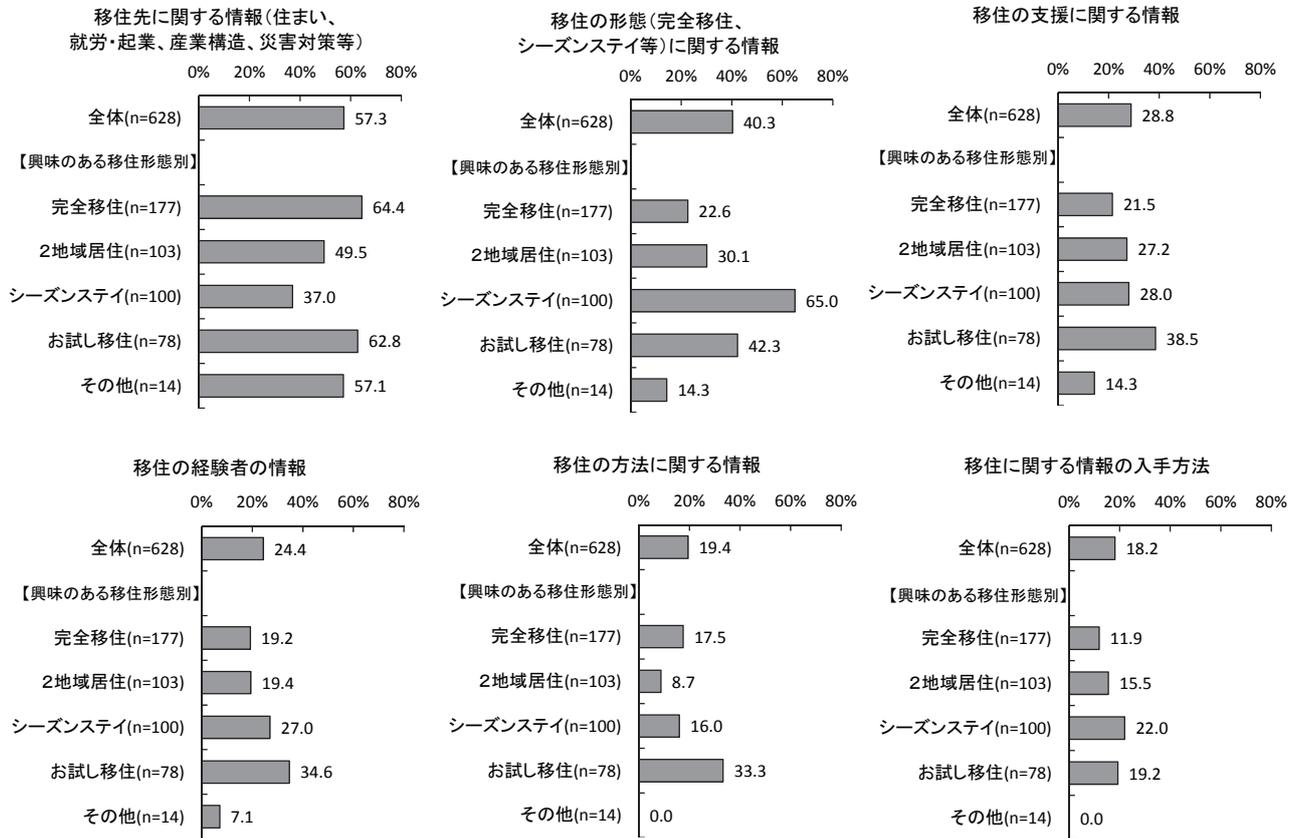


【興味のある移住形態別比較】

興味のある移住形態別にみると、シーズステイは「移住の形態に関する情報」が最も高く、そのほかの移住形態では「移住先に関する情報」が最も高くなっている。

項目別にみると、「移住の支援に関する情報」「移住の経験者の情報」「移住の方法に関する情報」は、お試し移住が最も高くなっている。

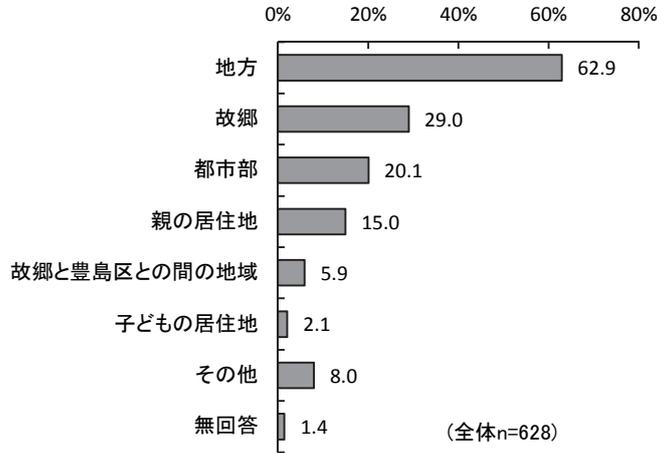
■地方への移住を検討する上で特に知りたい点〈興味のある移住形態別：上位6項目〉



(13) 移住先として良いと考える場所：問 34

“移住してみたい”と回答した人に、もし移住を検討するなら、どのような場所が良いと考えるかを聞いたところ、「地方」が62.9%と最も高く、次いで「故郷」(29.0%)、「都市部」(20.1%)、「親の居住地」(15.0%)の順で続いている。

■移住先として良いと考える場所（あてはまるものすべて）

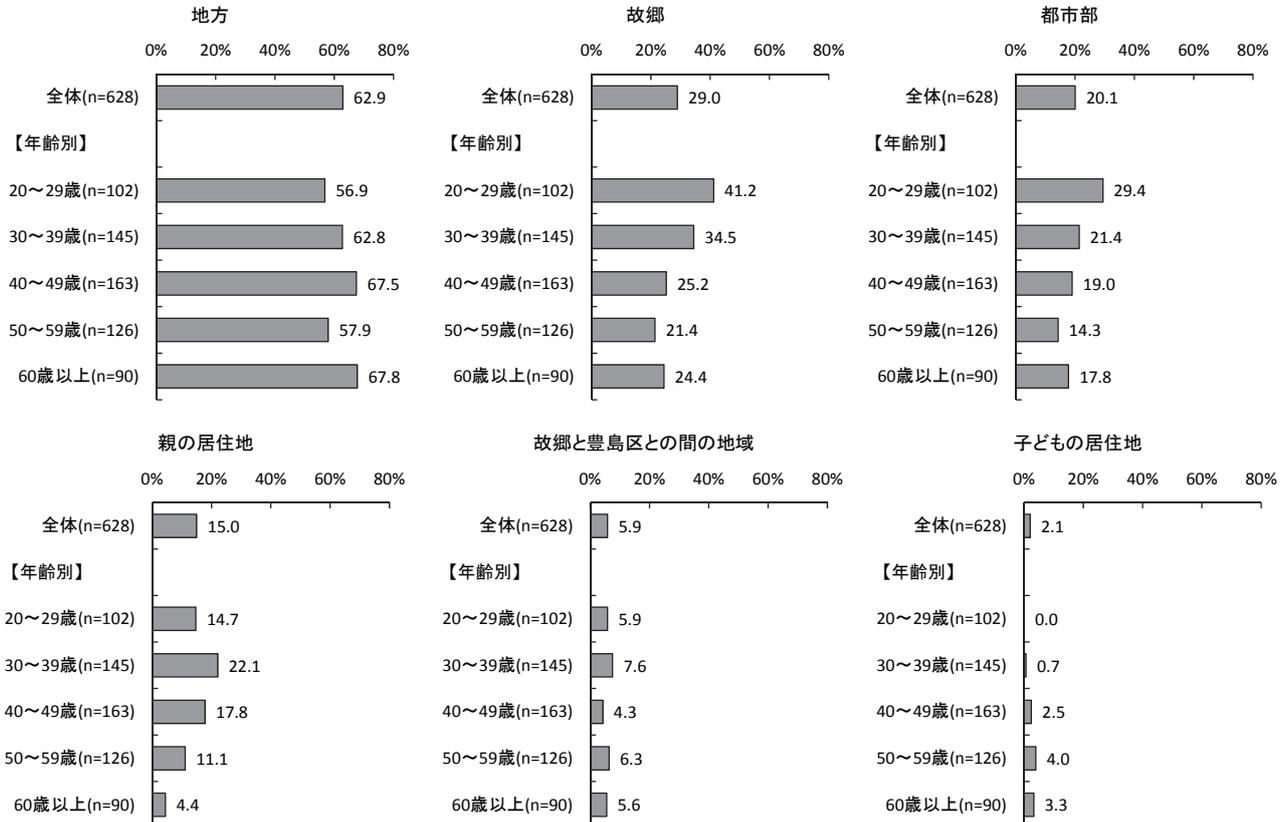


【年齢別比較】

年齢別にみると、いずれの年齢でも「地方」が最も高くなっている。

項目別にみると、「地方」は年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、「故郷」「都市部」「親の居住地」は若い年代で高い傾向がみられる。

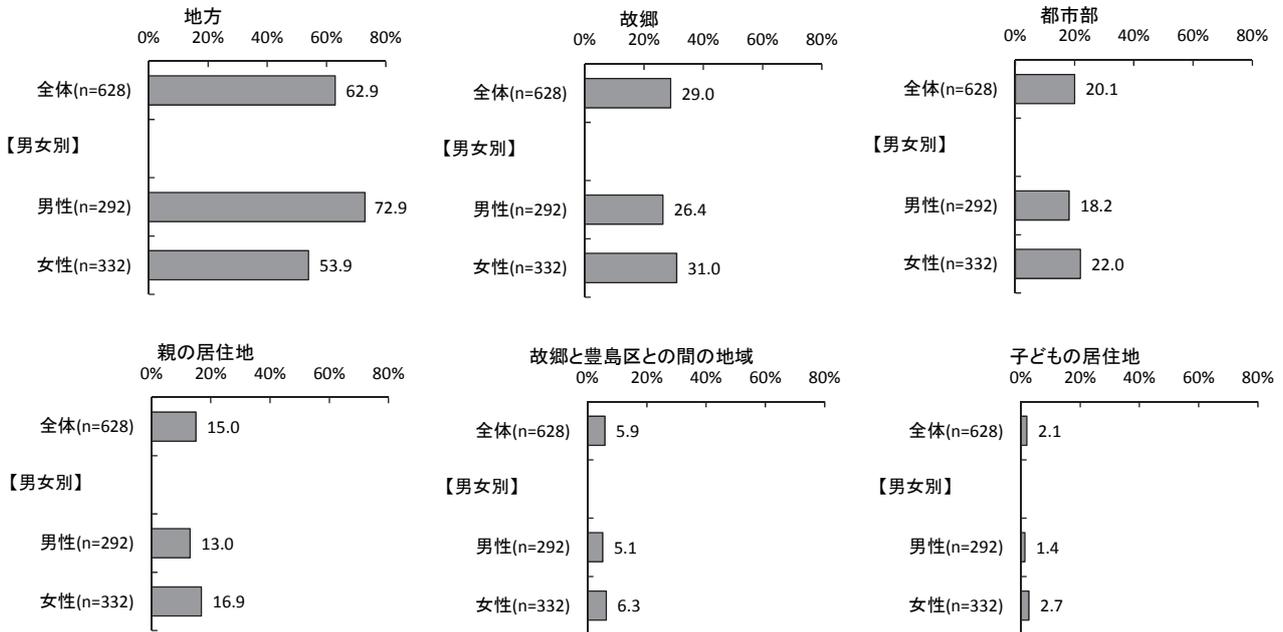
■移住先として良いと考える場所〈年齢別〉



【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「地方」が最も高く、特に男性は72.9%となっている。
項目別にみると、「地方」は男性が高く、そのほかの項目では女性がやや高くなっている。

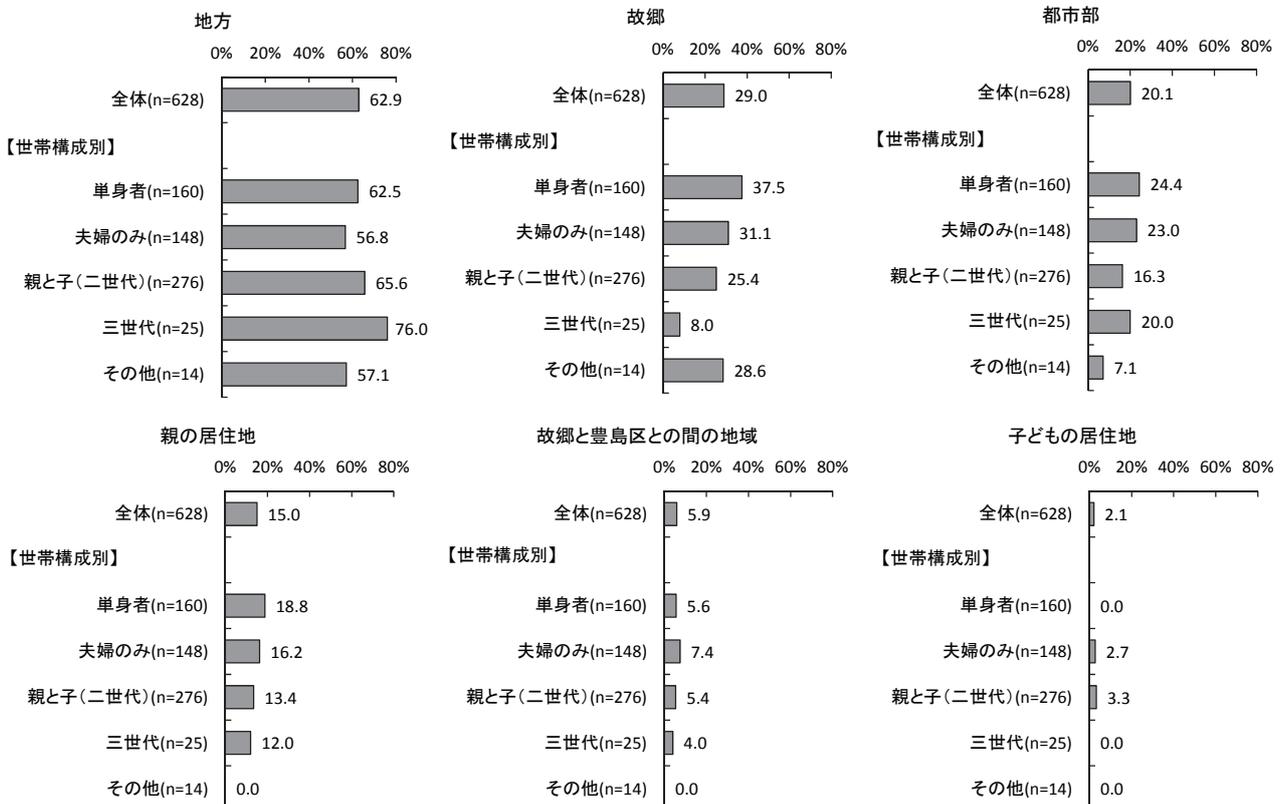
■移住先として良いと考える場所〈男女別〉



【世帯構成別比較】

世帯構成別にみると、いずれの世帯構成においても「地方」が最も高くなっている。
項目別にみると、「故郷」では単身者が最も高くなっている。

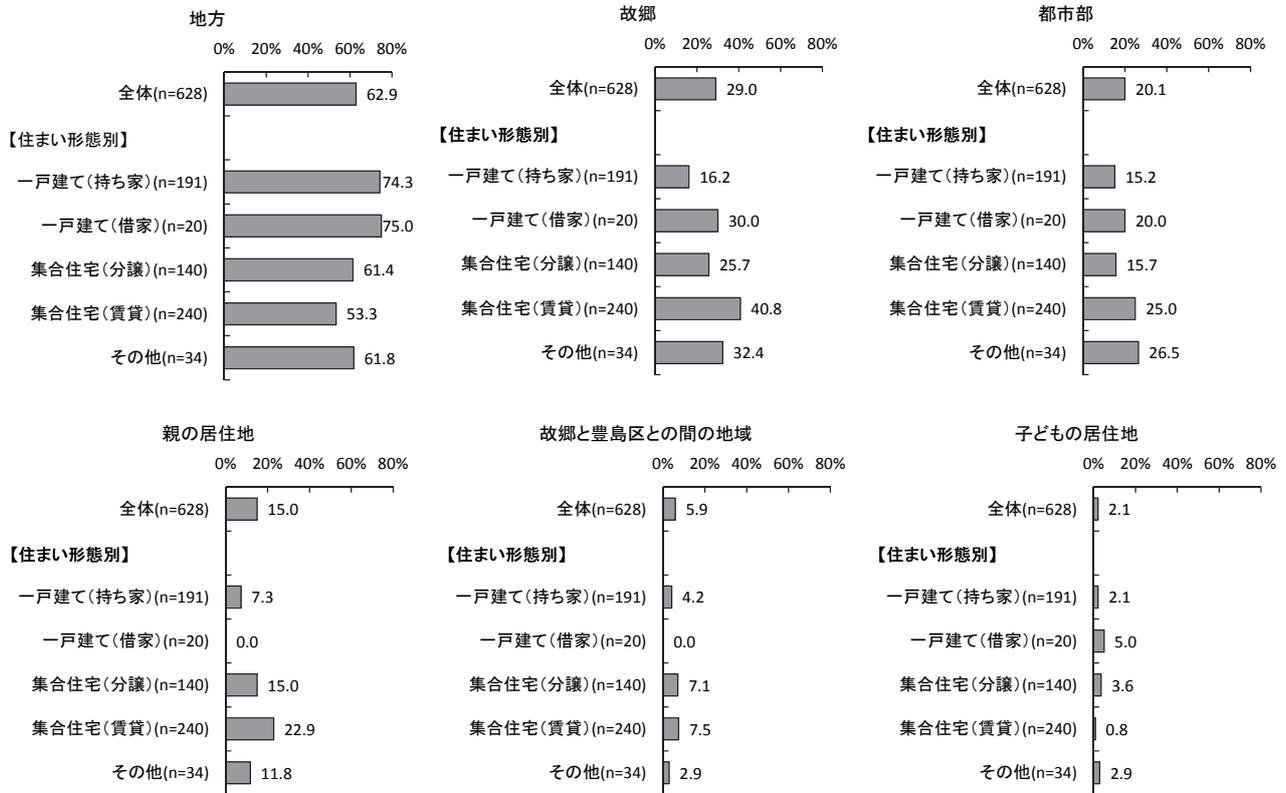
■移住先として良いと考える場所〈世帯構成別：上位6項目〉



【住まい形態別比較】

住まい形態別では大きな差はみられない。

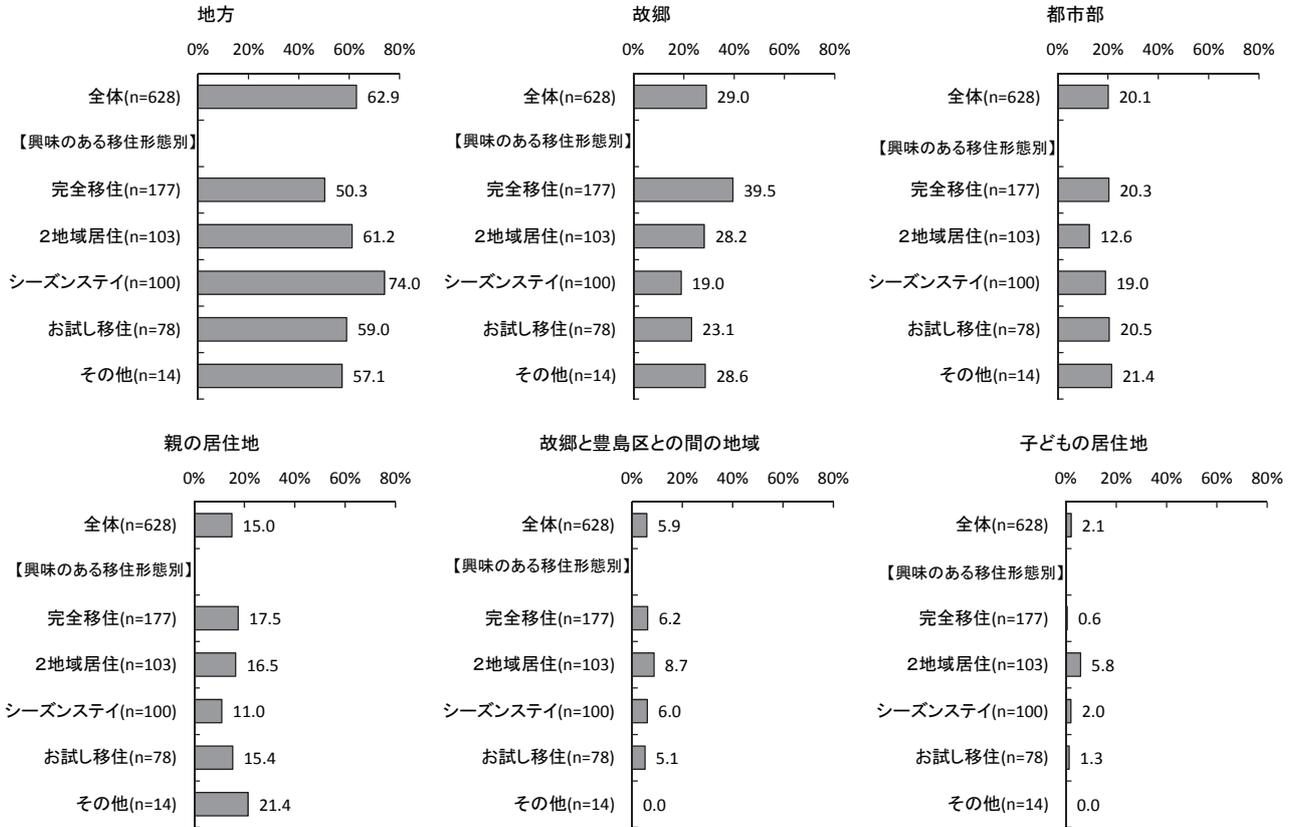
■ 移住先として良いと考える場所〈住まい形態別〉



【興味のある移住形態別比較】

興味のある移住形態別にみると、いずれの移住形態においても「地方」が最も高くなっている。項目別にみると、「地方」はシーズンステイが最も高く、「故郷」は完全移住が最も高くなっている。

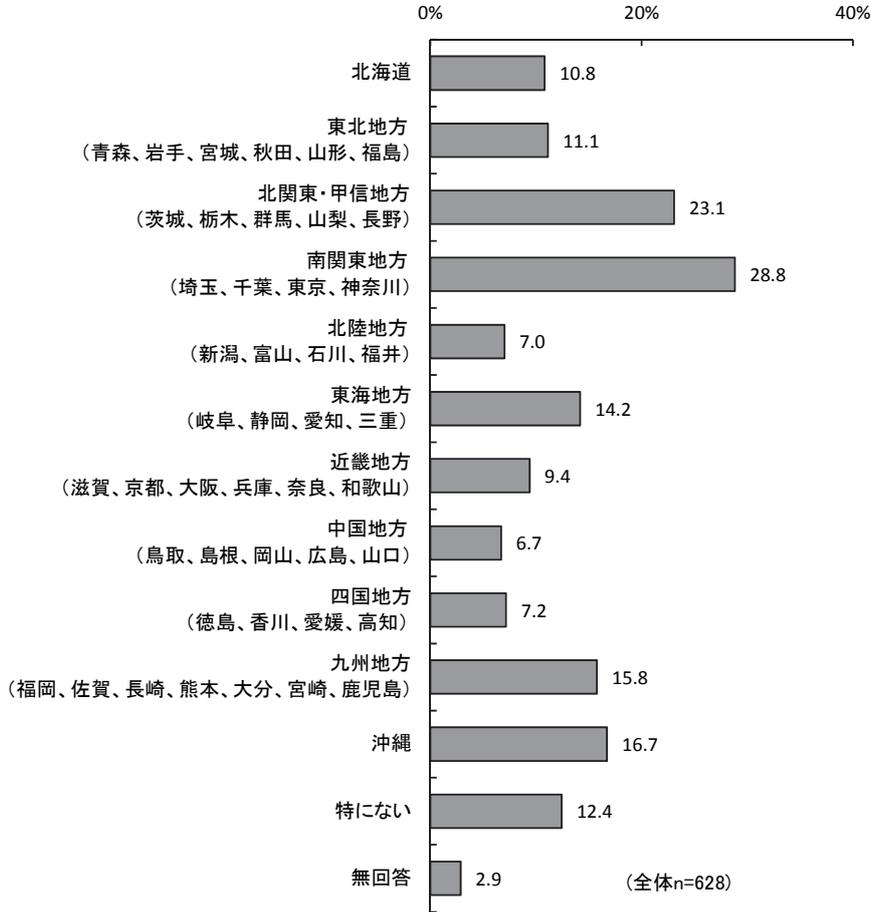
■ 移住先として良いと考える場所〈興味のある移住形態別：上位6項目〉



(14) 移住先として良いと考える地域：問 35

“移住してみたい”と回答した人に、もし移住を検討するなら、どの地域が良いと考えるかを聞いたところ、「南関東地方」が28.8%と最も高く、次いで「北関東・甲信地方」(23.1%)、「沖縄」(16.7%)、「九州地方」(15.8%)の順で続いている。

■移住先として良いと考える地域（あてはまるものすべて）



具体的に記入のあった地名は以下のとおり。

■移住先として良いと考える地域（具体的な回答）

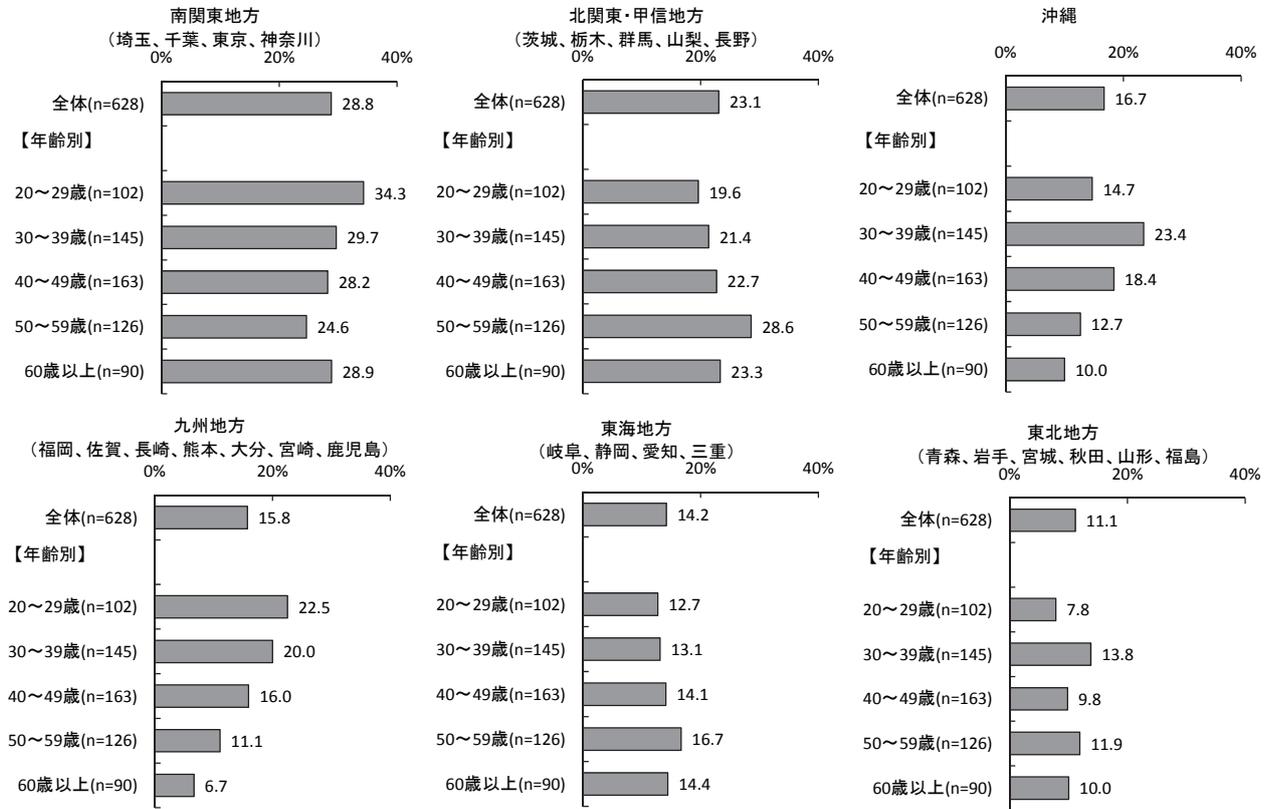
地方	回答
北海道	札幌市 (17件)、旭川市 (3件)、釧路市 (2件)、函館市、帯広市、夕張市、富良野市、美瑛町、新得町富村牛地区、都市部に近い郊外 (各1件)
東北地方	青森県 (2件)、青森市 (1件) / 岩手県 (7件)、盛岡市 (2件)、北上市、岩泉町、岩手三陸、岩手南側 (各1件) / 秋田県 (3件) / 山形県 (2件) / 福島県 (3件)、福島市、会津若松市、いわき市、喜多方市、南相馬市、伊達市、猪苗代町、会津地方 (各1件)
北関東・甲信地方	茨城県 (8件)、石岡市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、常陸大宮市 (各1件) / 栃木県 (9件)、宇都宮市、那須、西那須 (各1件) / 群馬県 (11件)、前橋市、高崎市 (各3件) / 山梨県 (12件)、甲府市 (3件)、富士吉田市、北社市 (各1件) / 長野県 (31件)、軽井沢町 (4件)、松本市 (3件)、佐久市、木曾町、信州、蓼科、八ヶ岳 (各1件)
南関東地方	埼玉県 (19件)、秩父市 (4件)、川越市、坂戸市 (各2件)、川口市、所沢市、飯能市、狭山市、越谷市、入間市、和光市、大宮 (各1件) / 千葉県 (20件)、南房総市 (2件)、館山市、我孫子市、外房 (各1件) / 東京都 (16件)、練馬 (2件)、新宿区、墨田区、板橋区、立川市、23区、茗荷谷、自由が丘、後楽園、山手線の内側の区、23区外、奥多摩、伊豆諸島 (各1件) / 神奈川県 (20件)、横浜市 (8件)、湘南地区 (5件)、鎌倉市 (3件)、川崎市、藤沢市、三浦市、葉山町、箱根町 (各2件)、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、神奈川県の海の近く (各1件)
北陸地方	新潟県 (11件)、新潟市 (2件)、長岡市、柏崎市、村上市、佐渡市、湯沢町、南魚沼郡 (各1件) / 富山県 (5件)、富山市 (1件) / 石川県 (5件)、金沢市 (5件) / 福井県 (3件)、鯖江市 (1件)
東海地方	岐阜県 (2件)、岐阜市 (1件) / 静岡県 (25件)、伊豆市 (6件)、静岡市、浜松市、熱海市 (各2件)、三島市、富士宮市、伊東市、御殿場市、東伊豆町 (各1件) / 愛知県 (11件)、名古屋市 (3件)、豊川市 (1件) / 三重県 (4件)
近畿地方	滋賀県 (3件)、大津市、滋賀県都市部 (各1件) / 京都府 (13件)、京都市 (3件)、亀岡市、京都四条 (各1件) / 大阪府 (8件)、高槻市、茨木市 (各2件)、大阪市、堺市、枚方市、八尾市 (各1件) / 兵庫県 (4件)、神戸市 (4件) / 奈良県 (5件) / 和歌山県 (3件)
中国地方	鳥取県 (1件)、米子市 (1件) / 島根県 (1件)、松江市、出雲市 (各1件) / 岡山県 (11件)、倉敷市 (1件) / 広島県 (8件) / 山口県 (3件)
四国地方	徳島県 (2件) / 香川県 (7件) / 愛媛県 (3件)、西条市 (2件) / 高知県 (3件)、四万十市 (1件)
九州地方	福岡県 (20件)、福岡市 (6件)、博多 (5件)、北九州市 (2件)、久留米市、太宰府市 (各1件) / 佐賀県 (1件) / 長崎県 (6件)、長崎市、長与町 (各1件) / 熊本県 (3件)、熊本市、阿蘇市 (各1件) / 大分県 (7件)、大分市、別府市 (各1件) / 宮崎県 (3件) / 鹿児島県 (6件)、鹿児島市 (1件) / 九州南部 (1件)
沖縄	石垣市 (6件)、本島 (3件)、那覇市 (2件)、南城市、宮古島、竹富島 (各1件)

【年齢別比較】

年齢別にみると、50～59歳では「北関東・甲信地方」、そのほかの年齢では「南関東地方」が最も高くなっている。

項目別にみると、「南関東地方」「沖縄」「九州地方」は若い年代で高い傾向がみられ、「北関東・甲信地方」は年齢が上がるほど高くなる傾向がみられる。

■移住先として良いと考える地域〈年齢別：上位6項目〉

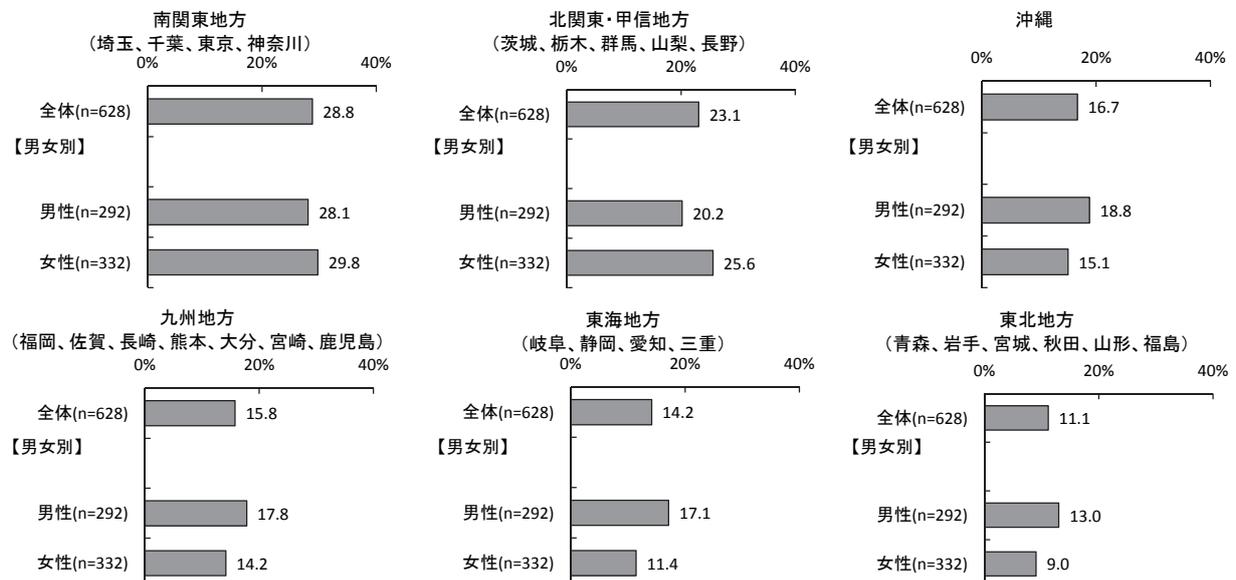


【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「南関東地方」が最も高くなっている。

項目別にみると、「南関東地方」「北関東・甲信地方」は女性が高く、そのほかの項目では男性が高くなっている。

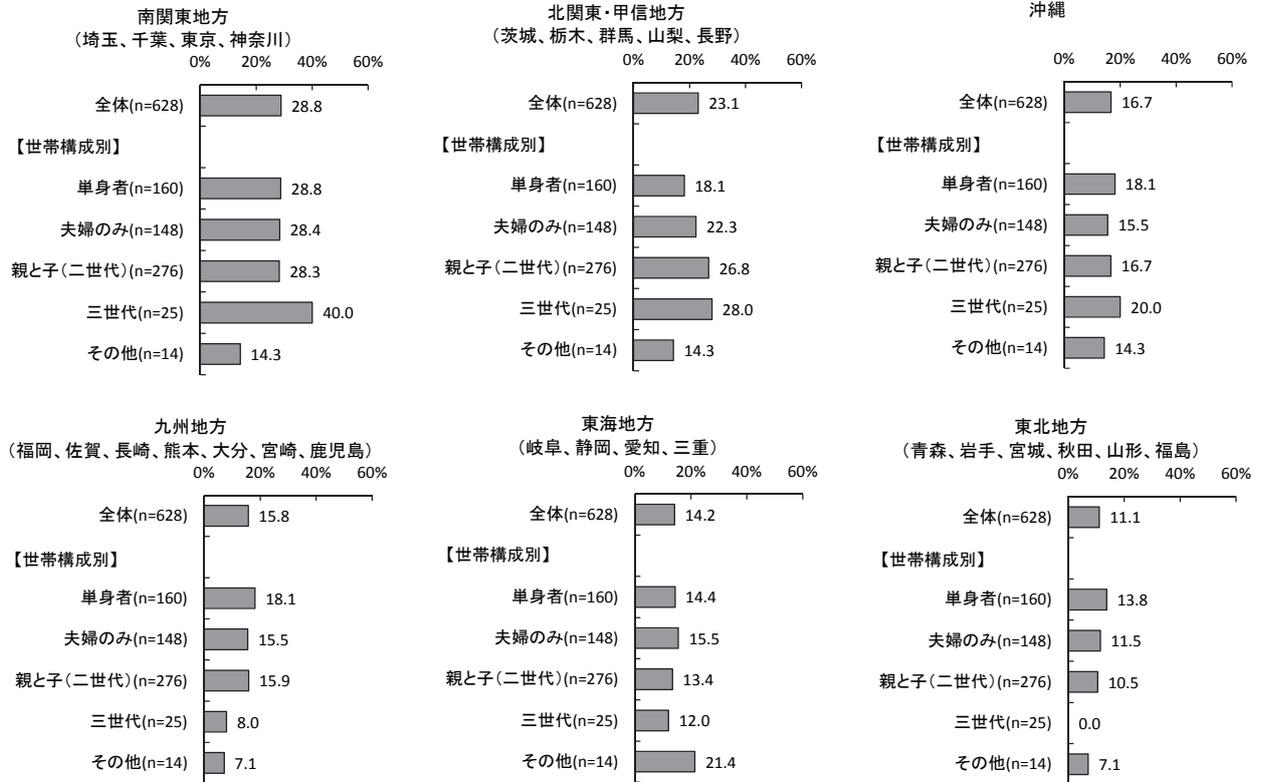
■移住先として良いと考える地域〈男女別：上位6項目〉



【世帯構成別比較】

いずれの世帯構成においても「南関東地方」が高くなっている。

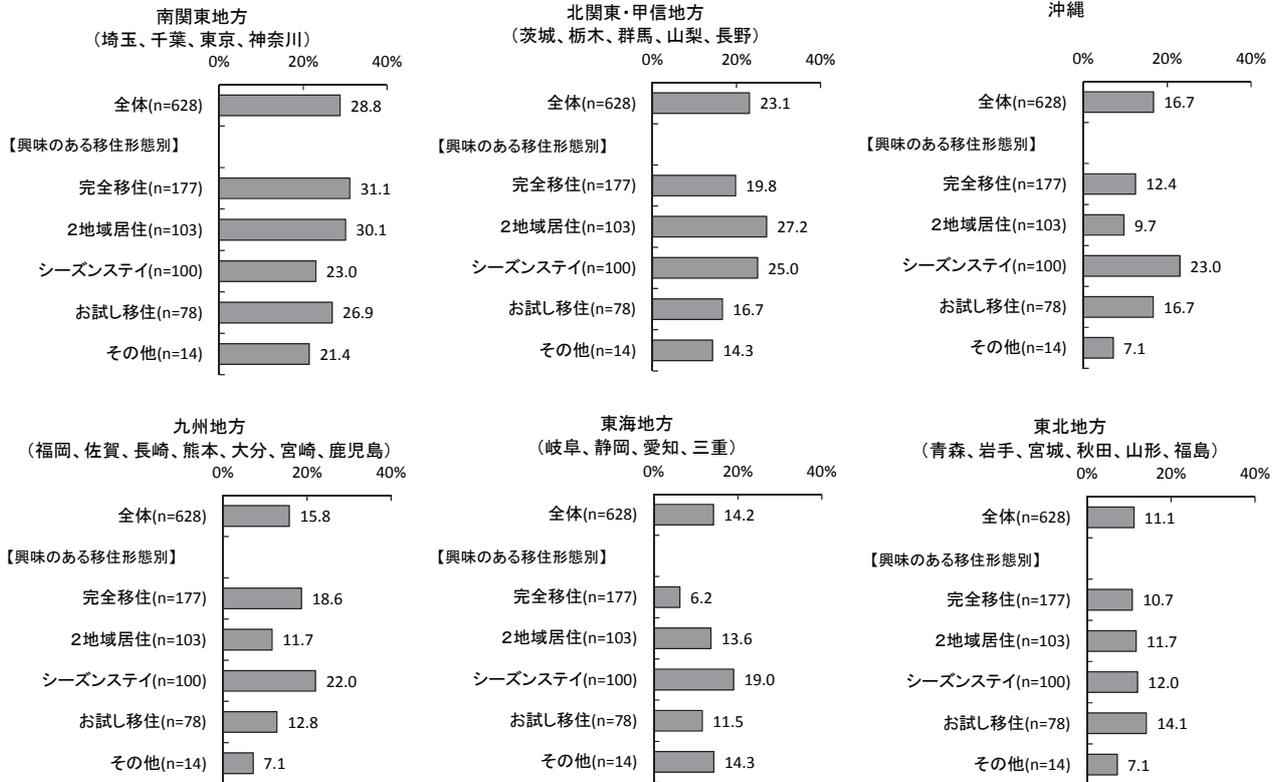
■ 移住先として良いと考える地域〈世帯構成別：上位6項目〉



【興味のある移住形態別比較】

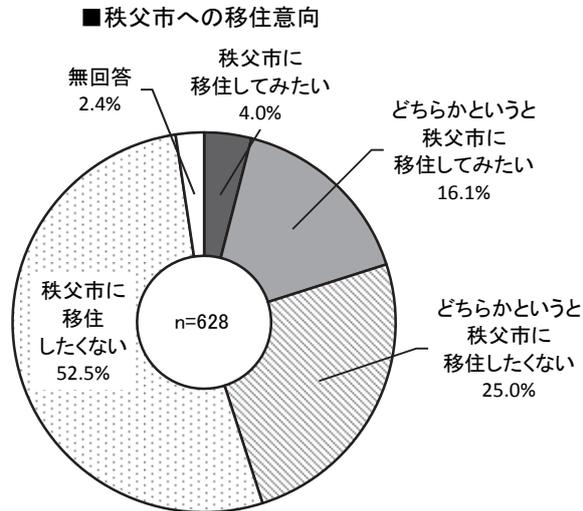
興味のある移住形態別にみると、シーズンステイは「北関東・甲信地方」が最も高く、そのほかの移住形態では「南関東地方」が最も高くなっている。

■移住先として良いと考える地域〈興味のある移住形態別：上位6項目〉



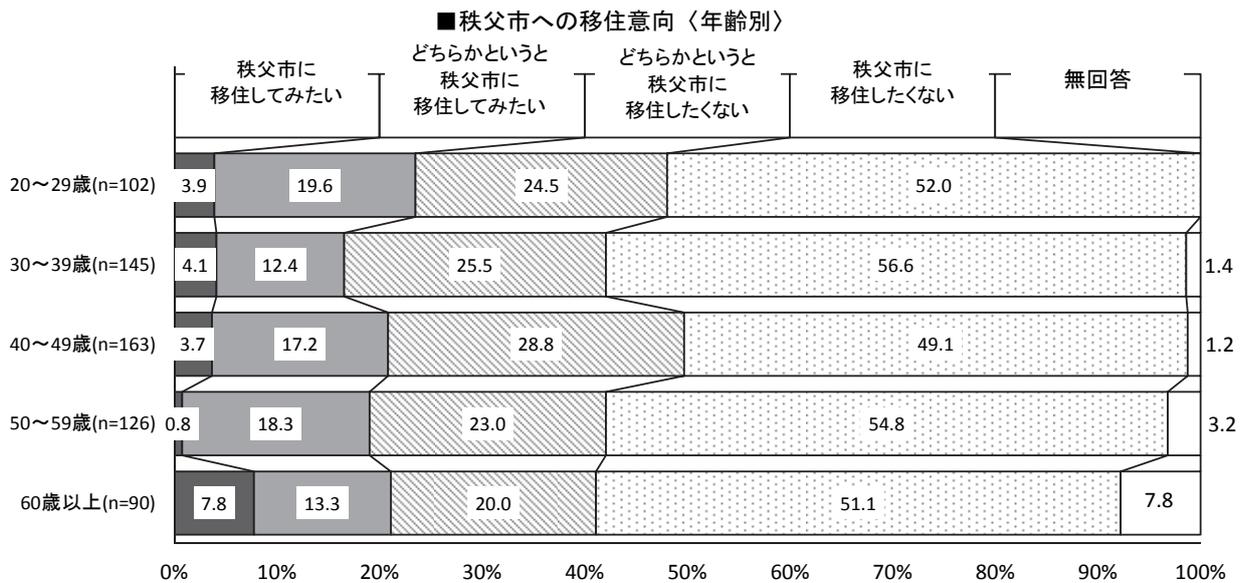
(15) 秩父市への移住意向：問 36

“移住してみたい”と回答した人に、姉妹都市であり移住に関する取組を連携して検討している埼玉県秩父市へ移住してみたいと思うかを聞いたところ、「秩父市に移住してみたい」(4.0%)と「どちらかというと秩父市に移住してみたい」(16.1%)を合わせた“秩父市に移住してみたい”は20.1%となっている。一方、「秩父市に移住したくない」(52.5%)と「どちらかというと秩父市に移住したくない」(25.0%)を合わせた“秩父市に移住したくない”は77.5%となっている。



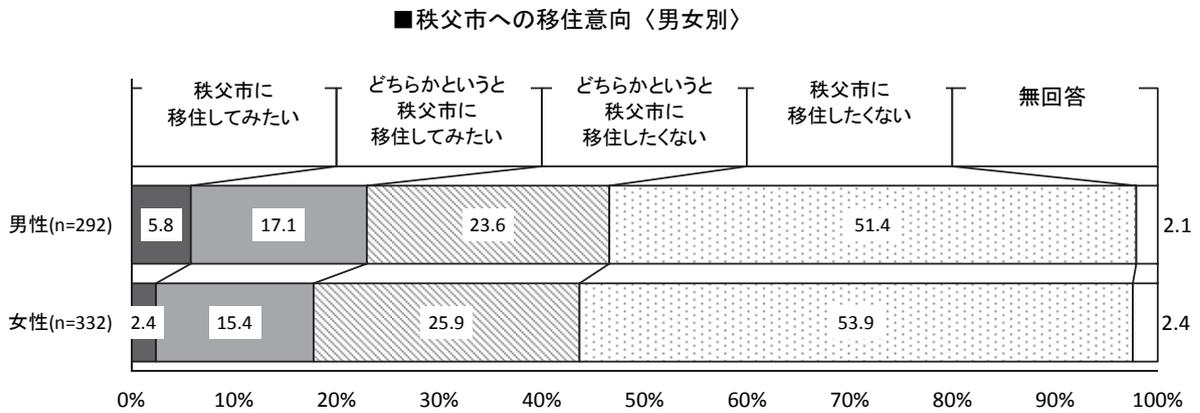
【年齢別比較】

「秩父市に移住してみたい」は60歳以上が最も高く7.8%となっている。また、「秩父市に移住してみたい」と「どちらかというと秩父市に移住してみたい」を合わせた“秩父市に移住してみたい”は20～29歳が23.5%と最も高くなっている。



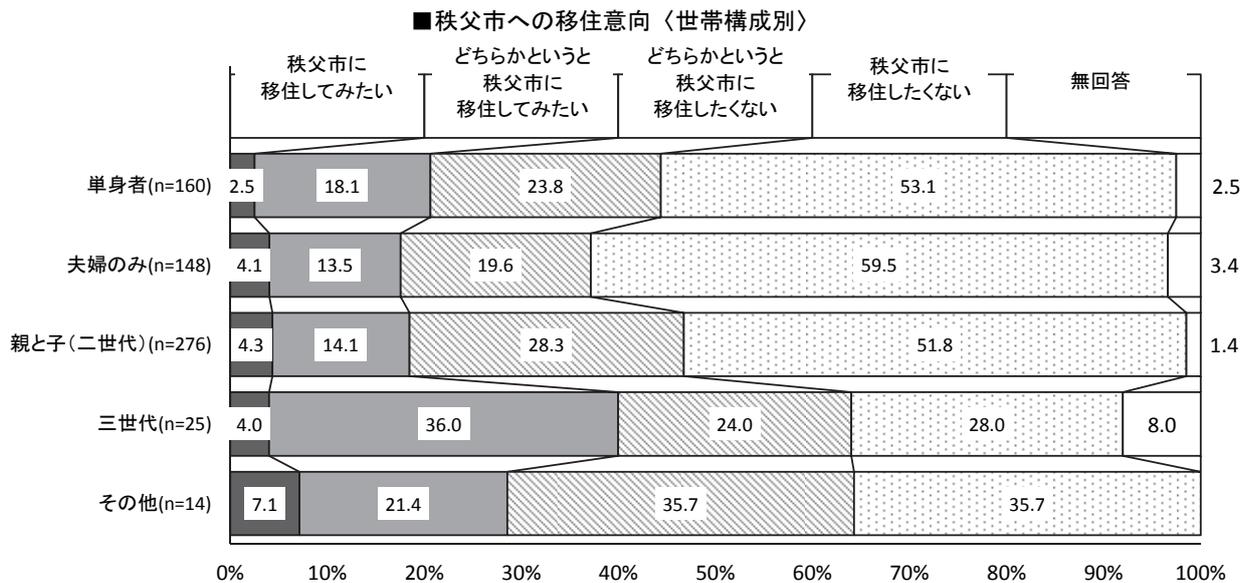
【男女別比較】

「秩父市に移住してみたい」は男性の方が高く5.8%となっている。また、「秩父市に移住してみたい」と「どちらかというと秩父市に移住してみたい」を合わせた“秩父市に移住してみたい”は、男性が22.9%、女性が17.8%となっている。



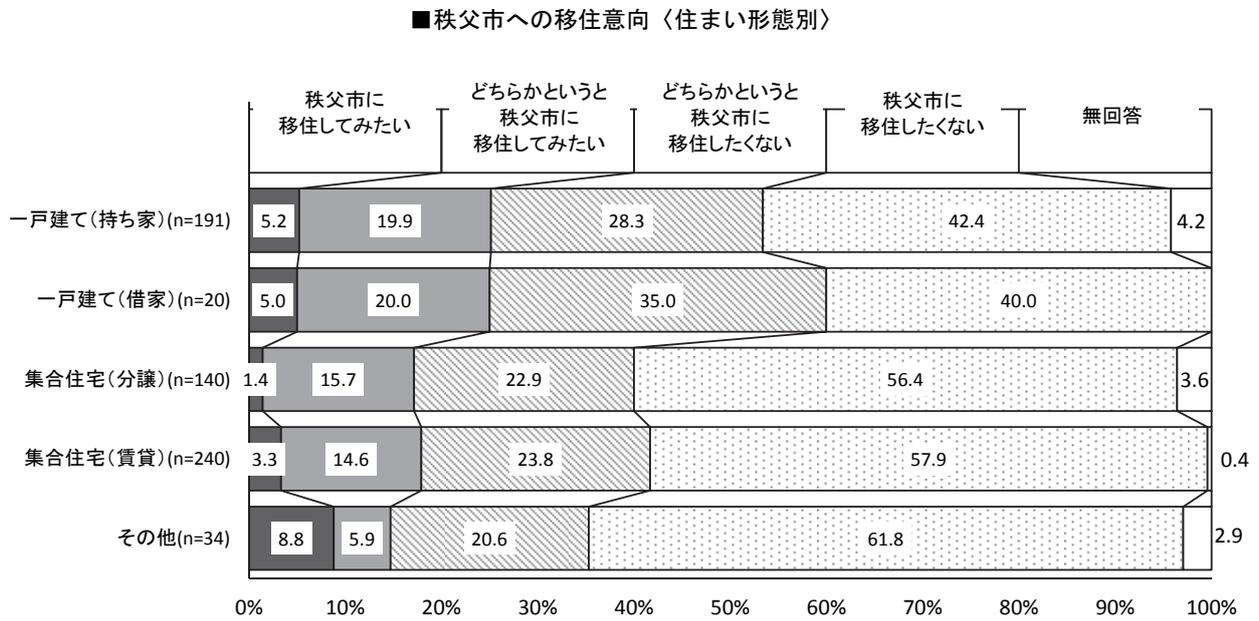
【世帯構成別比較】

「秩父市に移住してみたい」と「どちらかというと秩父市に移住してみたい」を合わせた“秩父市に移住してみたい”は、三世代が40.0%となっている。



【住まい形態別比較】

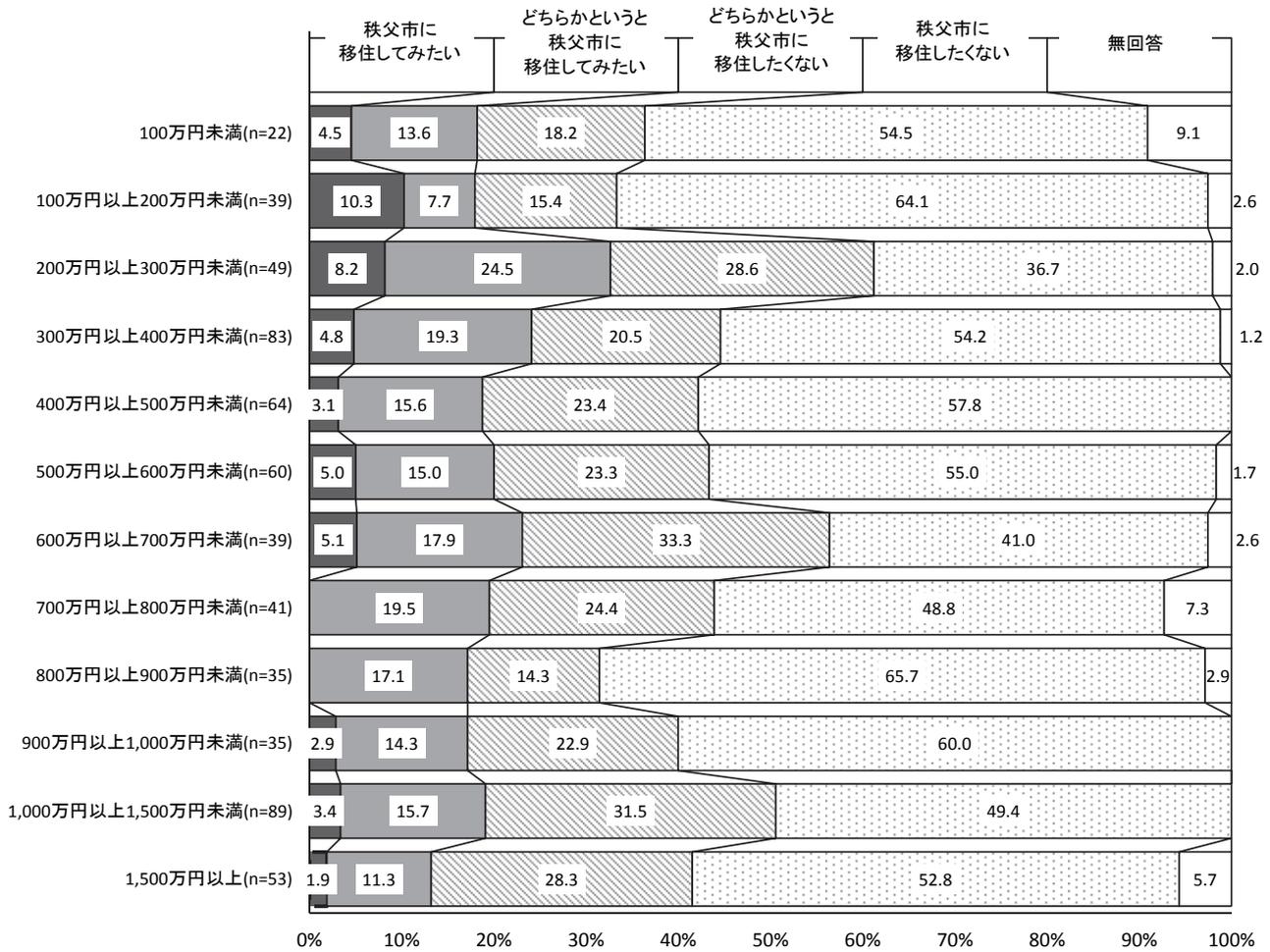
「秩父市に移住してみたい」は一戸建てで高く、持ち家では5.2%となっている。また、「秩父市に移住してみたい」と「どちらかというと秩父市に移住してみたい」を合わせた“秩父市に移住してみたい”は、一戸建て（持ち家）が24.1%となっている。



【世帯年収別比較】

「秩父市に移住してみたい」は100万円以上200万円未満が10.3%と最も高く、「どちらかというと秩父市に移住してみたい」と合わせた“秩父市に移住してみたい”では200万円以上300万円未満が32.7%と最も高くなっている。

■ 秩父市への移住意向〈世帯年収別〉



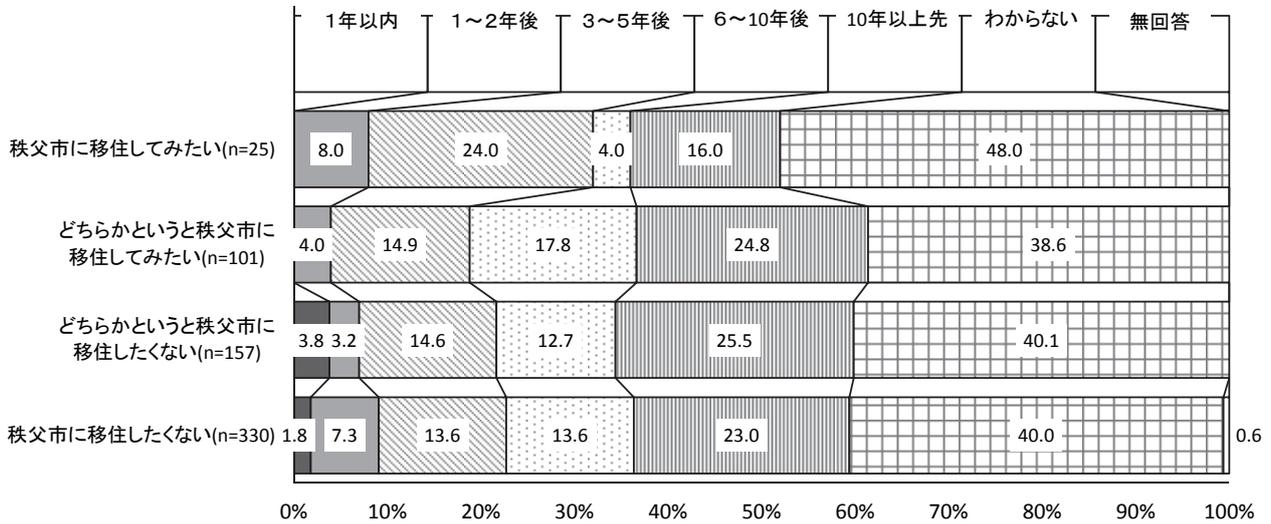
【秩父市への移住意向別比較】

秩父市への移住意向の結果を基に、問 24～問 34 に対しクロス集計分析を行った。

(移住を希望する時期：問 24)

秩父市に移住してみたい人の移住を希望する時期の回答は、「3～5年後」が最も高く 24.0% となっている。

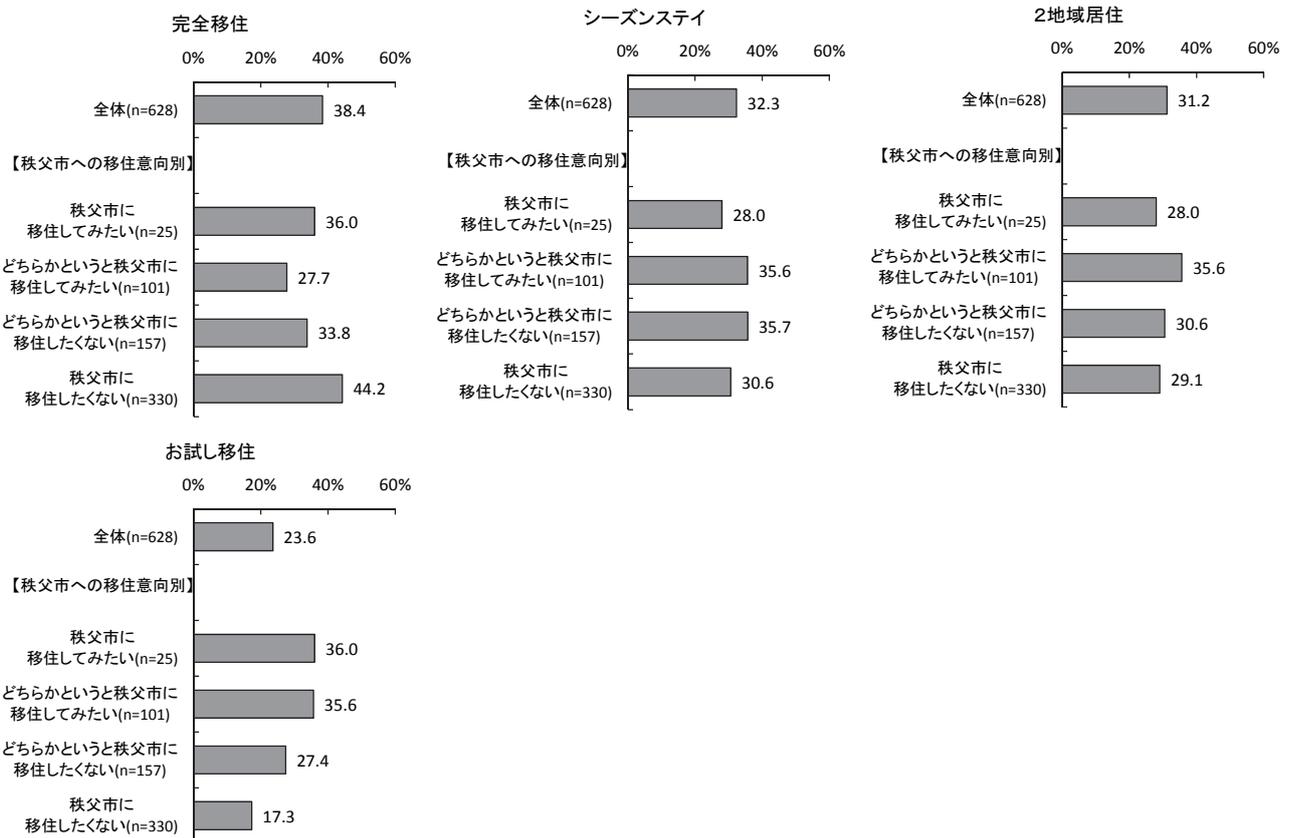
■ 移住を希望する時期〈秩父市への移住意向別〉



(興味のある移住形態：問 25)

秩父市に移住してみたい人の興味のある移住形態の回答は、「完全移住」と「お試し移住」がやや高くなっている。また、どちらかという秩父市に移住してみたい人では「シーズンステイ」「2地域居住」「お試し移住」がほぼ同じ割合で高くなっている。

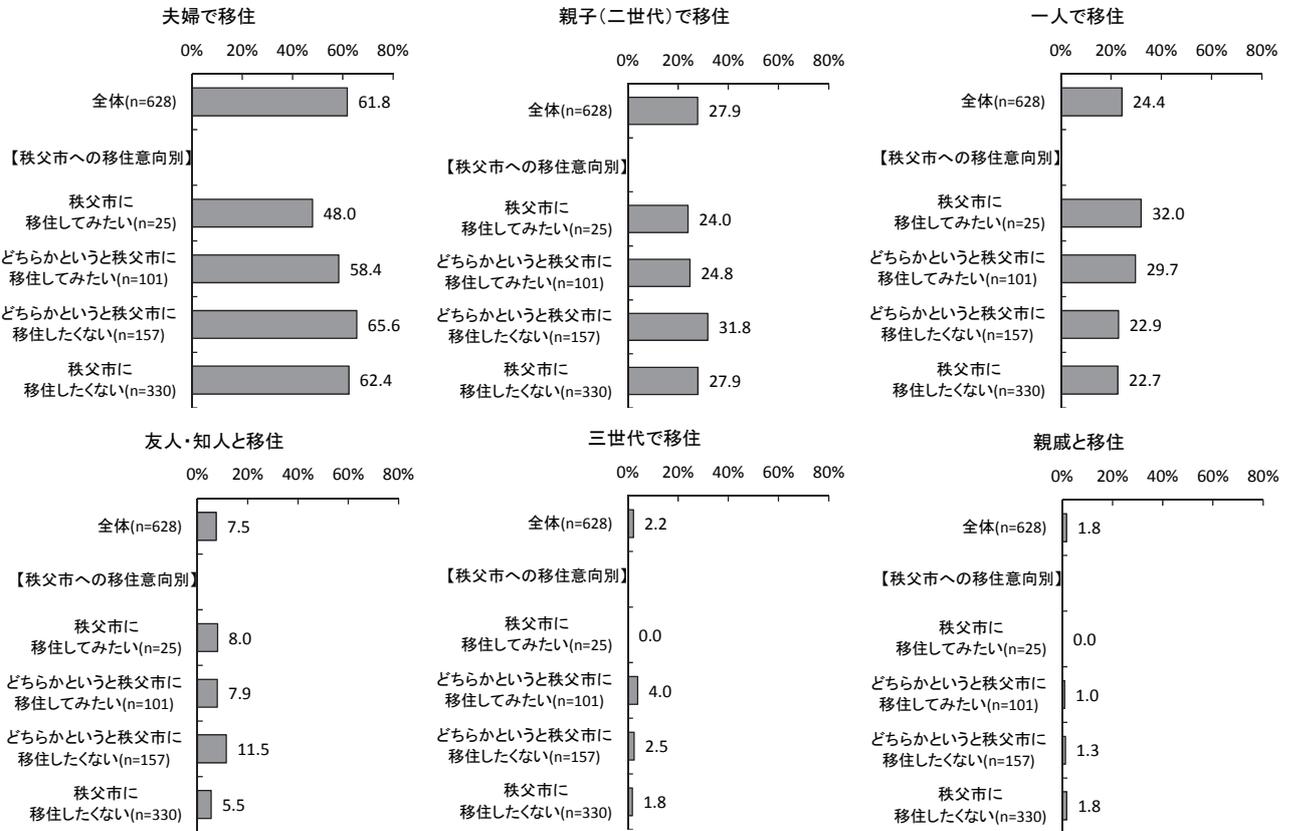
■ 興味のある移住形態〈秩父市への移住意向別〉



(一緒に移住したい人：問 26)

秩父市に移住してみたい、どちらかというとならば秩父市に移住してみたい人の一緒に移住したい人の回答は、「夫婦で移住」が最も高く、次いで「一人で移住」となっている。

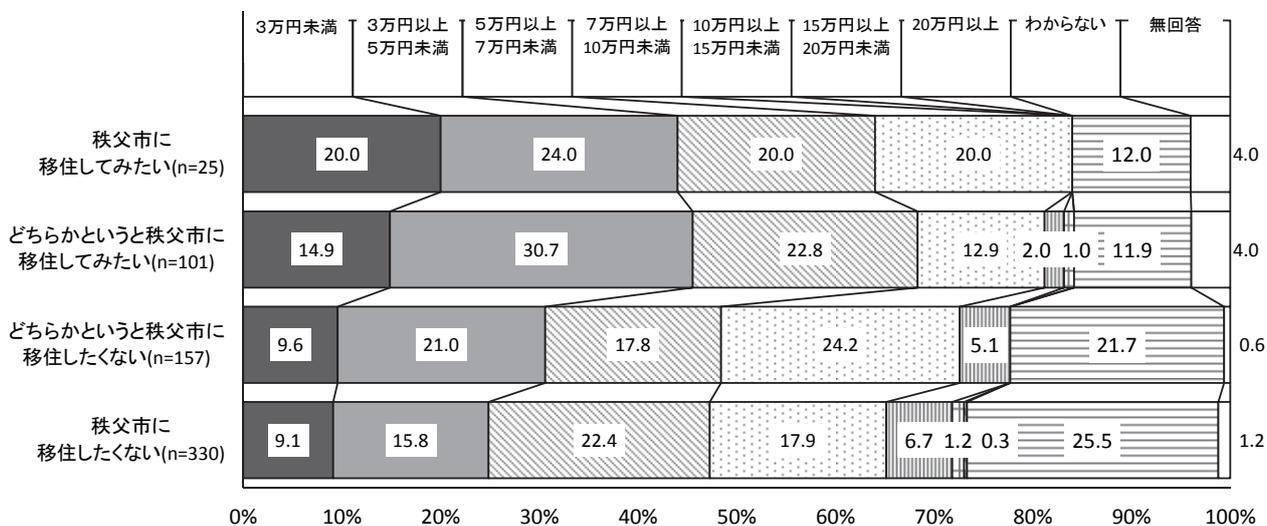
■一緒に移住したい人〈秩父市への移住意向別〉



(移住可能な家賃：問 27)

秩父市に移住してみたい人、どちらかというとき秩父市に移住してみたい人の回答は「3万円以上5万円未満」が最も高くなっている。

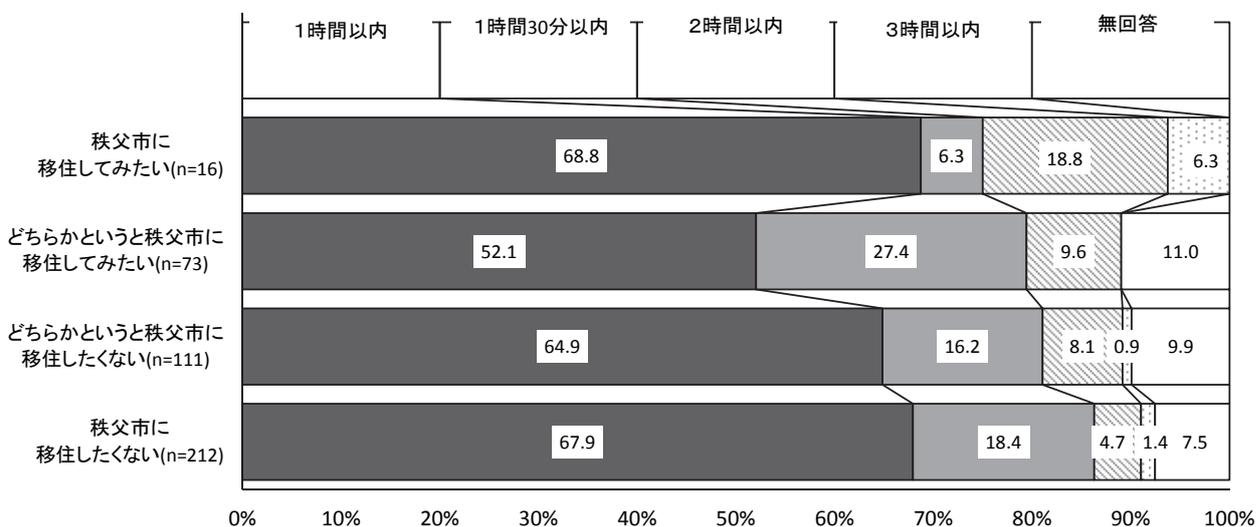
■移住可能な家賃〈秩父市への移住意向別〉



(移住先からの通勤時間の許容範囲：問 28)

どちらかというとき秩父市に移住してみたい人の移住先からの通勤時間の許容範囲の回答では、「1時間30分以内」の割合が比較的高くなっている。

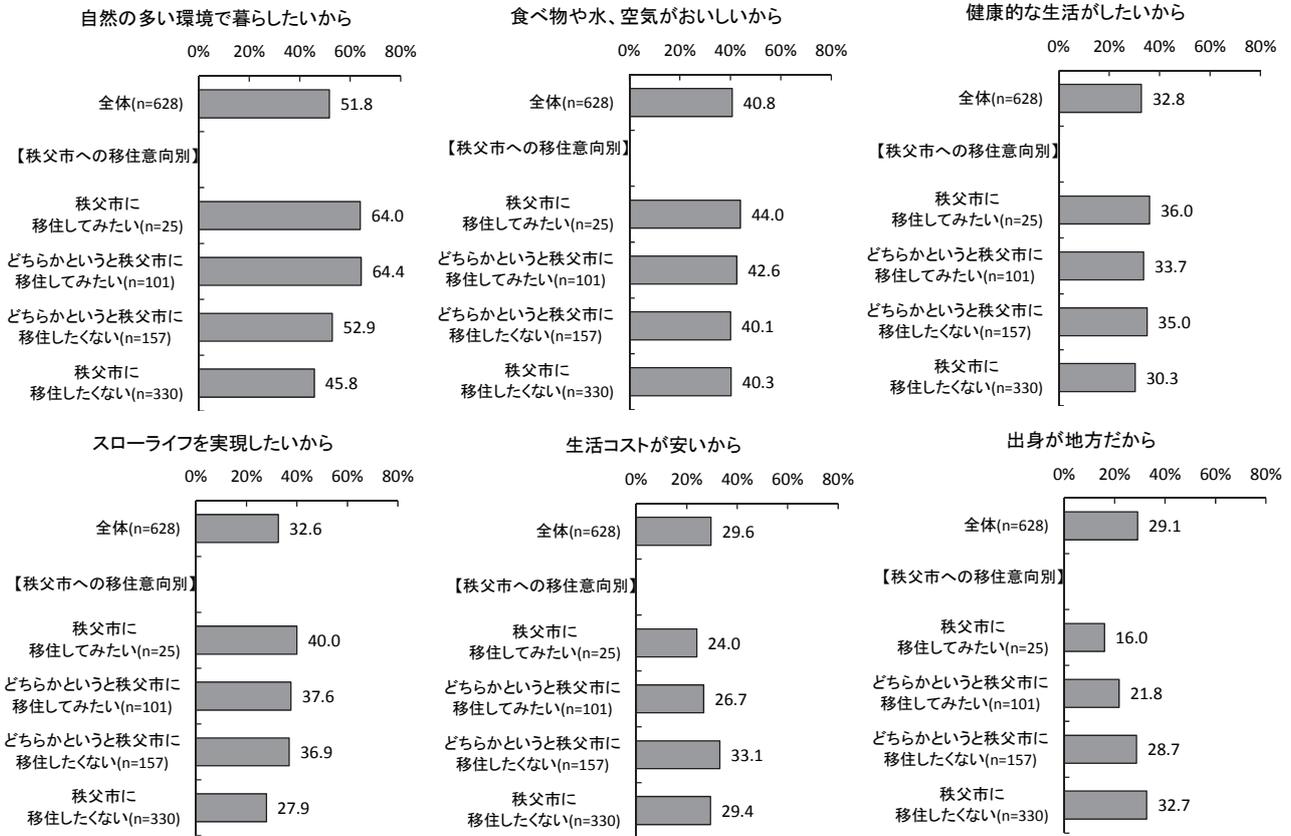
■移住先からの通勤時間の許容範囲〈秩父市への移住意向別〉



(地方への移住を考える理由：問 29)

秩父市に移住してみたい、どちらかというとき秩父市に移住してみたい人の地方への移住を考える理由の回答は、「自然の多い環境で暮らしたいから」が最も高くなっている。

■地方への移住を考える理由〈秩父市への移住意向別：上位6項目〉

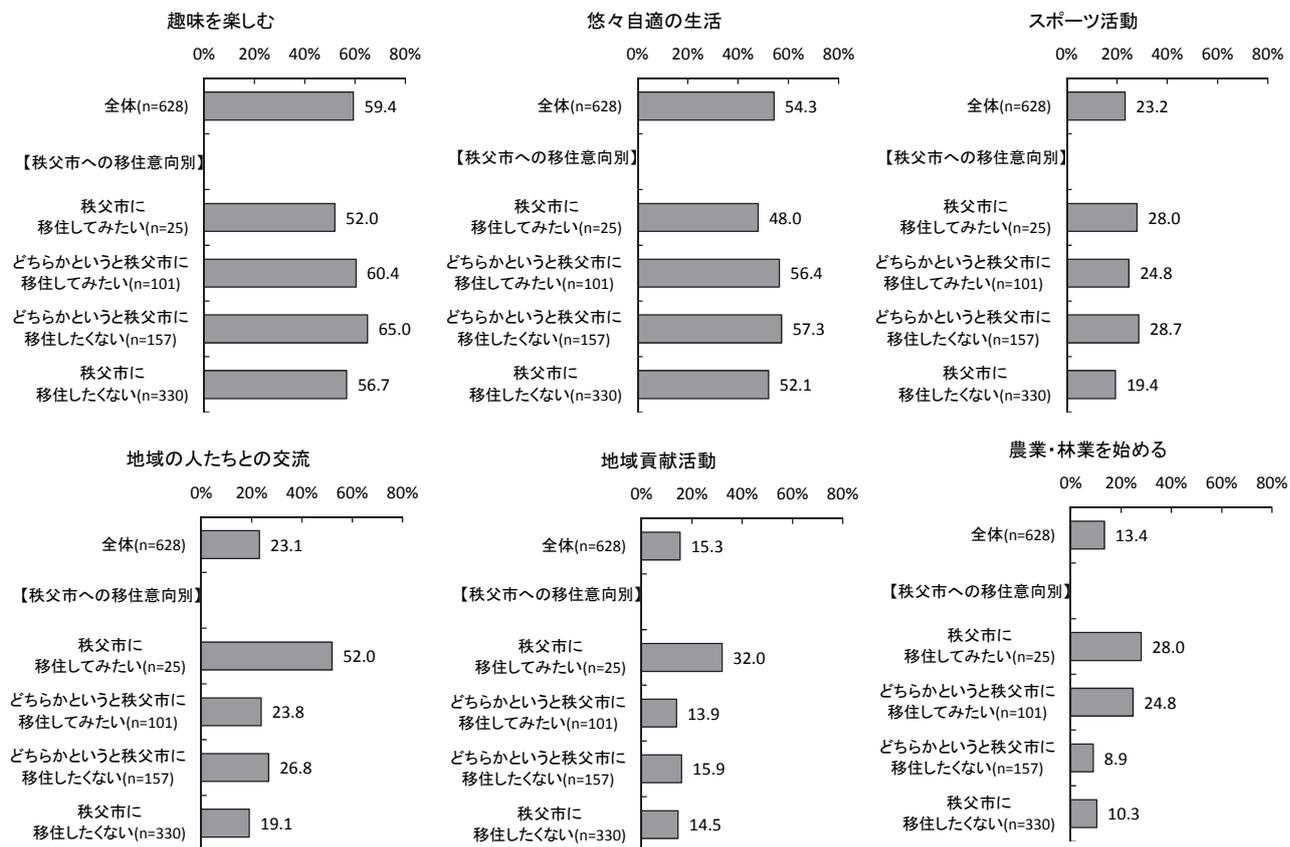


(移住先でしたいこと：問30)

秩父市に移住してみたい、どちらかというとならば秩父市に移住してみたい人の移住先でしたいことへの回答は、「趣味を楽しむ」「悠々自適の生活」が高くなっている。

項目別にみると、「地域の人たちとの交流」「地域貢献活動」は秩父市に移住してみたい人が特に高く、「農業・林業を始める」も秩父市に移住してみたい、どちらかというとならば秩父市に移住してみたい人で高くなっている。

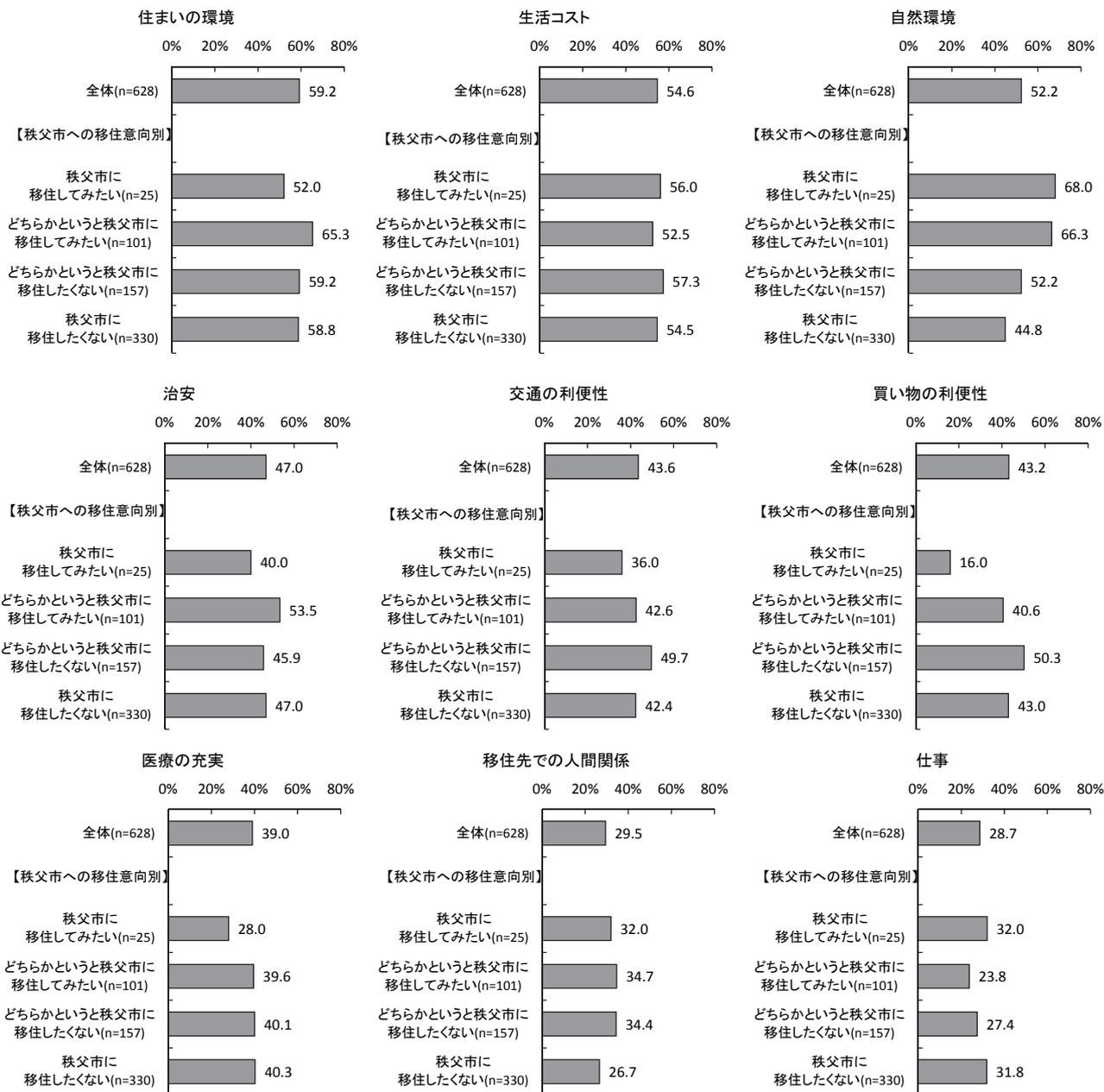
■移住先でしたいこと〈秩父市への移住意向別：上位6項目〉



(地方への移住を検討する上で重視する点：問31)

秩父市に移住してみたい、どちらかというど秩父市に移住してみたい人の地方への移住を検討する上で重視する点の回答は、「自然環境」が最も高くなっている。

■地方への移住を検討する上で重視する点〈秩父市への移住意向別：上位9項目〉

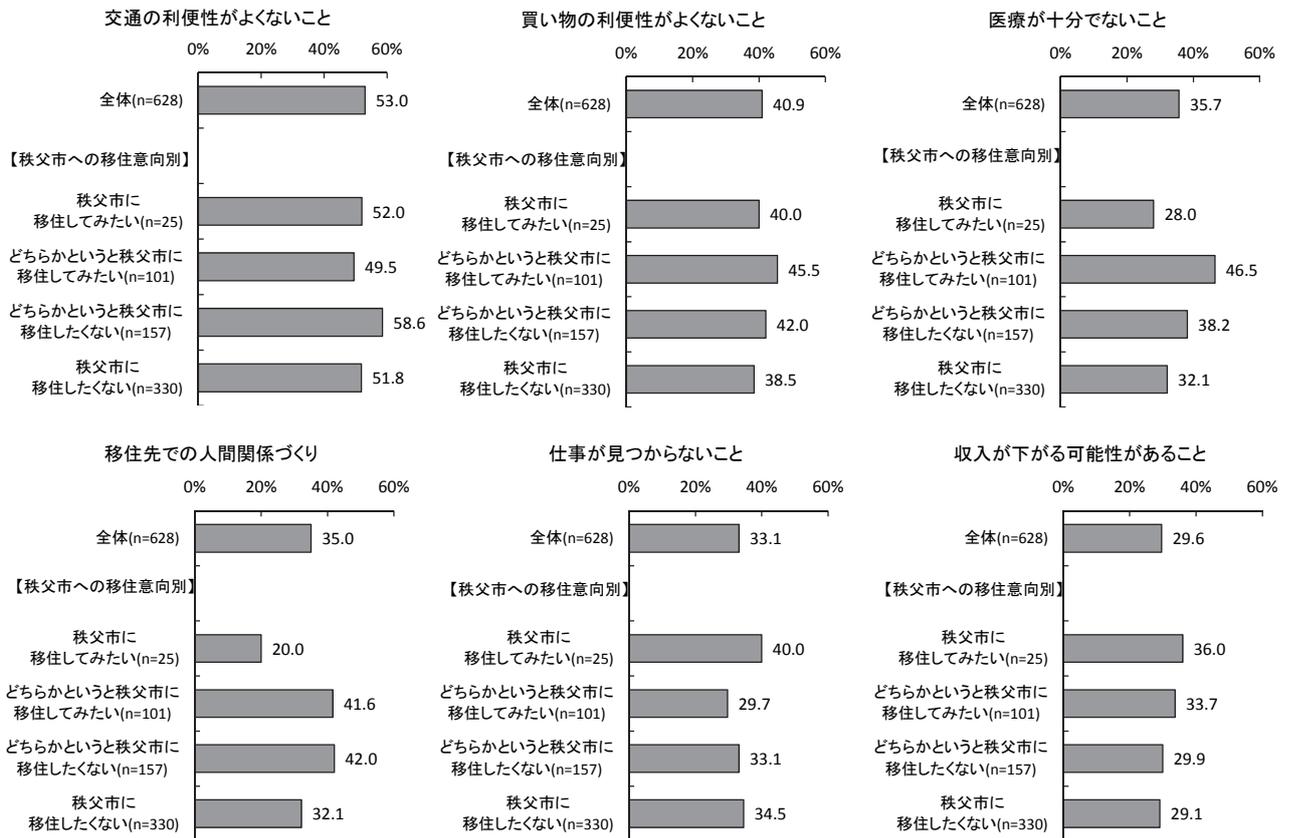


(地方に移住する場合に不安に思うこと：問 32)

秩父市に移住してみたい、どちらかというとならば秩父市に移住してみたい人の地方に移住する場合に不安に思うことへの回答では、「交通の利便性がよくないこと」が最も高くなっている。

項目別にみると、「医療が十分でないこと」「移住先での人間関係づくり」はどちらかというとならば秩父市に移住してみたい人が高く、「仕事が見つからないこと」は秩父市に移住してみたい人で高くなっている。

■地方に移住する場合に不安に思うこと〈秩父市への移住意向別：上位6項目〉

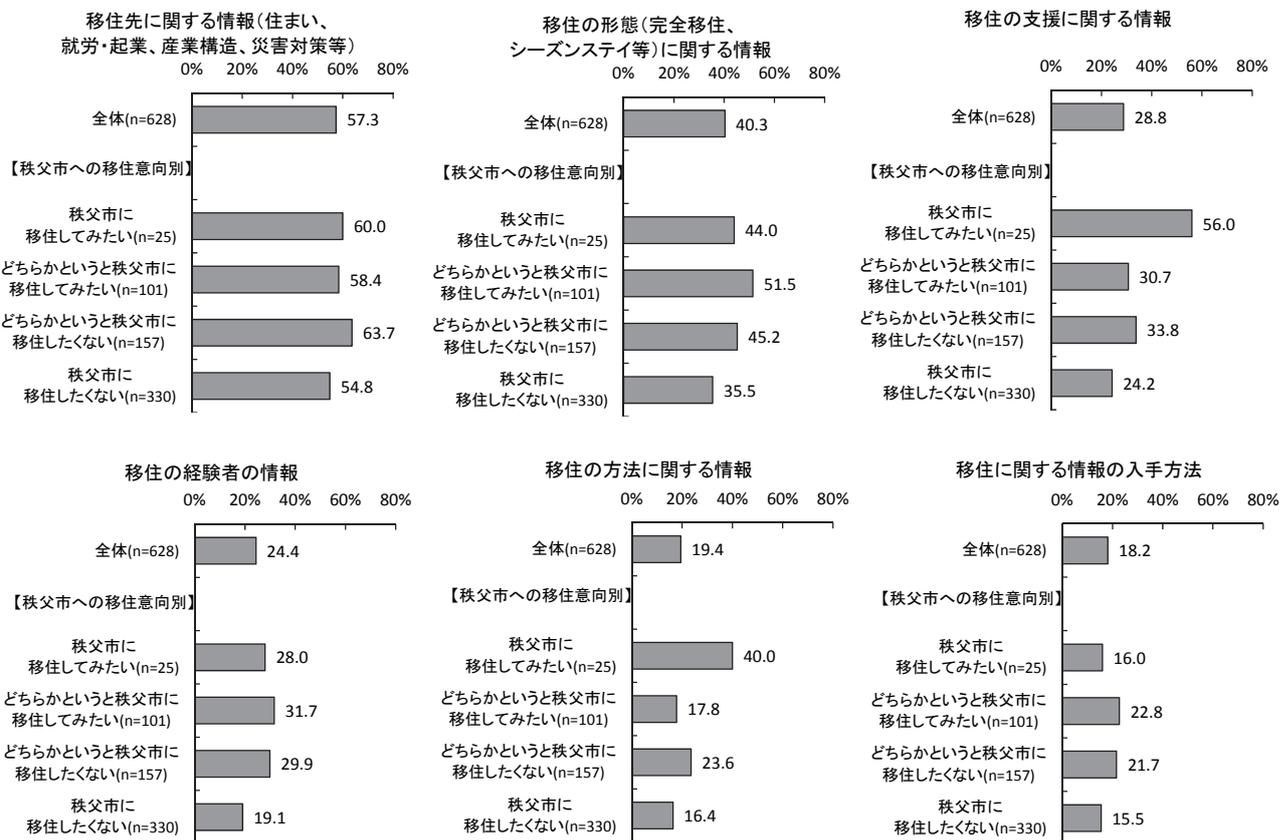


(地方への移住を検討する上で特に知りたい点：問 33)

秩父市に移住してみたい、どちらかという秩父市に移住してみたい人の地方への移住を検討する上で特に知りたい点の回答では、「移住先に関する情報」が最も高くなっている。

項目別にみると、「移住の支援に関する情報」「移住の方法に関する情報」は秩父市に移住してみたい人が最も高くなっている。

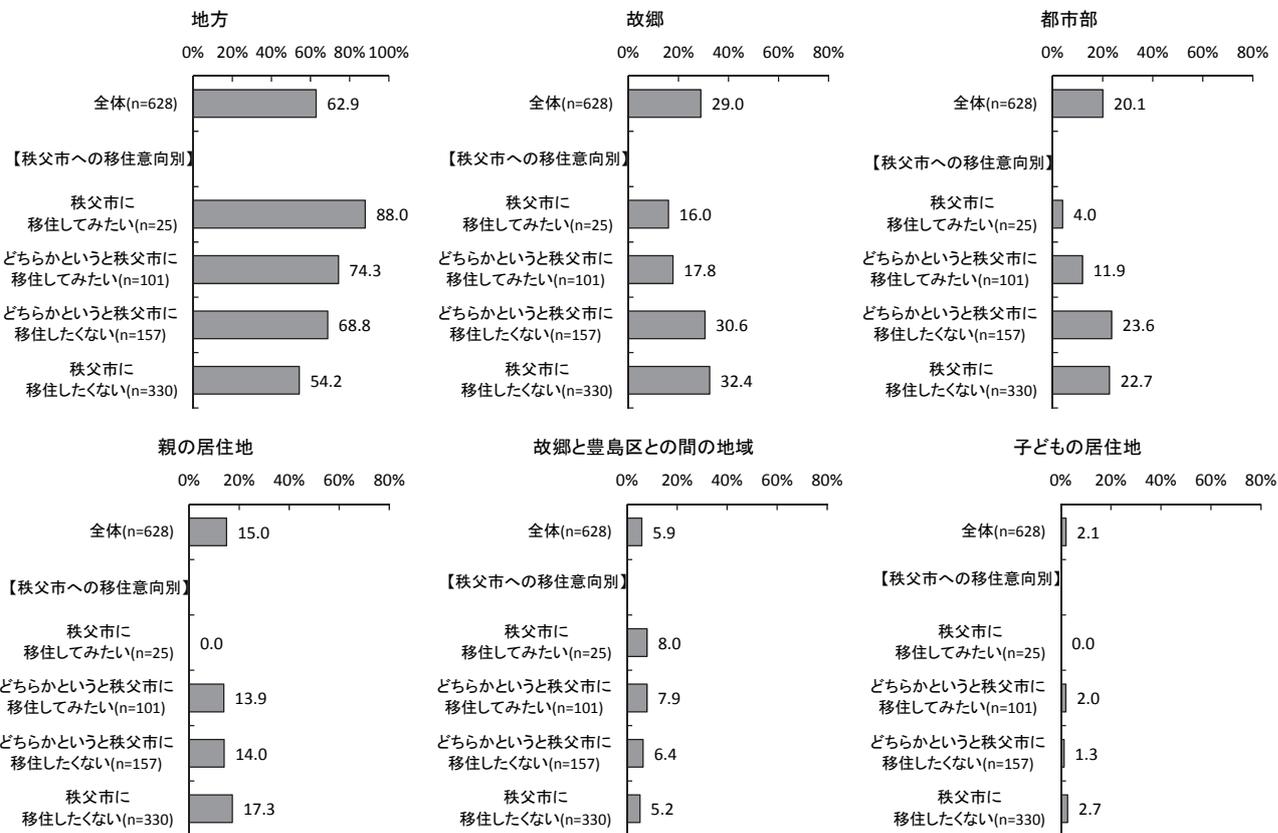
■地方への移住を検討する上で特に知りたい点〈秩父市への移住意向別：上位6項目〉



(移住先として良いと考える場所：問 34)

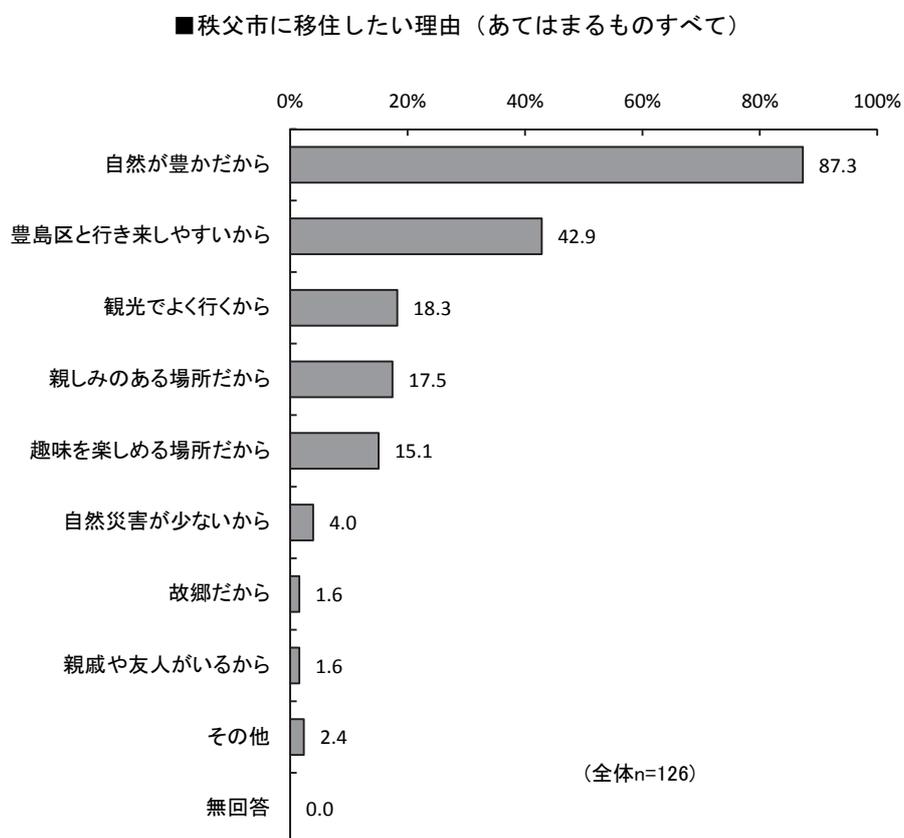
秩父市に移住してみたい、どちらかという秩父市に移住してみたい人の移住先として良いと考える場所の回答では、「地方」が特に高くなっている。

■移住先として良いと考える場所〈秩父市への移住意向別：上位6項目〉



(16) 秩父市に移住したい理由：問 37

“秩父市に移住してみたい”と回答した人に、どのような理由で秩父市へ移住したいと思うかを聞いたところ、「自然が豊かだから」が 87.3%と特に高く、次いで「豊島区と行き来しやすいから」(42.9%)、「観光でよく行くから」(18.3%)、「親しみのある場所だから」(17.5%)、「趣味を楽しめる場所だから」(15.1%)の順が続いている。

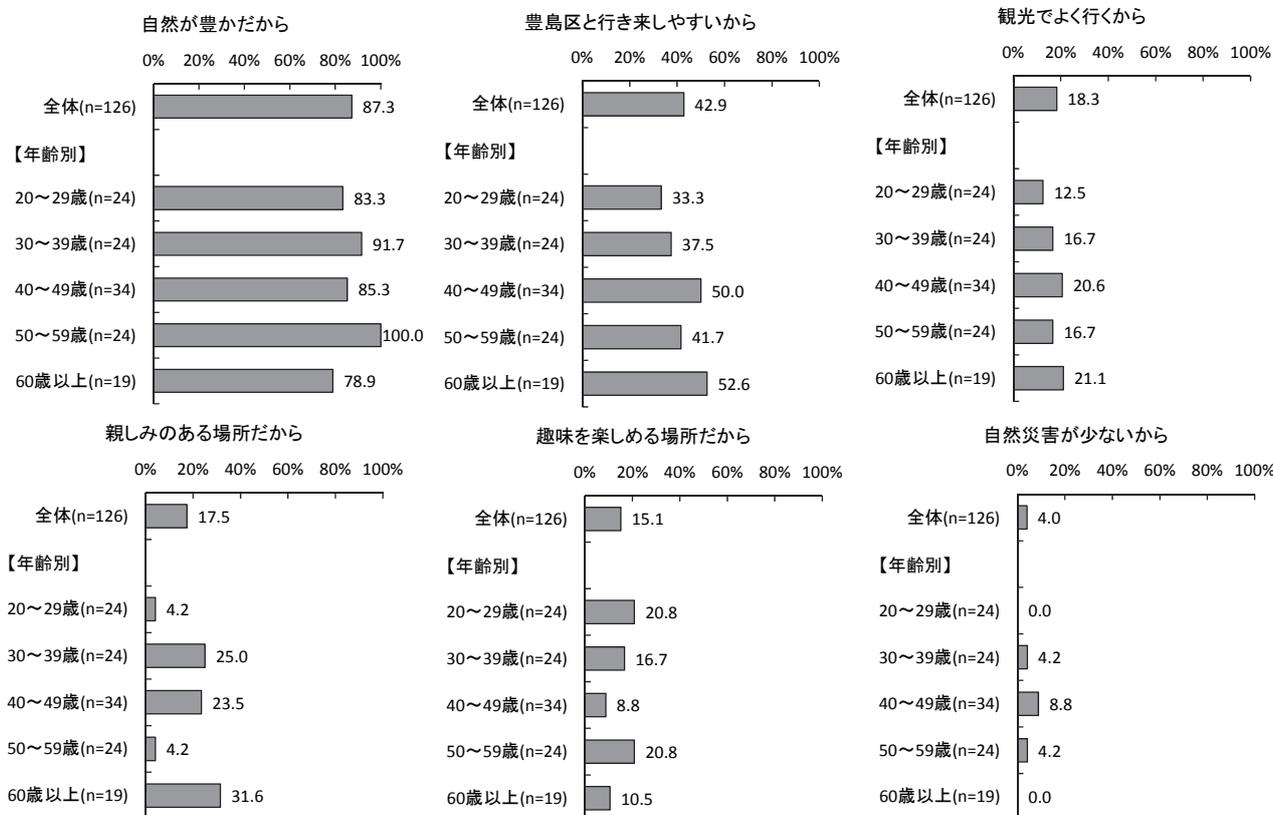


【年齢別比較】

年齢別にみると、いずれの年齢でも「自然が豊かだから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「豊島区と行き来しやすいから」「観光でよく行くから」は年齢が上がるにつれやや高くなる傾向がみられ、「趣味を楽しめる場所だから」は若い年代でも高くなっている。

■ 秩父市に移住したい理由〈年齢別：上位6項目〉

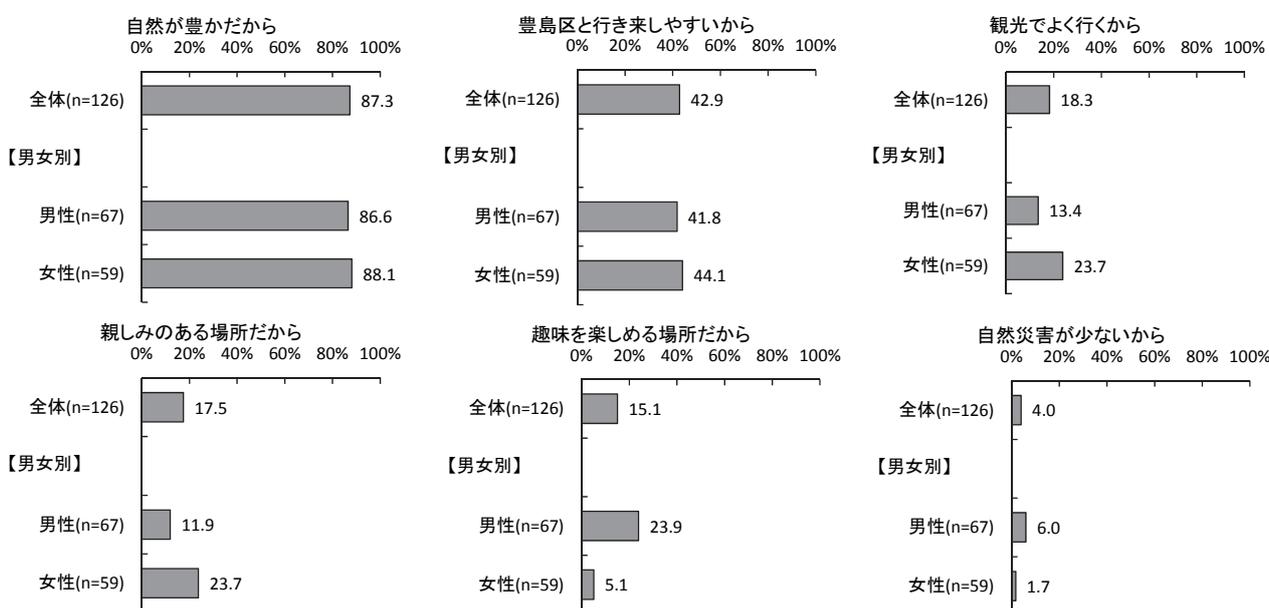


【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「自然が豊かだから」が最も高くなっている。

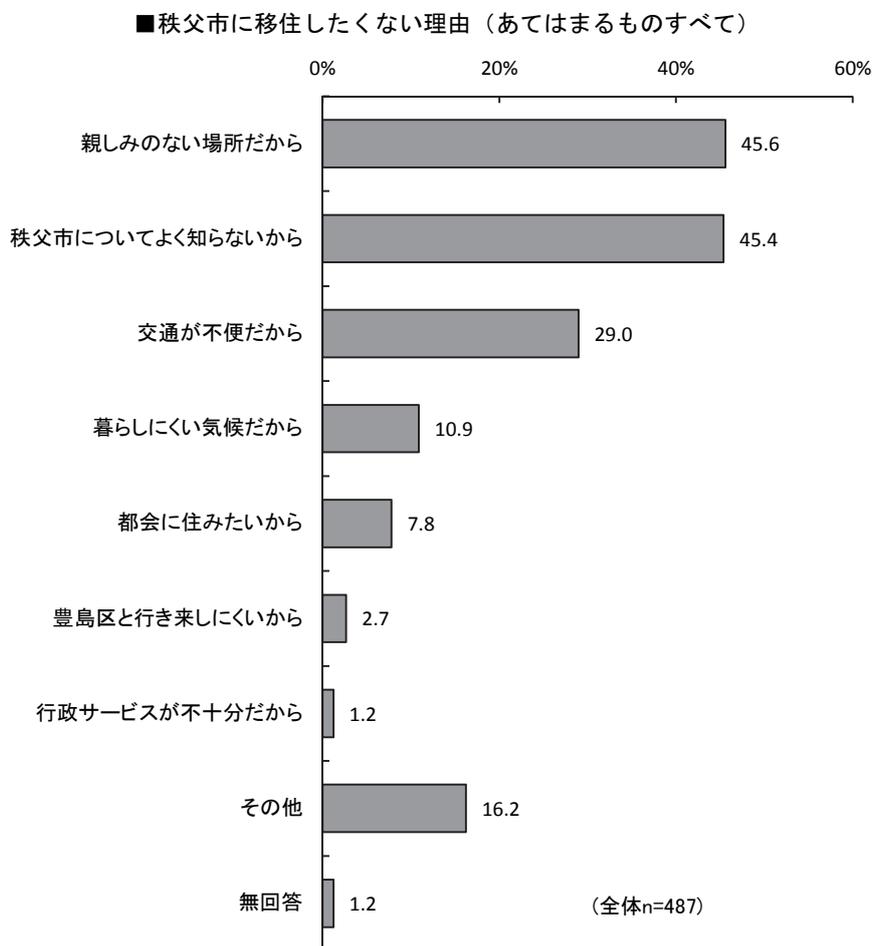
項目別にみると、「観光でよく行くから」「親しみのある場所だから」は女性が高く、「趣味を楽しめる場所だから」は男性が高くなっている。

■ 秩父市に移住したい理由〈男女別：上位6項目〉



(17) 秩父市に移住したくない理由：問 38

“秩父市に移住したくない”と回答した人に、どのような理由で秩父市へ移住したくないと思うかを聞いたところ、「親しみのない場所だから」(45.6%)と「秩父市についてよく知らないから」(45.4%)がともに高く、次に「交通が不便だから」(29.0%)が続いている。



「その他」の主な回答は次のとおり。

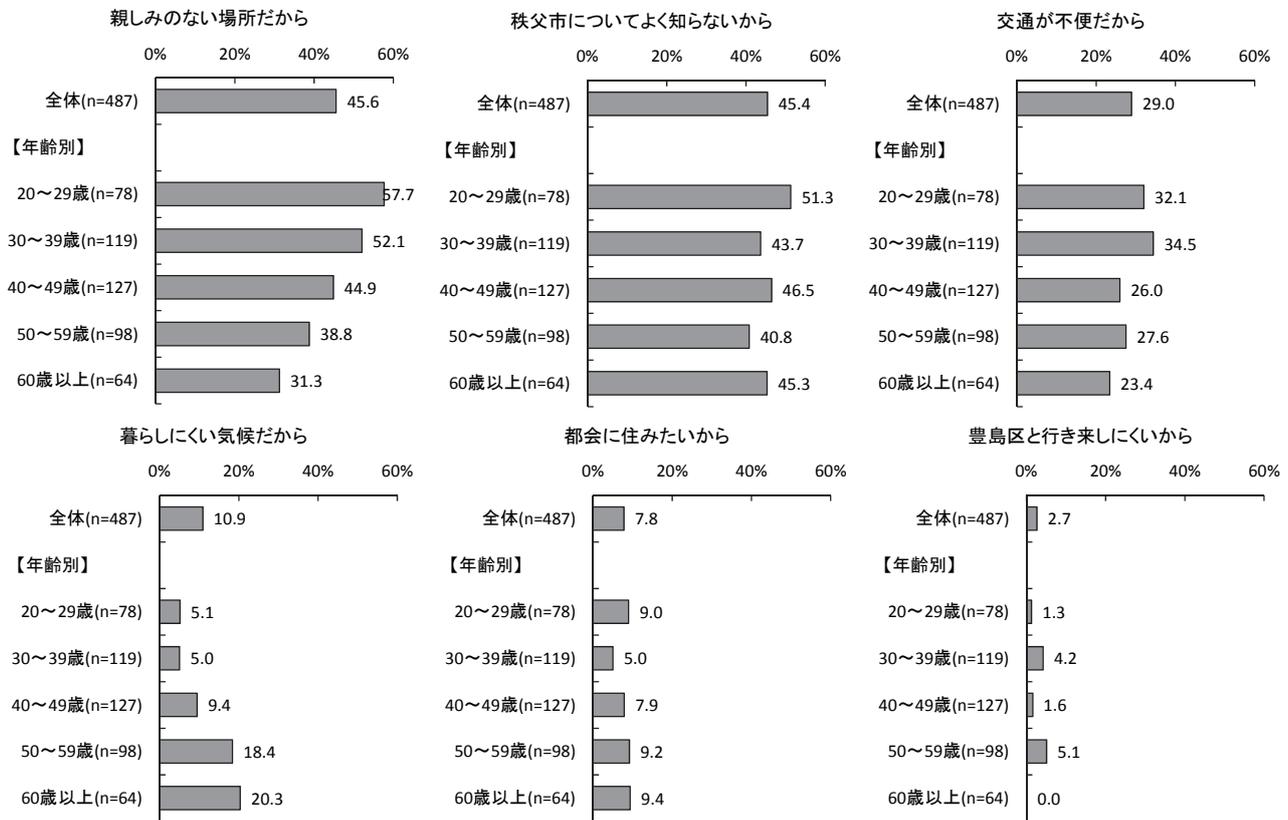
- ・ 秩父市への関心が低いから（15件）
- ・ 移住するならもっと遠方がよいから（13件）
- ・ 他の地域への移住を検討中、もしくは決定済みだから（12件）
- ・ 海がないから（9件）
- ・ 寒いから（3件）
- ・ 観光などでよく行くから（3件）
- ・ 勤務地から遠いから（3件）

【年齢別比較】

年齢別にみると、20～29歳と30～39歳は「親しみのない場所だから」が、40歳代以上は「秩父市についてよく知らないから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「親しみのない場所だから」は20～29歳が57.7%と最も高く、年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。また、「暮らしにくい気候だから」は60歳以上が20.3%と最も高く、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられる。

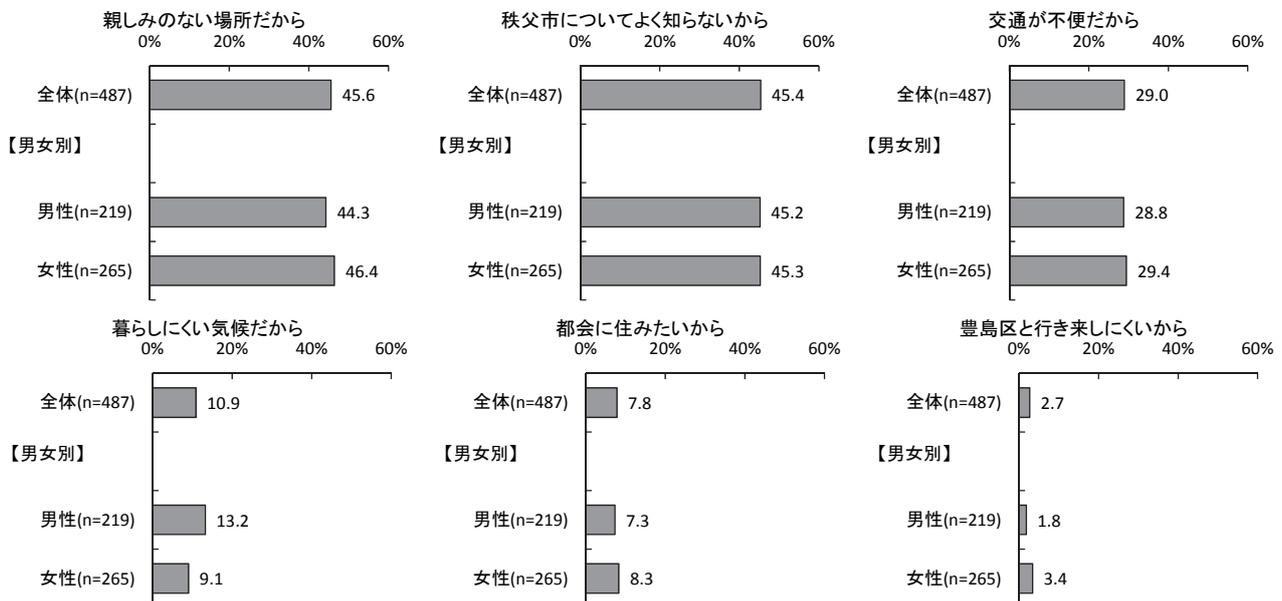
■ 秩父市に移住したくない理由〈年齢別：上位6項目〉



【男女別比較】

男女間で大きな差はみられない。

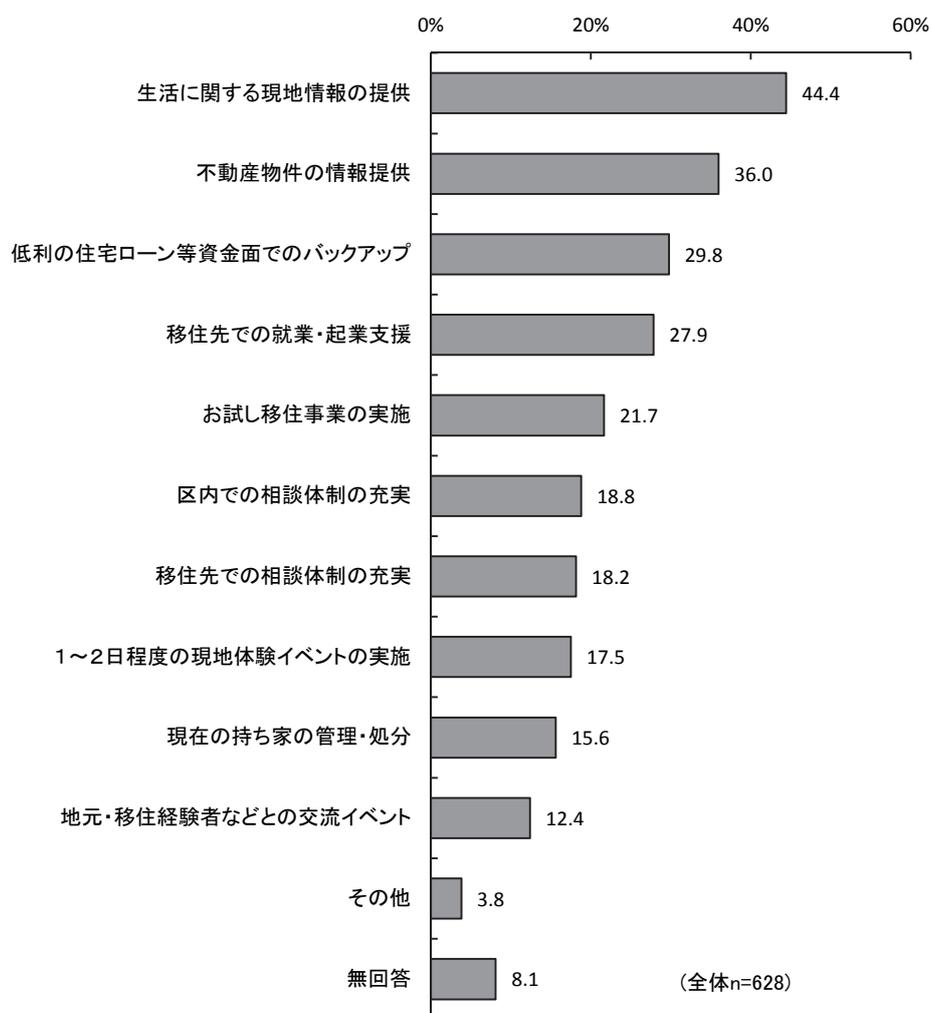
■ 秩父市に移住したくない理由〈男女別：上位6項目〉



(18) 地方移住に希望する支援：問 39

“移住してみたい”と回答した人に、地方への移住を考える場合、支援してほしいことは何かを聞いたところ、「生活に関する現地情報の提供」が44.4%と最も高く、次いで「不動産物件の情報提供」(36.0%)、「低利の住宅ローン等資金面でのバックアップ」(29.8%)、「移住先での就業・起業支援」(27.9%)、「お試し移住事業の実施」(21.7%)、「区内での相談体制の充実」(18.8%)の順で続いている。

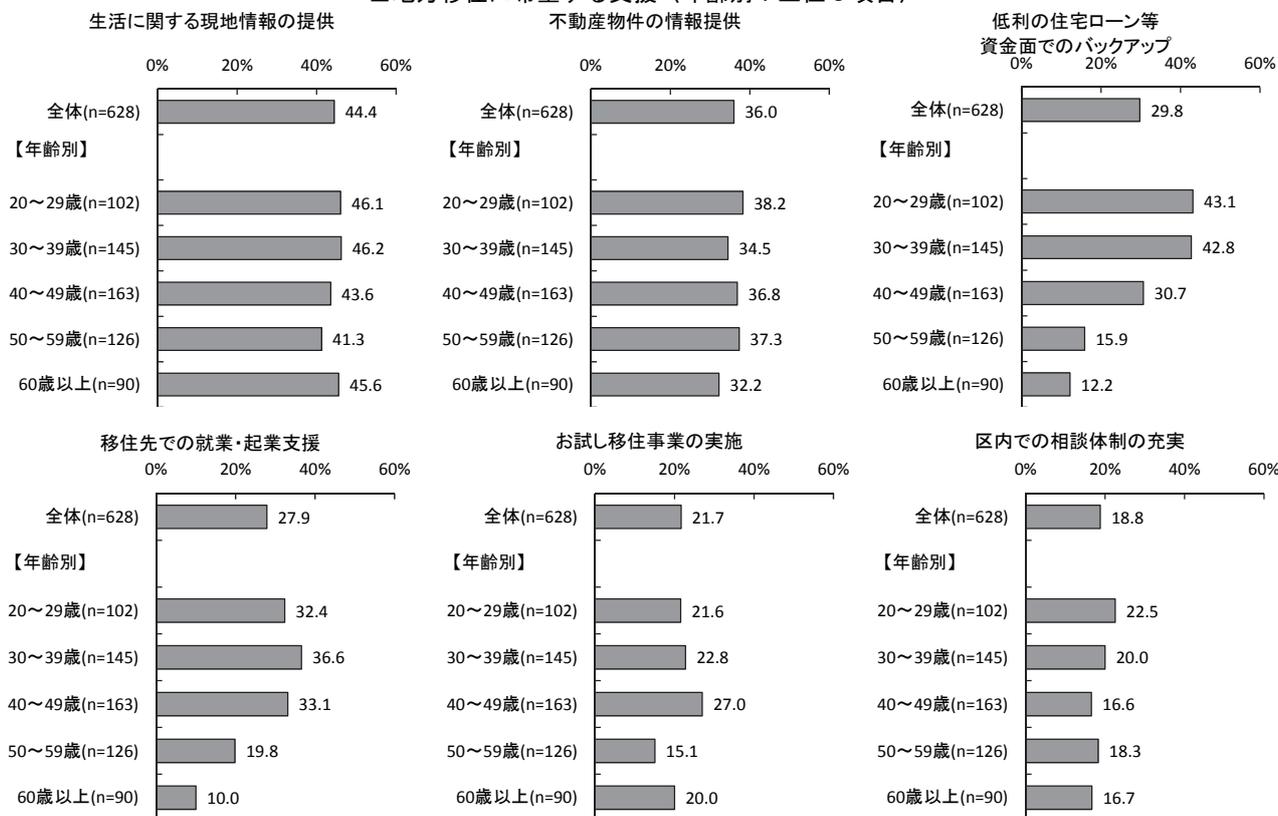
■地方移住に希望する支援（あてはまるものすべて）



【年齢別比較】

年齢別にみると、いずれの年代でも「生活に関する現地情報の提供」が最も高くなっている。項目別にみると、「低利の住宅ローン等資金面でのバックアップ」と「移住先での就業・起業支援」が20歳代～40歳代で高い割合となっており、これらは年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。

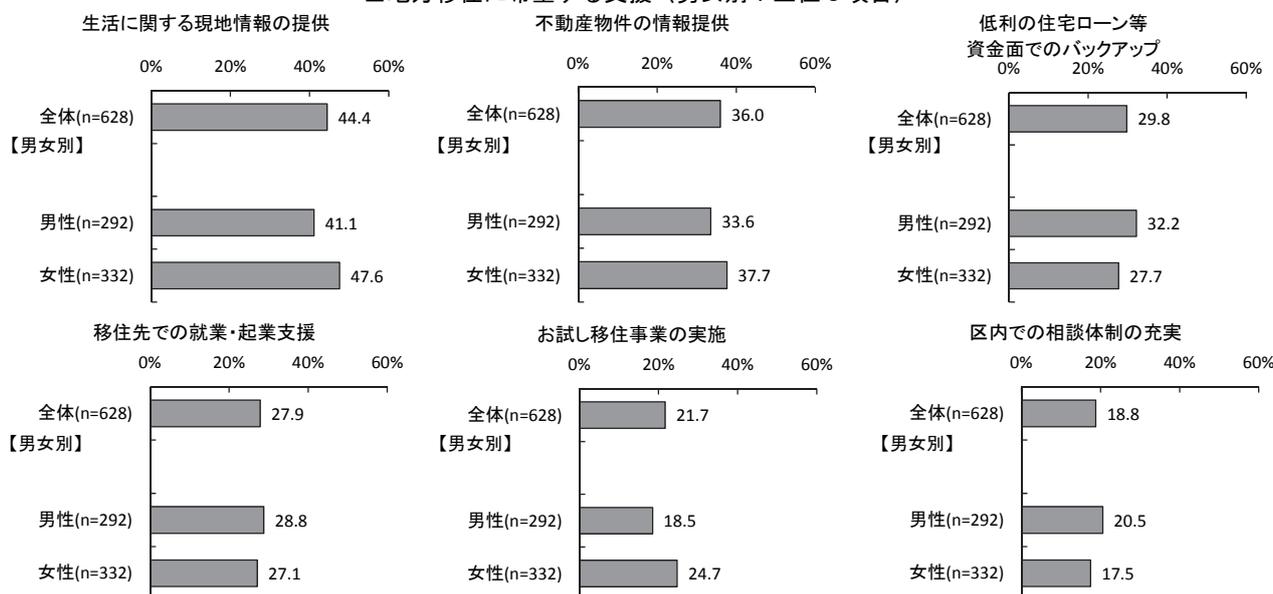
■ 地方移住に希望する支援〈年齢別：上位6項目〉



【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「生活に関する現地情報の提供」が最も高くなっている。項目別にみると、「低利の住宅ローン等資金面でのバックアップ」「移住先での就業・起業支援」「区内での相談体制の充実」は男性が高く、そのほかの項目では女性が高くなっている。

■ 地方移住に希望する支援〈男女別：上位6項目〉

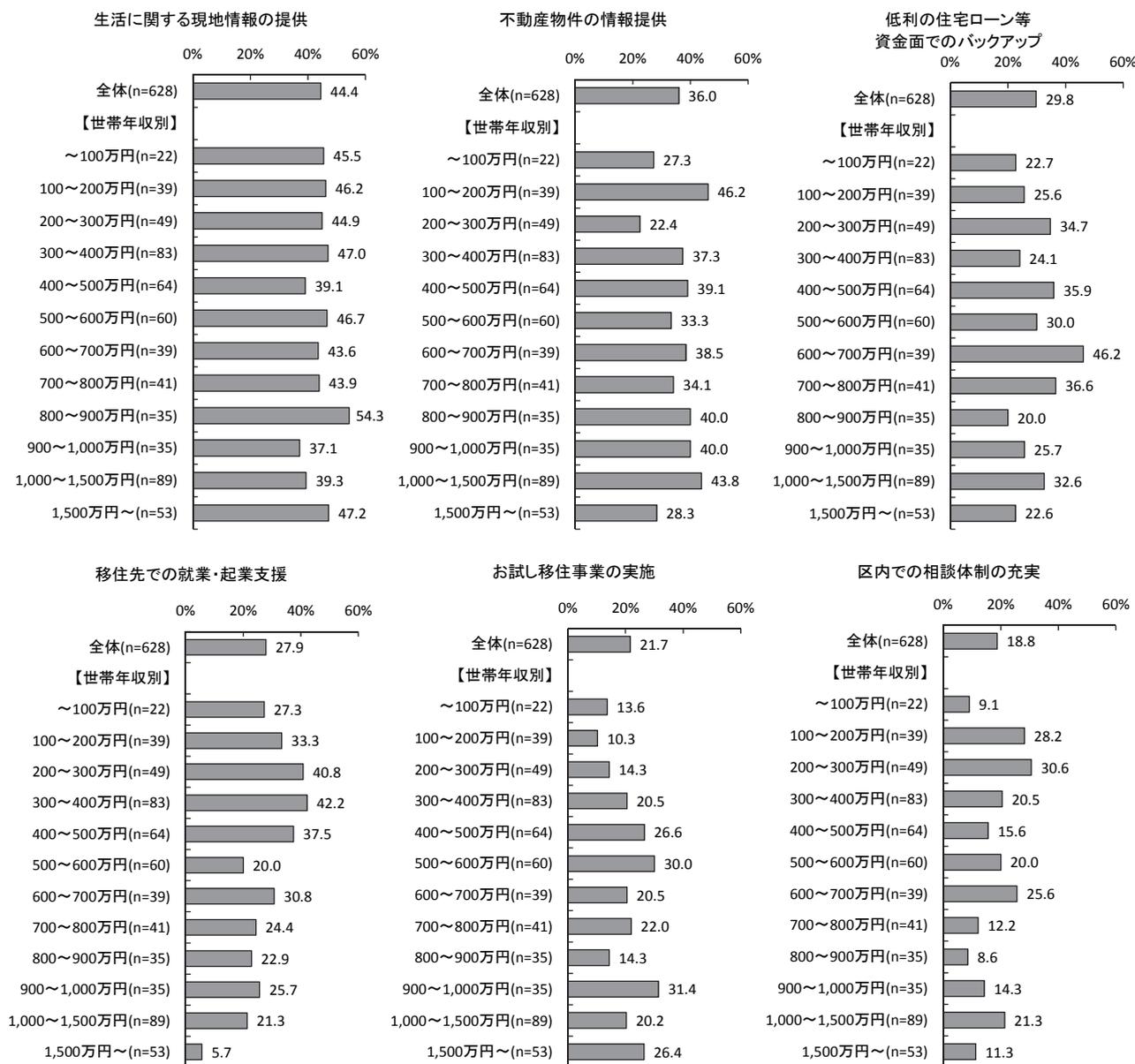


【世帯年収別比較】

世帯年収別にみると、ほとんどの世帯年収で「生活に関する現地情報の提供」「不動産物件の情報提供」が高くなっている。

項目別にみると、「低利の住宅ローン等資金面でのバックアップ」は主に400～800万円の世帯で、「移住先での就業・起業支援」は500万円以下の世帯で高くなっている。

■ 地方移住に希望する支援〈世帯年収別：上位6項目〉

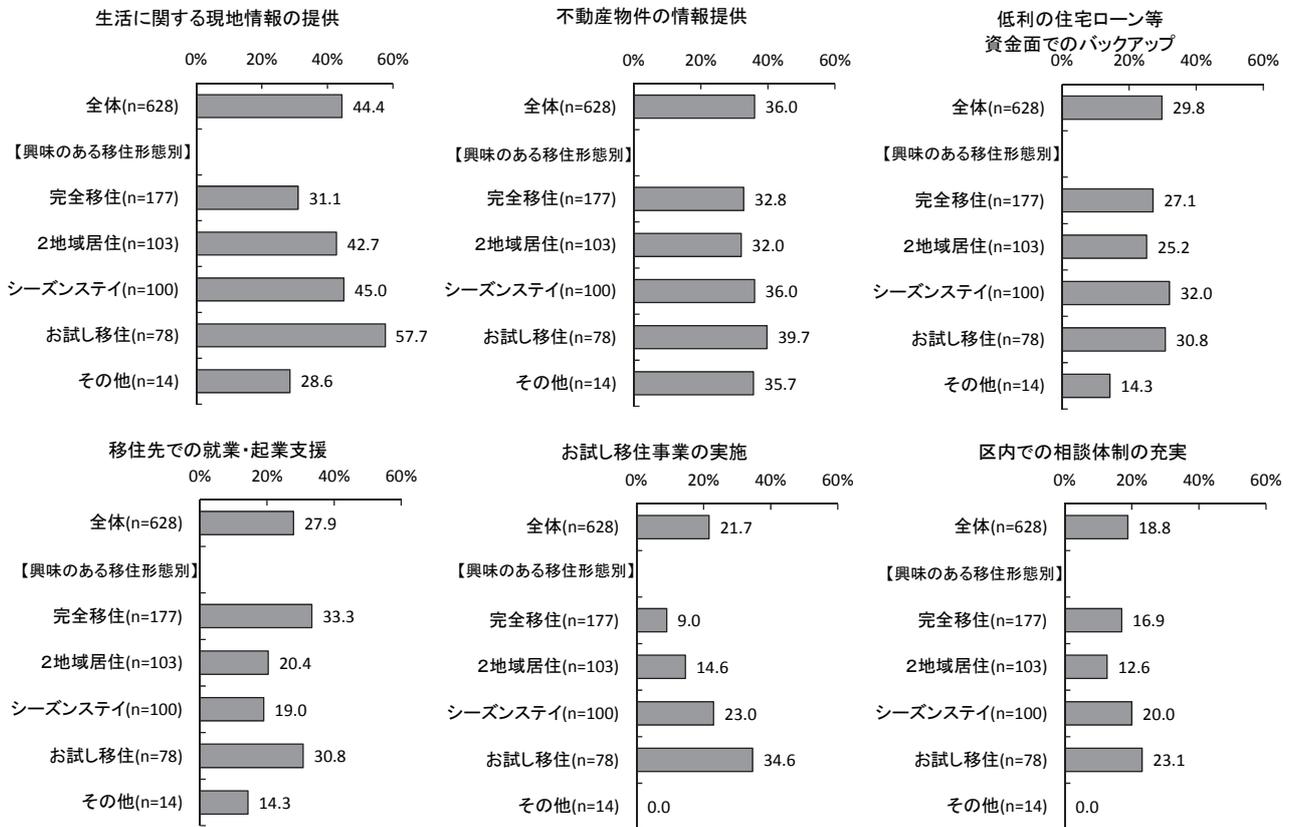


【興味のある移住形態別比較】

興味のある移住形態別にみると、2地域居住、シーズステイ、お試し移住では「生活に関する現地情報の提供」が最も高く、完全移住では「不動産物件の情報提供」が最も高くなっている。

項目別にみると、「生活に関する現地情報の提供」ではお試し移住が、「移住先での就業・起業支援」では完全移住とお試し移住が高くなっている。

■ 地方移住に希望する支援〈興味のある移住形態別：上位6項目〉

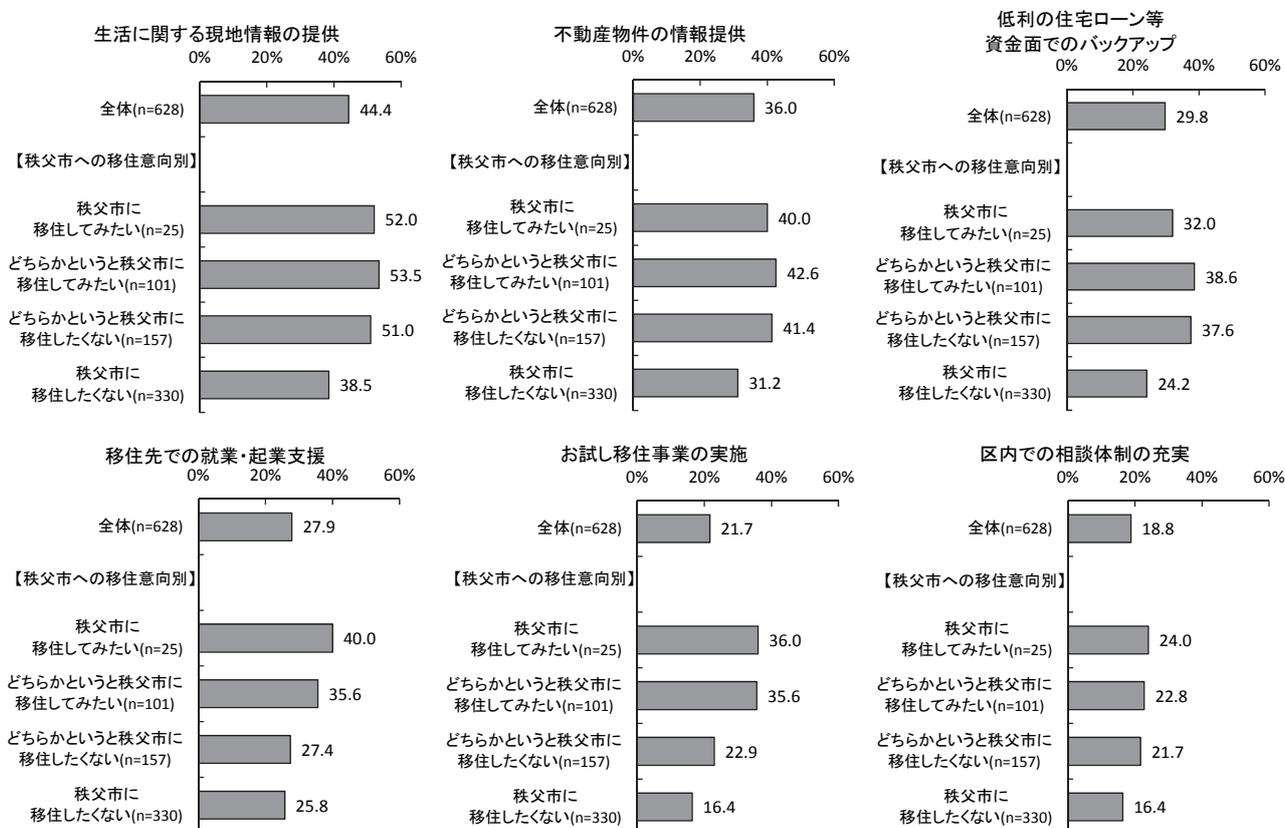


【秩父市への移住意向別比較】

秩父市への移住意向別にみると、秩父市に移住してみたい、どちらかというとならば秩父市に移住してみたい人では「生活に関する現地情報の提供」が最も高くなっている。

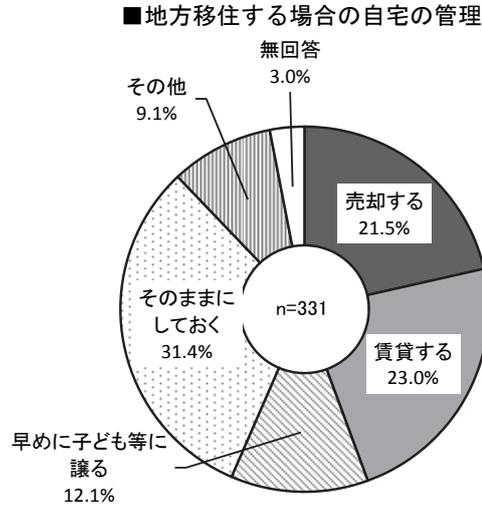
項目別にみると、「移住先での就業・起業支援」「お試し移住事業の実施」では、秩父市に移住してみたい、どちらかというとならば秩父市に移住してみたい人で高くなっている。

■ 地方移住に希望する支援〈秩父市への移住意向別：上位6項目〉



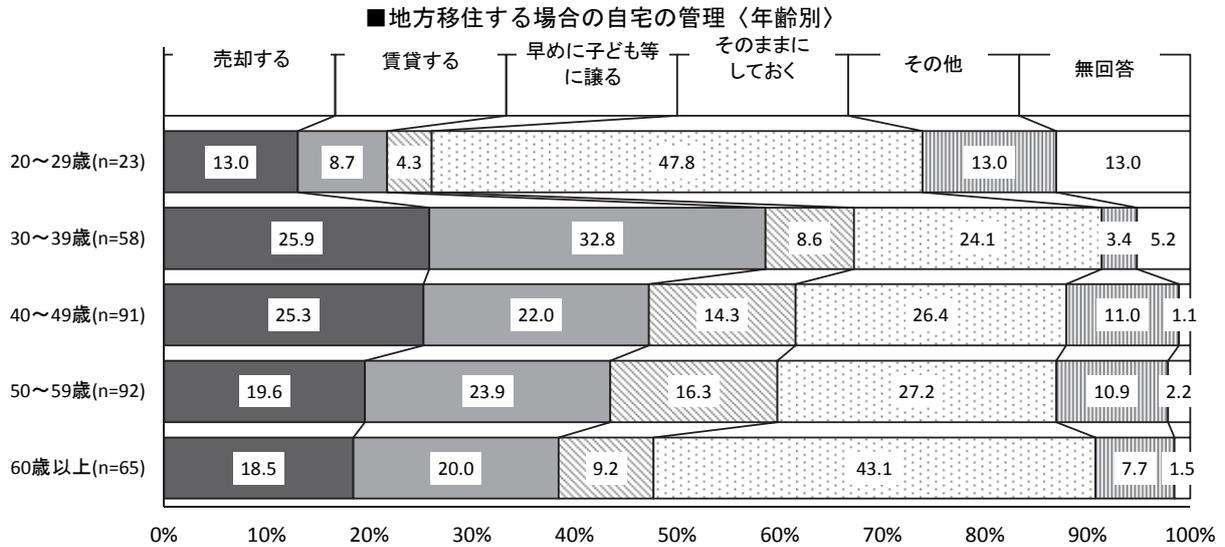
(19) 地方移住する場合の自宅の管理：問 40

“移住してみたい”と回答した中で持ち家に住んでいる人に、地方に移住する場合、現在の自宅はどのようにしようと思うかを聞いたところ、「そのままにしておく」が31.4%と最も高く、次いで「賃貸する」(23.0%)、「売却する」(21.5%)、「早めに子ども等に譲る」(12.1%)の順となっている。



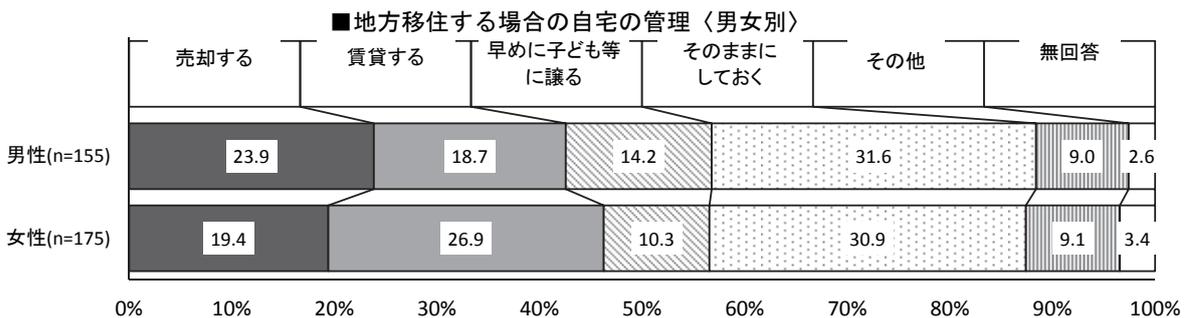
【年齢別比較】

「売却する」「賃貸する」は30～39歳でそれぞれ25.9%、32.8%と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。一方「そのままにしておく」は30～39歳が24.1%と最も低く、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。



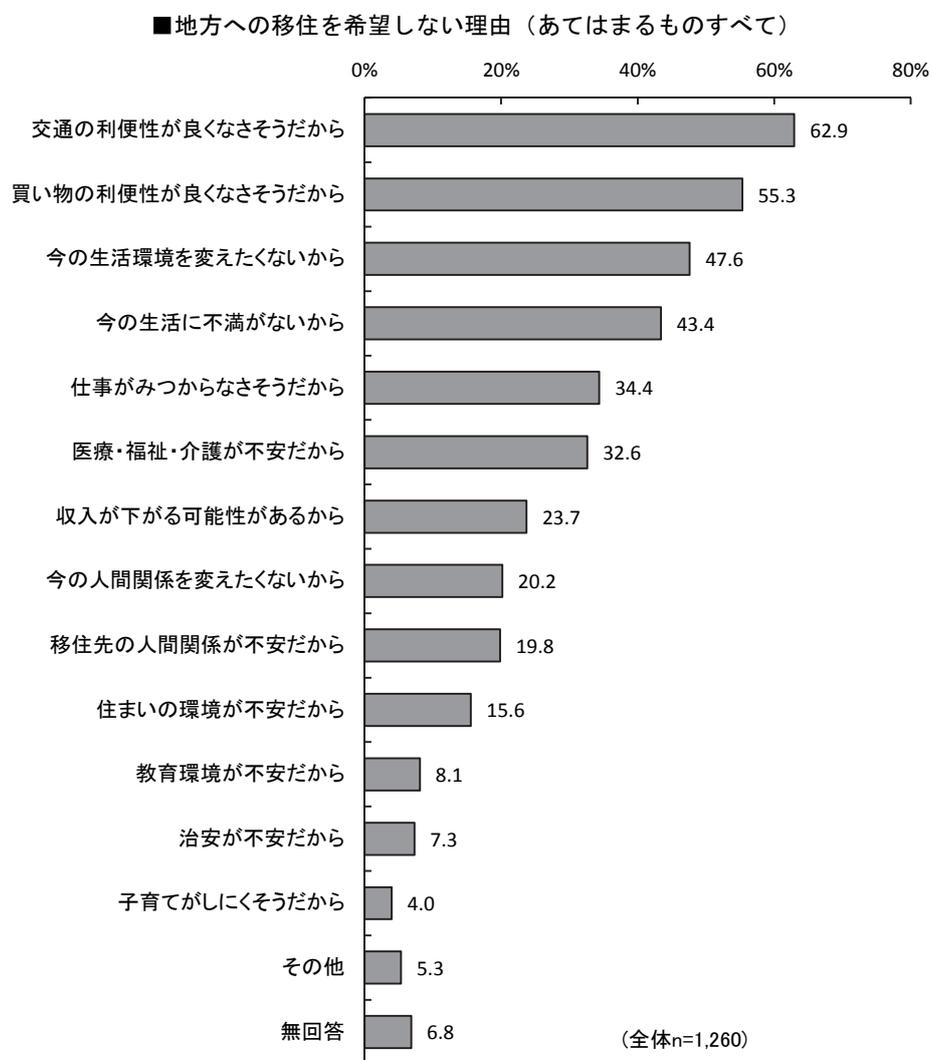
【男女別比較】

「売却する」「早めに子ども等に譲る」は男性が高く、「賃貸する」は女性で高くなっている。



(20) 地方への移住を希望しない理由：問 41

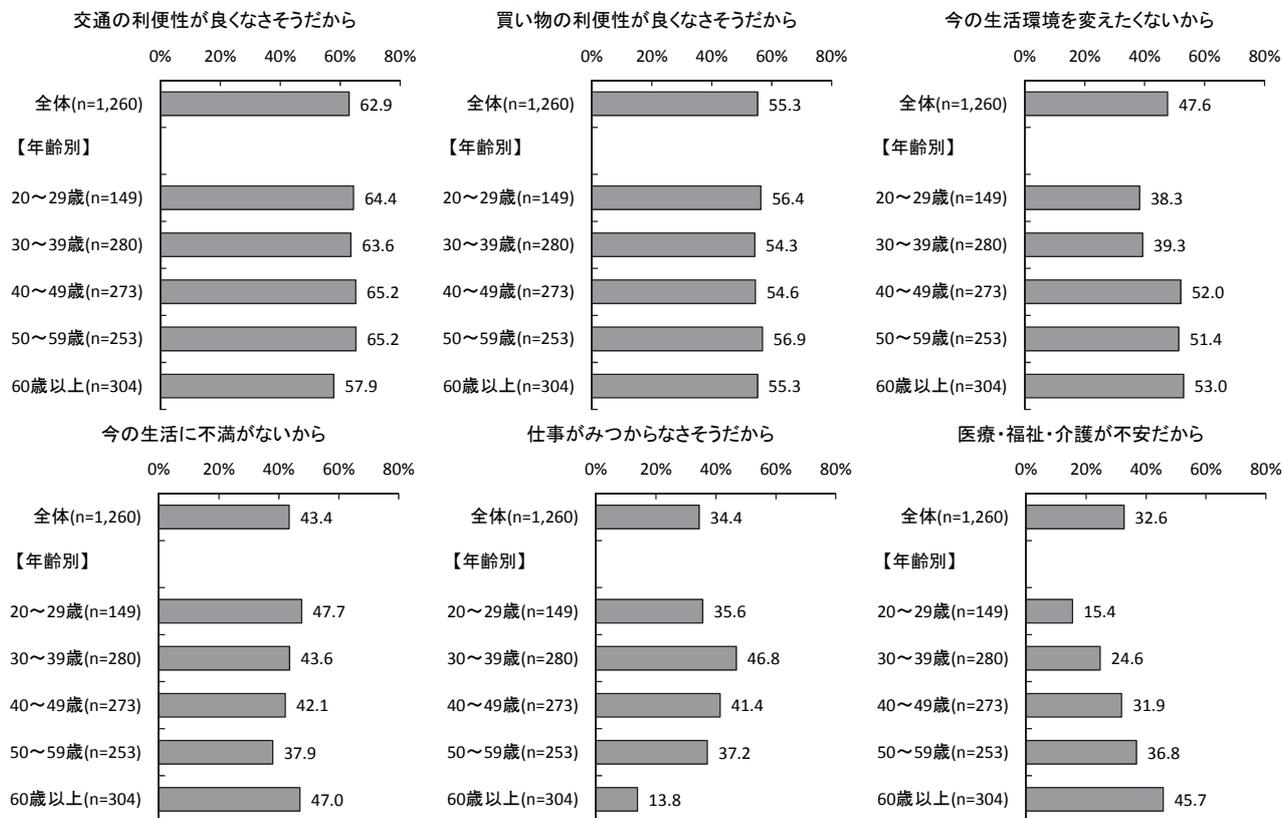
“移住したくない”と回答した人に、地方への移住を希望しない理由を聞いたところ、「交通の利便性が良くなさそうだから」が62.9%と最も高く、次いで「買い物の利便性が良くなさそうだから」(55.3%)、「今の生活環境を変えたくないから」(47.6%)、「今の生活に不満がないから」(43.4%)、「仕事が見つからなさそうだから」(34.4%)、「医療・福祉・介護が不安だから」(32.6%)の順で続いている。



【年齢別比較】

年齢別にみると、いずれの年齢でも「交通の利便性が良くなさそうだから」が最も高い。
 項目別にみると、「今の生活環境を変えたくないから」は40歳代以上で高くなり、「医療・福祉・介護が不安だから」は年齢が上がるほど高くなる傾向がみられる。「仕事が見つからなさそうだから」は30～39歳が46.8%と最も高く、60歳以上では13.8%と低くなっている。

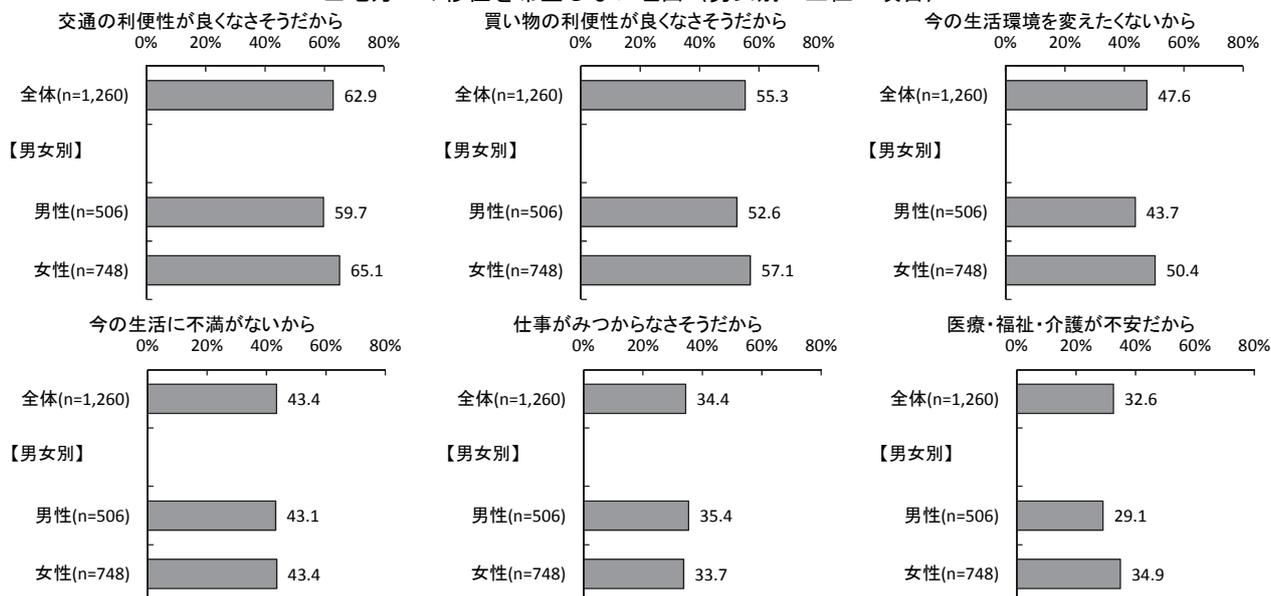
■地方への移住を希望しない理由〈年齢別：上位6項目〉



【男女別比較】

男女別にみると、男性も女性も「交通の利便性が良くなさそうだから」が最も高くなっている。
 項目別にみると、「仕事が見つからなさそうだから」は男性がやや高く、そのほかの項目では女性がやや高い傾向にある。

■地方への移住を希望しない理由〈男女別：上位6項目〉

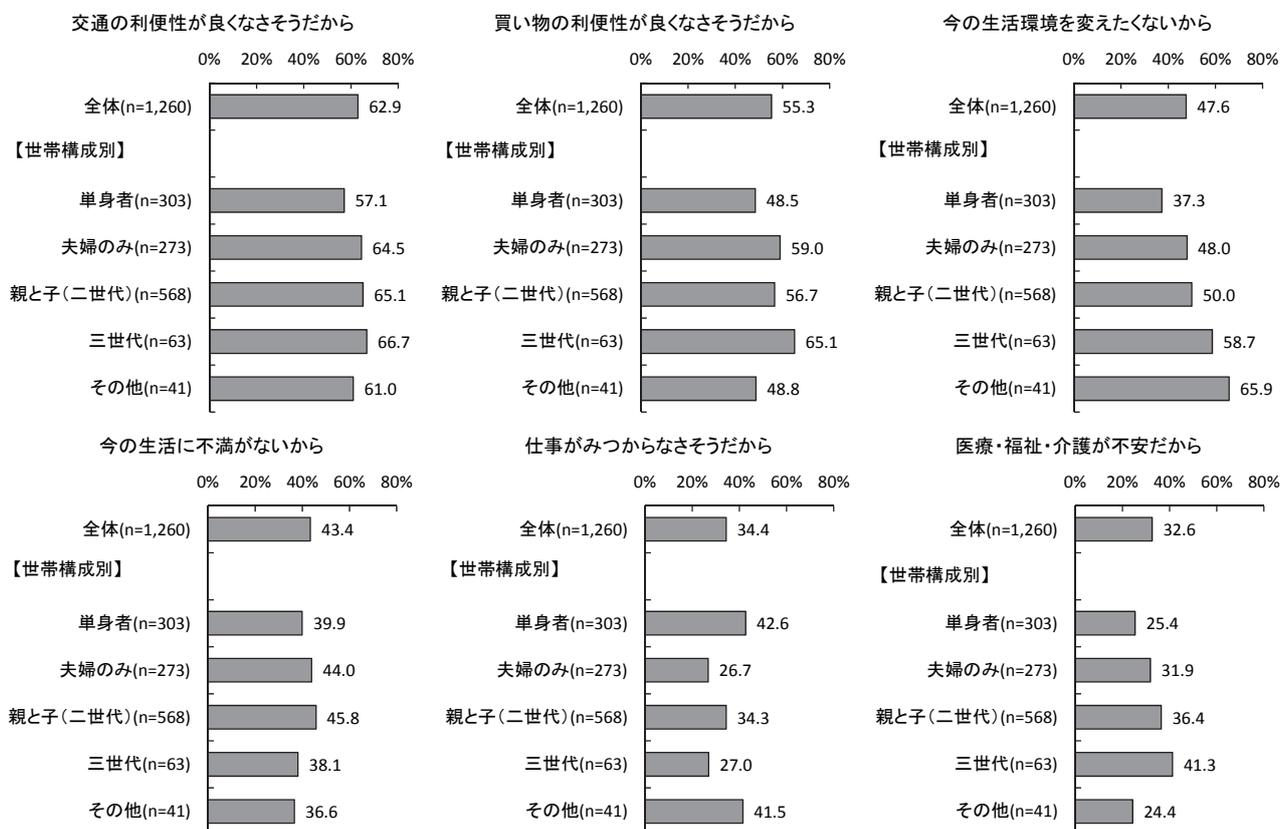


【世帯構成別比較】

世帯構成別にみると、その他世帯のほかはいずれも「交通の利便性が良くなさそうだから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「仕事が見つからなさそうだから」は単身者で高く、「今の生活環境を変えたくないから」「医療・福祉・介護が不安だから」は、複数人の世帯構成で高くなる傾向がみられる。

■地方への移住を希望しない理由〈世帯構成別：上位6項目〉

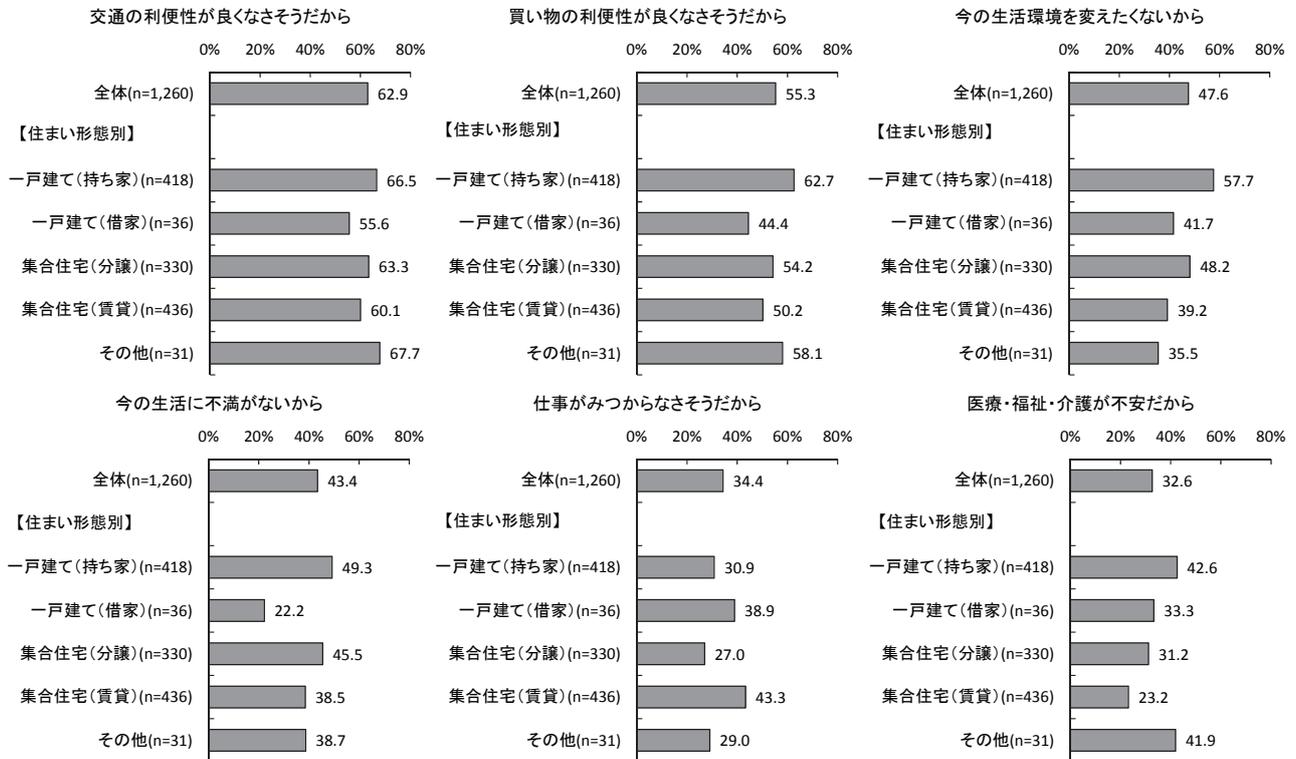


【住まい形態別比較】

住まい形態別にみると、いずれの住まい形態でも「交通の利便性が良くなさそうだから」が最も高くなっている。

項目別にみると、「交通の利便性が良くなさそうだから」「買い物の利便性が良くなさそうだから」「今の生活環境を変えたくないから」「今の生活に不満がないから」では、持ち家や分譲の人の方が高くなっている。

■地方への移住を希望しない理由〈住まい形態別：上位6項目〉



3. 自由意見

質問の最後で、その他ご意見等があればご記入くださいとしたところ、1,917 人の回答者中、402 人から回答を得られた。自由意見を内容によって整理した結果は以下のとおりである。一つの回答に複数の内容が含まれる場合は別々に数えたため、総数は 621 件となっている。

■自由意見の整理結果

内容	件数	主な意見・要望
定住・地方移住について		
定住について	93	<ul style="list-style-type: none"> ・豊島区に定住したい。 ・豊島区に定住したいが、治安や子育て環境・家賃等を考えると難しい。 ・定住が進むような施策やサービスを行ってほしい。
地方移住について	218	<ul style="list-style-type: none"> ・地方移住を考えている。 ・地方移住に関心がある。 ・移住支援や移住先の情報提供を行ってほしい。 ・子育て環境や家賃等を考えると移住を検討せざるを得ない。 ・シニア世代ほど買い物や医療、福祉等が便利なところに住みたい。 ・移住先での就労面を考えると地方移住は難しい。 ・地方移住は考えていない。
豊島区について		
出産・子育て・教育について	52	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園に入りにくい。 ・子どもが遊べる環境をつくってほしい。
環境について	38	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などの自然を増やしてほしい。 ・街をきれいにしてほしい。
交通・買い物等の利便性について	27	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い。 ・買い物に便利である。 ・近所にスーパー等の店が少ない。
住宅について	25	<ul style="list-style-type: none"> ・家賃が高い。 ・空き家対策をしてほしい。 ・ファミリー向けの住宅を増やしてほしい。
区政・区役所について	23	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信や行政サービスを充実させてほしい。
治安について	18	<ul style="list-style-type: none"> ・治安をよくしてほしい。
高齢者支援について	15	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのケアや施設を充実させてほしい。
医療について	14	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療や小児医療、総合病院等を充実させてほしい。
区のイメージ・活性化について	11	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化やイメージ向上に取り組んでほしい。
税について	10	<ul style="list-style-type: none"> ・税金が高い。
イベント・交流について	10	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや行事が充実している。 ・つき合いや交流が少ない。
外国人居住者について	9	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人居住者の多さに不安を感じる。
その他		
本調査について	19	<ul style="list-style-type: none"> ・本調査の意図、是非についての意見 ・設問等への指摘
その他	39	<ul style="list-style-type: none"> ・区や現在の生活についての感想、意見 ・日本全体に対する意見
合計	621	—

Ⅲ. 調査票

政策の検討に皆さまの声をお聴かせください

定住・地方移住等に関する区民意識調査

調査ご協力をお願い

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、豊島区では、日本全体で進行する「人口減少社会」に対応するため、「女性にやさしいまちづくり」、「地方との共生」、「高齢化への対応」、「日本の推進力」の四つの方針を柱に、持続発展都市づくりに取り組んでいます。この中で、姉妹都市である秩父市と連携して、日本版CCRC(※)の実現に向けた検討も始めています。

そこで、区民の皆さまに「定住」や「地方移住」などに関するご意向等をお聴きし、住み続けられるまちとしての豊島区の現状分析と同時に、地方移住を希望する方への支援の方策を検討する基礎資料として活用するため、アンケート調査を実施することとしました。

この調査は、区内にお住まいの20歳から69歳までの方の中から5,000名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成27年11月 豊島区長 高野之夫

《ご記入にあたってのお願い》

1. 封筒のあて名のご本人が、ご記入してください。ご本人の回答が難しい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いた上で代わりに記入してください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけるか、() 内に回答をご記入ください。
3. 質問で、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」を選んだ場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入が終わった調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、

12月8日（火）までに郵便ポストに投函してください。

投函していただく封筒にはバーコードがついていますが、これは返送先（区）の郵便番号を示すものであり、個人を特定するものではありません。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

電話：03-4566-2511(直通) FAX:03-3980-5093

※日本版CCRCとは…高齢者の皆さんが、自然豊かな地方に移住し、働いたり趣味をいかして社会参加をしながら健康でアクティブな生活を送り、医療・介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような住まいと地域です。「生涯活躍のまち」とも呼ばれています。CCRCは、英語の Continuing Care Retirement Community の略です。

定住・地方移住等に関する区民意識調査

1. 最初に、あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたの年齢について、お答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20～24 歳 | 5. 40～44 歳 | 9. 60～64 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 6. 45～49 歳 | 10. 65 歳以上 |
| 3. 30～34 歳 | 7. 50～54 歳 | |
| 4. 35～39 歳 | 8. 55～59 歳 | |

問2 あなたの性別を () 内にご記入ください。 記入例：(女)

()

問3 あなたの職業について、お答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|--------|
| 1. 自営業 | 4. 勤め(パートタイム) | 7. 無職 |
| 2. 勤め(全日・正規) | 5. 専業の主婦(主夫) | 8. その他 |
| 3. 勤め(全日・非正規) | 6. 学生 | () |

問4 あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 単身者 | → 問6(2頁)へ |
| 2. 夫婦のみ | → 問6(2頁)へ |
| 3. 親と子(二世帯) | → 問5へ |
| 4. 三世帯 | → 問5へ |
| 5. その他() | → 問5へ |

【問4で「3」または「4」または「5」と回答した方におたずねします】

問5 あなたの家族に中学生以下のお子さんは、何人いらっしゃいますか。
(1つに○)

- | | | | |
|--------|-------|-------|---------|
| 1. いない | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人以上 |
|--------|-------|-------|---------|

問6 あなたは生まれてから、ずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む) |
| 2. 他の地域からきた |

問7 あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 2年未満 | 4. 10年以上～15年未満 |
| 2. 2年以上～5年未満 | 5. 15年以上～20年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 6. 20年以上 |

問8 あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------------|-------------|--------|
| 1. 一戸建て(持ち家) | 3. 集合住宅(分譲) | 5. その他 |
| 2. 一戸建て(借家) | 4. 集合住宅(賃貸) | () |

問9 あなたのお住まいの町名について、お答えください。(町名の番号に○印をつけ、()内に何丁目かお書きください。) 記入例: (1) 駒込 (2) 丁目

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. 駒込()丁目 | 8. 南池袋()丁目 | 15. 南長崎()丁目 |
| 2. 巣鴨()丁目 | 9. 西池袋()丁目 | 16. 長崎()丁目 |
| 3. 西巣鴨()丁目 | 10. 池袋()丁目 | 17. 千早()丁目 |
| 4. 北大塚()丁目 | 11. 池袋本町()丁目 | 18. 要町()丁目 |
| 5. 南大塚()丁目 | 12. 雑司が谷()丁目 | 19. 高松()丁目 |
| 6. 上池袋()丁目 | 13. 高田()丁目 | 20. 千川()丁目 |
| 7. 東池袋()丁目 | 14. 目白()丁目 | |

問10 あなたの世帯の年収(税込)について、お答えください。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 100万円未満 | 7. 600万円以上700万円未満 |
| 2. 100万円以上200万円未満 | 8. 700万円以上800万円未満 |
| 3. 200万円以上300万円未満 | 9. 800万円以上900万円未満 |
| 4. 300万円以上400万円未満 | 10. 900万円以上1,000万円未満 |
| 5. 400万円以上500万円未満 | 11. 1,000万円以上1,500万円未満 |
| 6. 500万円以上600万円未満 | 12. 1,500万円以上 |

2. 定住等に関することについておたずねします

問 11 あなたは、今後も豊島区に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1. いつまでも住み続けたい | → 問 12 へ |
| 2. 当分住み続けたい | → 問 12 へ |
| 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある | → 問 13 へ |
| 4. 他の地域・区市町村に転居したい | → 問 13 へ |

【問 11 で「1」または「2」と回答した方におたずねします】

問 12 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 地域になじみがあるから | 13. 教育環境が良いから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地だから | 14. 文化的な環境が良いから |
| 3. 今の住まいが気に入っているから | 15. 医療・福祉・介護が充実しているから |
| 4. 持ち家だから | 16. 住環境が良いから |
| 5. 親や子どもと一緒に(近く)に住んでいるから | 17. 家賃が適当だから |
| 6. 親戚が近くに住んでいるから | 18. 物価が安いから |
| 7. 友人・知人が近くに住んでいるから | 19. 自然環境が良いから |
| 8. 近所づきあいがうまくいっているから | 20. 治安が良いから |
| 9. 買い物など日常生活が便利だから | 21. 防災面で安全だから |
| 10. 通勤・通学に便利だから | 22. 公共施設が充実しているから |
| 11. 仕事の関係上、住む必要があるから | 23. その他 |
| 12. 出産や子育ての環境が充実しているから | () |

【問 11 で「3」または「4」と回答した方におたずねします】

問 13 転居せざるをえない理由、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 地域になじみがないから | 15. 出産や子育ての環境が充実していないから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地ではないから | 16. 教育環境が良くないから |
| 3. 今の住まいが気に入っていないから | 17. 文化的な環境が良くないから |
| 4. 持ち家に住みたいから | 18. 医療・福祉・介護が充実していないから |
| 5. 家が手狭になったから | 19. 住環境が良くないから |
| 6. 親や子どもの近くに住みたいから | 20. 家賃が高いから |
| 7. 親戚の近くに住みたいから | 21. 物価が高いから |
| 8. 友人・知人の近くに住みたいから | 22. 自然環境が良くないから |
| 9. 結婚するから | 23. 治安が良くないから |
| 10. 近所づきあいがうまくいっていないから | 24. 防災面で不安だから |
| 11. 買い物など日常生活が不便だから | 25. 公共施設が充実していないから |
| 12. 通勤・通学に不便だから | 26. 他地域にも興味があるから |
| 13. 仕事の関係上、転居する必要があるから | 27. その他 |
| 14. 仕事・学校の関係で一時的に居住しているだけだから | () |

問 14 あなたは、現在結婚をしていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 結婚している(事実婚を含む) | →問 19(5頁)へ |
| 2. 結婚したが死別または離別している | →問 15 へ |
| 3. 結婚したことはない | →問 15 へ |

【問 14 で「2」または「3」と回答した方におたずねします】

問 15 あなたは、将来結婚したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. すぐにでも結婚したい | →問 16 へ |
| 2. 数年以内に結婚したい | →問 16 へ |
| 3. いずれは結婚したい | →問 16 へ |
| 4. 結婚するつもりはない | →問 20(5頁)へ |

【問 15 で「1」または「2」または「3」と回答した方におたずねします】

問 16 どのような状況になれば結婚したいと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 適当な年齢になったら | 6. 親の同意が得られたら |
| 2. 仕事が落ち着いたら | 7. 希望の条件を満たす相手に会えたら |
| 3. 経済的に余裕ができたら | 8. その他 |
| 4. 住まいのめどがたったら | () |
| 5. 周囲の人間が結婚し始めたら | |

問 17 結婚したらどこに住みたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 豊島区内 | 3. わからない |
| 2. 豊島区外 | |

問 18 結婚を支援するため、行政はどのような取組を実施することが望ましいと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 安定した雇用の確保 | 6. 結婚相談窓口の設置 |
| 2. 住まいの支援 | 7. 出会いの場の提供 |
| 3. 経済的な支援 | 8. その他 |
| 4. 子育てしやすい社会環境づくり | () |
| 5. 仕事と子育ての両立支援 | 9. 行政が取組を実施する必要はない |

問 19 あなたは、全部で何人の子どもがほしいですか。もしくはほしいと思っていましたか。すでに子どもがいる場合は、そのお子さんも含めてお答えください。(1つに○)

1. 0人
2. 1人
3. 2人
4. 3人
5. 4人以上
6. わからない

【全員の方におたずねします】

問 20 豊島区は、まちの持続的な発展に向けて、子どもと女性にやさしいまちづくりを政策の重要な柱に位置付けています。豊島区は、出産・子育てをしやすいまちだと思いませんか。(1つに○)

1. 思う → 問 21(6頁)へ
2. どちらかと思う → 問 21(6頁)へ
3. どちらかと思わない → 問 21(6頁)へ
4. 思わない → 問 21(6頁)へ
5. わからない → 問 22(7頁)へ

【問20で「1」または「2」または「3」または「4」と回答した方におたずねします】

問21 豊島区は、出産・子育てをする上で、どのようなところが良いと思いますか。または改善すべきだと思いますか。(それぞれ1つに○)

※わからない項目は○を付けなくて差し支えありません。

	良い	どちらとも言えない	改善が必要
1. 妊娠、出産、子育てに関する情報発信	1	2	3
2. 子どもの健康診査や保健指導	1	2	3
3. 子育て相談等の身近なサポート体制	1	2	3
4. 区民ひろば等の交流や活動の場	1	2	3
5. 保育園への入りやすさ	1	2	3
6. 延長保育、一時預かり等の保育サービス	1	2	3
7. 保育料の負担	1	2	3
8. 幼稚園の充実度	1	2	3
9. 医療体制	1	2	3
10. 子どもの医療費助成制度	1	2	3
11. 小学生の放課後対策(*子どもスキップ等)	1	2	3
12. 区立小中学校への自宅からの距離	1	2	3
13. 区立小中学校の隣接校選択制	1	2	3
14. 区立小中学校の学力水準	1	2	3
15. 区立小中学校のいじめ対策	1	2	3
16. 区立小中学校の英語教育	1	2	3
17. 学習塾や習い事への通い	1	2	3
18. 地域の子育て支援・健全育成の活動	1	2	3
19. 安全・安心の地域の見守り活動	1	2	3
20. 治安	1	2	3
21. 公園・児童遊園等の遊び場	1	2	3
22. 地域のスポーツ活動	1	2	3
23. 図書館の充実度	1	2	3
24. 自然環境	1	2	3
25. 送り迎えや買い物などの利便性	1	2	3
26. その他()	1	2	3

* 子どもスキップとは…小学生を対象とする育成事業と学童クラブを総合的に展開するため、学校の教室、校庭、体育館等を活用して、自主的な参加のもとに遊びをととして、子どもたちが交流を広げる事業です。

3. 地方への移住に関することについておたずねします

問 22 あなたは地方に移住してみたいと思いますか。(1つに○)
なお、「移住」の定義は下記の※をご参照ください。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 移住してみたい | → 問 23 へ |
| 2. どちらかというに移住してみたい | → 問 23 へ |
| 3. どちらかというに移住したくない | → 問 41(12 頁)へ |
| 4. 移住したくない | → 問 41(12 頁)へ |

※この調査では、以下のような形態をすべて「移住」とお考えください。

- ◆お試し移住: 数週間～数カ月の短・中期間、試験的に移住すること
- ◆シーズンステイ: 普段は豊島区、夏場は〇〇市に住むなど、ある季節のみ別の生活拠点に住むこと
- ◆2地域居住: 平日は豊島区、休日は〇〇市に住むなど、2つの生活拠点を行き来すること
- ◆完全移住: 今の住まいを離れ、生活拠点を完全に移すこと(Uターン、Jターン、Iターンもこれに含まれます)

【問 22 で「1」または「2」と回答した方におたずねします】

問 23 移住について、どの程度検討を進めていますか。(いくつでも○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 検討済み |
| 2. 入手した資料等から検討しているところ |
| 3. 移住に関する情報を集めているところ |
| 4. 体験ツアー等のイベントの参加を検討しているところ |
| 5. まだ検討は始めていない |
| 6. その他() |

問 24 何年後くらいに移住してみたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 1年以内 | 4. 6年～10年後 |
| 2. 1年～2年後 | 5. 10年以上先 |
| 3. 3～5年後 | 6. わからない |

問 25 地方への移住のなかで、興味があるものはどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 完全移住 | 4. お試し移住 |
| 2. 2地域居住 | 5. その他 |
| 3. シーズンステイ | () |

問 26 どなたと一緒に移住したいですか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 一人で移住 | 5. 親戚と移住 |
| 2. 夫婦で移住 | 6. 友人・知人と移住 |
| 3. 親子(二世代)で移住 | 7. その他 |
| 4. 三世代で移住 | () |

問 27 移住先の家賃（ローン、賃貸料等）が月額どの程度なら移住が可能と考えますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 3万円未満 | 5. 10万円以上 15万円未満 |
| 2. 3万円以上5万円未満 | 6. 15万円以上 20万円未満 |
| 3. 5万円以上7万円未満 | 7. 20万円以上 |
| 4. 7万円以上 10万円未満 | 8. わからない |

【問 28 は、お勤めの方のみお答えください】 お勤めでない方は問 29 へ

問 28 お勤めの方で、移住先からの通勤時間は、どれくらいが許容範囲ですか。（1つに○）

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 1時間以内 | 3. 2時間以内 |
| 2. 1時間 30分以内 | 4. 3時間以内 |

問 29 地方への移住を考える理由は何ですか。（いくつでも○）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 出身が地方だから | 11. 自然の多い環境で暮らしたいから |
| 2. スローライフを実現したいから | 12. 子どもを自然の多い環境で育てたいから |
| 3. 食べ物や水、空気がおいしいから | 13. 結婚を控えているから |
| 4. 健康的な生活がしたいから | 14. 転職を考えているから |
| 5. 自分に合った生活をしたから | 15. 定年退職を控えているから |
| 6. 生活コストが安いから | 16. 早期退職を考えているから |
| 7. 暮らしやすい気候だから | 17. 親の面倒をみたいから |
| 8. 都内では家を購入しづらいから | 18. 子どもに呼ばれているから |
| 9. 都心を離れたから | 19. その他 |
| 10. 暮らしてみたい街があるから | () |

問 30 移住先では、どのようなことをしたいですか。（いくつでも○）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 悠々自適の生活 | 7. 農業・林業を始める |
| 2. 趣味を楽しむ | 8. 地元企業での就労 |
| 3. スポーツ活動 | 9. 専門性や得意分野を活かした起業 |
| 4. 地域貢献活動 | 10. 離れていた家族との生活 |
| 5. 地域の人たちとの交流 | 11. その他 |
| 6. ボランティア活動(福祉、観光案内等) | () |

問 31 地方への移住を検討する上で、重視する点は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 生活コスト | 10. 住まいの環境 |
| 2. 買い物の利便性 | 11. 自然環境 |
| 3. 交通の利便性 | 12. 治安 |
| 4. 仕事 | 13. 移住先での人間関係 |
| 5. 収入 | 14. 移住先の自治体での支援体制 |
| 6. 医療の充実 | 15. 現在の人間関係の維持 |
| 7. 福祉・介護の充実 | 16. 豊島区との行き来のしやすさ(距離・時間など) |
| 8. 子育ての環境 | 17. その他 |
| 9. 子どもの教育環境 | () |

問 32 地方に移住する場合に不安に思うことは何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 生活コストの上昇 | 9. 子どもの教育環境がよくないこと |
| 2. 買い物の利便性がよくないこと | 10. 住まいの環境がよくないこと |
| 3. 交通の利便性がよくないこと | 11. 自然環境がよくないこと |
| 4. 仕事が見つからないこと | 12. 治安がよくないこと |
| 5. 収入が下がる可能性があること | 13. 移住先での人間関係づくり |
| 6. 医療が十分でないこと | 14. 現在の人間関係が維持しにくいこと |
| 7. 福祉・介護が十分でないこと | 15. その他 |
| 8. 子育ての環境がよくないこと | () |

問 33 地方への移住を検討する上で特に知りたい点は何ですか。(いくつでも○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 移住の形態(完全移住、シーズンステイ等)に関する情報 |
| 2. 移住先に関する情報(住まい、就労・起業、産業構造、災害対策等) |
| 3. 移住の方法に関する情報 |
| 4. 移住の相談先に関する情報 |
| 5. 移住の支援に関する情報 |
| 6. 移住の経験者の情報 |
| 7. 移住に関する情報の入手方法 |
| 8. その他() |

問 34 あなたは、もし移住を検討するなら、どのような場所が良いと考えますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 都市部 | 5. 親の居住地 |
| 2. 地方 | 6. 子どもの居住地 |
| 3. 故郷 | 7. その他 |
| 4. 故郷と豊島区との間の地域 | () |

問 35 あなたは、もし移住を検討するなら、どの地域が良いと考えますか。

(いくつでも○)

また、具体的に検討しているまちがあれば () にご記入ください。

1. 北海道 (具体的に:)
2. 東北地方(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島) (具体的に:)
3. 北関東・甲信地方(茨城、栃木、群馬、山梨、長野) (具体的に:)
4. 南関東地方(埼玉、千葉、東京、神奈川) (具体的に:)
5. 北陸地方(新潟、富山、石川、福井) (具体的に:)
6. 東海地方(岐阜、静岡、愛知、三重) (具体的に:)
7. 近畿地方(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山) (具体的に:)
8. 中国地方(鳥取、島根、岡山、広島、山口) (具体的に:)
9. 四国地方(徳島、香川、愛媛、高知) (具体的に:)
10. 九州地方(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島) (具体的に:)
11. 沖縄 (具体的に:)
12. 特になし	

(参考) 現在、豊島区の姉妹都市、友好・交流都市には、次のまちがあります。

北海道夕張市	栃木県那珂川町	富山県富山市
青森県十和田市	群馬県神流町	長野県小諸市
岩手県一関市	群馬県みなかみ町	長野県小海町
宮城県	埼玉県川越市	長野県立科町
宮城県石巻市	埼玉県秩父市	長野県箕輪町
宮城県大崎市	埼玉県飯能市	岐阜県関市
秋田県能代市	埼玉県東松山市	静岡県浜松市
山形県村山市	埼玉県北本市	三重県名張市
山形県遊佐町	埼玉県三芳町	滋賀県甲賀市
福島県郡山市	埼玉県寄居町	京都府亀岡市
福島県いわき市	東京都八丈町	大阪府泉大津市
福島県南相馬市	神奈川県横浜市栄区	大阪府松原市
福島県伊達市	神奈川県厚木市	愛媛県内子町
福島県猪苗代町	神奈川県湯河原町	福岡県久留米市
茨城県常陸大宮市	新潟県魚沼市	大分県杵築市
栃木県宇都宮市	新潟県湯沢町	鹿児島県鹿児島市
栃木県那須烏山市	新潟県津南町	

問 36 現在豊島区は、姉妹都市である埼玉県秩父市と移住に関する取組を検討していますが、あなたは秩父市へ移住してみたいと思いますか。

(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 移住してみたい | → 問 37 へ |
| 2. どちらかというに移住してみたい | → 問 37 へ |
| 3. どちらかというに移住したくない | → 問 38 へ |
| 4. 移住したくない | → 問 38 へ |

【問 36 で「1」または「2」と回答した方におたずねします】

問 37 どのような理由で秩父市へ移住したいと思われましたか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 故郷だから | 6. 趣味を楽しめる場所だから |
| 2. 自然が豊かだから | 7. 豊島区と行き来しやすいから |
| 3. 親しみのある場所だから | 8. 自然災害が少ないから |
| 4. 観光でよく行くから | 9. その他 |
| 5. 親戚や友人がいるから | () |

【問 36 で「3」または「4」と回答した方におたずねします】

問 38 どのような理由で秩父市へ移住したくないですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 都会に住みたいから | 6. 行政サービスが不十分だから |
| 2. 親しみのない場所だから | 7. 秩父市についてよく知らないから |
| 3. 暮らしにくい気候だから | 8. その他 |
| 4. 交通が不便だから | () |
| 5. 豊島区と行き来しにくいから | |

問 39 地方への移住を考える場合、支援してほしいことは何ですか。

(いくつでも○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 区内での相談体制の充実 |
| 2. 低利の住宅ローン等資金面でのバックアップ |
| 3. 現在の持ち家の管理・処分 |
| 4. 不動産物件の情報提供 |
| 5. 生活に関する現地情報の提供 |
| 6. 地元・移住経験者などとの交流イベント |
| 7. 1～2日程度の現地体験イベントの実施 |
| 8. お試し移住事業の実施 |
| 9. 移住先での就業・起業支援 |
| 10. 移住先での相談体制の充実 |
| 11. その他() |

【問 40 は、持ち家の方(一戸建て、集合住宅)のみお答えください】

持ち家でない方は問 42 へ

問 40 地方に移住する場合、現在の自宅はどのようにしようと思いますか。

(1つに○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 売却する | 4.そのまましておく |
| 2. 賃貸する | 5. その他 |
| 3. 早めに子ども等に譲る | () |

【問 22 で「3」または「4」と回答した方におたずねします】

問 41 地方への移住を希望しない理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 買い物の利便性が良くなさそうだから | 9. 今の人間関係を変えたくないから |
| 2. 交通の利便性が良くなさそうだから | 10. 今の生活に不満がないから |
| 3. 仕事がみつからなさそうだから | 11. 移住先の人間関係が不安だから |
| 4. 収入が下がる可能性があるから | 12. 住まいの環境が不安だから |
| 5. 医療・福祉・介護が不安だから | 13. 治安が不安だから |
| 6. 子育てがしにくそうだから | 14. その他 |
| 7. 教育環境が不安だから | () |
| 8. 今の生活環境を変えたくないから | |

【全員の方におたずねします】

問 42 その他、定住・地方移住に関するご意見等があれば、ご記入ください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、**12月8日(火)まで**にお近くの郵便ポストに投函してください。

定住・地方移住等に関する区民意識調査報告書

平成 28 年（2016 年）2 月

発 行 豊島区
編 集 豊島区政策経営部企画課
〒171-8422
東京都豊島区南池袋 2-4 5-1
☎03（3981）1111（代表）

